

VSP2910H プリンタ装置

取扱説明書

安全な使用のために

このマニュアルの取り扱いについて

このマニュアルには、当製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。当製品をご使用になる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアルに記載されている『安全上の注意事項』をよく読み、理解された上で当製品をご使用ください。また、このマニュアルは、当製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。

富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っております。当製品をご使用する際は、本マニュアルの説明に従ってください。

はじめに

VSP2910H プリンタ装置は、グローバルサーバ、ビジネスサーバ (PRIMERGY6000, SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series) に加え Windows アプリケーションから印刷することが可能な VSP (Virtual System Printer) の卓上型の多目的インパクトプリンタです。

本書は、本装置を使用するシステム設計者およびオペレータの手引きにすることを目的として解説したものです。

本書の内容についてよくご理解いただいた上でご使用ください。特に、オペレータの方は「第3章 操作説明」をご一読の上ご使用ください。

2016年7月

警告表示について

本書では、お客様の身体や財産に損害を与えないよう、以下の警告表示をしています。



「**▲警告**」は、正しくご使用にならない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。



「**▲注意**」は、正しくご使用にならない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得るのと、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

ハイセイフティ用途について

本製品のハイセイフティ用途での使用について 本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業などの一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。
電波障害の防止 この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
事業系の使用済製品の引取りとリサイクルについてお願い ● この製品の所有者が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（産業廃棄物管理表）の発行が必要となります。 ● 弊社では 1998 年より、法人のお客様から排出される弊社製品を「富士通りサイクルシステム」（有料）にて回収、リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでいます。製品所有者が弊社に廃棄を依頼される場合には以下の Web サイトをご覧ください。 http://eco.fujitsu.com/jp/「富士通りサイクルシステム」
お 願 い ● 本書を無断で他に転載しないようお願いします。 ● 本書は予告なしに変更されることがあります。

Microsoft, Windows, MS-DOS, Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

● 本文中の略語について

本文中では、Microsoft® Windows 2000 Professional 日本語版および Microsoft® Windows 2000 Server 日本語版を Windows 2000, Microsoft® Windows® XP Professional/Home Edition 日本語版を Windows XP, Microsoft® Windows® Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition 日本語版を Server 2003, Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition 日本語版を Windows XP x64, Microsoft® Windows Server® 2003 Standard x64 Edition/Enterprise x64 Edition 日本語版を Server 2003 x64, Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise for Itanium-based Systems 日本語版を Server 2003 IA64, Microsoft® Windows Vista® Enterprise/Ultimate/Business 日本語版を Windows Vista と表記しています。Server 2003 x64 と Windows XP x64 を同時に示す場合は Server 2003/XP x64 と表記しています。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2008-2016

警告マークについて

本書では、安全上の注意事項を記述した箇所に、警告表示とともにその内容を示す警告マークを配置して一目でわかるように配慮しています。

使用している警告マークの意味は以下のとおりです。内容をよく理解したうえで、お読みください。



感電する危険性について記述していることを示します。



高温による傷害の危険性について記述していることを示します。



発火する危険性について記述していることを示します。



触れることによって障害が起こる可能性について記述していることを示します。



一般的な禁止事項を記述していることを示します。



一般的な注意事項を記述していることを示します。

安全上の注意事項



- 電源プラグは、濡れた手で持たないでください。また、電源プラグの抜き差しは、装置の電源スイッチを切断してから行ってください。

感電や火災のおそれがあります。

- LAN ケーブルや電源ケーブルを接続するときは、必ず本装置の電源を切断してください。

感電や火災のおそれがあります。

- コネクタの端子に手を触れないでください。

感電のおそれがあります。

- 清掃時は電源スイッチを切断し、電源ケーブルを抜いてください。

感電のおそれがあります。

- LAN ケーブルや電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

感電や火災のおそれがあります。

LAN ケーブルや電源ケーブルの上に物を載せたり、からみつけたり、足を引っかけたりしないように注意してください。

- 指定された電源電圧以外では使用しないでください。

感電や火災のおそれがあります。

- 装置を分解したり、改造したりしないでください。

感電や火災のおそれがあります。

また、内部に高電圧部分があります。



- 万一装置から発熱・発煙・異臭・異常音が発生したら、すぐに電源を切断し、担当保守員に連絡してください。

感電や火災のおそれがあります。

- アース付きのコンセントに必ず接続してください。

感電や火災のおそれがあります。

電源コンセントに平行 2P、接地極付きを使用してアースを確実に接続してください。

- 異物が装置内に入ったら、すぐに電源を切断し、担当保守員に連絡してください。

感電や火災のおそれがあります。

- 装置清掃時に清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

火災のおそれがあります。



- 印字ヘッドやモーターには触れないでください。
- 印字ヘッドのカバーを外さないでください。
火傷のおそれがあります。



- 動作中にカバーを開けて手や指や顔を入れないでください。
ケガ（指挟みなど）のおそれがあります。
- 歯車・ベルトなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を近づけないようにしてください。
巻き込まれるおそれがあります。
- トップカバーを開けた状態でも印字動作を続けているときは、ただちにプリンタ本体の電源を切断し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、担当保守員に連絡してください。
印字ヘッドの動作によりケガのおそれがあります。
お客様自身による修理は絶対におやめください。



- 直射日光の当たる所や暖房機の近く、湿気、ホコリの多い場所に置かないでください。
感電や火災のおそれがあります。
- 通風孔をふさがないでください。
装置内部が高温になり、火災のおそれがあります。
- 装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業しないでください。
転倒、落下のおそれがあります。
- 不安定な場所に置かないでください。
転倒、落下のおそれがあります。



- 電源ケーブルは、プラグ部分を持って抜いてください。
感電や火災のおそれがあります。
 - 装置の移動時は、フェースダウンスタッカをはずしてから行ってください。
転倒、落下のおそれがあります。
-

正しくお使いいただくためのお願い

- 装置を運搬する場合、特別の処置を講じる必要があります。これらの処置を講じないで移設すると、印字品質に悪影響を及ぼすことがあります。
したがって、運搬、移設が必要になった場合は、当社営業または担当保守員に相談してください。
- オプションのフェースダウンスタッカの取り付け/取り外しは、必ず電源を切断した状態で行ってください。
- 当製品は、日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売させていただいております。
したがって、日本国外でのご使用はできません。万一ご使用された結果の影響につきましては、一切責任を負いかねます。
- 当製品の分解・修理・設置・移動はお客さま自身で行わないでください。そのような際は担当保守員によるメンテナンスを受けてください。
- お客さまが当製品に改造を加えたり、当製品の中古品を再生して使用された結果の影響につきましては、一切責任を負いかねます。
- 当製品には当社で指定したサプライ用品をご使用ください。指定以外のサプライ用品を使用した結果の影響につきましては、一切責任を負いかねます。
- 媒体の選択は、「第6章 印刷媒体」を参照のうえ、ご選択ください。
- 操作方法は、「第3章 操作説明」を参照のうえ、正しくお使いください。
- 印刷動作中にトップカバーを開けないでください。動作が中断したり、用紙の位置がずれたりする場合があります。
- 本装置のラベルが、劣化・破れたときは、担当保守員に連絡し、ラベルの交換をしてください。

目 次

安全な使用のために	
はじめに	i
警告マークについて	iii
安全上の注意事項	iv
正しくお使いいただくためのお願い	vi
第1章 概 要	1
1.1 装置概要	1
1.2 接続形態	2
1.3 各部の名称	5
1.4 仕 様	7
1.4.1 基本仕様	7
1.4.2 F66XX エミュレーション機能仕様	9
1.4.3 F69XX エミュレーション機能仕様	11
1.5 オプション	12
1.6 Windows 環境で使用するソフトウェア	13
1.7 Unix 環境で使用するソフトウェア	13
1.8 機能面・運用面における注意事項	14
第2章 準 備	25
2.1 開梱の手順	25
2.2 製品の確認	26
2.3 設置上および取扱い上の注意事項	27
2.4 内容梱包材の取外し方	30
2.5 ホッパ、スタッカ、各種カバーの取り付け、取り外し	31
2.5.1 ホッパの場合	31
2.5.2 スタッカの場合	33
2.5.3 フロントカバーの場合	35
2.5.4 手差しトレイの場合	37
2.6 リボンカセットの取付け	40
2.7 オプション（フェースダウンスタッカ）の取り付け	42
2.8 ケーブルの接続	46
2.9 ソフトウェアのインストール	48
第3章 操作説明	51
3.1 電源の投入と切断	51

目 次

3.1.1	電源の投入	51
3.1.2	電源の切断	51
3.2	操作パネルの配置と機能	52
3.2.1	操作パネルの配置	52
3.2.2	操作パネルの機能	52
3.3	セットアップ	56
3.3.1	セットアップの手順	56
3.3.2	セットアップの構成	58
3.3.3	セットアップの設定内容	61
3.4	装置立ち上げと印刷設定	67
3.4.1	装置立ち上げ	67
3.4.2	印刷設定（機能モード）	68
3.5	LAN 接続	70
3.5.1	LAN 接続するための基本設定	70
3.5.2	LAN 接続環境ごとの設定内容	71
3.5.3	ゲートウェイについての補足	81
3.6	印刷時の操作	83
3.6.1	用紙の取付け方	83
3.6.2	用紙の印刷位置合わせ	111
3.6.3	用紙の取外し方	115
3.6.4	連帳用紙と単票用紙を交互に使うには	117
第4章	リボンカセット・インクリボンの交換	119
4.1	リボンカセットとインクリボンについて	119
4.2	リボンカセットの交換	121
4.3	インクリボン（サブカセット）の交換	125
第5章	異常発生時の操作	131
5.1	異常と思ったら	131
5.2	用紙切れ	133
5.3	用紙づまり	135
5.3.1	本体中に用紙がつまった場合	136
5.3.2	フェースダウスタッカ内に用紙がつまった場合	139
5.4	カバーオープン	140
5.5	プログラムエラー	140
5.6	用紙通路オープン	140
5.7	ヘッドアップエラー	141
5.8	ポジションエラー	141
5.9	セレクトミス	142

5.10	POC エラー	142
5.11	パターンタイムアウト	142
5.12	上位装置電源断	143
5.13	LAN 二重アドレスエラー	143
5.14	メカ系の異常	144
5.15	ハードウェアの異常	145
5.16	PrintWalker/PM のエラーメッセージ	146
第 6 章	用紙仕様および帳票設計	149
6.1	連帳用紙	149
6.2	単票用紙	154
6.3	元帳	159
6.4	はがき	161
6.5	封 筒	164
6.6	タック紙	166
6.7	左とじ伝票	169
6.8	バーコード印刷	172
6.8.1	バーコード印刷の用紙規格	172
6.8.2	バーコード印刷の読取り	173
6.9	プレプリント用紙について	176
6.10	用紙の取り扱い上の注意	176
第 7 章	日常の点検とお手入れ	177
7.1	日常の点検	177
7.2	日常のお手入れ	177
7.3	用紙送りローラ, 自動給紙部ローラの清掃の仕方	177
第 8 章	設置諸元	179
8.1	設置仕様	179
8.2	外形寸法	180
8.3	保守スペース	181
第 9 章	付 録	183
9.1	メッセージ一覧	183
9.1.1	オフライン系	183
9.1.2	セットアップ系	185
9.1.3	コントローラ系エラー	191
9.1.4	メカ系エラー	194
9.2	文字コード	198

目 次

9.3	PrintWalker/RS のご紹介	203
9.4	PrintWalker/LXE のご紹介	206
9.4.1	PrintWalker/LXE の概要	206
9.4.2	動作環境	207
9.4.3	システム構成	208
9.4.4	留意事項	209
9.5	カスタマバーコードの印刷条件	210
9.6	ID マーク	211

安全データシート

第1章 概 要

本章では、本装置の概要、接続形態、各部の名称、仕様、オプション、Windows/Unix 環境で使用するソフトウェアおよび機能面・運用面における注意事項について説明します。

1.1 装置概要

本装置は、グローバルサーバ、ビジネスサーバ（SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series）に加え、Windows パソコン（FMV シリーズ）のアプリケーションからの印刷が可能なネットワークプリンタ装置です。また、オプションの拡張出力機構を使用すれば、ビジネスサーバ（PRIMERGY6000）からの印刷が可能になります。LAN 接続された複数のクライアントサーバ混在のシステム環境において、それぞれのシステムのプリンタ装置として共有できます。

複写印刷の多い伝票業務に最適なプリンタ装置であり、連続帳票・カット紙・複写伝票の印刷はもちろんのこと、はがき・封筒・タック紙への印刷も可能です。更に、バーコード・ID マークの読み取り機能を有し、印刷業務の合理化を図ることが可能です。

本装置の外観を図 1.1 に示します。

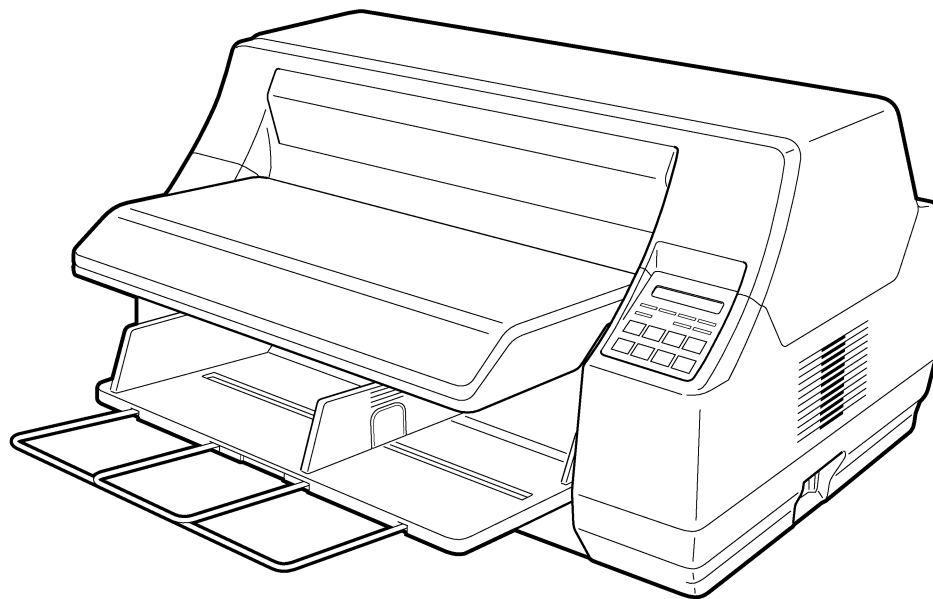


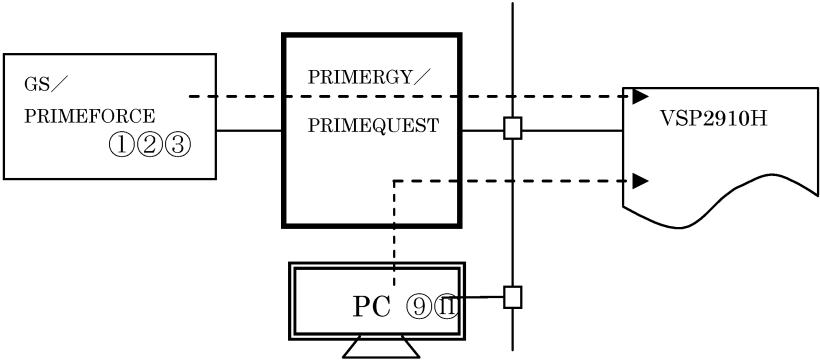
図 1.1 外 観

1.2 接続形態

本装置は、複数の異なるシステムと接続できます。それぞれのシステムとの接続形態について説明します。

「設定」の番号は、「3.5.1 LAN 接続するための基本設定」の表に項番に対応します。

(1) Windows2000/Server2003 サーバ接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
GS/ PRIMEFORCE 注 1)	PRIMERGY 注 2)	HOST PRINT DS-LINK	66XX	サポートサーバ：6680-NMC 伝 送 経 路：DS-LINK	②
		HOST PRINT TCP/IP	66XX	サポートサーバ：HOST PRINT 伝 送 経 路：TCP/IP	①
		HOST PRINT PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	③

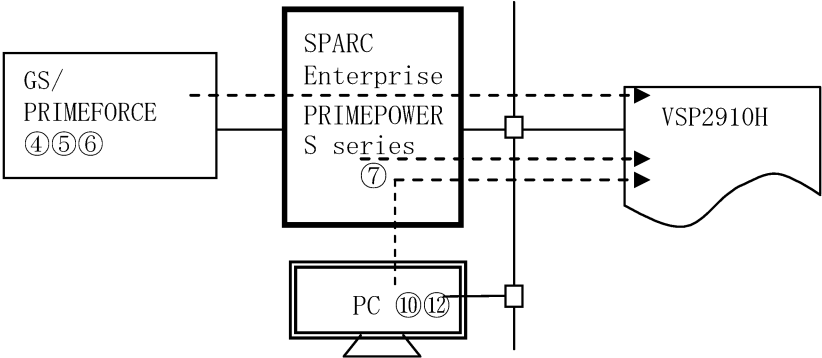
注 1) GS/PRIMEFORCE から PRIMEQUEST への接続はできません。

注 2) SCP6000/7500 シリーズでも同等の機能を使用可能。

クライアント	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
PC 注 3)	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑨ ⑩

注 3) OS が Windows 2000/XP/Vista であること。

(2) SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series 接続



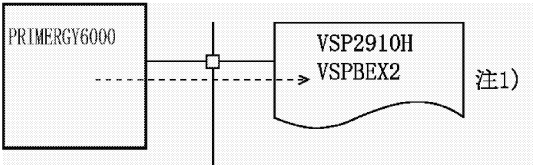
ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
GS/ PRIMEFORCE	PRIME- POWER S series	Netcompo NMC サーバ DS-LINK	66XX	サポートサーバ：6680-NMC 伝 送 経 路：DS-LINK	⑤
		Netcompo NMC サーバ TCP/IP	66XX	サポートサーバ：HOST PRINT 伝 送 経 路：TCP/IP	④
		PrintWalker /BPC, CJMS TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑥
SPARC Enterprise PRIME- POWER S series	—	PrintWalker /BPC TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑦

クライアント	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
PC 注 1)	SPARC Enterprise PRIME- POWER S series	PrintWalker /BPC TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑩ ⑫

注 1) OS が Windows 2000/XP/Vista であること。

第 1 章 概 要

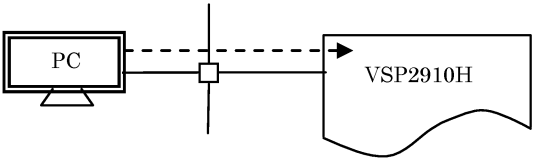
(3) PRIMERGY6000 接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	
PRIMERGY-6000	—	LAN プリンタ制御 オプション TCP/IP	69XX	サポートサーバ : PrintWalker 伝 送 経 路 : TCP/IP	⑧

注 1) 本接続形態時は拡張出力機構オプションが必須となります。

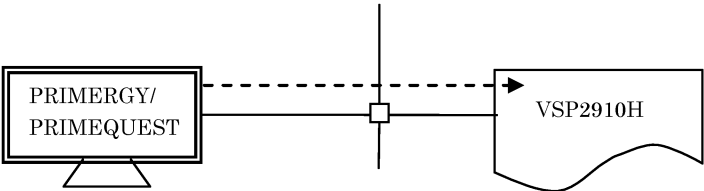
(4) PC 接続



ホスト		プリンタ		設定
		エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	
PC	PrintWalker/PM	66XX	サポートサーバ :	⑬
注 1)	TCP/IP		PrintWalker 伝 送 経 路 : TCP/IP	⑭

注 1) OS が Windows 2000/XP/Vista であること。

(5) Linux 接続



ホスト		プリンタ		設定
		エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	
PRIMERGY/ PRIMEQUEST	PrintWalker/LXE	66XX	サポートサーバ :	⑮
注 1)	TCP/IP		PrintWalker 伝 送 経 路 : TCP/IP	

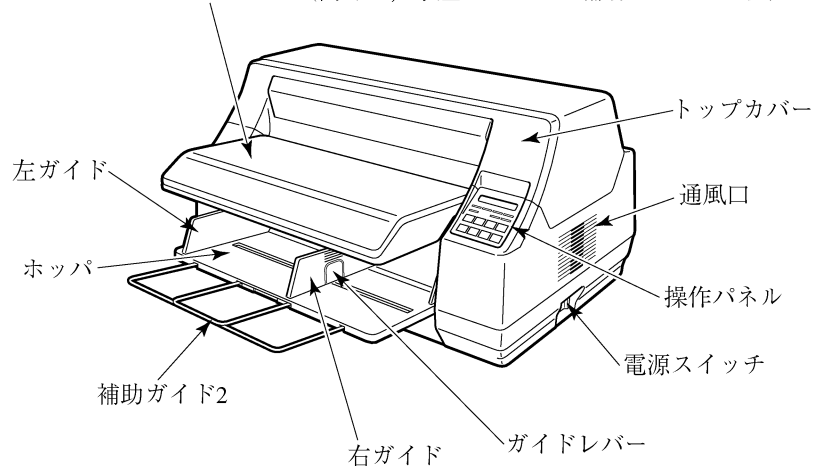
注 1) 詳細は 9. 4 項を参照してください。

1.3 各部の名称

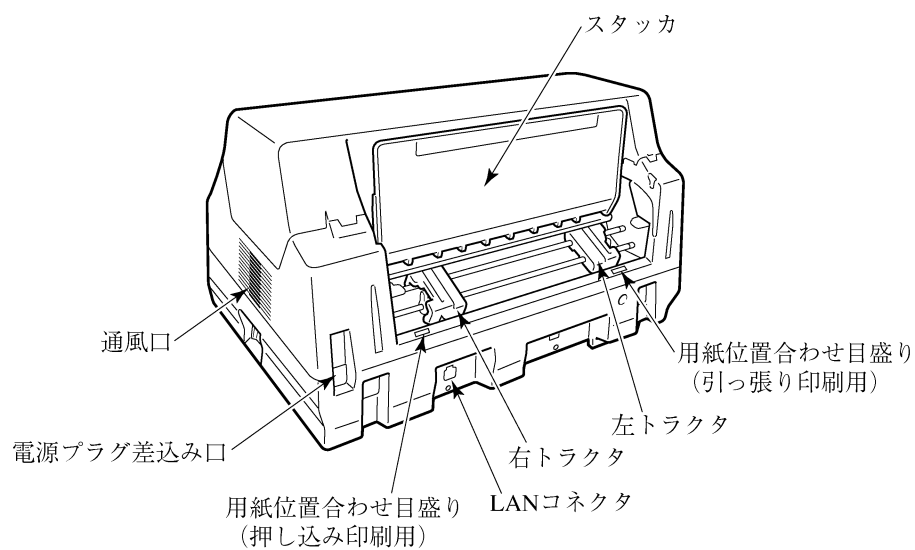
本装置の各部の名称を以下に示します。

<前面（トップカバーを閉じた状態）>

フロントカバー（開くと、手差しトレイと補助ガイド1があります。）

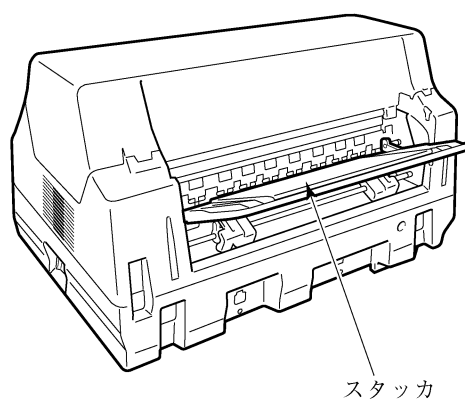


<背面（スタッカを折りたたんだ状態）>

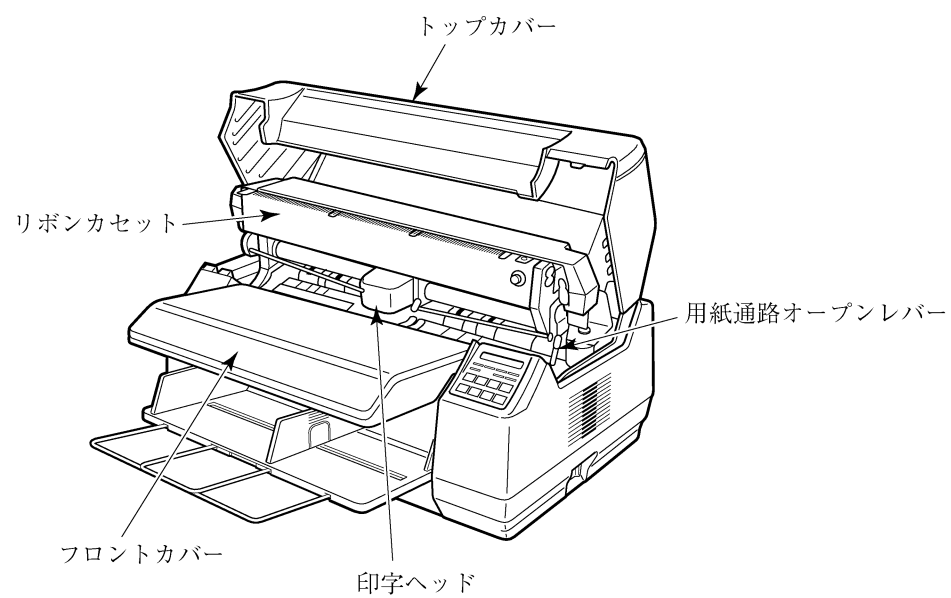


第1章 概要

<背面（スタッカを開いた状態）>



<トップカバーを開けた状態>



1.4 仕 様

本装置の仕様について説明します。

1.4.1 基本仕様

本装置の基本仕様を表 1.1 に示します。

表 1.1 基本仕様

項 目		仕 様																			
印字方式		インパクトドットマトリックス方式																			
ドット数		24 ドット（ピン径 0.2mm）																			
解像度		160dpi（縦）×160dpi（横）																			
用紙厚調整		自動調整																			
用紙送り方式	単票	手挿入口からの手動給紙 ホッパからの自動給紙																			
	連帳	押し込みトラクタ方式 引張りトラクタ方式																			
用 紙 注 1)	単票	種類　：上質紙，再生紙，はがき，封筒，タック紙，複写紙 用紙幅　：55～364mm 用紙長　：70～364mm（自動給紙：90～364mm） 坪量　　：52～208g/m ² （連量：45～180kg）																			
	連帳	種類　：紙ホチキスを含む上質紙，タック紙，複写紙 用紙幅　：88.9～406.4mm（3.5～16 インチ） 用紙長　：折り畳み 101.6mm 以上（4 インチ以上） 坪量　　：52～128g/m ² （連量 45～110kg）																			
印字速度		注 2) 注 3)	<table><tr><td></td><td>複写枚数</td><td>印字速度 （高複写モード時印字速度）</td></tr><tr><td rowspan="2">通常モード</td><td>1 枚～3 枚</td><td>140 字/秒（120 字/秒）</td></tr><tr><td>4 枚以上</td><td>130 字/秒（120 字/秒）</td></tr><tr><td rowspan="2">中速モード</td><td>1 枚～3 枚</td><td>187 字/秒（160 字/秒）</td></tr><tr><td>4 枚以上</td><td>173 字/秒（160 字/秒）</td></tr><tr><td rowspan="2">高速モード</td><td>1 枚～3 枚</td><td>260 字/秒（240 字/秒）</td></tr><tr><td>4 枚以上</td><td>240 字/秒（240 字/秒）</td></tr></table> ・ 上記は漢字の印字速度を示す。 ・（ ）は高複写モード時の印字速度を示す。		複写枚数	印字速度 （高複写モード時印字速度）	通常モード	1 枚～3 枚	140 字/秒（120 字/秒）	4 枚以上	130 字/秒（120 字/秒）	中速モード	1 枚～3 枚	187 字/秒（160 字/秒）	4 枚以上	173 字/秒（160 字/秒）	高速モード	1 枚～3 枚	260 字/秒（240 字/秒）	4 枚以上	240 字/秒（240 字/秒）
	複写枚数	印字速度 （高複写モード時印字速度）																			
通常モード	1 枚～3 枚	140 字/秒（120 字/秒）																			
	4 枚以上	130 字/秒（120 字/秒）																			
中速モード	1 枚～3 枚	187 字/秒（160 字/秒）																			
	4 枚以上	173 字/秒（160 字/秒）																			
高速モード	1 枚～3 枚	260 字/秒（240 字/秒）																			
	4 枚以上	240 字/秒（240 字/秒）																			
複写枚数	注 1)	通常印字圧モード時　：5 枚（オリジナル＋4 枚） 高複写モード時　　：　　8 枚（オリジナル＋7 枚）																			
給 紙		約 500 枚（一般紙，坪量 64g/m ² ，1P 用紙）																			
排 紙		最大 200 枚（一般紙，坪量 64g/m ² ，1P 用紙）																			
プリンタ寿命	注 6)	800 万行または 5 年の早いほう																			
定期交換部品寿命	注 5) 注 6)	印字ヘッド：5 億打（ANK／漢字印字） 3 億打（バーコードなどの高密度印字を連続的に印字した場合） ピックアップラ：2 年またはピックアップ回数 12 万回の早いほう																			
消耗品寿命	注 6)	インクリボン：ANK ドラフト 1000 万字																			
インターフェース		LAN（Ethernet 100Base-TX，10Base-T）																			
LAN プロトコル		TCP/IP，DS-LINK																			
エミュレーション	注 4)	JEF（F66XX，F69XX）																			

第 1 章 概 要

- 注 1) 複写用紙に印字する場合、複写枚数によって連量が制限されてきます。詳細は「第 6 章 用紙仕様および帳票設計」を参照してください。
- 注 2) 接続の本体装置、ネットワークの状況または印刷内容によっては印刷速度が低下する場合があります。
- 注 3) PRIMERGY6000 からは、中速モードでの印刷を行うことができません。
中速モードに設定されていても通常モードで印刷を行います。
- 注 4) エミュレーションにおける JEF (F69XX) は、拡張出力機構オプションが必須となります。
- 注 5) 「高複写モード」で印字した場合は、複写濃度は濃くなりますが、印字ヘッドの寿命が約 60%に短くなります。
- 注 6) プリンタ装置または印字ヘッドまたはピックアップが寿命になると、電源投入後最初のオンライン状態で「スタート」ランプが約 10 秒間点滅します。(担当営業または保守員に連絡してください)

1.4.2 F66XX エミュレーション機能仕様

本装置の F66XX エミュレーション機能仕様を表 1.2 に示します。

表 1.2 F66XX エミュレーション機能仕様

項 目	仕 様
印刷文字種	・明朝体 2 バイト文字：JEF 非漢字，JEF 第 1 水準／第 2 水準漢字，半角，書式文字 1 バイト文字：ANK 4 セット（設定により OCR-B フォント切り換え可能） ・ゴシック体 未サポート
印字桁数	・漢字：90 桁（文字ピッチ 3/20 インチ時） ・ANK：136 桁（文字ピッチ 1/10 インチ時）
文字間隔	・漢字：1/5，1/6，3/20 インチ ・ANK：1/10，1/12，1/13.3，1/15 インチ
文字拡大	長体，平体，倍角，ラベル文字（3～32 倍）
行間隔	3，4，6，8 行／インチ
イメージ印刷 （注 1）	データ形式：非圧縮，MH，MR，MMR 形式 イメージ切り出し
図形印刷	文字，線，円，面塗りなどの描画
バーコード印刷 （注 3）	種類：NW-7，標準 JAN，短縮 JAN，CODE 3 of 9， Industrial 2 of 5，Interleaved 2 of 5，物流系 カスタマバーコード（注 2）

注 1)

- ・ Windows アプリケーションからの印刷では，デバイスフォントを指定する以外はイメージデータとなります。
- ・ プリンタドライバでイメージ圧縮を指定する場合は，拡張出力機構オプションが必要となります。
- ・ Windows アプリケーションからバーコードを印刷する場合は，イメージデータとして印刷されるため，運用に先立ち十分な読み取りテストを実施してください。
- ・ イメージ切り出しは，Windows アプリケーションからのイメージ印刷で発生する文字崩れを改善するための印刷方式です。詳細は「1.8 機能面・運用面における注意事項」の（24）項を参照してください。

第 1 章 概 要

注 2)

- カスタマバーコードの印刷仕様は以下のとおりです。
BAR 高さ(最大)：2 2 ドット
BAR 幅 ：3 ドット / SPACE 幅：4 ドット
横書きのみサポート
- カスタマバーコード印刷は、拡張出力機構オプションが必要となります。
- カスタマバーコードは、GS/PRIMEFORCE からの印刷時のみサポートしています。
- 読み取り可能な印刷条件は、「9.5 カスタマバーコードの印刷条件」を参照してください。

注 3) バーコード印刷は、運用前に十分な読み取りテストを実施してください。

また、インクリボンは新しいものを使用してください。

注 4) バーコード、OCR-B の読み取りは印刷用紙の最上部の 1 枚目のみ可能です。2 枚目以降の読み取りは保証できません。

1.4.3 F69XX エミュレーション機能仕様

本装置の F69XX エミュレーション機能仕様を表 1.3 に示します。

表 1.3 F69XX エミュレーション機能仕様

項 目	仕 様
印刷文字種	・明朝体 2 バイト文字：JEF 非漢字，JEF 第 1 水準／第 2 水準漢字，半角，書式文字 1 バイト文字：ANK 4 セット（ソフトの指定により OCR-B フォント切り換え可能） ・ゴシック体
印字桁数	・漢字：90 桁（文字ピッチ 3/20 インチ時） ・ANK：136 桁（文字ピッチ 1/10 インチ時）
文字間隔	・漢字：1/5，3/20 インチ ・ANK：1/10，1/12 インチ
文字拡大	長体，平体，倍角，ラベル文字
行間隔	6，8，12 行／インチ
イメージ印刷	データ形式：非圧縮，MH，MR，MMR 形式
図形印刷	文字，線，円，面塗りなどの描画
バーコード印刷 （注 3）	種類：NW-7，標準 JAN，短縮 JAN，CODE 3 of 9， Industrial 2 of 5，Interleaved 2 of 5 カスタマバーコード（注 2）

注 1) 本エミュレーション機能を使用する場合は，拡張出力機構オプションが必要となります。

注 2) カスタマバーコードの印刷仕様は以下です。

- ・BAR 高さ(最大)：2 2 ドット
- ・BAR 幅：3 ドット / SPACE 幅：4 ドット
- ・横書きのみ

読み取り可能な印刷条件は，「9.5 カスタマバーコードの印刷条件」を参照してください。

注 3) バーコード印刷は，運用前に十分な読み取りテストを実施してください。

またインクリボンは新しいものを使用してください。

注 4) バーコード，OCR-B の読み取りは印刷用紙の最上部の 1 枚目のみ可能です。

2 枚目以降の読み取りは保証できません。

1.5 オプション

本装置のオプションについて説明します。

オプションを表 1.4 に示します。

表 1.4 オプション

品 名	概 要
VSPBEX2 拡張出力機構	GS/PRIMEFORCE 連携時において、ラベル拡大文字、範囲指定バーコード（4 方向への回転が可能、物流標準／物流拡張は範囲指定バーコードでのみ可能など）の印刷および図形、イメージ印刷機能使用時に必要です。また、PRIMERGY6000 連携時には必須です。 Windows のプリンタドライバでイメージデータ圧縮を指定するときに必要です。なお、装置への取り付けは担当保守員に依頼してください。
VSP2910HA フェースダウスタッカ	単票用紙手前排出用のフェースダウスタッカです。

<フェースダウスタッカ>

印字された単票用紙をフェースダウンスタックするためのオプションです。排出用紙が手前に出てくるため、窓口業務などに適しています。

図 1.2 に外観と各部の名称を示します。

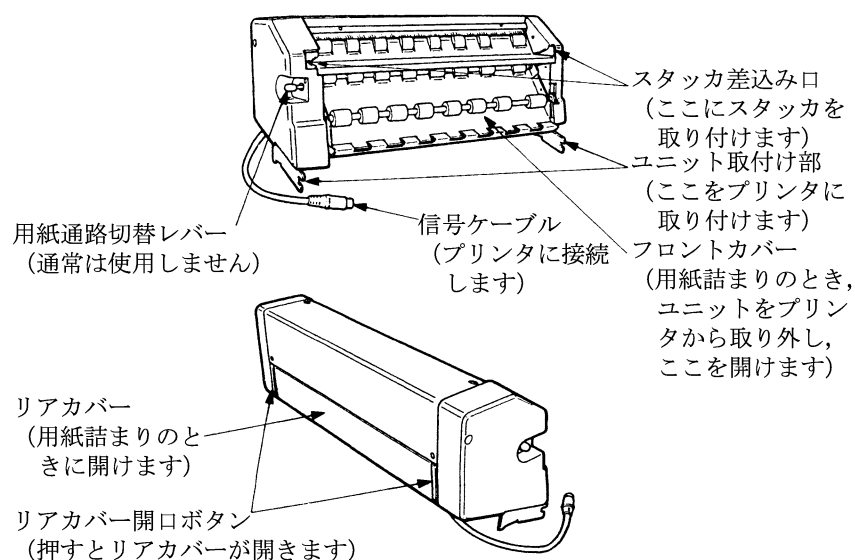


図 1.2 フェースダウスタッカ

1.6 Windows 環境で使用するソフトウェア

本装置には、Windows ネットワーク環境で信頼性の高い印刷と高度な機能を実現するため、以下の関連ソフトウェアが標準添付されています。ぜひともこれらのソフトウェアをインストールして、ネットワークプリンタ機能をご利用ください。

(1) PrintWalker/PM

本装置へ印刷出力中に発生したエラー内容を Windows パソコンに表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度の印刷環境を実現するソフトウェアです。

Windows Server 2003/XP/2000/Vista 用に加えて、Server 2003/XP/Vista x64 用と Server 2003 IA64 用があります。

インストール手順は「2.9 ソフトウェアのインストール」を参照してください。

(2) VSP プリンタドライバ

Windows パソコンから印刷を行う場合に必要なプリンタドライバです。

Windows Server 2003/XP/2000/Vista 用に加えて、Server 2003/XP/Vista x64 用と Server 2003 IA64 用があります。

インストール手順は「2.9 ソフトウェアのインストール」を参照してください。

(3) VSP リクエスト

GS/PRIMEFORCE 連携印刷において、Windows Server 2003/2000 サーバ (HOST PRINT 帳票管理サービス) と本装置間のやり取りを行うソフトウェアです。

Windows Server 2003/2000 サーバにインストールします。

詳しくは、添付の CD-ROM (PrintWalker) 内の Kankyomo フォルダにあるテキストファイルをご覧ください。

(4) PrintWalker/RS

VSP/VS シリーズのプリンタ運用管理をリモートで行うソフトウェアです。

詳しくは、添付の CD-ROM (PrintWalker) 内の RemoteSV フォルダにある PrintWalker/RS 導入マニュアル (Manual.htm) および「9.3 PrintWalker/RS のご紹介」をご覧ください。

1.7 Unix 環境で使用するソフトウェア

PrintWalker/BPC は、Unix 環境で使用する場合に有効な「ソフトウェア」です。

(1) PrintWalker/BPC (標準添付)

VSP プリンタへの出力中に発生したエラー内容を Solaris に表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトです。

1.8 機能面・運用面における注意事項

(1) 本プリンタは、MS-DOS からの直接印刷には対応していません。

(2) SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series サーバ接続

本装置は、JEF プリンタであり、SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series サーバに接続されている既存プリンタとは互換の無い新しいプリンタであることに注意してください。

本装置は、SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series サーバが既にサポートしている FM プリンタとは、解像度／文字サイズ／文字の形／指定可能な文字ピッチや行ピッチの値などが異なります。特に既設の FM のインパクトプリンタと併設する場合は注意が必要です。

- ・ ANK, 漢字のポイント指定はできません。ポイントを指定しても標準サイズ (10 ポイント相当) で印刷されます。
- ・ ANK の文字ピッチは、10/12/13.3/15dpi が指定できます。これ以外の指定がされた場合、プリンタ装置の設定値に従って印刷されます。
- ・ 漢字の文字ピッチは、5/6/6.7dpi が指定できます。これ以外の指定がされた場合、プリンタ装置の設定値に従って印刷されます。
- ・ 行ピッチは 6/81pi が指定できます。これ以外が指定された場合、プリンタ装置の設定値に従って印刷されます。
- ・ 漢字基準線指定はできません。常に下端に合わせて印刷されます。
- ・ 上つき、下つき指定はできません。全角で印刷されます。
- ・ ANK, 漢字の縦書き指定はできません。横書きで印刷されます。
- ・ 書体指定はできません。明朝体で印刷されます。
- ・ 1 回の垂直タブで 1 改行します。
- ・ 1 回の水平タブで ANK8 文字分を右へシフトします。

(3) PRIMERGY6000 サーバ接続

① PRIMERGY6000 サーバと PC 端末の環境では互換機能をサポートしていますが、K1600 α シリーズ (SX/G) からの印刷はサポートしていません。

SX/G から印刷した場合はライタによって保留されます。

② 線画メディアサービスを使用したプログラムからの印刷はできません。

線画メディアサービスを使用したプログラムを実行した場合は、実行時にエラーになります。

③ リモートパワーオフ機能は、未サポートです。

④ 以下の点が FMG 接続の多目的プリンタとは異なるため注意が必要です。(F9680M4 との比較))

1) 12LPI を指定した場合に次の制限があります。

- ・ 印刷速度が遅くなります。
- ・ 強調印字 (重ね打ち) ができません。

2) ANK 文字書体が異なります。

- ・ ドラフトパターンで印字

F9680M4 : イメージ／グラフなしの場合、ドラフトパターン
 イメージ／グラフありの場合、JEF 明朝半角パターンまたは
 F6680ANK パターン

- 3) ラベル文字の補間を行われません（書式文字で線がつながりません）。

また、ラベル文字のスムージングは行われません。

F9680M4 : 同一ページに SMED 罫線、またはグラフデータが存在する場合は指定が無効。
 一行中に一項目のみ有効です。
 ラベル文字行の長体、倍角は無効（全角、平体になります）。

- 4) 飾り文字の指定はサポートしていません。

- 5) バーコードの基本モジュール幅=1 はサポートしていません。（基本モジュール幅=2 で印刷）

（F9680M4 : 基本モジュール幅=1.5 で印刷）

バーコードは 1 行中に 14 項目まで有効です。

中速／高速モードで印刷する場合は、バーコードも間引きされるため、読み取りは保証されません。

範囲指定バーコードをサポートしていますが、印刷方向に 90°, 180°, 270°を指定しても 0°で印刷されます。

- 6) グラフ内文字の更新ピッチは、ANK 横書は 16 ドット、ANK 縦書／漢字横書／漢字縦書は 24 ドットです。

F9680M4 : ANK 横書は 16 ドット、ANK 縦書／漢字横書／漢字縦書は 32 ドット

グラフ内文字（ANK）の書体はドラフトパターンで印字します。

（F9680M4 : F6680ANK パターン）

- 7) イメージの拡大、縮小率が 1/8～8 倍のため、印字結果が表示ファイルの組み込みメディア項目の項目領域からはみ出る、または余白ができる場合があります。

- 8) 線画データ印刷では、表示ファイルの組み込みメディア項目にてファイル名の指定のみ可能です。

- 9) 元帳処理において、帳票定義体の縦サイズを越えて改行／印刷処理を行った場合、指定が無効となります。

（F9680M4 : 用紙があれば改行／印刷処理が行われます。）

- 10) 両面印刷はサポートしていません。

- ⑤ PRIMERGY6000 と連携するには、拡張出力機構（VSPBEX2）が必須となります。

- ⑥ 単票印刷において、手差し口からの吸入ができるのは、利用者プログラムからのインサータ印刷で手差し口を指定した直接印刷の時のみです。

利用者プログラムからのインサータ印刷で手差し口を指定した場合でも、ライターを経由したスプール印刷ではホッパからの吸入となります。

(4) NMC 代替接続

NMC 代替（Netcompo NMC サーバ、HOST PRINT など）による接続を行うための設定を本プリンタに行った場合は、その接続形態の専用プリンタとしてのみ動作します。他の接続を行うためには設定の変更が必要となります。

(5) CJMS 連携時の注意事項

セットアップ項目中の装置設定において、印字桁数設定を変更することにより、行の右端での折り返し位置が変化します。その結果、SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series の PrintWalker/BPC とプリンタとの間でページ概念に相違が発生し、リカバリページが乱れるおそれがあるため、注意が必要となります。

GS/PRIMEFORCE 上とプリンタの間で、行の折り返し位置の統一をとるようにしてください。

(6) JOB キャンセル時の注意事項

① NMC 代替 (HOST PRINT, Netcompo NMC サーバ) による接続

GS/PRIMEFORCE 上で JOB キャンセルを行った場合、プリンタは受信データを印刷後、その位置で止まります。このため、次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります。【改ページ】スイッチを押すことにより、プリンタ装置内の行管理情報をページの先頭に戻してから用紙位置に設定してください。

1 ページ内に 6/81pi が混在しているデータを印刷時に JOB キャンセルを行い、その後【改ページ】スイッチを押すと、用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため、注意が必要となります。印刷途中でオフライン状態にした場合にも、次の印刷を開始する前に、【改ページ】スイッチを押し、用紙位置を再設定する必要があります。この時も同様に注意が必要です。

② Windows Server 2003/2000 上の HOST PRINT (帳票管理サービス) を使用した PrintWalker/PM による接続 (GS/PRIMEFORCE 連携の印刷)

PRIMEPOWER, 富士通 S series サーバ上の CJMS を使用した PrintWalker/BPC による接続 (GS/PRIMEFORCE 連携の印刷)

1) オンライン状態での JOB キャンセル

PrintWalker/PM および PrintWalker/BPC から JOB キャンセルを行った場合、プリンタは JOB キャンセルを認識した時点で受信データを破棄し、改ページ動作を行った後に止まります。このため、次のデータを受信しても用紙位置を再設定することなく印刷を再開することができます。

1 ページ内に 6/81pi が混在しているデータを印刷時に JOB キャンセルを行った場合、用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため、注意が必要となります。

2) オフライン状態およびエラー発生状態での JOB キャンセル

PrintWalker/PM および PrintWalker/BPC から JOB キャンセルを行った場合、プリンタは受信データを破棄します。このため、次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります。プリンタ内の行管理情報もクリアされています。

1 ページ内に 6/81pi が混在しているデータを印刷時にオフライン状態にし、【改ページ】スイッチを押すと、用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため、注意が必要となります。

③ Windows 上の PrintWalker/PM による接続

SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series サーバ上の PrintWalker/BPC による接続

(SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series サーバ上のアプリケーションからの印刷)

PRIMERGY6000 サーバ上の LAN プリンタ制御オプションによる接続

1) オンライン状態での JOB キャンセル

PrintWalker/PM, PrintWalker/BPC および LAN プリンタ制御オプションから JOB キャンセルを行った場合、プリンタは JOB キャンセルを認識した時点で受信データを破棄し、改ページ動作を行った後に止まります。このため、次のデータを受信しても用紙位置を再設定することなく印刷を再開することができます。

2) オフライン状態およびエラー発生状態での JOB キャンセル

PrintWalker/PM, PrintWalker/BPC および LAN プリンタ制御オプションから JOB キャンセルを行った場合、プリンタは受信データを破棄します。このため、次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります。プリンタ内の行管理機能もクリアされています。

〔注意〕 VSP2600/3700/3801 で設定可能なページ合わせ設定機能（JOB 間および JOB キャンセル時のページ位置合わせを行うタイミングの設定）は、本プリンタにはありません。

(7) 手挿入口からの印刷について

手挿入口からの印刷は、下記の接続形態では指定することができませんので、注意が必要です。

1) GS/PRIMEFORCE 連携接続

- ・ NMC 代替（HOST PRINT, Netcompo NMC サーバ）による接続
- ・ Windows Server 2003/2000 上の HOST PRINT（帳票管理サービス）を使用した PrintWalker/PM による接続
- ・ PRIMEPOWER, 富士通 S series サーバ上の CJMS を使用した PrintWalker/BPC による接続

2) SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series サーバ連携接続

- ・ Simple, COBOL からの PrintWalker/BPC による接続
- （MeFt からの印刷では指定可能です。ただし、連帳指定での印刷時は除きます。）

(8) GS/PRIMEFORCE から印刷時の注意事項

GS/PRIMEFORCE からの印刷時、接続形態により印刷後の【改ページ】スイッチの動作に違いがあるため注意が必要です。

1) NMC 代替（HOST PRINT の VSP サービス, Netcompo NMC サーバなど）による連携

- ・ LU タイプ 1
- ホストからページ長／改行ピッチ情報が指定された場合、【改ページ】スイッチはその値に従って動作します。

- ・ LU タイプ 3

【改ページ】スイッチはプリンタ装置の設定値に従って動作します。

2) Windows Server2003/2000 上の HOST PRINT（帳票管理サービス）を使用した PrintWalker/PM による接続（GS/PRIMEFORCE 連携の印刷）

PRIMEPOWER, 富士通 S series サーバ上の CJMS を使用した PrintWalker/BPC による接続（GS/PRIMEFORCE 連携の印刷）

【改ページ】スイッチはプリンタ装置の設定値に従って動作します。

- ・ 紙送り量設定が「パネル」：プリンタ装置の設定値で動作
- ・ 紙送り量設定が「ホスト」：ホストから指定されたページ長で動作

(9) プリンタに標準装備していない文字を使用する場合

プリンタに標準装備していない文字を帳票で使用した場合は、印刷処理中にプリンタ側から文字フォント要求を通知し、上位装置から文字フォントのダウンロードが行われます。このため、性能が低下しますので運用に先立ち十分な確認が必要です。

[GS/PRIMEFORCE 連携, SPARC Enterprise 連携, PRIMEPOWER 連携, 富士通 S series 連携, PRIMERGY/PRIMEQUEST (共に Red Hat Enterprise Linux) 連携]

- ・ プリンタ内に標準装備している文字
JEF 非漢字 (明朝体), JEF 第一水準/第二水準 (明朝体), 書式文字
- ・ 上位装置からダウンロードを行う文字
JEF 拡張非漢字/拡張漢字 (明朝体)
ユーザ定義文字

[PRIMERGY6000 連携]

- ・ プリンタ内に標準装備している文字
JEF 非漢字 (明朝体), JEF 第一水準/第二水準 (明朝体), 書式文字
- ・ 上位装置からダウンロードを行う文字
JEF 拡張非漢字/拡張漢字 (明朝体)
JEF 非漢字 (ゴシック体), JEF 第一水準/第二水準 (ゴシック体)
JEF 拡張非漢字/拡張漢字 (ゴシック体)
ユーザ定義文字

(10) LAN-WAN-LAN 環境で使用する場合

VSP はサーバとの接続を維持するため、VSP~サーバ間で定期パケットを送受信することによってポーリング処理やリトライ処理を行っています。

これらの定期パケットは VSP とサーバとの接続形態にもよりますが、約 30 秒間隔で送信されるものや、約 2~3 分間隔で送信されるもの等いくつか存在します。

そのため VSP~サーバ間は常時接続状態が維持されることになるため、回線接続維持に課金がされる WAN 等が、VSP~サーバ間のネットワーク環境に存在する場合は接続費用が発生します。

上記の課金を防止するためには、VSP~対象サーバ間は必ず課金のかからないネットワーク環境 (同一セグメント, 専用線等) としてください。

なお、上記の定期パケットは 100~200 バイト程度であり、LAN トラフィックに大きな影響を及ぼすことはありません。

(11) 操作パネルの用紙選択ランプについて

操作パネルの用紙選択ランプは、【用紙選択】スイッチを押すことにより、順番に切り換わり、用紙のパスの切り換えが行われます。

電源投入時の「用紙選択」ランプは、電源切断前に使用していた用紙にて立ち上がります。ただし、用紙パスの切り換えが終了する前に電源切断すると、その前に使用していた用紙にて立ち上がるので注意してください。

(12) 保護機能

- 1) 印字デューティが高い場合、2 分割印字により、印字ヘッドおよび電源を保護します。
- 2) 印字ヘッドの温度が規定値以上になると、2 分割印字または 3 分割印字により温度上昇を防止します。
- 3) メカエラー（モータ過電流、印字ヘッド過電流など）の発生後、その制御回路を停止してもエラーが継続する場合、メカへの電源供給を停止することにより、メカを保護します。
- 4) 安全のため、トップカバーを開けるとスペースモータの電源を切断します。印字中にはトップカバーを開けないでください。

(13) 印字制限条件

- 1) 連続改行は、1 分間以上行わないでください。
- 2) 5 桁（パイカピッチ）以下の連続印字またはスペース動作は、5 分間以上行わないでください。
- 3) 50%デューティ以上のパターンの連続印字は、1 分以上行わないでください。

(14) 印字速度

1) 高速モード

高速モードは、印刷すべきドットを単純に間引いて、高速性を実現しています。

従って通常モードと比較して、印字品質が粗くなりますので注意願います。

特に複写用紙に印刷する場合は、印刷濃度が低下しますので注意願います。

図形／イメージ印刷時は使用しないでください。

OCR、バーコード等の読み取りはできません。

2) 中速モード

中速モードは、印刷密度 120dpi のまびき印刷となります。

印字品質は通常モードより低下しますが、少し印刷処理を速く行いたい場合にご使用ください。

なお、イメージ印刷のパターンによっては一部パターンが異なることがあります。

OCR、バーコード等の読み取りはできません。

PRIMERGY6000 からは、中速モードでの印刷を行うことができません。中速モードに設定されていても通常モードで印刷を行います。

(15) フェースダウスタッカ（オプション）について

単票用紙をホッパから給紙して印刷する場合は、プリンタ装置本体から排出されたところで印刷完了となります。このため、フェースダウスタッカを搭載して使用している時に、フェースダウスタッカ内で用紙づまりが発生した場合は、正常に印刷が完了したとみなされますので、印刷を再開する前に正常に出力された用紙を確認のうえ、PrintWalker/PM で印刷再開ページを指定して印刷を再開してください。

(16) 用紙通路オープンレバー操作時の注意事項

印刷途中、オフライン状態にしてからの用紙通路オープンレバー操作は行わないでください。

用紙づまりや印字乱れの原因となります。

第 1 章 概 要

もしこのような操作を行った場合は、PrintWalker/PM で印刷再開ページを指定して印刷を再開してください。

(17) 印刷可能領域について

- 1) 印刷可能領域外への印刷における印刷品質は保証できません。
- 2) 印刷可能領域外へ印刷を行うと、印字ヘッドの損傷等プリンタ装置の故障の原因となる恐れがあります。
- 3) 下端近くに印刷を行いますと、プリンタ装置が用紙切れを検出し、印刷が失敗することがありますので、印刷可能領域内に印刷してください。余白を設定できないアプリケーションの場合は、以下の操作を行ってください。

『プリンタ』フォルダのメニューから『ファイル』メニューの『サーバーのプロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し、ご使用ください。

(18) 連帳／単票切り換えについて

オペレータパネルの【用紙選択】スイッチまたはプリンタドライバの給紙方法の指定により、連帳（押込み印刷）／連帳（引張り印刷）／単票を切り換えることができます。

ただし、プリンタ装置の状態により切り換えることが不可能な場合には、「ER13-0×：キリカエエラー」が発生するため注意が必要です。

		【用紙選択】スイッチまたはプリンタドライバの給紙方法の指定		
プリンタ装置の状態		単 票	連帳（押込み）	連帳（引張り）
単票	用紙あり	切り換え動作なし。	用紙排出後、押込みに切り換わる。	用紙排出後、引張りに切り換わる。
	用紙なし	切り換え動作なし。	押込みに切り換わる。	引張りに切り換わる。
連帳 （押込み）	用紙あり	用紙退避後、単票に切り換わる。 用紙退避に失敗した場合「ER13-01 キリカエエラー」発生。 【スタート／ストップ】スイッチでオフラインにし用紙を退避させてください。	切り換え動作なし。	用紙退避後、引張りに切り換わる。 用紙退避に失敗した場合「ER13-01 キリカエエラー」発生。 【スタート／ストップ】スイッチでオフラインにし用紙を退避させてください。
	用紙なし	単票に切り換わる。	切り換え動作なし。	引張りに切り換わる。
連帳 （引張り）	用紙あり	「ER13-02 キリカエエラー」が発生。 【スタート／ストップ】スイッチでオフラインにし、用紙を取除いてください。	「ER13-02 キリカエエラー」が発生。 【スタート／ストップ】スイッチでオフラインにし、用紙を取除いてください。	切り換え動作なし。
	用紙なし	単票に切り換わる。	押込みに切り換わる。	切り換え動作なし。

(19) 印字ヘッド動作方向設定について

印字ヘッド動作方向の初期値は、両方向印字になっています。

このため、バーコード、図形、イメージなどを印刷する場合、正逆印字ずれが発生することがあります。

これらの印刷を行う場合は、セットアップの印字ヘッド動作方向設定で片方向印字に設定することを推奨します。ただし、片方向印字になることで、運用性能が半減します。

(20) 手差しトレイ（手差し口）上の用紙取り扱いについて

- 1) 手差し口から印刷を行う場合は、液晶ディスプレイに“テサシ ニ ヨウシ ヲ セット”と表示されてから手差しトレイに用紙をセットしてください。
- 2) 手差しトレイに排出された用紙は、すみやかに取り除いてください。
放置された場合、装置内に吸収されてしまうことがあります。
- 3) 手差しトレイには手差し口から印刷を行う場合以外、用紙を置かないでください。

(21) プリンタドライバからの単票／連帳自動切替えについて

プリンタドライバの設定により、印刷起動時にプリンタの給紙口を単票／連帳間で切替えることが可能になります。

1) 連帳（押込み）から単票に切替える場合

現在選択されている連帳を用紙トラクタ位置まで退避させてから、給紙口の切替えを行います。22 インチ分連帳を後退させても用紙送りトラクタ位置まで戻らない場合は、切換えエラーとなります。

注 1) 印刷済の用紙を切り取ってから、給紙口の切替えを行ってください。印刷済の用紙を切り取っておかないと、切換え時に切換えエラーとなります。切換えエラーとなった時は、印刷済の用紙を切り取った後、現在の給紙口のままオンライン状態にするか、使用する給紙口に「用紙選択」スイッチを押して切替えてからオンライン状態にする必要があります。

注 2) 22 インチ以内の印刷を行った後、印刷済の用紙を切り取らずに給紙口の切替えを行っても正常に切替えが行われます。そのまま、元の給紙口に切替えて印刷を行うと、前回に印刷した用紙に再度印刷されますので注意してください。

注 3) 手差し口に単票をセットした後に、連帳から単票の切り換えを行うと、単票が切り換え動作によりセット位置から外れてしまうために吸入ジャムが発生しますので注意してください。
液晶ディスプレイに“テサシ ニ ヨウシ ヲ セット”と表示されてから手差し口に単票をセットしてください。

[単票／連帳（押込み）自動切替えの使用例]

- ① 連帳（押込み）へ印刷する。
 - ② 【スタート／ストップ】スイッチを押してオフライン状態にする。
 - ③ 【用紙カット】スイッチを押して横ミシン目を用紙カット位置に移動させる。
 - ④ 用紙を切り取る。
 - ⑤ 【用紙カット】スイッチを押して用紙を印刷開始位置に戻す。
 - ⑥ 【スタート／ストップ】スイッチを押してオンライン状態にする。
 - ⑦ 給紙口を切替える印刷データを起動する。
 - ⑧ 連帳（押込み）を用紙送りトラクタ位置に退避し、給紙口の切替えを行ってから印刷を開始する。
- #### 2) 単票から連帳（押込み）に切替える場合
- 給紙口の切替えを行い、連帳を印刷開始位置まで吸入します。給紙口の切替え時に用紙パス内に単票が残っていた場合は、連帳に切替わった時に用紙パス内の用紙は排出されます。

(22) PrintWalker/PM の印刷ページ操作について

印刷中に【スタート/ストップ】スイッチを押して印刷を停止させ、PrintWalker/PM の【操作】ボタンを押してから印刷ページを操作した場合、プリンタは受信済のデータを破棄します。このため、次の印刷を開始する前に以下の手順で用紙位置を再設定する必要があります。プリンタ内の行管理情報もクリアされます。

[用紙位置の再設定手順]

単票：【改ページ】スイッチを押して、用紙パス内の用紙を排出する。

連帳：【微調送り△/▽】スイッチを押して、印刷開始位置を調整する。

(23) A3 サイズ用紙の印刷について

プリンタドライバでは、印刷用紙サイズとして“A3 縦”を選択することができますが、プリンタの手差しトレイ、ホッパ、スタッカが A3 サイズ用紙に対応していないため、A3 サイズの用紙を縦にセットする場合には、下記内容を注意願います。

- ① 手挿入で処理するか、または、自動給紙する場合は、1 枚ずつホッパに用紙をセットしてください。

用紙をホッパに積んで連続処理させると用紙が手前にずれてきて、給紙しない場合があります。

- ② スタッカに排出された用紙は、1 枚ずつ取り出してください。

用紙がスタッカに連続して排出されると、用紙が後方にずれてきて、スタッカから落ちる場合があります。

(24) Windows 印刷時の印刷品質と印刷時間について

本装置は、印字ヘッドが左右に移動して印字を行う方式のシリアルドットプリンタです。

この方式では Windows アプリケーションからのイメージ印刷の場合、印字ヘッドの印刷方向（右→左、左→右）によるズレや改行乱れにより、若干の文字崩れが発生する場合があります。

この文字崩れは、Windows アプリケーションからのイメージデータを 24 ドット（印字ヘッドの縦方向最大印字ドット数）ずつ、黒白データにかかわらず順に印刷するため、文字が上下に分割されることにより発生します。

本装置は、このような文字崩れを無くすために、印字ヘッドの 1 回の移動で印字可能な文字（11 ポイント以下）は、分割しない制御を行い、きれいな印字を実現しています。

この印刷方式は、プリンタドライバの設定画面（〔印刷設定〕－〔詳細設定〕）において、デバイスフォントを<使用しない>に設定した場合に有効となります（デフォルトで本設定になっています）。

さらにプリンタドライバの設定画面において、印字方向を<連続域片方向印字>に設定すると印字ヘッドの 1 回の移動で印字不可能な文字（11 ポイントを超える文字）や罫線などを印刷する場合は、印字ヘッドの 1 回の移動で印字できない部分のみ片方向印刷（右→左の繰り返しまたは左→右の繰り返し）を行い、大きな文字や罫線などもきれいに印刷することができます。

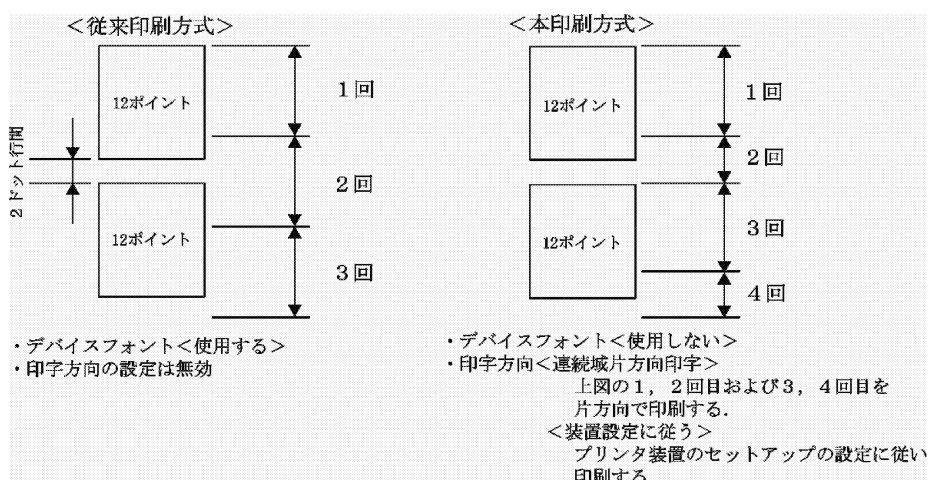
なお本方式では、よく使用されている文字サイズ（11 ポイント以下）での帳票印刷では従来方式よりも印刷時間は短くなりますが、印刷パターンによっては、従来方式よりも印刷時間が長くなる場合があります。

例えば 12 ポイント文字が 2 ドット分ほどの行間で配置されたパターンでは、従来方式では 3 回の印字ヘッド動作で終了していたものが、本方式では 4 回となり、印刷時間が長くなります。

このような場合において、印刷品質よりも印刷速度を優先される場合は、プリンタドライバの設定画面のデバイスフォントを<使用する>に設定してください。

デバイスフォントを<使用する>にすると、従来方式の印刷を行います。

なおこの場合は、<連続域片方向印字>の設定は無効となります。



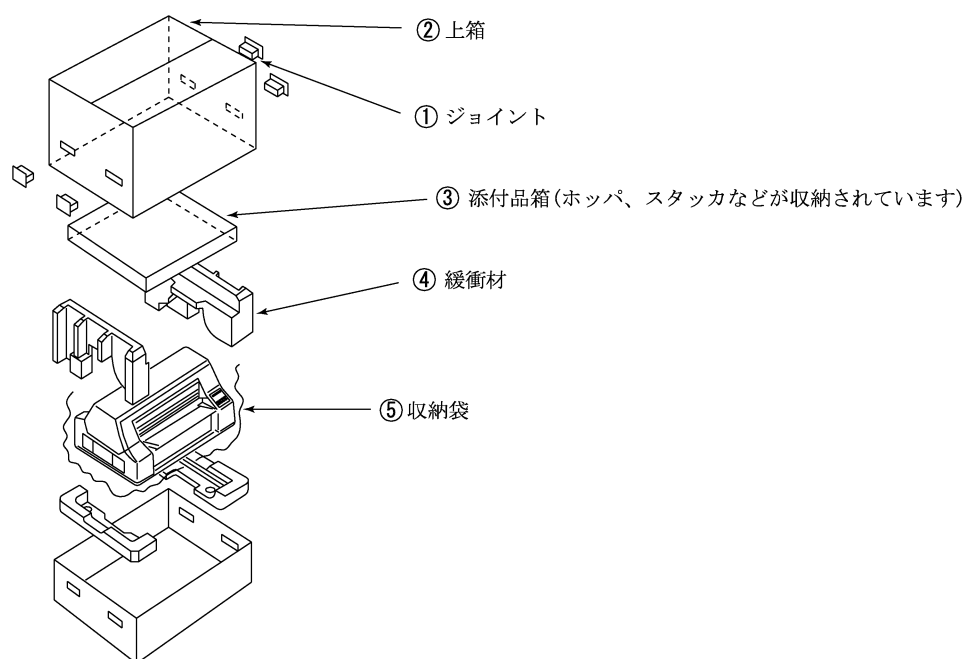
第2章 準備

本章では、本装置の製品の確認、設置上および取扱い上の注意、リボンカセットの取り付け、各ユニットの取り付け、取り外し、電源ケーブル、LAN ケーブルの接続について説明します。

2.1 開梱の手順

<輸送用保護材の取り外し>

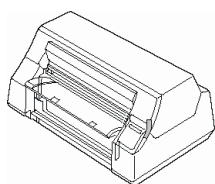
輸送用の保護材料を①～⑤の順に取り外します。



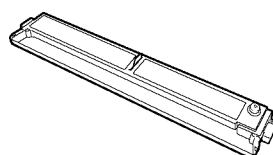
2.2 製品の確認

プリンタ装置の梱包箱を開けると、以下に示す納品物が収納されています。すべてそろっているかどうかお確かめください。

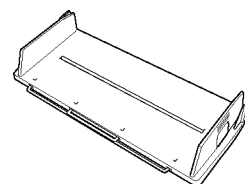
万一欠品、損傷がありましたら、恐れ入りますが、販売員または保守員にお問い合わせください。



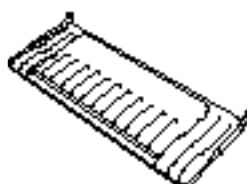
1. プリンタ本体 (1 台)



2. リボンカセット (1 個)



3. ホッパ (1 個)



4. スタッカ (1 個)



5. フロントカバー
(1 個)



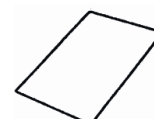
6. 電源ケーブル
(1 本)



7. CD-ROM (2枚)



8. 取扱説明書
(CD-ROM 1枚)
(本書のことです)

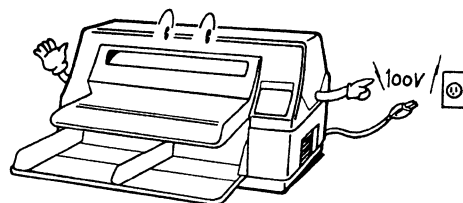


9. 保証書

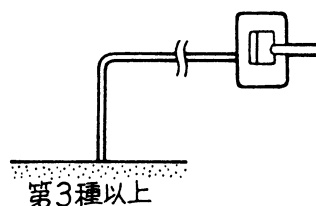
2.3 設置上および取扱い上の注意事項

プリンタを安全に長期間使用するために必ず守ってください。ご不明な点は担当保守員にお尋ねください。

AC100V の電源を使用してください

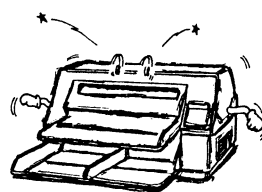
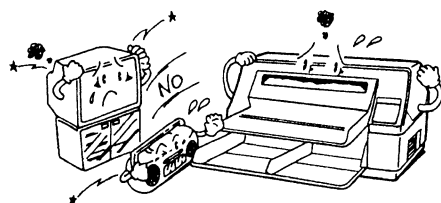
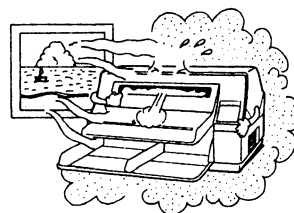
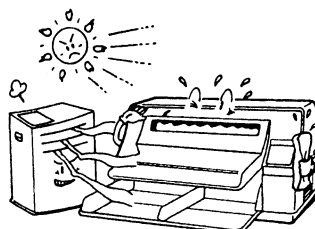
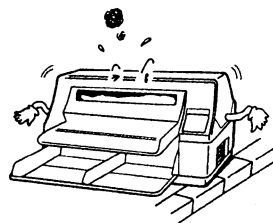


第3種以上のアースを使用してください



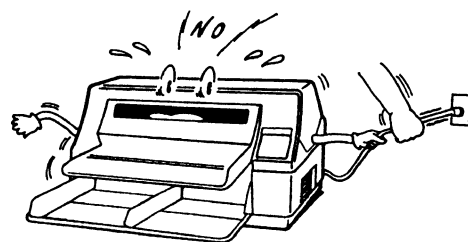
こんなところには置かないでください

- 装置が傾くところ
- 高温になるところ
(直射日光の当たるところやストーブなどの近く)
- 環境の悪いところ
(ガスやゴミ、ほこりが多く発生するところ)
- 装置が揺れるところ
(振動の強いところや不安定なところ)
- テレビ・ラジオ・無線機の近く
テレビ・ラジオ・無線機に影響を与える場合があります。離してお使いになるか、室外アンテナを離れた所に立て、シールドを行うなどの対策をお願いします。



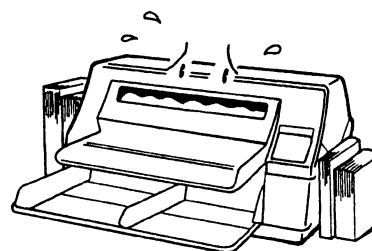
電源コードの取扱いにご注意ください

- 足を引っ掛けたりしないよう、配線にご注意ください。
- コードを引っ張って電源プラグを抜かないでください。



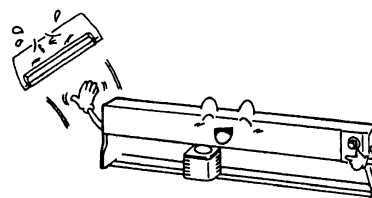
通風口をふさがないでください

- プリンタ内部が高温になります。壁などから 5cm 以上離してください。



指定されたインクリボンをお使いください

- 指定品以外をご使用になりますと、プリンタを傷める原因になります。
- (参照)「第 4 章 リボンカセット・インクリボンの交換」を参照してください。

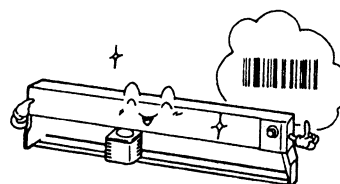


帳票規格を守ってください

- 用紙ジャムや給紙不良等の原因となりますので規格に合った帳票を使用してください。
- (参照)「第 6 章 用紙仕様および帳票設計」を参照してください。

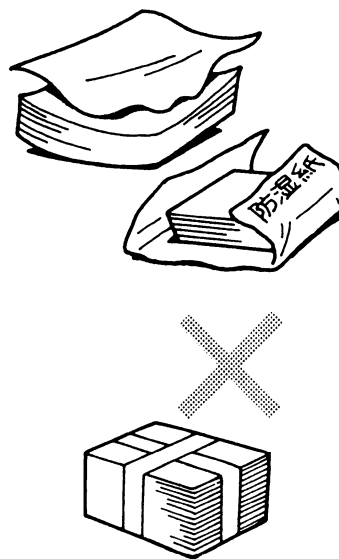
バーコードを印刷するには

- なるべく新しいリボンをご使用ください。
- 古くなったリボンでは、印刷されたバーコードが正しく読み取れない場合があります。ANK ドラフト換算で、約 300 万字までが目安です。



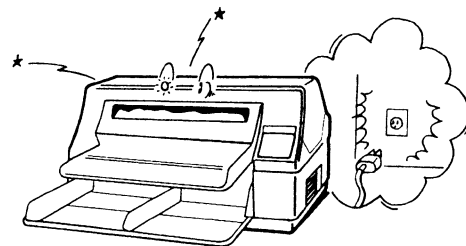
用紙の取扱いにご注意ください

- 指定された用紙をご使用ください。
- そつていたり、汚れていたり、しわになっている用紙は使用しないでください。
- 保管には次のことにご注意ください。
 - ・そり、折れ、曲がりなどのくせがつかないように、棚や台の上のせておいてください。
 - ・用紙の伸縮を防ぐため、なるべく防湿紙に包んでください。
 - ・変色などを防ぐため、直射日光を避けてください。
- 包装には次のことにご注意ください。
 - ・用紙の上下に厚紙の上敷き、下敷きをいれてください。
 - ・たすき掛けの包装は避けてください。
 - ・包装は1束単位とし、高さは10cm以内にしてください。



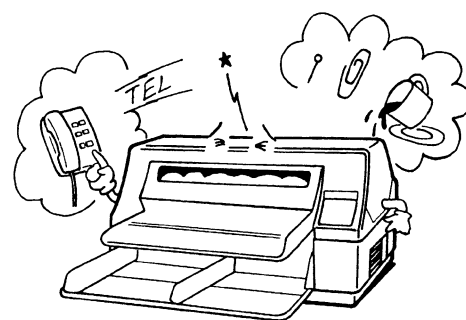
印刷中には次のことにご注意ください

- (プリンタの故障原因となる場合があります)
- リボンカセットや用紙は正しくセットしてください。
 - リボンカセットや用紙をセットしていないときに印刷しないでください。
 - 用紙幅をオーバーして印刷しないでください。
 - 印刷中に電源を切らないでください。
 - 印字ヘッドは寿命品です。寿命を越えて使用しますと、印字品質が悪くなり、文字かすれなどが発生します。担当保守員にご相談ください。



異物落下にご注意ください

- プリンタの中にクリップや虫ピンなどの異物を落とさないようにご注意ください。
- 特に水や液状のものが入った場合には、すぐに電源コードのプラグを抜き、保守員にご相談ください。



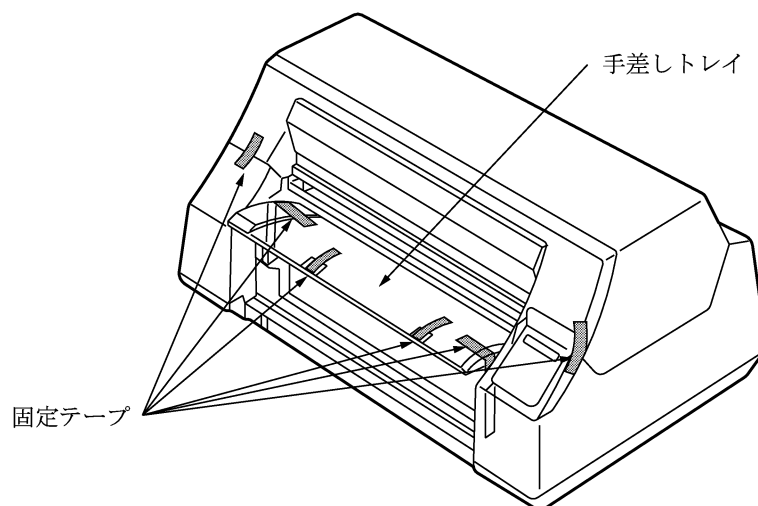
移設について

- 移設するときは、ホッパやスタッカを外してください。
- (参照) 本章を参照してください。
- プリンタを持ち上げるときは3人以上で作業してください。
- 担当保守員にご相談ください。

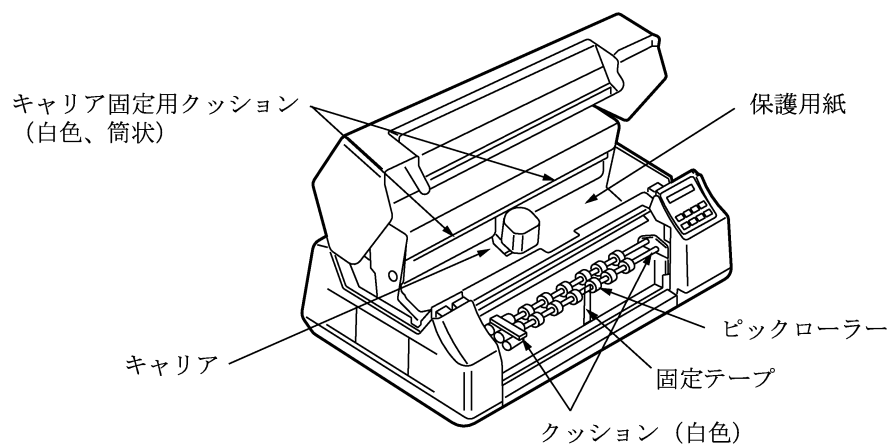


2.4 内容梱包材の取外し方

- 1) 手差しトレイとトップカバーの固定テープ（6ヶ所）を外します。

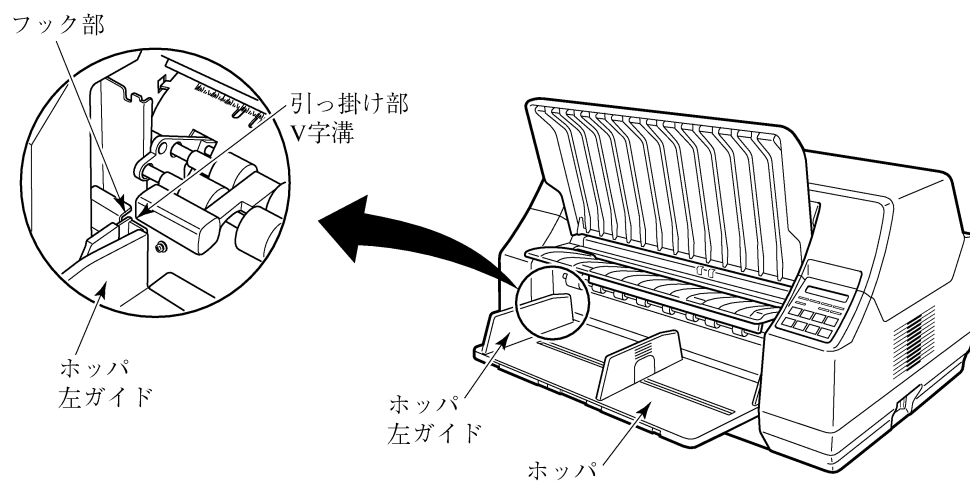


- 2) トップカバーを開き、キャリア左右の固定用クッションを外します。次に手差しトレイを外し、手差しトレイの下にある、ピックアップローラー固定用のテープとクッション（2ヶ所）を外します。次にプリンタ装置内の保護用紙を取り外します。（参照）2.5.4 手差しトレイの場合



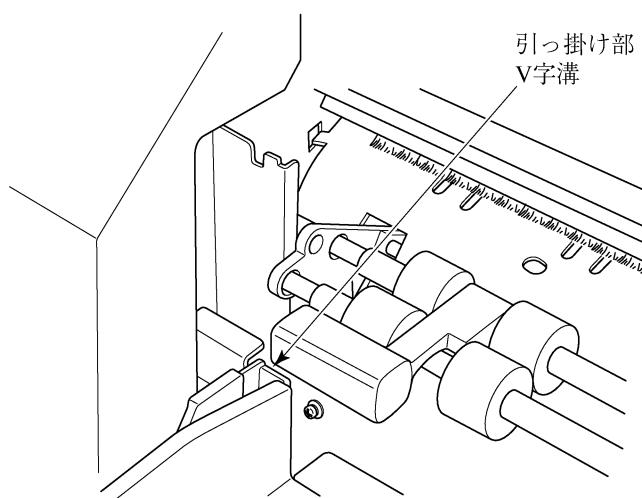
2.5 ホッパ, スタッカ, 各種カバーの取り付け, 取り外し

2.5.1 ホッパの場合



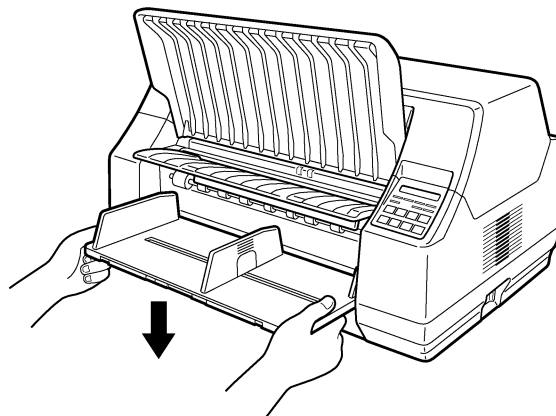
<取り付け>

- 1) ホッパの左側にあるフック部をプリンタの左のV字溝へ引っ掛けます。



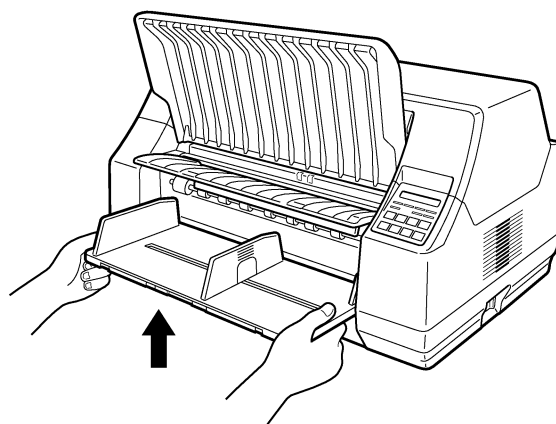
第2章 準備

- 2) ホッパの右側にあるフック部をプリンタ右の引っ掛け部へ引っ掛けます。

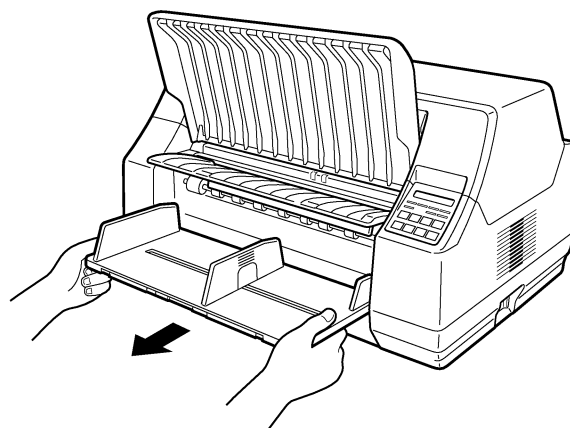


<取り外し>

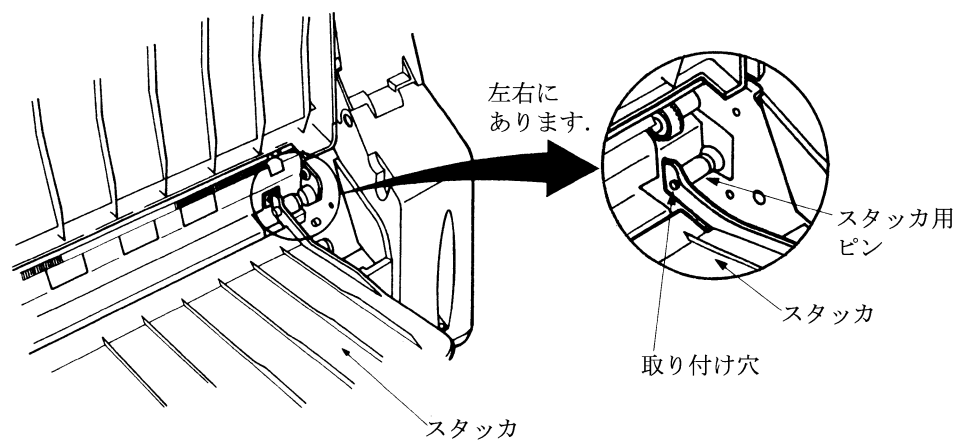
- 1) ホッパを持ち上げます（フック部と引っ掛け部が外れます）。



- 2) ホッパを水平に手前に引きます。

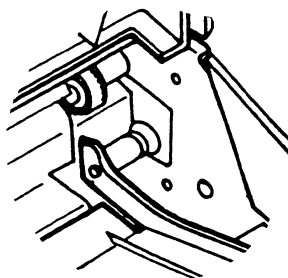


2.5.2 スタッカの場合

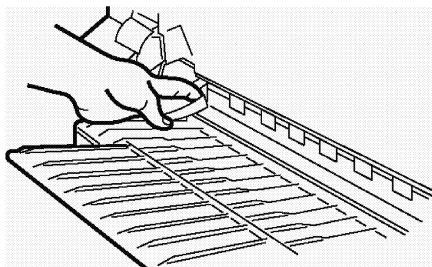


<取り付け>

- 1) 左右のトラクタの用紙押え板を閉じてから、装置後方からみて右側のスタッカ用ピンにスタッカの取り付け穴を差し込みます。



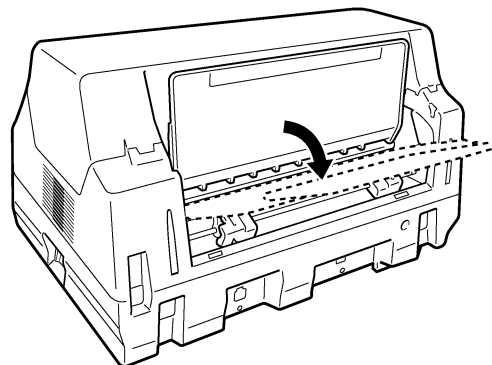
- 2) 装置後方からみてスタッカ左の側板を内側に押しながら左のピンに取り付け穴を差し込みます。



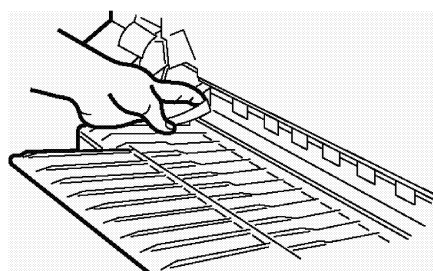
第2章 準備

<取り外し>

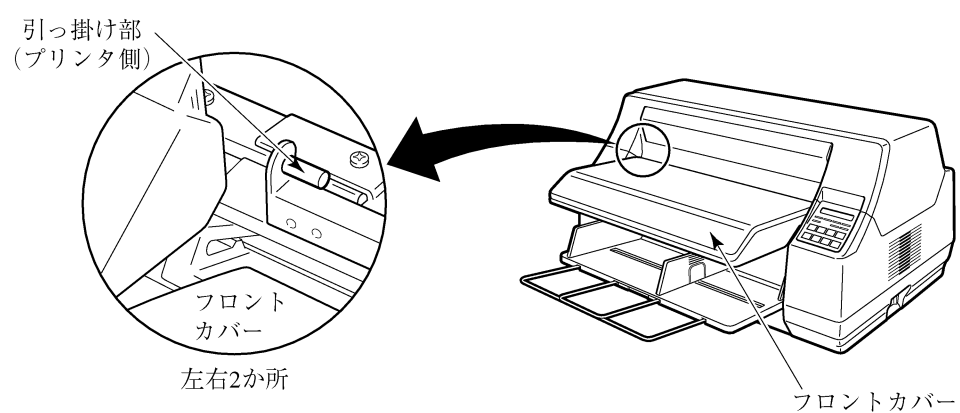
- 1) トラクタの用紙押え板を閉じて、スタッカを開きます。



- 2) 装置後方からみてスタッカ左の側板を内側に押しながら、プリンタ左右のスタッカ用ピンからスタッカを外します。

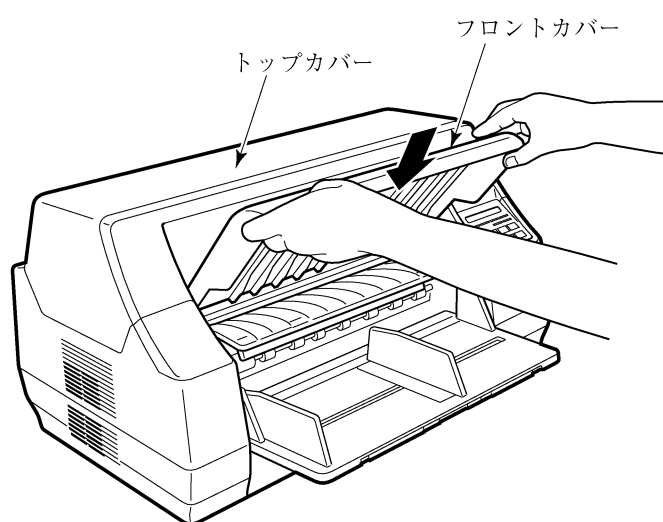


2.5.3 フロントカバーの場合



<取り付け>

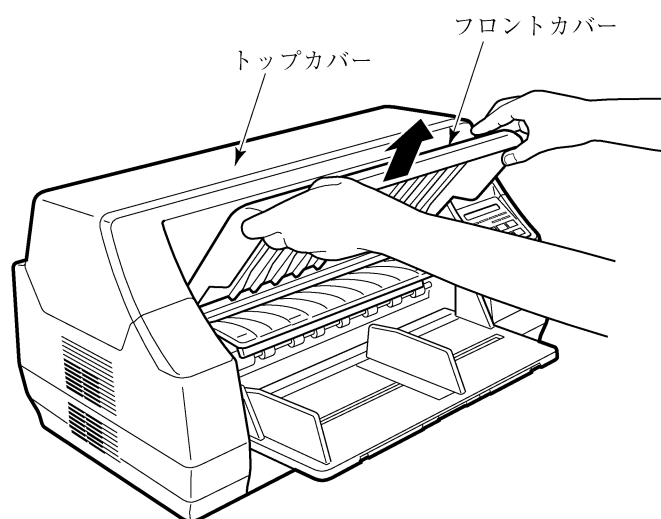
フロントカバーを両手で持ち、フロントカバー側の引っ掛け部と、プリンタ側の左右の引っ掛け部が合うように、矢印方向（水平から約 50° ）へフロントカバーを押し込みます。



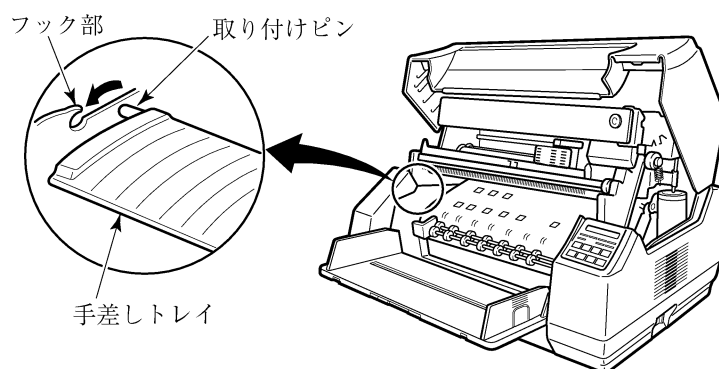
第2章 準備

<取り外し>

フロントカバーを両手で持ち、ゆっくりと矢印方向（水平から約 50° ）に引きながら、外します。

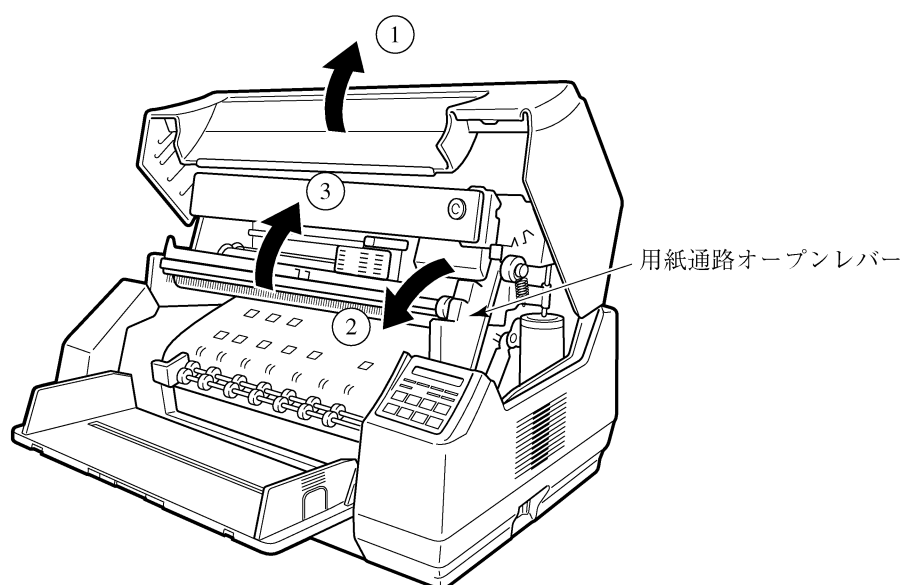


2.5.4 手差しトレイの場合



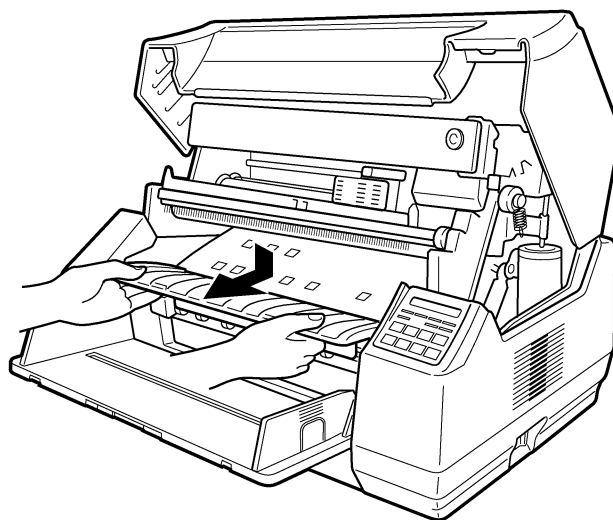
<取り付け>

- 1) トップカバーを開け (①), 用紙通路オープンレバー (緑色) を手前に引きます (②).
右の取っ手 (緑色) を持ちメカ上部を止まるまで上げます (③).



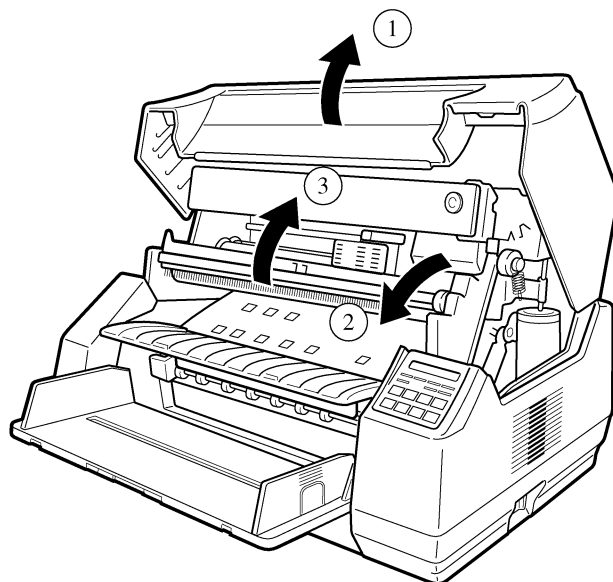
第2章 準備

- 2) 手差しトレイを装置上方より挿入し、手前に引くようにしてフック部にセットします。用紙通路を閉じ、用紙通路オープンレバーを奥側へ倒しロックします。フロントカバーを閉じます。

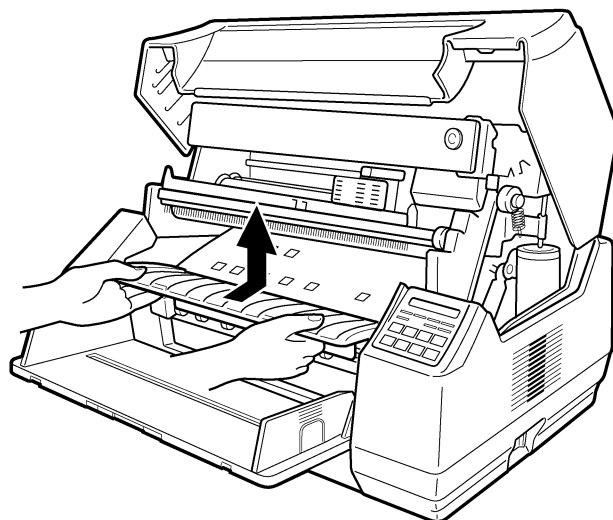


<取り外し>

- 1) トップカバーを開け(①), 用紙通路オープンレバーを手前に引き(②), 用紙通路を開きます(③).

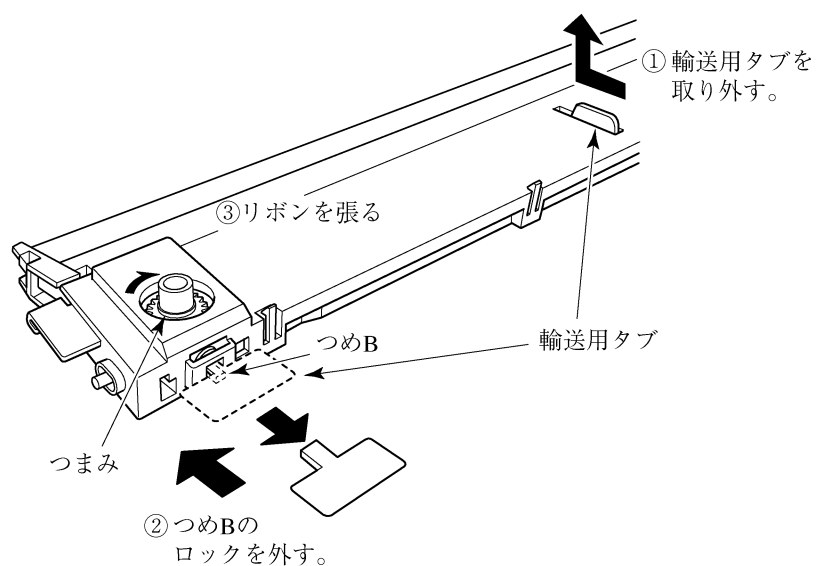


- 2) 手差しトレイを装置後方に押しぎみにしながら上方に引き上げてフック部より取り外します。



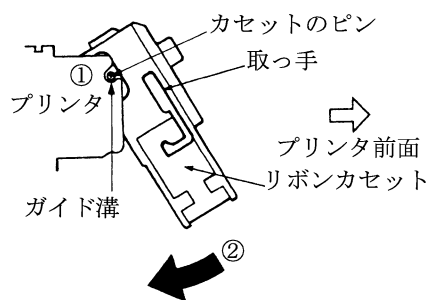
2.6 リボンカセットの取付け

- 1) トップカバーを開きます。
- 2) ①②③の順でリボンカセットを準備します。

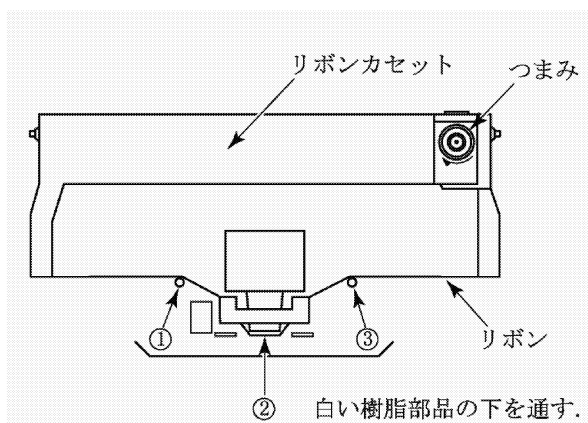


(注意) 輸送用タブをすべて取り外した後は、リボンが乱れないよう丁寧に取り扱いってください。

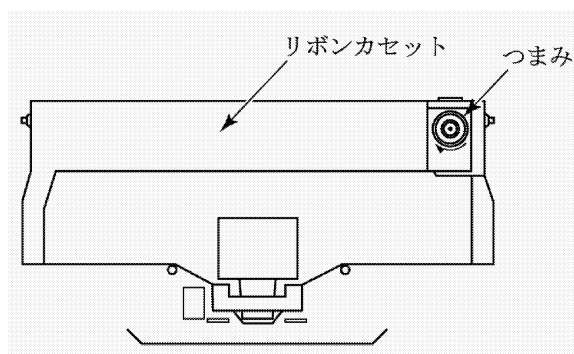
- 3) カセットのピンをプリンタの左右にあるガイド溝に合わせ (①)、カセットを下側へ倒して取り付けます (②)。



- 4) リボンを少したるませてから、①②③のルートで印字ヘッドにリボンをかけます。



- 5) リボンカセットのつまみを回してリボンカセットのたるみをとります。



- 6) トップカバーを閉じます。

2.7 オプション（フェースダウスタッカ）の取り付け

▲注意



一般的注意

プリンタ装置を移動したり、持ち運びする場合は、フェースダウスタッカをはずして行ってください。転倒、落下のおそれがあります。

▲注意



一般的注意

フェースダウスタッカに重いものを置いたり、必要以上の力を加えないでください。転倒、落下のおそれがあります。

- 1) 電源を切ります。

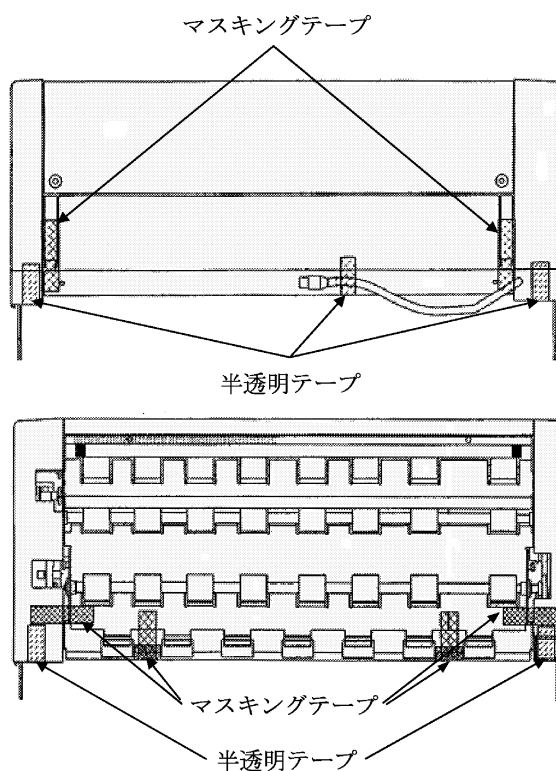
▲注意



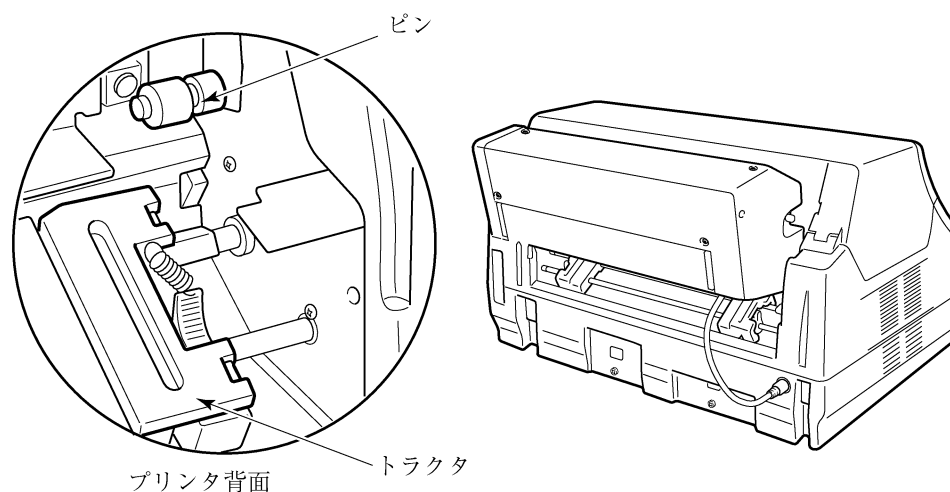
一般的注意

フェースダウスタッカを取り付ける前に、必ずプリンタの電源を切ってください。電源が入った状態でフェースダウスタッカを取り付けると故障するおそれがあります。

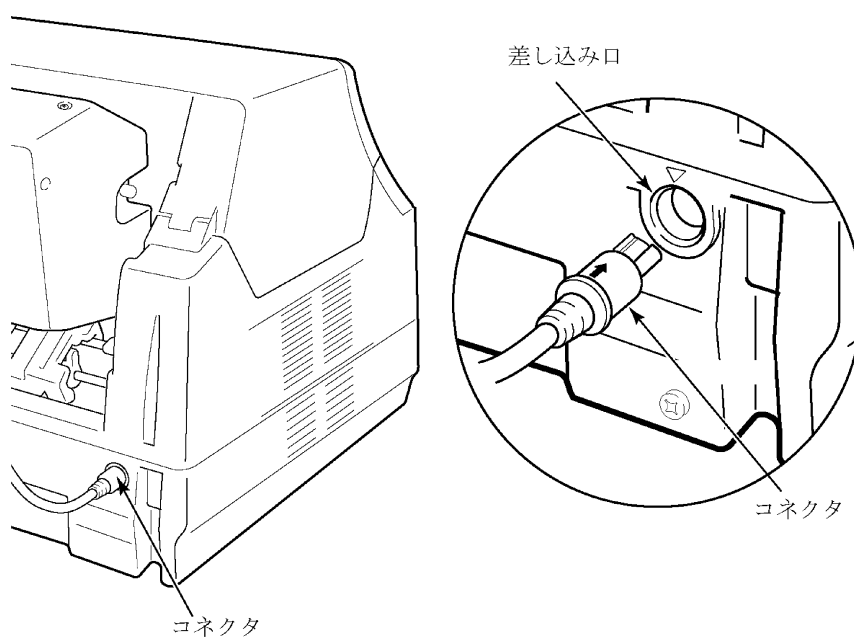
- 2) スタッカを取り外します。
- 3) カバー、ケーブルを固定しているテープ（マスキングテープ 6 箇所、半透明テープ 5 箇所）を剥がします。



- 4) フェースダウスタッカの左右の取付け部を、プリンタ本体のピンに差し込んで、静かにおろします。

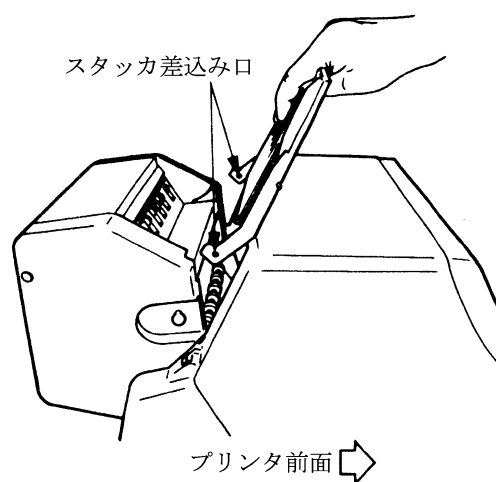


- 5) 信号ケーブルコネクタの↑部とプリンタ本体の▽マークを合わせ、最後までしっかりと差し込みます。

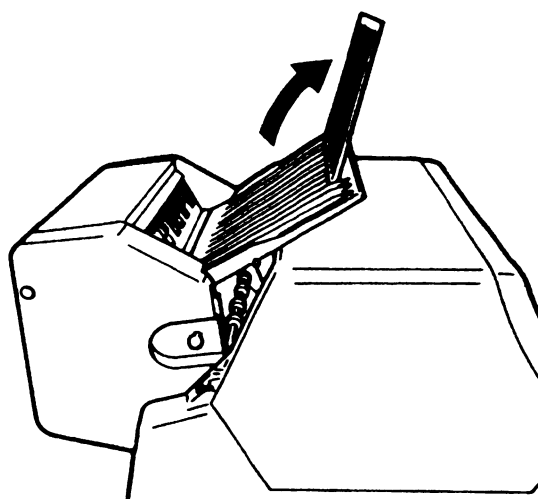


第2章 準備

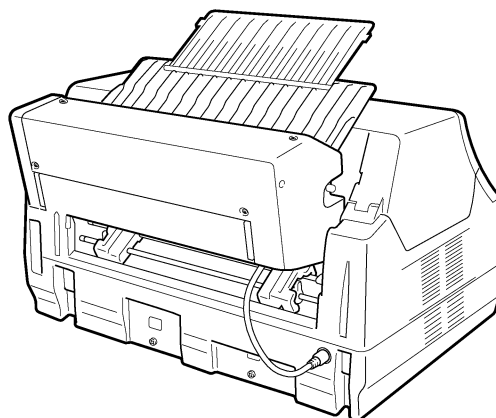
- 6) プリンタ本体から外したスタッカをフェースダウンスタッカのスタッカ差込み口に差込みます.



- 7) スタッカを開きます.



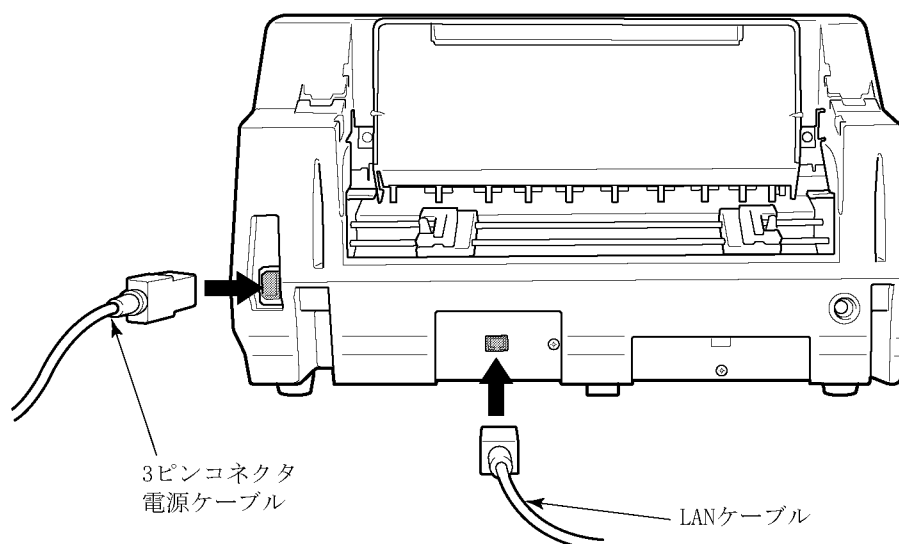
<取付け完成図（背面図）>



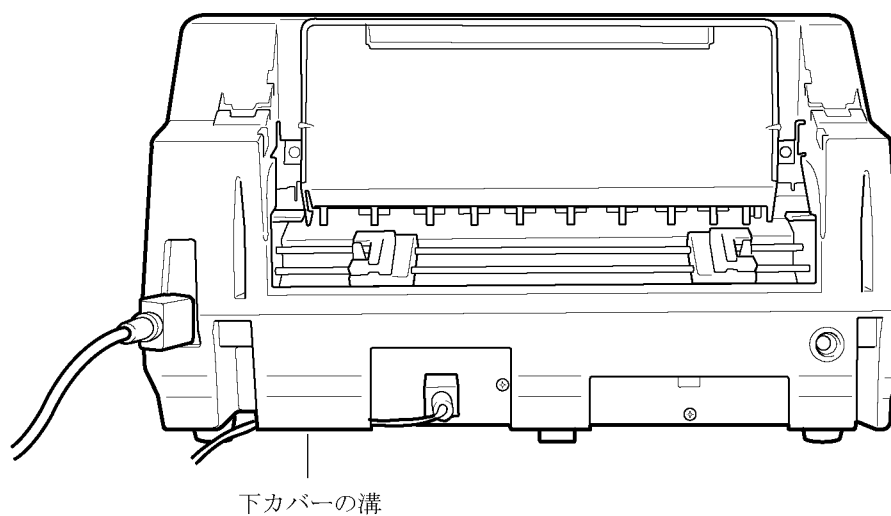
（注意）コネクタは、最後までしっかり差し込んでください。半抜けの状態で使用すると、誤動作の原因になります。

2.8 ケーブルの接続

- 1) 電源ケーブルおよびLANケーブルをコネクタに差し込みます。



- 2) LANケーブルを下カバーの溝に通します。



警告



電源ケーブル接続時は次の点を厳守してください。これを守らないときは感電死や重傷を負う事故となる場合があります。

- － 必ず電源スイッチを切ってから作業を行ってください。
- － 必ず付属の電源ケーブルを使用してください。
- － 電源ケーブルを抜き差しするときは、必ずプラグ部分を持って使用してください。
- － 電源ケーブルを重いものの下に敷いたり、はさんだり、ねじったりして傷を付けないようにしてください。
- － 電源スイッチがONの状態で、電源ケーブルのプラグを抜いたり、本装置を移動したりしないでください。
- － 延長コードの使用はおやめください。

警告



- LAN ケーブルを接続するときは、必ず本装置の電源を切断してください。

感電や火災のおそれがあります。



- コネクタの端子に手を触れないでください。

感電や静電気のためプリンタが破損するおそれがあります。

2.9 ソフトウェアのインストール

(注意) Windows のアップグレードは、インストールされている PrintWalker/PM をアンインストールしてから行ってください。

すでに旧版 (CD-ROM 版数 : E05V03 以前) の VSP/VS プリントモニタ (PrintWalker/PM の旧名称) がインストールされている場合、アンインストールしてから PrintWalker/PM をインストールしてください。

インストール時は、[Spooler] サービスが起動されている必要があります。

なお、詳しくは添付の CD-ROM 内の Install.txt を参照してください。

STEP1. PrintWalker/PM のインストール

1. Windows を起動し、管理者グループのユーザとしてログオンして装置添付の CD-ROM (PrintWalker) を CD-ROM ドライブにセットします。
2. インストールプログラムを選択します。
 - Windows 2000/XP/Server 2003
“PrintWalker Install Selecter” の画面が表示されますので、インストールする OS に対応した PrintWalker/PM を選択してから [インストール] ボタンをクリックすると、確認画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
 - Windows Vista
“README.TXT” の画面が表示されます。
表示された手順を参照して、インストールを開始してください。

(注意) Autorun が無効の場合は、CD-ROM 内の PWISCHK.EXE を実行してください。

3. インストールを開始します。
 - (1) インストール初期画面 “PrintWalker/PM Install” または “PrintWalker/PM セットアップへようこそ” 表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。
 - (2) インストール方法の選択画面が表示されますので、“フルインストール” または “カスタムインストール” を選択してから [次へ] ボタンをクリックします。
インストール先を変更したい場合は、[ディレクトリ] ボタンをクリックしてからディレクトリ名を入力します。
(注意) インストール先変更にあたって、下記条件があります。
 - ディレクトリ名は 8 文字以内の英数字で指定してください。
 - 指定するドライブ内に存在しないディレクトリ名を入力してください。
 - ディレクトリはドライブ直下に作成してください。
 - (3) インストール開始確認画面が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。

- (4) コピー経過表示画面が表示されます。
 途中、“メッセージ操作動作環境設定”および“メッセージ到着通知パネルのスタートアップへの登録”の設定画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。
 その後、[PATH 環境変数]の追加の確認画面が何度か表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。
- (5) インストール終了後、コンピュータを再起動してください。

以上でPrintWalker/PMのインストールは終了です。

引き続き、VSP プリンタドライバをインストールしてください。

なお、詳しくは添付の CD-ROM 内の Install.txt を参照してください。

STEP2. VSP プリンタドライバのインストール

1. プリンタが LAN に接続されていることを確認して、プリンタの電源を入れます。
2. プリンタの追加を行います。
 - － Windows 2000/XP/Server 2003
 - (1) タスクバーから[スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択して[プリンタ]フォルダ(Windows XP/Server 2003 では[プリンタと FAX]フォルダ)を開き、[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。
 - (2) “プリンタの追加ウィザードの開始”画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。
 - (3) プリンタの接続形態として[ローカルプリンタ]を選択し、[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックはしないで、[次へ]ボタンをクリックします。
 - － Windows Vista
 - (1) タクスバーから[スタート]→[コントロールパネル]→[プリンタ]を選択して[プリンタ]フォルダを開き、[プリンタのインストール]をクリックします。
 - (2) “プリンタの追加ウィザードの開始”画面が表示されますので、[ローカルプリンタを追加します]ボタンをクリックします。
3. 手動設定を行います。
 - (1) 使用するプリンタポートを選択する画面が表示されますので、[新しいポートの作成]を選択した後、[種類]の中から[VSP Network Port]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
 - (2) “ポート追加画面”が表示されます。
 任意の[ポート]名と[アドレス](接続先のプリンタの IP アドレス)を入力します。“論理プリンタ”の設定は、[プリンタ 1](デフォルトの設定)のまま変更しないでください。
 - (3) プリンタの製造元とモデルを設定する画面が表示されますので、[ディスク使用]ボタンをクリックします。
 - (4) “フロッピーディスクからインストール”の画面が表示されましたら、[製造元のファイルのコピー元]に OS に対応するフォルダを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

第2章 準備

- (5) プリンタの一覧が表示されますので、“FUJITSU VSP2910H”をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。
- (6) プリンタ名(任意の名前で可)、通常使うプリンタの設定を必要に応じて行い、[次へ]ボタンをクリックします。

続いて、以下のように、設定を行います。(OS で選択して続けてください)

－ Windows 2000/XP/Server 2003

- (7) プリンタの共有設定を必要に応じて行い、[次へ]ボタンをクリックします。
- (8) テストページの印刷は[いいえ]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。
- (9) “プリンタの追加ウィザードを完了しています”の画面になりますので、[完了]ボタンをクリックします。プリンタドライバがコピーされます。

この時、Windows 2000 の場合は『デジタル署名が見つかりませんでした』、Windows XP/Server 2003 の場合は『互換性を検証する Windows のロゴテストに合格していません』の警告画面が表示されますが、[はい]または[続行]ボタンをクリックしてインストールを続行してください。

- (10) コピーが終了しますとプリンタの追加ウィザードが完了します。

－ Windows Vista

- (7) ユーザアカウント制御が表示されたら、[続行]ボタンをクリックします。
- (8) Windows セキュリティが表示されたら、[このドライバソフトウェアをインストールします]ボタンをクリックします。
- (9) プリンタドライバがコピーされ、“正しく追加されました”の画面になりますので、[完了]ボタンをクリックすると、プリンタの追加ウィザードが完了します。

4. プリンタのプロパティを変更します。

- (1) [プリンタ]フォルダに追加したプリンタのアイコンをクリックしてから、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。
- (2) “プロパティ”画面の[詳細設定]タブを開き、[全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る]を選択して[適用]ボタンをクリックします。
- (3) [OK]ボタンをクリックして“プロパティ”画面を閉じます。

以上で、VSP プリンタドライバのインストールは完了です。

第 3 章 操作説明

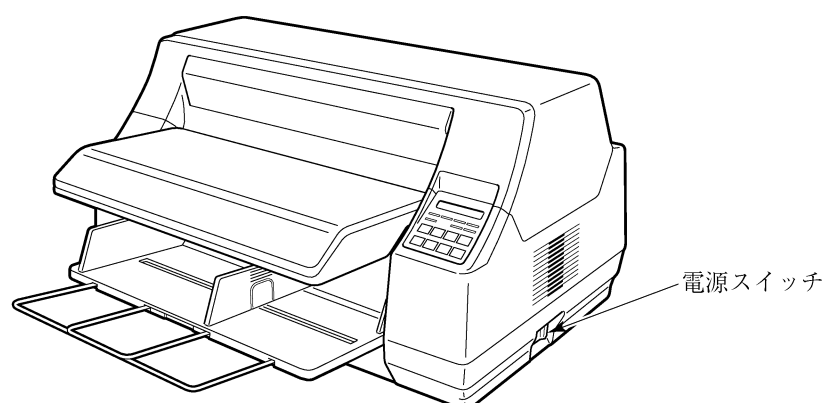
本章では、本装置の電源の投入と切断、操作パネルの配置と機能、セットアップ、装置立ち上げと印刷設定および印刷時の操作について説明します。

3.1 電源の投入と切断

3.1.1 電源の投入

▲注意	 一般的注意 はじめに上位装置の電源を投入し、次に本装置の電源を投入してください。 また、切断後の再投入は、3 秒間時間をあけてください。
------------	---

- 1) 電源スイッチを ON (|) 側に倒します。(操作パネルの「電源」ランプが点灯)



3.1.2 電源の切断

- 1) 電源スイッチを OFF (O) 側に倒します。(操作パネルのすべてのランプが消灯)
本装置を長時間使用しないときは、電源スイッチを切断してください。

3.2 操作パネルの配置と機能

本装置の操作パネルは、操作に必要なスイッチ（SW）、ランプ（LED）および液晶ディスプレイ（LCD）で構成されています。

液晶ディスプレイには、装置の状態やエラーが発生したときのメッセージが表示されます。

3.2.1 操作パネルの配置

本装置の操作パネルの配置を図 3.1 に示します。

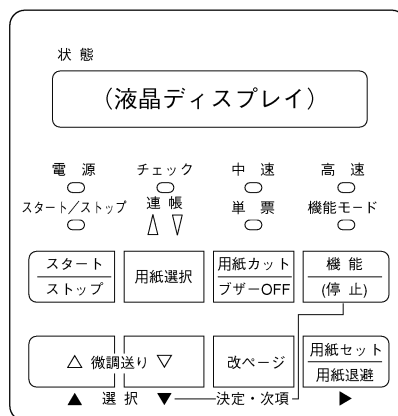


図 3.1 操作パネルの配置

3.2.2 操作パネルの機能

操作パネルの機能について、以下に示します。

(1) スタート/ストップ（スイッチ&LED）

- 本スイッチは常に有効であり、押下する度にオフライン→オンライン→オフライン→・・・に遷移し、オンライン状態では、「スタート/ストップ」ランプが点灯します。ただし、「チェック」ランプが点滅している場合は、チェック要因のリセットを行います。
- 印刷動作中にこのスイッチを押下すると、現在印刷中の行または次行の内容を完全に印刷後停止します。停止した後に、オフライン状態となります。サポートサーバ設定が PrintWalker の時、印字データを装置内に保持している場合は液晶ディスプレイに印字データが残存している旨の表示を行います。このとき、装置内の用紙長に影響を及ぼさない【微調送り】スイッチは有効です。【改ページ】スイッチを押下すると印刷位置が変わるため、装置内に保存しているデータは消去されます。
その他のスイッチは無効です。
- 「スタート/ストップ」ランプが消灯する要因は以下のとおりです。
 - ・ 【スタート/ストップ】スイッチの押下
 - ・ チェック要因発生
 - ・ 停止タイムアウト（サポートサーバ設定が PrintWalker 時を除く）
 - ・ セットアップの起動

- 【用紙選択】スイッチ押下で連帳（押込み）が選択されている場合、装置内に用紙がなければ新たな用紙の吸入を行います。
 【用紙選択】スイッチ押下で連帳（引張り）が選択されている場合、装置内に用紙がなければ用紙搬送路を開放して、用紙の挿入が可能な状態になります。装置内に用紙があり用紙搬送路が開放されている時は、用紙を印刷位置まで搬送します。
 単票が選択されている場合、印刷データ／改行オーダの受信タイミングで吸入動作を行います。
- プリンタ装置、印字ヘッドまたはピックアップが寿命になると、電源投入後最初のオンライン状態で、「スタート／ストップ」ランプが約 10 秒間点滅します。（担当営業または保守員に連絡してください。）

(2) 用紙選択（スイッチ & LED）

- ・ 連帳（押込み）⇄単票⇄連帳（引張り）の順で用紙の選択を行います。LED 点灯位置が連帳“▽”⇄単票⇄連帳“△”の順で移動します。
- ・ オフライン状態で印字データを保持していない場合のみ有効となります。
- ・ 単票はホスト側の指示で自動給紙ありを選択している場合にホップから印字・改行オーダを受信してから吸入します。自動給紙なしの場合は吸入指示を受信してから吸入します。
- ・ 手差し口からの吸入はホスト側からの指示に依存し、操作パネルからは指定できません。

(3) 用紙カット／ブザーOFF（スイッチ）

- ・ 用紙カットは、連帳モード時のみ有効です。
- ・ 用紙送り方向が「押込み」の時、現在のヘッド位置から、用紙カット位置までの用紙搬送を行います。現在のヘッド位置がミシン目の場合、本スイッチ押下により用紙の搬送を行い、ミシン目位置での用紙カットが可能となります。再押下で元の位置までの逆搬送を行います。
- ・ 用紙送り方向が「引張り」の時は無効です。
- ・ 用紙カットは、オフライン状態または「停止」状態で有効となります。
- ・ 印字データを保持していない時のみ有効となります。
- ・ ブザー音を停止するときにこのスイッチを押します。

(4) 機能（停止）（スイッチ & LED）

＜サポートサーバ設定が 6680-NMC, HOST PRINT の場合＞

- ・ オンライン状態では「停止」状態へ遷移します。LU タイプ 1 の時、「機能モード」ランプは点滅し PA キー画面へ遷移します。又 LU タイプ 3 の時、「機能モード」ランプは点灯しペーパージャスト画面へ遷移します。この状態を 10 分間以上継続すると、オフライン状態となり、ティンタイムアウト画面へ遷移します。
- ・ オフライン状態では機能設定を行います。このとき、各種設定で使用する機能には、【決定・次項】、【▲／▼】、テストインジでの【スタート／ストップ】スイッチ以外は無効となります。連帳／単票の各モード毎に独自に設定可能で、印字データを保持していない時のみ有効です。電源投入時はセットアップ値が設定されます。

第3章 操作説明

＜サポートサーバ設定が PrintWalker の場合＞

- ・ オンライン状態では無効です。
- ・ オフライン状態では機能設定を行います。このとき、各種設定で使用する機能には、【決定・次項】、【▲／▼】、テストインジでの【スタート／ストップ】スイッチ以外は無効となります。連帳／単票の各モード毎に独自に設定可能で、印字データを保持していないときのみ有効。電源投入時はセットアップ値が設定されます。なお、機能モードの内容については、「3.4.2 印刷設定（機能モード）」を参照してください。

(5) 微調送り△／微調送り▽／選択▲／選択▼（スイッチ）

- ・ 用紙セット時に用紙の先頭を合わせるのに使用します。
- ・ 本機能による用紙の移動は、用紙のページ長管理に対して影響は与えません。
- ・ 有効状態 $\left\{ \begin{array}{l} \cdot \text{オフライン} \\ \cdot \text{用紙終了状態} \\ \cdot \text{停止状態（サポートサーバ設定が PrintWalker 時を除く）} \end{array} \right.$
- ・ 押し続けると、最初は僅かずつ改行を行い、次第に改行ピッチを増やし改行速度を速めます。
- ・ 機能モード時の設定値の変更を▲／▼スイッチにより行います。

(6) 改ページ／決定・次項（スイッチ）

- ・ 改ページは、オフライン状態でのみ有効です。
- ・ 連帳モード時、用紙あり時は1回の操作で印刷位置を用紙の次のページの第1行、左マージン位置に移動します。
用紙なし時は【用紙セット】スイッチと同様に吸入動作を行います。
- ・ 単票モード時、現在装置内にある単票を排出します。
- ・ サポートサーバ設定が PrintWalker で未印刷データが装置内にある場合は消去されます。
- ・ 機能モード時、項目の選択や設定値の決定を行います。

(7) 用紙セット／用紙退避／▶（スイッチ）

用紙送り方向が「押込み」の時、ヘッド位置に用紙が存在する場合に用紙退避動作を行い、用紙が存在しない場合は用紙セット動作を行います。用紙送り方向が「引張り」の時、ヘッド位置に用紙が存在する場合に用紙セット動作を行い、用紙が存在しない場合は用紙搬送路を開放して用紙の挿入を可能にします。オフライン状態で有効です。

単票モード時は動作しません。

＜用紙セット＞

- ・ 押込み設定時、用紙を第1ページ1行目位置まで搬送します。
- ・ 引張り設定時、用紙搬送路を開放して用紙の挿入を可能にします。

<用紙退避>

- ・ 押込み設定時, 用紙を最大 22 インチ後退させます.
- ・ 引張り設定時, 用紙規定位置から 1 行目印刷位置まで搬送します. 用紙後退動作は行いません.

<▶>

- ・ セットアップモード時, アドレスの桁移動を行います.

(8) 電源 (LED)

電源が投入されている時に点灯します.

(9) チェック (LED)

本装置に何らかの操作・介入が必要な時に点滅します.

(10) 中速／高速 (LED)

印刷モードを切替えることにより, 点灯する LED が移動します.

印刷モード	点灯 LED
通常	なし
高速	高速
中速	中速

なお, 印刷モードの切替は機能モードで行います.

「3. 4. 2 印刷設定 (機能モード)」を参照してください.

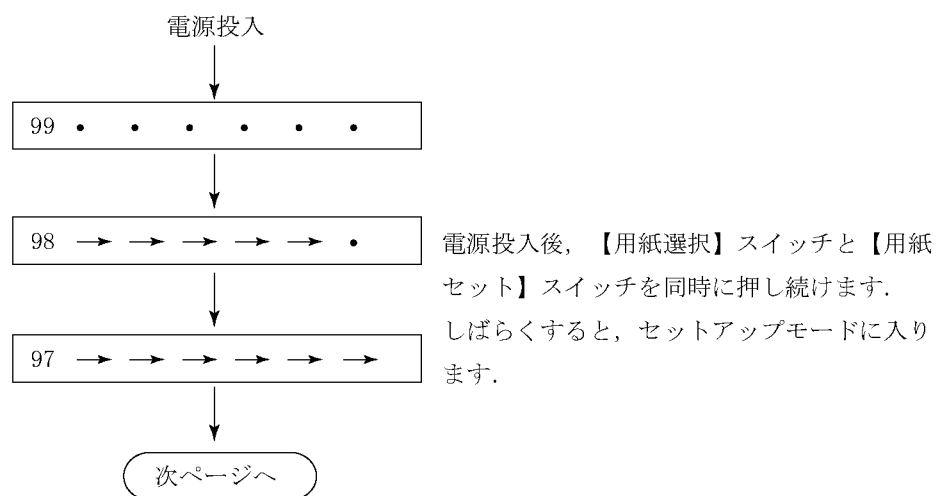
3.3 セットアップ

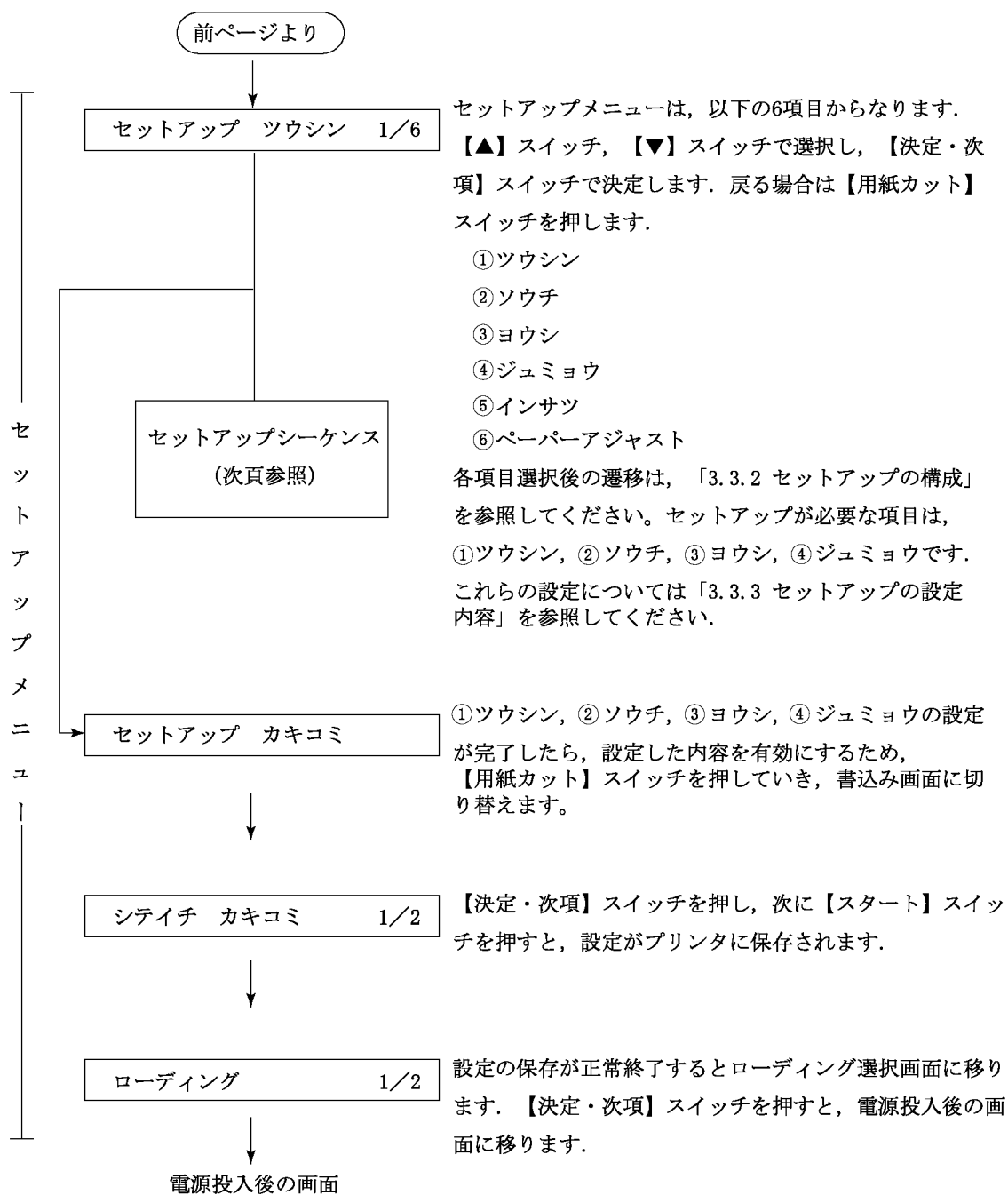
本装置は、導入する LAN 環境やシステム接続形態に応じたセットアップが可能です。セットアップの手順と、セットアップの構成およびセットアップの設定内容を説明します。

3.3.1 セットアップの手順

セットアップは操作パネルを使ってプリンタの各種設定を行います。

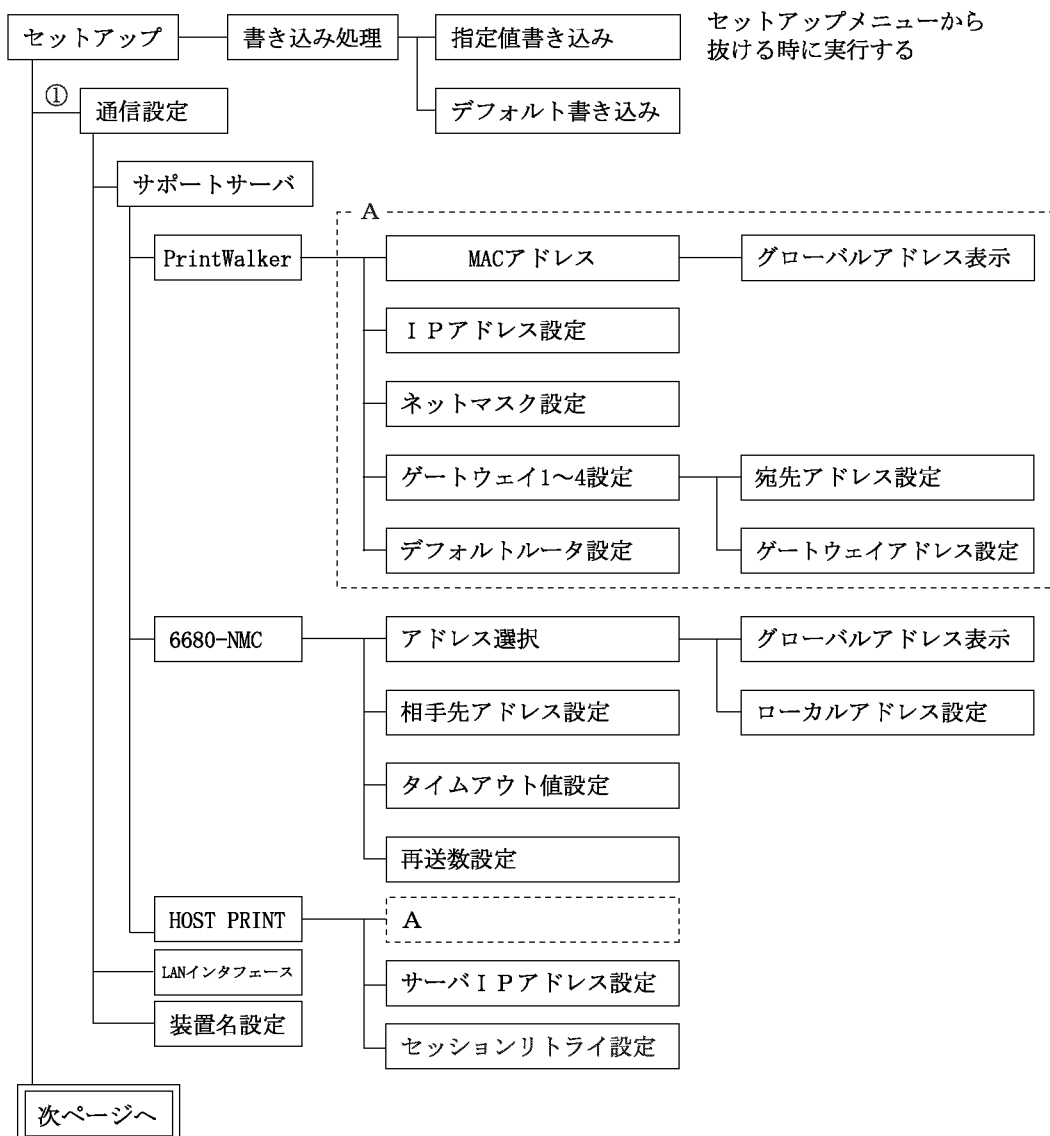
セットアップの操作手順と LCD の表示内容を以下に示します。

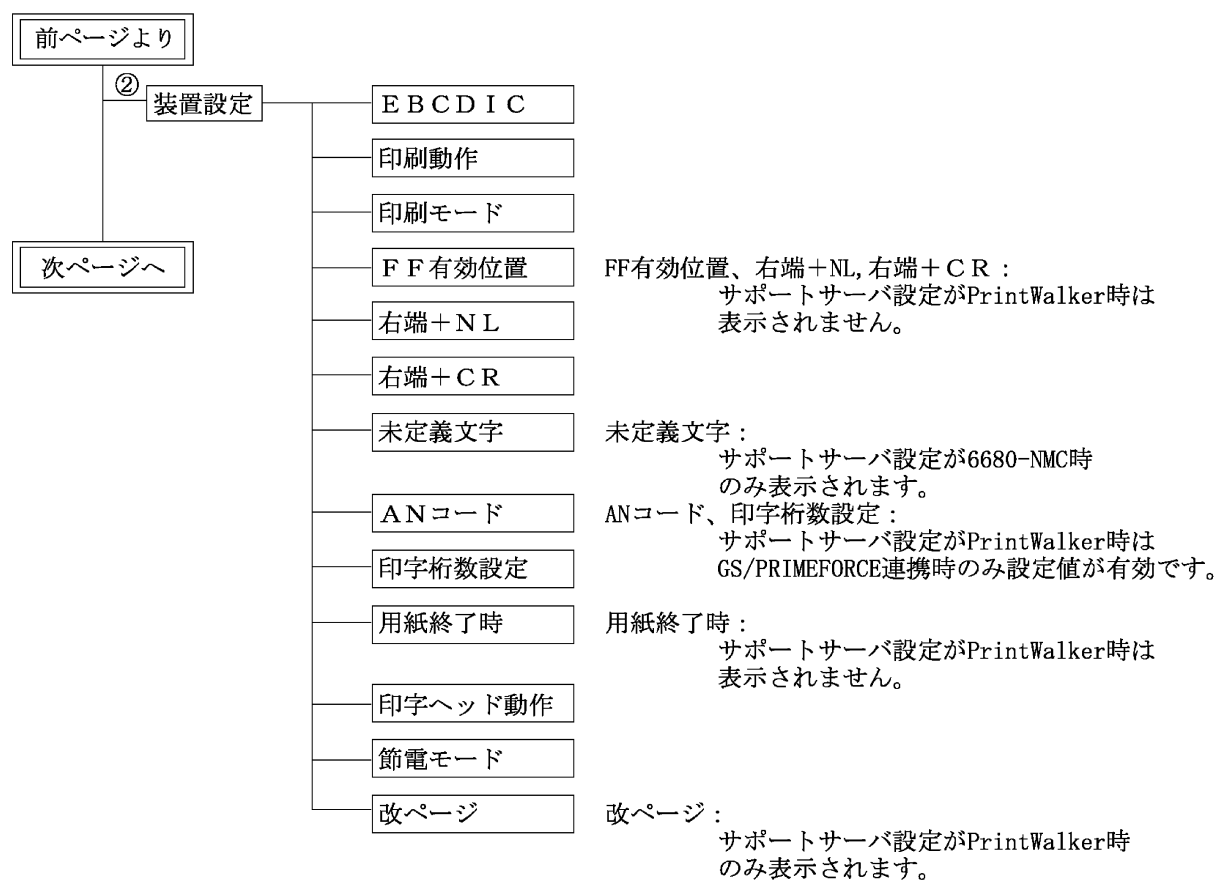


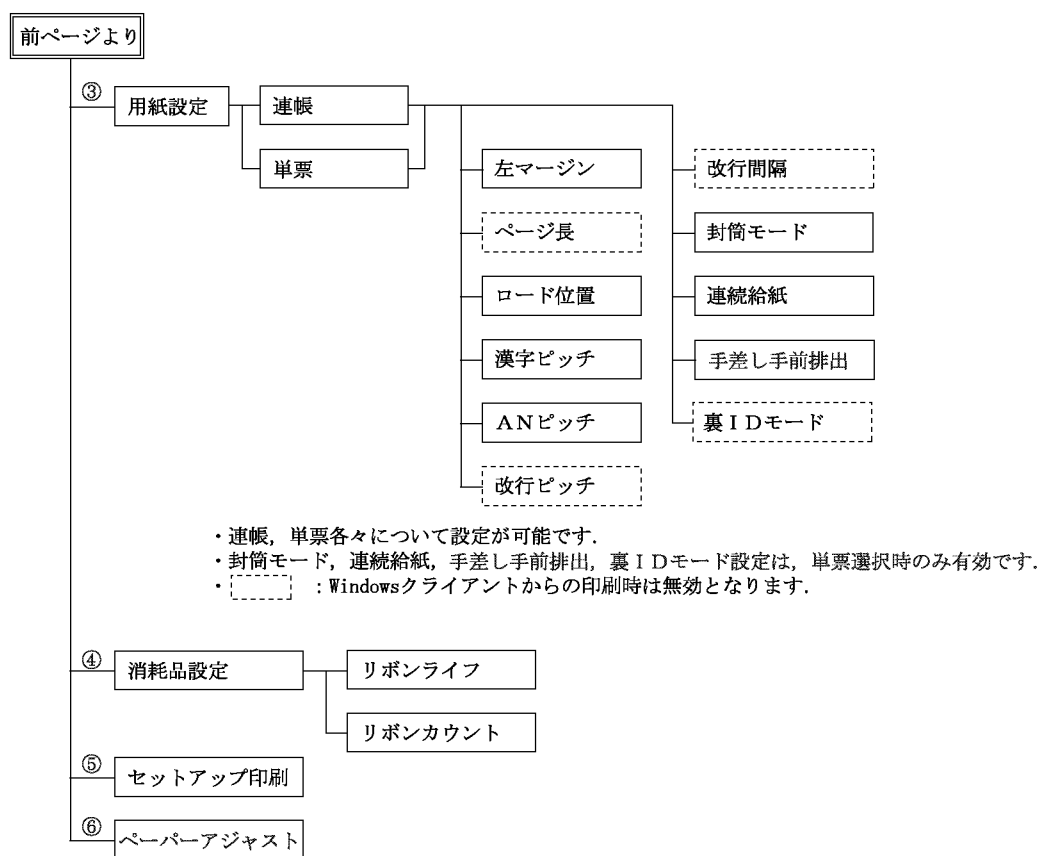


3.3.2 セットアップの構成

以下にセットアップメニューのツリー構成を示します。







3.3.3 セットアップの設定内容

セットアップメニューの設定内容を表 3.1 に示します。

項目の選択と設定の変更は【▲】【▼】スイッチ押下で、桁の移動は【▶】スイッチ押下で、決定は【決定・次項】スイッチ押下で行います。また、戻る場合は【用紙カット】スイッチを押します。

まず、現在の設定情報を印刷して確認してみます。セットアップメニューの「インサツ」（「3.3.1 セットアップの手順」参照）を選択し、セットアップ印刷画面に入ります。【用紙選択】スイッチを押して、選択した給紙口に用紙をセットしてから【スタート/ストップ】スイッチを押下すると、現在の設定情報を印刷します。（図 3.2 参照）

現在の設定情報と実際の使用環境とを比較して、セットアップの設定内容を変更する必要があります。表 3.1 を見ながら、セットアップメニューで使用環境に応じた設定値に変更してください。

なお、設定変更を行った後は、「セットアップカキコミ」を選択して、設定した値をプリンタに保存してください。

表 3.1 セットアップ設定内容（続く）

		セットアップ情報種類	設 定 内 容		備 考
			初期値	設定可能値	
①通信設定 (LAN 関連の設定)	1	サポートサーバ設定	PrintWalker	PrintWalker/ 6680-NMC/HOST PRINT	本機能でのみ 設定可能
	2	LAN インタフェース	オート	オート/100M/10M	同上 注 1)
	3	装置名設定	VSP2910H-XXXXXX (MAC アドレスの下 6 桁)	“-” (ハイフン), “0” ~ “9”, “A” ~ “Z”, “_” (アンダーバ ー), “a” ~ “z” 上記文字を用いて 45 文字以内が入力可能	同上 (文字の変更 は【▲/▼】ス イッチ、桁の 移動は【▶】 と【機能】ス イッチ)
	サポートサーバが PrintWalker, HOST PRINT の場合				
	4	MAC アドレス	グローバルアドレス	グローバルアドレス	表示のみ
	5	IP アドレス設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	本機能でのみ 設定可能
	6	ネットマスク設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	7	ゲートウェイ 1~4 設定 (宛先アドレス)	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	8	ゲートウェイ 1~4 設定 (ゲートウェイアドレス)	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	9	デフォルトルータ設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	10	サーバ IP アドレス設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上 注 2)
	11	セッションリトライ設定	0 回	XX : 0~10 回	同上 注 2)

表 3.1 セットアップ設定内容（続く）

	セットアップ情報種類	設 定 内 容		備 考	
		初期値	設定可能値		
①通信設定（LAN関連の設定）	サポートサーバが 6680-NMC の場合				
	12	アドレス選択	グローバルアドレス	グローバルアドレス/ ローカルアドレス	グローバルアドレス選択時は表示のみ
	13	ローカルアドレス設定	020000000000	XXXXXXXXXXXX L ビット 2 ¹ , 2 ⁰ は B ‘10’ 固定	ローカルアドレス選択時に設定可能
	14	相手先アドレス設定	020000000000	XXXXXXXXXXXX	本機能でのみ設定可能
	15	タイムアウト値設定	2 秒	XX.X : 0.1～25.5 秒	同上
	16	再送数設定	7 回	XX : 1～15 回	同上

注1) 本装置のデータレート固定設定は、半二重（Half）のみサポートしています。お使いになるスイッチングハブの設定がオートネゴシエーション以外の場合は、プリンタに合わせて半二重（Half）に設定してください。（本装置とスイッチングハブともに“オート”設定を推奨します。）

注2) サポートサーバ設定が PrintWalker のとき、本設定はセットアップメニューとして表示されません。

表 3.1 セットアップ設定内容 (続く)

	セットアップ 情報種類	設定内容		有効	エミュレーション	意味	備考
		初期値	設定可能値	サポートサーバ			
② 装置設定	1 EBCDIC フォント	標準	標準/OCR-B	すべて	66XX	1 バイト文字の パターンの選択	・ 69XX はホスト指 定 ・ 本機能でのみ設 定可能
	2 印刷動作で JEF コードのサポ ートの有無	JEF&AN	JEF&AN/ AN	すべて	66XX	JEF&AN: JEF コー ド有効 (日本語有 効) AN: JEF コード無 効	・ 本機能でのみ設 定可能 ・ GS 系ホストでの み有効
	3 印刷モード 注 3)	通常	通常/高速/中速 /通常+高複写 /高速+高複写 /中速+高複写	すべて	66XX		・ 69XX はホスト指 定 ・ 操作パネルから 設定可能
	4 FF 有効位置	ANY	ANY/FIRST	6680-NMC HOSTPRINT	66XX	ANY: いつでも有 効 FIRST: 行先頭で のみ有効 (FF: 改ページ指 定)	・ 本機能でのみ設 定可能 ・ GS 系ホストでの み有効 ・ LU タイプ 3 のみ 有効
	5 右端+NL	2 LF	2LF/1LF	6680-NMC HOSTPRINT	66XX	印字桁が右端ま で来た後の NL (改 行指定) の紙送り 量選択	同上
	6 右端+CR	1LF	1LF/0LF	6680-NMC HOSTPRINT	66XX	印字桁が右端ま で来た後の CR (印 字指定) の紙送り 量選択	同上
	7 未定義 JEF コード	ｸｸﾊｸ	ｸｸﾊｸ/HEX	6680-NMC	66XX	ｸｸﾊｸ: 空白 HEX: 16 進数印刷 未定義日本語文 字の文字パターン の扱い	・ 本機能でのみ設 定可能 ・ GS 系ホストでの み有効 注 4)
	8 AN コード設定	ｶﾅﾘ	ｶﾅﾘ (ｶﾅ付き) ｶﾅﾅ (ｶﾅ無し) ASCII (EBCDIC ASCII) US (US ENGLISH)	すべて	66XX	EBCDIC (1 バイト 系) コード表の選択	・ 本機能でのみ設 定可能 ・ GS 系ホストでの み有効
	9 印刷桁数設定 (10cpi 時)	136 桁	136 桁/132 桁/ 桁長無制限	すべて	66XX	右端の設定。 136/132 桁設定で は、桁越えで自動 復改する。 桁長無制限では、 桁越えで文字を 捨てる。	・ 本機能でのみ設 定可能 ・ GS 系ホストでの み有効 注 5)
	10 用紙終了時の 中断/継続	中断	中断/継続	6680-NMC HOSTPRINT	66XX	用紙無しをホスト側 に通知する場合 の状態の違い 中断: 装置はオフ ライン 継続: 装置はオン ライン	・ 本機能でのみ設 定可能 ・ GS 系ホストでの み有効 ・ LU タイプ 3 のみ 有効
	11 印字ヘッド 動作方向設定	両方向	両方向/片方向	すべて	66XX 69XX	印刷動作をする 方向を指定する	注 6)
	12 節電モード設 定	5 分	1~239 分	すべて	66XX 69XX	アイドルから省 エネルギーにな るまでの時間の 設定	
	13 改ページスイ ッチの紙送り 量設定	パネル	パネル/ホスト	PrintWalker	66XX 69XX	印刷終了後の改 ページスイッチ での動作量	注 7)

第 3 章 操作説明

表 3.1 セットアップ設定内容（続き）

		セットアップ	設定内容		意味	備考
		情報種類	初期値	設定可能値		
連帳、単票の各々について有効。（用紙選択スイッチで選択している用紙の設定を行う）						
③用紙設定	1	左マージン	1	1～99 カラム	1 行の桁方向の印刷開始位置を桁 (AN10CPI) で設定	・操作パネルから設定可能
	2	ページ長	66	1 ～99 行	1 ページの行数設定 改行ピッチとの積がページ長	・操作パネルから設定可能 ・ホスト指定が優先される
	3	ロード位置	単票 7.6mm 連帳 2.0mm	2.0～38.0mm	用紙セットスイッチによる、用紙ロード時の用紙先端から 1 行目文字中心までの距離	・操作パネルから設定可能
	4	漢字ピッチ設定	1/5"	1/5" (5cpi) 1/6" (6cpi) 3/20" (6.7cpi)	漢字文字の桁方向の幅を示す。 文字の大きさは 10 ポイントで同一。	・操作パネルから設定可能 ・ホスト指定が優先される
	5	AN ピッチ設定	1/10"	1/10" (10cpi) 1/12" (12cpi) 3/40" (13.3cpi) 1/15" (15cpi)	AN 文字の桁方向の幅を示す。	同上
	6	改行ピッチ設定	6 LPI	6LPI/8LPI	1 行分の紙送り動作量 (改行) の設定	同上
	7	改行間隔	1LF	1LF/2LF	1LF：通常の改行動作 2LF：1 回の改行動作を 2 倍にする	・ホスト指定が優先される ・操作パネルから設定可能 ・GS 系ホストでのみ有効
	8	封筒モード 注 8)	オフ	オフ／オン	オフ：一般自動吸入用 オン：封筒自動吸入用	・本機能でのみ設定可能 ・単票選択でのみ有効
	9	連続給紙設定 注 9)	オフ	オフ／オン	オフ：単票指定吸入用 オン：単票連続自動吸入用	・操作パネルから設定可能 ・単票選択でのみ有効
	10	手差し手前排出設定 注 10)	オン	オン／オフ	手差し口吸入した単票用紙の排出方向指定 オン：手前（手差し口） オフ：後方（スタッカ）	・本機能でのみ設定可能 ・単票選択でのみ有効
	12	裏 ID モード 注 11)	オフ	オフ／オン	PRIMERGY6000 から用紙裏面の ID マークの読み取りをする場合オン	同上
④	1	リボンライフ 注 12)	1000 万文字	500 万～1500 万文字 (5 万単位)	インクリボンの交換時期を通知（液晶ディスプレイに“*”表示）する周期の設定	・本機能でのみ設定可能
	2	リボンカウント	0000000000 文字	現在のリボンカウント値を表示	インクリボンの使用量を示す	・操作パネルから設定可能
⑤	セットアップ印刷		－	－	現在のセットアップ情報を連帳／単票用紙に印刷	【用紙選択】スイッチ押下で給紙口（連帳／単票）切り替え可能 注 13)
⑥	用紙微調送り		－	－	微調送り△／▽スイッチ押下で連帳用紙を微調送り可能	

- 注3) 印刷モードで「通常+高複写」／「高速+高複写」／「中速+高複写」を選択すると、プリンタ装置がオンライン／オフライン状態の時に液晶ディスプレイに「コウフクシャ」が表示されます。
- 注4) サポートサーバ設定が PrintWalker, HOST PRINT の時、本設定はセットアップメニューとして表示されません。（常時空白設定）
- 注5) GS/PRIMEFORCE 連携時，“136 桁”に設定すると、136 桁を超えたデータは次行に印字します。“桁長無制限”に設定すると、136 桁を超えたデータは印字しません。
- 注6) プリンタ内蔵フォントで印刷した場合、「片方向」に設定しても「両方向」で動作します。ただし、縦倍角文字や縦罫線接続など、1 回の印刷動作で印字完了できない部分においては、「片方向」で動作します。
- 注7) 改ページスイッチの紙送り量について
サポートサーバ設定が PrintWalker のとき、本設定はセットアップメニューとして表示されます。改ページスイッチ押下時の紙送り量は、印刷データを受信している状態ではホスト指定に従ったページ長であり、印刷終了後はプリンタに設定されたページ長となります。印刷終了後もホスト指定に従ったページ長で改ページ動作を行う場合には、本設定値を「ホスト」に変更してください。
- 注8) 封筒自動給紙時に、給紙ミスや印刷の傾きが発生する場合、「オン」に設定します。
- 注9) 単票自動給紙時に連続して印刷する場合、「オン」に設定すると給紙間隔が短くなり、印刷時間を短縮することができます。ただし、用紙が安定して搬送されるかどうか事前に確認する必要があります。
- 注10) 手差し口から吸入した単票用紙の排出方向を設定します。
「オン」に設定すると、排出方向は手前になり、手差し口に排出されます。
「オフ」に設定すると、本装置後方のスタッカへ排出されます。
- 注11) PRIMERGY6000 から、用紙裏面の ID マークの読み取りを行う場合、「オン」に設定します。
- 注12) 本装置には、インクリボンの交換時期を通知する機能（液晶ディスプレイに“*”を表示）があります。
工場出荷時は、インクリボン寿命の仕様値が設定されていますが、お客様の運用によって交換時期を変更することができます。
・印刷結果を常に濃い状態でインクリボンを交換する場合、交換時期を小さい値に設定
・印刷結果が薄くなってもよいから、インクリボンを長く使用する場合は、交換時期を大きい値に設定
- 注13) 連帳用紙にセットアップ印刷する場合は、幅 15 インチの用紙をセットして使用してください。単票用紙にセットアップ印刷する場合は、ホッパに A4 用紙を縦にセットして使用してください。

セットアップ印刷 印刷結果例

○ VSP2910Hセットアップ印刷			○
○ 装置名	: VSP2910H-XXXXXX		○
○ シリアルNO	: XXXXXXXXXXXX		○
○ システム版数	: ExxVxxLxx		○
○ 拡張出力機構	: なし		○
○ 位置互換モード	: オン		○
○ <<装置設定>>		<<通信関連>>	○
○ EBCDICフォント	: 標準	サポートサーバ	: PrintWalker
○ 印刷動作	: JEF&AN	LAN インタフェース	: LAN (オート)
○ 印刷モード	: 通常印刷	MAC アドレス	: 00000XXXXXX
○ ANコード	: カナ有り	<<ネットワークアドレス設定>>	
○ 最大印字桁数	: 136桁	IPアドレス	: 000.000.000.000
○ ヘッド動作	: 両方向	ネットマスク	: 000.000.000.000
○ 節電モード	: 005分	ゲートウェイアドレス1	
○ 改ページSW	: パネル	宛先アドレス	: 000.000.000.000
		ゲートウェイアドレス	: 000.000.000.000
		ゲートウェイアドレス2	
		宛先アドレス	: 000.000.000.000
		ゲートウェイアドレス	: 000.000.000.000
○ <<消耗品関連>>		ゲートウェイアドレス3	
○ リボンライフ	: 1000万文字	宛先アドレス	: 000.000.000.000
○ リボンカウント	: 0000000000文字	ゲートウェイアドレス	: 000.000.000.000
		ゲートウェイアドレス4	
		宛先アドレス	: 000.000.000.000
		ゲートウェイアドレス	: 000.000.000.000
		デフォルトルータ設定	: 000.000.000.000
○ <<用紙設定>>			○
	連帳	単票	
○ 左端	: 01桁	01桁	○
○ ページ長	: 066行	066行	○
○ ロード位置	: 02.0mm	07.6mm	○
○ 漢字ピッチ	: 1/5"	1/5"	○
○ ANピッチ	: 1/10"	1/10"	○
○ 改行ピッチ	: 6LPI	6LPI	○
○ 改行間隔	: 1LF	1LF	○
○ 封筒モード	:	オフ	○
○ 連続給紙	:	オフ	○
○ 手差し手前排出	:	オフ	○
○ 裏IDモード	:	オフ	○

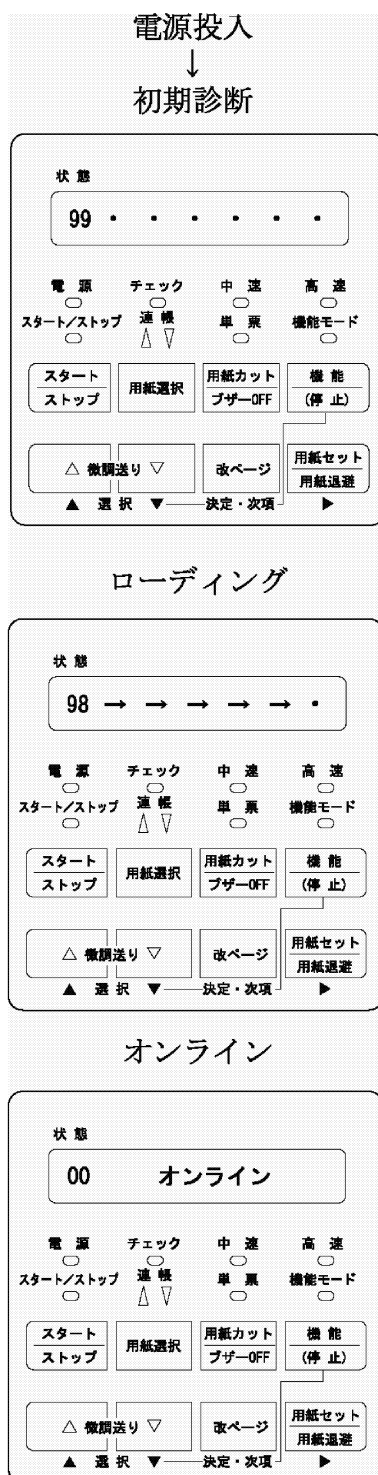
注) 印刷形式は、実際の印字と異なる場合があります。

図 3.2 現在の設定情報

3.4 装置立ち上げと印刷設定

3.4.1 装置立ち上げ

本装置のセットアップが完了すれば、IPL もしくは電源投入で本装置をネットワークプリンタとして利用できます。以下に本装置に立ち上がるまでの操作パネルの遷移を示します。



このオンライン状態で、ホストからの印刷が可能となります。

3.4.2 印刷設定（機能モード）

オンライン状態から【機能】スイッチを押すことで、PA キー/用紙位置調整を行うことができます。
また、オンライン状態から【スタート/ストップ】スイッチを押しオフライン状態にしてから【機能】スイッチを押すことで、各種機能設定やテスト印字を行えます。

以下に、オンライン/オフラインからの印刷設定の遷移図を示します。

印刷設定の内容と設定値の有効範囲は、表 3.2 のとおりです。各設定項目の意味はセットアップモードと同じです。

なお、機能モードで設定した値は、電源再投入後セットアップモードでの設定値に戻りますのでご注意ください。

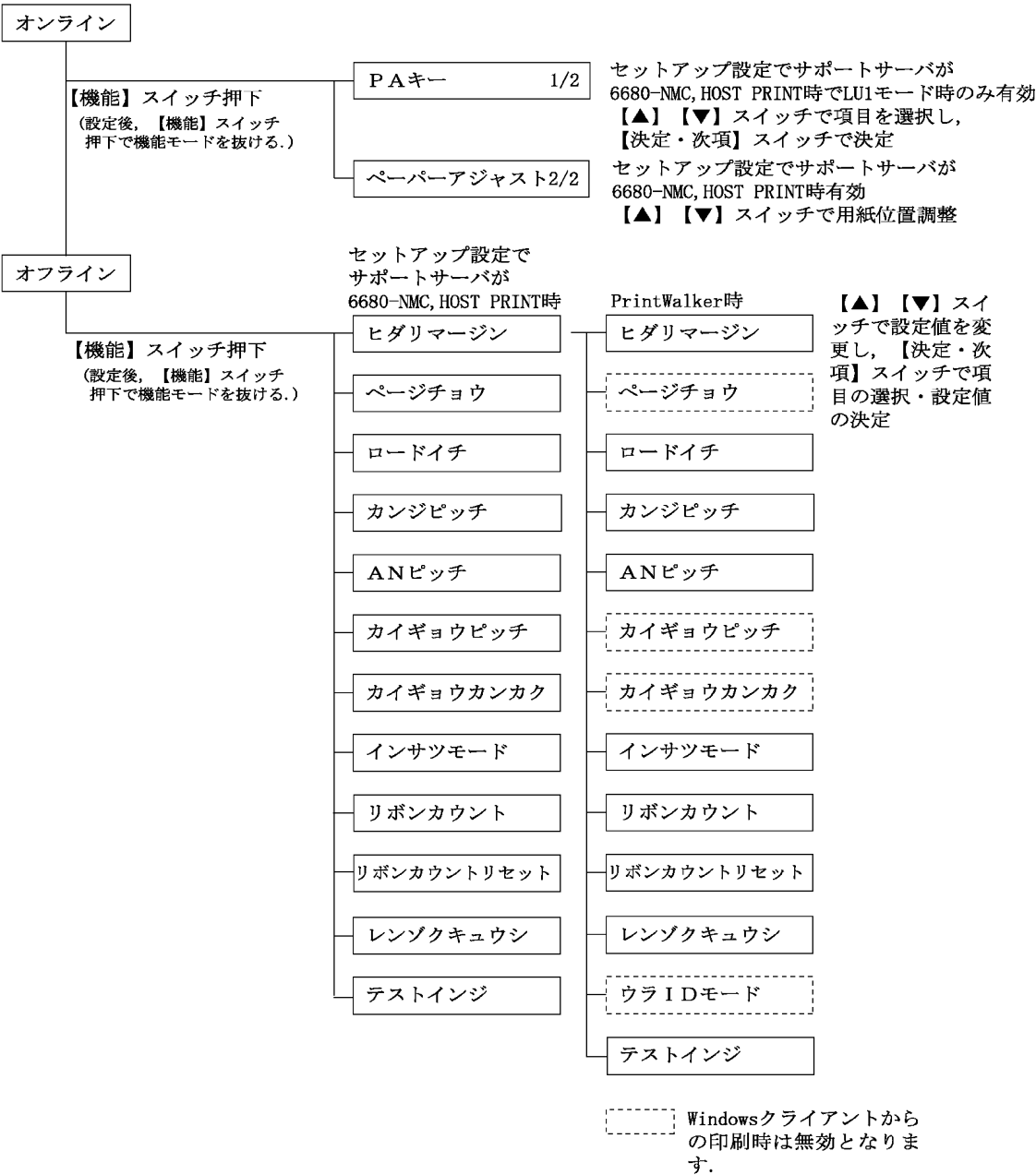


表 3.2 機能モードの設定内容

設定項目	設 定 内 容		備 考
	初期値	設定可能値	
左マージン 注 4)	セットアップモードでの設定値	1～99 桁	設定する用紙の種類（単票／連帳）は現在選択されている用紙
ページ長		1～99 行	
ロード位置 注 1) 注 4)		2.0～38.0 mm (0.2 ごとに設定可能)	
漢字ピッチ		1/5", 1/6", 3/20"	
AN ピッチ		1/10", 1/12", 3/40", 1/15"	
改行ピッチ		6LPI, 8LPI	
改行間隔		LF, 2LF	
印刷モード 注 2) 注 4)		通常, 高速, 中速 通常＋高複写 高速＋高複写 中速＋高複写	印刷モードを示す LED が点灯
リボンカウント	0		現在のカウント値を表示
リボンカウント リセット	シナイ	シナイ, スル	「スル」選択後, 【決定・次項】 スイッチ押下でカウント値 リセット
連続給紙 注 3)	セットアップモードでの設定値	オフ, オン	単票選択時のみ設定可能
裏 ID モード		オフ, オン	サポートサーバが PrintWalker で単票選択時のみ設定可能
テスト印字	_____		“X” を 64 桁印字

注1) 「ロード位置」の設定値を変更する場合は、あらかじめ吸入されている用紙を取り除いてください。

注2) 「印刷モード」を「通常＋高複写」／「高速＋高複写」／「中速＋高複写」に設定すると、プリンタ装置がオンライン／オフライン状態の時に、液晶ディスプレイに「コウフクシャ」が表示されます。

注3) 「連続給紙」を“アリ”に設定した場合、「ロード位置」の設定値は固定してください。連続給紙設定時、印刷終了後も次の用紙をあらかじめ吸入していますので、その状態で「ロード位置」の設定値を変更すると、印刷位置がずれる恐れがあります。

注4) プリンタの「サポートサーバ」設定が PrintWalker の時、ホスト側が「用紙交換メッセージ」を表示している間は、「左マージン」「ロード位置」「印刷モード」のみ表示されます。

3.5 LAN 接続

3.5.1 LAN 接続するための基本設定

本装置を LAN 接続するための基本設定例を示します。

本装置の LAN 設定は、セットアップモードの「通信」で「サポートサーバ」の設定を行います。実際の設定内容については、「3.3.3 セットアップの設定内容」の LAN 関連の設定の欄を参照してください。

導入する LAN 環境や接続形態によって、プリンタの設定内容は異なってきます。

以下に、導入するホストとサーバ接続環境の組合せ毎に、プリンタの設定内容（サポートサーバの設定値）を示します。これを参考にしてセットアップモードの「通信」で「サポートサーバ」を設定してください。なお、設定した値は装置の IPL または電源再投入により有効となります。

（注意） IP アドレスは必ず “0.0.0.0” 以外の値に設定してください。

項番	ホスト または クライアント	サーバ			⇒	プリンタの設定 サポートサーバ
		ハード	ソフト	プロトコル		
①	GS/ PRIME- FORCE	PRIMERGY	HOST PRINT	TCP/IP	⇒	HOST PRINT
②				DS-LINK	⇒	6680-NMC
③			HOST PRINT PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
④		PRIMEPOWER S series サーバ	Netcompo NMC サーバ	TCP/IP	⇒	HOST PRINT
⑤				DS-LINK	⇒	6680-NMC
⑥			PrintWalker/BPC , CJMS	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑦	SPARC Enterprise PRIMEPOWER S series サーバ		PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑧	PRIMERGY6000 サーバ		LAN プリンタ制御 オプション	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑨	PRIMERGY/ PRIME-	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑩	QUEST	SPARC Enterprise PRIMEPOWER S series サーバ	PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑪	PC	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑫		SPARC Enterprise PRIMEPOWER S series サーバ	PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑬		—	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑭	—	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑮	PRIMERGY/ PRIME- QUEST	—	PrintWalker/LXE	TCP/IP	⇒	PrintWalker

3.5.2 LAN 接続環境ごとの設定内容

本装置を LAN 接続するには本装置側の設定と上位装置側（サーバ装置側）の設定が必要です。

本装置側の設定は、セットアップモードの「通信」で行います。サポートサーバの設定では運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（HOST PRINT, Netcompo NMC サーバ, PrintWalker/BPC, CJMS, LAN プリンタ制御オプション, PrintWalker/PM, PrintWalker/LXE）の設定を行う必要があります。

(1) グローバルサーバをホストとして運用する場合：上記表の項番①～⑥のケース

(1)－1 本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で、「サポートサーバ」を選択をします。運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレス等の設定を行います。

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします。

- ・ プロトコルを TCP/IP（HOST PRINT, Netcompo NMC サーバ使用）
で運用する場合：「HOST PRINT」
- ・ プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/PM 使用）で運用する場合
：「PrintWalker」
- ・ プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/BPC 使用）で運用する場合
：「PrintWalker」
- ・ プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/LXE）で運用する場合
：「PrintWalker」
- ・ プロトコルを DS-LINK で運用する場合：「6680-NMC」

をそれぞれ選択します。

「HOST PRINT」を選択した場合、TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- | |
|---|
| b) MAC アドレスの設定
c) IP アドレスの設定
d) ネットマスクの設定
e) ゲートウェイの設定
f) デフォルトルータの設定
g) サーバ IP アドレスの設定
h) セッションリトライの設定 |
|---|

「PrintWalker」を選択した場合、TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- b) MAC アドレスの設定
- c) IP アドレスの設定
- d) ネットマスクの設定
- e) ゲートウェイの設定
- f) デフォルトルータの設定

「6680-NMC」を選択した場合、DS-LINK 通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- i) アドレスの設定
- j) 相手先アドレスの設定
- k) タイムアウト値の設定
- l) 再送数の設定

b) MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスが表示されます。

c) IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します。

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します。

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。

本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを 4 つまで設定でき、次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大 5 つまで設定できます。

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- ・ 宛て先アドレス
- ・ ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

g) サーバ IP アドレスの設定

サポートサーバの IP アドレスを設定します。

h) セッションリトライの設定

上位装置とのセッション確立時に行う接続確認のリトライ回数を設定します。

i) アドレスの設定

グローバルアドレスを使用するか、ローカルアドレスを使用するかを設定します（デフォルトはグローバルアドレス）。グローバルアドレス選択時はグローバルアドレスを表示し、ローカルアドレス選択時はローカルアドレスを表示します。

j) 相手先アドレスの設定

DS-LINK 通信をする場合には、NMC または NMC 代替として動作する NMC の MAC アドレスを設定します。

k) タイムアウト値の設定

DS-LINK 通信をする場合に、タイムアウト値を設定します。デフォルト値のままでも特に問題はありませんが、もし設定する場合には、NMC または NMC 代替サーバ側でのタイムアウト値も合わせる必要があります。

l) 再送数の設定

DS-LINK 通信をする場合に、再送数を設定します。デフォルト値のままでも特に問題はありませんが、もし設定する場合には、NMC または NMC 代替サーバ側での再送数も合わせる必要があります。

(1) - 2 上位装置側の設定

上位装置には、NMC 代替として動作する Windows 2000/Server 2003 サーバと PRIMEPOWER、富士通 S series がそれぞれ接続できます。

Windows 2000/Server 2003 サーバと PRIMEPOWER、富士通 S series 接続では、プロトコルは「TCP/IP」または「DS-LINK」のどちらかが設定可能です。

HOST PRINT の帳票管理サービスを使用する場合は、Windows 2000/Server 2003 サーバに本装置添付のソフトウェア（VSP リクエスタ）をインストールする必要があります。上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（HOST PRINT、Netcompo NMC サーバ、PrintWalker/PM、PrintWalker/BPC）の設定を行う必要があります。

これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- Windows 2000/Server 2003 サーバ（HOST PRINT）： HOST PRINT 使用手引き
- Windows 2000/Server 2003 サーバ(PrintWalker/PM)： 添付の CD-ROM の¥PRINTMON¥README. TXT
- PRIMEPOWER、富士通 S series (Netcompo NMC サーバ)： Netcompo NMC サーバ説明書

第 3 章 操作説明

- PRIMEPOWER, 富士通 S series (PrintWalker/BPC) :

添付の CD-ROM の¥MANUAL¥JAPANESE¥Readme.html

(2) SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series をホストとして運用する場合 : 項番⑦のケース

(項番⑥と同じケースであり, 同様に設定します.)

(2) -1 本装置側の設定 (サポートサーバの設定)

セットアップメニューの「通信」の設定項目で, 「サポートサーバ」を選択します. 運用するサーバを選択して, そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います.

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします.

プロトコルを TCP/IP (PrintWalker/BPC 使用) で運用するので, 「PrintWalker」を選択します.

「PrintWalker」を選択した場合, TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います.

- | |
|---|
| b) MAC アドレスの設定
c) IP アドレスの設定
d) ネットマスクの設定
e) ゲートウェイの設定
f) デフォルトルータの設定 |
|---|

b) MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスが表示されます.

c) IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します.

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します.

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に, そのゲートウェイアドレスを設定します.

本設定では, 本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを 4 つまで設定でき, 次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大 5 つまで設定できます.

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります.

- 宛先アドレス
- ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については, 「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います.

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

(2) - 2 上位装置側の設定

上位装置は、SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series となります。

SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series 接続では、プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア (PrintWalker/BPC) の設定を行う必要があります。

これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series (PrintWalker/BPC)
: 添付の CD-ROM の¥MANUAL¥JAPANESE¥Readme.html

(3) PRIMERGY6000 をホストとして運用する場合：項番⑧のケース

(3) - 1 本装置側の設定 (サポートサーバの設定)

セットアップモードの「通信」の設定項目で、「サポートサーバ」を選択します。運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います。

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします。

プロトコルを TCP/IP (LAN プリンタ制御オプション使用) で運用するので、「PrintWalker」を選択します。

「PrintWalker」を選択した場合、TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> b) MAC アドレスの設定 c) IP アドレスの設定 d) ネットマスクの設定 e) ゲートウェイの設定 f) デフォルトルータの設定 |
|---|

b) MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスが表示されます。

c) IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します。

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します。

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。

本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つまで設定でき、次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大5つまで設定できます。

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- ・宛先アドレス
- ・ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

(3) -2 上位装置側の設定

上位装置は、PRIMERGY6000 となります。

PRIMERGY6000 接続では、プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（LAN プリンタ制御オプション）の設定を行う必要があります。

これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- ・PRIMERGY 6000 サーバ（LAN プリンタ制御オプション）：ASP システム導入手引書
ASP システム説明書

(4) Windows 2000/Server 2003 をホストとして運用する場合：項番⑨～⑩のケース

（項番⑩は、⑥、⑦と同様であり、同じように設定します）

(4) -1 本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で、「サポートサーバ」を選択をします。運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います。

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします。

- ・プロトコルをTCP/IP（PrintWalker/PM使用）で運用する場合、「PrintWalker」
- ・プロトコルをTCP/IP（PrintWalker/BPC使用）で運用する場合、「PrintWalker」をそれぞれ選択します。「PrintWalker」を選択した場合、TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- b) MAC アドレスの設定
- c) IP アドレスの設定
- d) ネットマスクの設定
- e) ゲートウェイの設定
- f) デフォルトルータの設定

b) MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスを表示します。

c) IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します。

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します。

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。

本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを 4 つまで設定でき、次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大 5 つまで設定できます。

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- ・ 宛先アドレス
- ・ ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

(4) -2 上位装置側の設定

上位装置には、Windows 2000/Server 2003 サーバと SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series がそれぞれ接続できます。

Windows 2000/Server 2003 と SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series 接続では、プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア (PrintWalker/PM, PrintWalker/BPC) の設定を行う必要があります。

これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- ・ Windows 2000/Server 2003 サーバ (PrintWalker/PM) : 添付の CD-ROM の¥PRINTMON¥README.TXT

第 3 章 操作説明

- SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series (PrintWalker/BPC) :
添付の CD-ROM の¥MANUAL¥JAPANESE¥Readme.html

(5) Windows XP/Vista をホストとして運用する場合：項番⑪～⑬のケース

(項番⑪は⑨, 項番⑬は⑥, ⑦, ⑩と同様であり, 同じように設定します)

(5)－1 本装置側の設定 (サポートサーバの設定)

(4)－1 の設定と同様です.

(5)－2 上位装置側の設定

上位装置には, Windows 2000/Server 2003 サーバと SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series および Windows XP/Vista がそれぞれ接続できます.

Windows 2000/Server 2003 サーバと SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series および Windows XP/Vista 接続では, プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です.

上位装置側の設定は, 上位装置に組み込むソフトウェア (PrintWalker/PM, PrintWalker/BPC) の設定を行う必要があります.

これらソフトウェアの設定については, 以下のマニュアルを参照願います.

- Windows 2000/Server 2003 (PrintWalker/PM) : 添付の CD-ROM の README.TXT
- SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series (PrintWalker/BPC) :
添付の CD-ROM の README.TXT
- Windows XP/Vista (PrintWalker/PM) : 添付の CD-ROM の README.TXT

(6) Windows 2000/Server 2003 サーバからダイレクトに運用する場合：項番⑭のケース

(項番⑭は⑨, ⑩と同様であり, 同じように設定します)

(6)－1 本装置側の設定 (サポートサーバの設定)

(4)－1 の設定と同様です.

(6)－2 上位装置側の設定

上位装置には, Windows 2000/Server 2003 サーバが接続できます.

Windows 2000/Server 2003 サーバ接続では, プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です.

上位装置側の設定は, 上位装置に組み込むソフトウェア (PrintWalker/PM) の設定を行う必要があります.

これらソフトウェアの設定については, 以下のマニュアルを参照願います.

- Windows 2000/Server 2003 (PrintWalker/PM) : 添付の CD-ROM の¥PRINTMON¥README.TXT

(7) Linux をホストとして運用する場合：項番⑮のケース

(7)－1 本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で、「サポートサーバ」を選択をします。運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います。

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします。

プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/LXE 使用）で運用するので、「PrintWalker」を選択します。

「PrintWalker」を選択した場合、TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- b) MAC アドレスの設定
- c) IP アドレスの設定
- d) ネットマスクの設定
- e) ゲートウェイの設定
- f) デフォルトルータの設定

b) MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスを表示します。

c) IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します。

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します。

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。

本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを 4 つまで設定でき、次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大 5 つまで設定できます。

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- ・宛先アドレス
- ・ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

(7) -2 上位装置側の設定

上位装置には、Linux が接続できます。

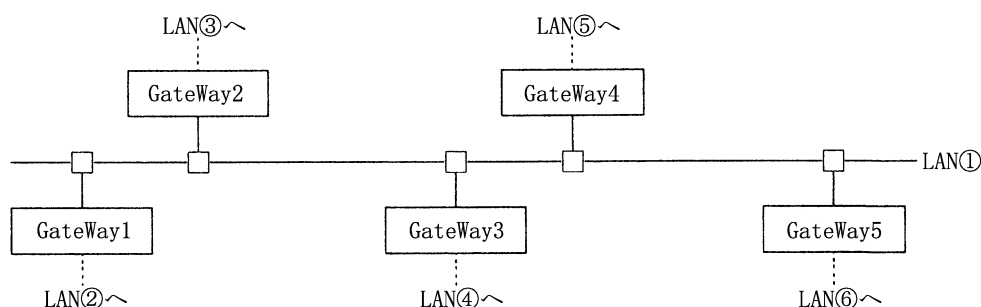
Linux 接続では、プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア (PrintWalker/LXE) の設定を行う必要があります。

これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- Linux サーバ (PrintWalker/LXE) : 添付の CD-ROM の¥PWLKRLXE¥MANUAL¥readme.html

3.5.3 ゲートウェイについての補足



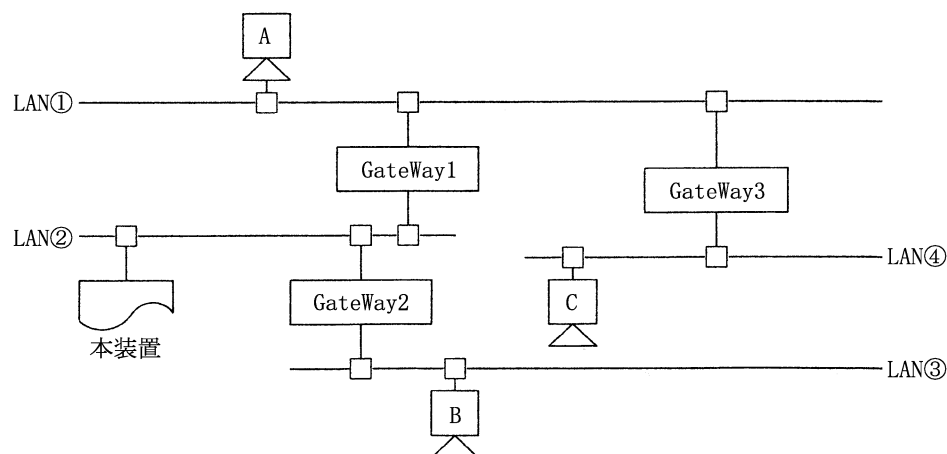
LAN①に接続されている装置が、LAN①に接続されている（同一 LAN 上）その他の装置と、LAN 通信を行う場合は、ゲートウェイは必要ありませんが、他の LAN（LAN②～⑥）の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイが必要となります。

本装置では、最大5つまでのゲートウェイをサポートしています。

本装置のセットアップでは、ゲートウェイの設定と、デフォルトルータの設定があり、ゲートウェイ設定は4つまで、デフォルトルータ設定は1つとなります。

また、ゲートウェイ設定には、宛先アドレスとゲートウェイアドレスの設定があります。

“ゲートウェイアドレス 1～4”と“デフォルトルータ設定”について説明します。



- (1) 本装置が LAN②上の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイの設定は必要ありません。
- (2) 本装置がホスト A と通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - ・宛先アドレス：ホスト A の接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ゲートウェイアドレス：GateWay1 のアドレス（IP アドレス）を設定します。
- (3) 本装置がホスト B と通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - ・宛先アドレス：ホスト B の接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ゲートウェイアドレス：GateWay2 のアドレス（IP アドレス）を設定します。

第 3 章 操作説明

(4) 本装置がホスト C と通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。

- ・宛先アドレス： ホスト C の接続されているネットワークアドレスを設定します。
- ・ゲートウェイアドレス： GateWay1 のアドレス（IP アドレス）を設定します。

(5) デフォルトルータは、仮に装置に上記（1）～（4）のような設定がなされていた場合に、設定してあるゲートウェイ先ネットワークアドレスのどれにもあてはまらないようなデータ进行处理する場合に使用されるゲートウェイのことです。そのようなデータは、デフォルトルータに設定されているゲートウェイとデータ通信を行うこととなります。

ただ、ここに設定できるアドレスは、本装置の接続されている LAN②に接続されているゲートウェイアドレス（GateWay1 または GateWay2）だけであり、GateWay3 などのアドレスは指定できません。

※ゲートウェイアドレス 1～4 の設定は、本装置と通信を行う相手が接続されているネットワークアドレスと、そのネットワークへの経路となるゲートウェイアドレスが明確になっている場合に設定します。

※デフォルトルータは、ゲートウェイアドレス 1～4 に設定されているネットワークアドレスのどれにも該当しないデータ进行处理する場合に使用されます。

該当なしデータはデフォルトルータに設定されているゲートウェイに対してデータ通信が行われ、そこから対象となるネットワークが発見できればデータ通信を行い、発見できなければ、そのデータは破棄されます。

また、本装置の接続されているネットワークに、ゲートウェイが 1 つしか接続されていなかった場合、デフォルトルータにそのゲートウェイアドレスを設定しておくことで、特にゲートウェイアドレス 1～4 を設定しなくても、他の複数ネットワークと通信を行うことができます。

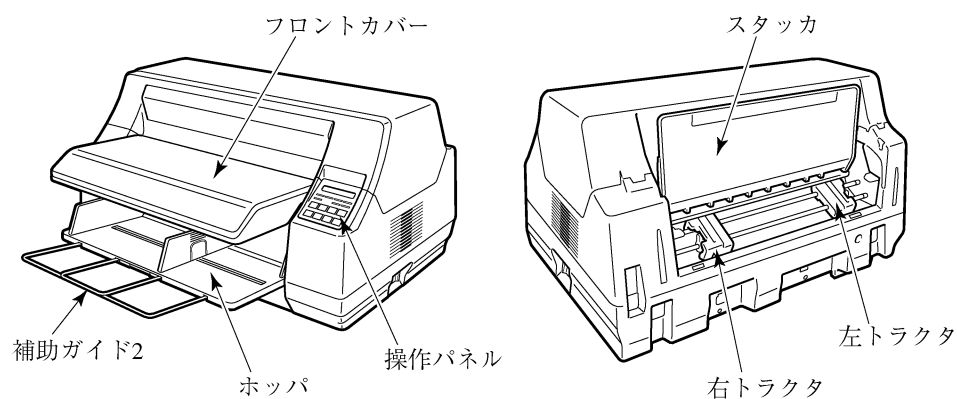
（例：前ページの接続にて、本装置の接続されている LAN②に GateWay1 しかなかった場合、デフォルトルータに GateWay1 のアドレスを設定することによって、ゲートウェイアドレス 1～4 を設定しなくてもホスト A やホスト C と通信を行うことができます。）

3.6 印刷時の操作

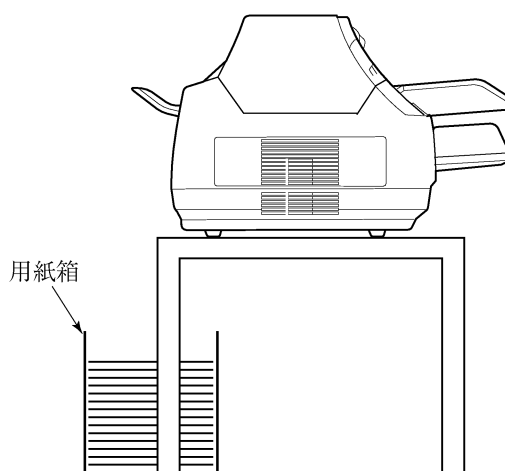
3.6.1 用紙の取付け方

連帳用紙と単票用紙では、用紙の取付け方が違います。また、連帳用紙2種類（押し込み印刷／引っ張り印刷）、単票用紙2種類（自動給紙印刷／手挿入印刷）の印刷方法があります。使用する印刷方法に応じて正しくお使いください。

(1) 押し込み印刷の場合（連続帳票用紙）



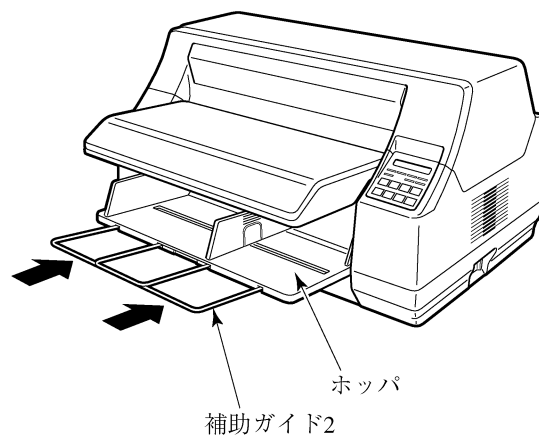
- 1) 用紙箱をプリンタ背面に置きます。



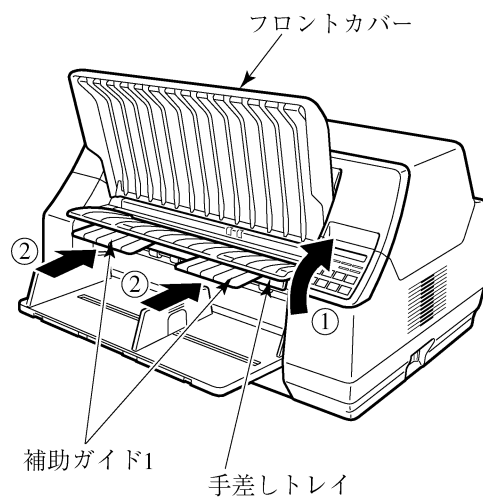
- 2) 操作パネルの「スタート／ストップ」ランプが消えているか、確認します。
(点灯しているときは、【スタート／ストップ】スイッチを押して消します。)

第3章 操作説明

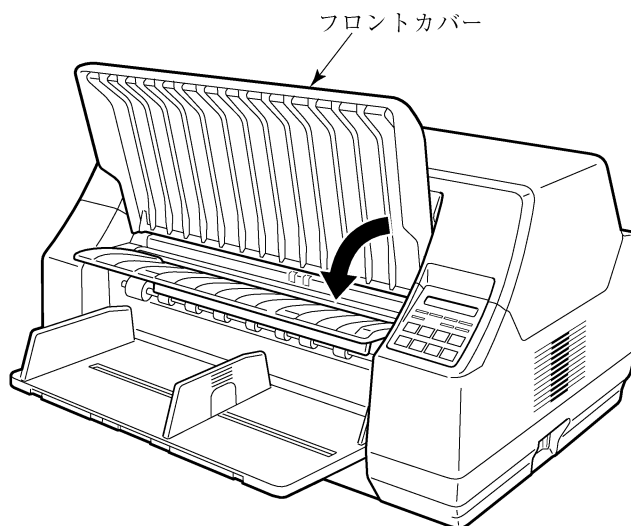
- 3) 操作パネルの▽ランプが点灯しているか、確認します。
(▽ランプが消えているときは、【用紙選択】スイッチを押して、切換えます.)
(【用紙選択】スイッチを押したとき、自動的に用紙がセットされたら操作7～11は不要です.)
- 4) 補助ガイド2を押し込みます.



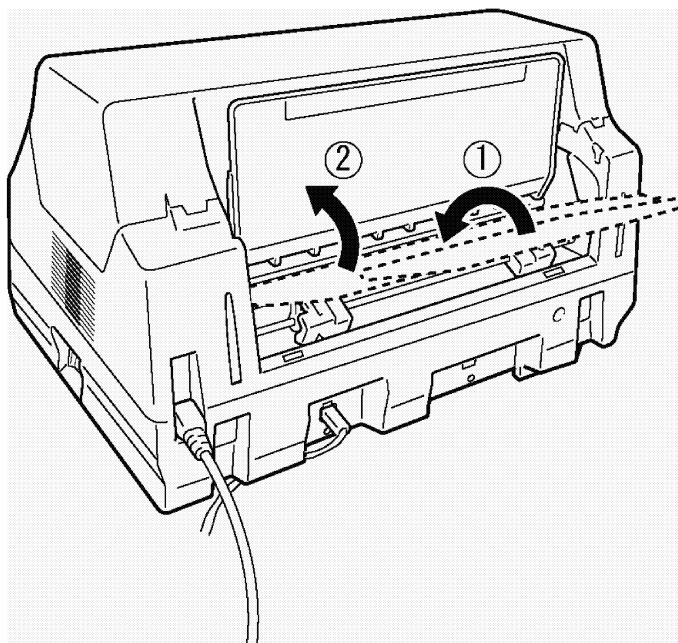
- 5) フロントカバーを上げて (①) 補助ガイド1を押し込みます (②).



- 6) フロントカバーを下げます。

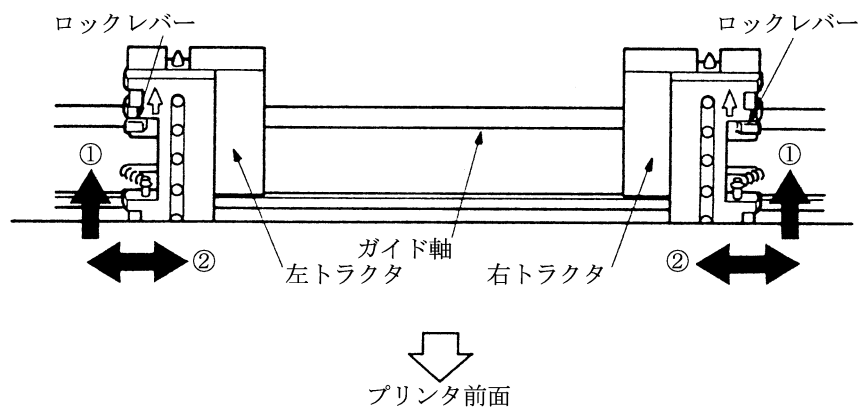


- 7) ①, ②の順でスタッカを折りたたみます。

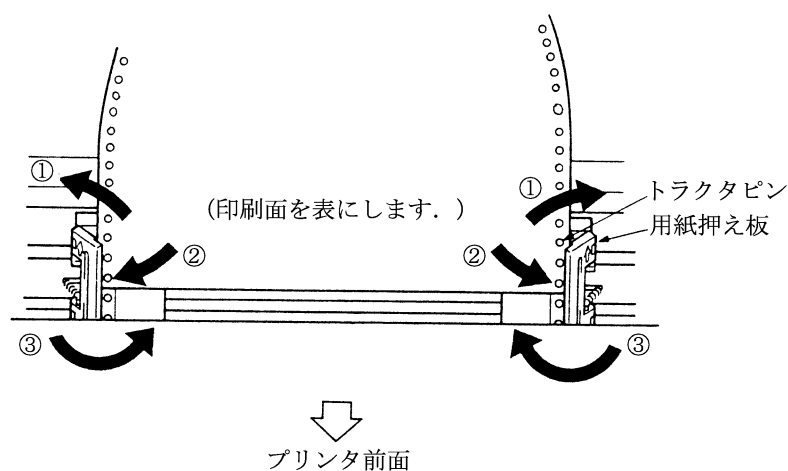


第3章 操作説明

- 8) 左右のトラクタのロックレバーを向う側に倒し (①), トラクタを用紙の幅にほぼ合うように移動します (②).

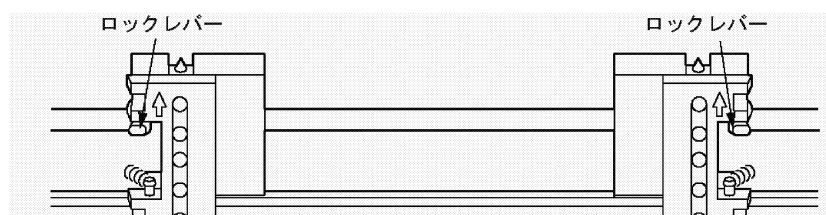


- 9) 左右のトラクタの用紙押え板を開き (①), トラクタピンと用紙の穴を合わせ (②), 用紙押え板を閉じます (③).



(ひとくちメモ) トラクタのロックレバー

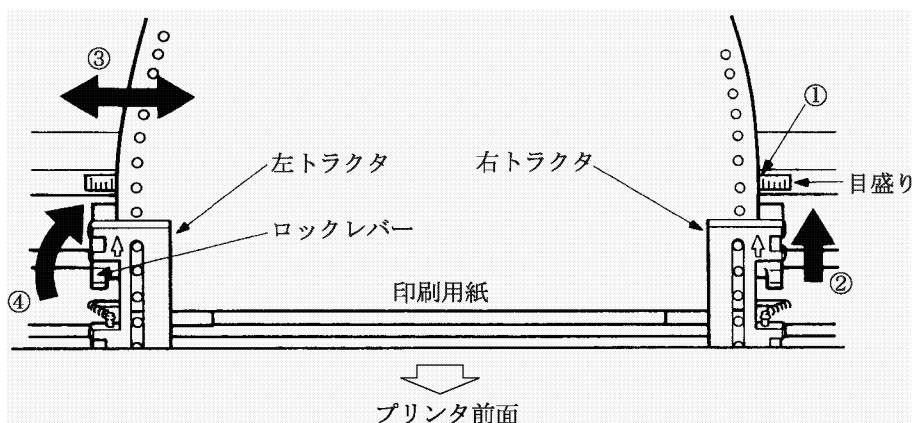
- トラクタのロックレバーは、プリンタ前面から見て向こう側に倒すと「フリー状態」となり、トラクタを左右に動かすことができます。手前に倒すと「ロック状態」となって、トラクタが固定されます。



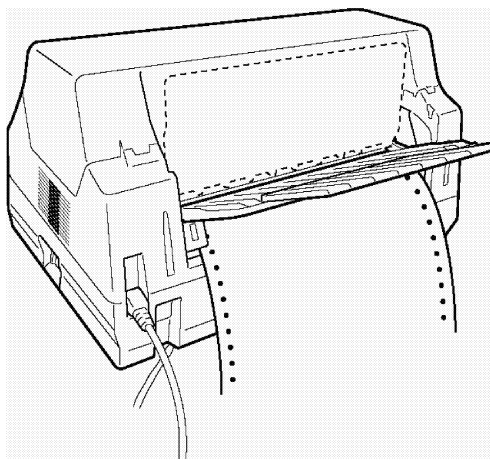
- 10) 右トラクタは用紙右端を目盛りの▼印に合わせ (①), ロックレバーを手前に倒し, トラクタを固定します (②). 左トラクタは用紙が軽く張るような位置に合わせ (③), トラクタを固定し, スタッカを元に戻します (④).

(注意)

■16 インチの用紙は▼印に合いませんので, 最適位置にセットしてください.



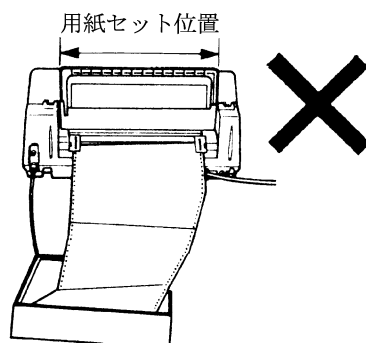
- 11) 【用紙セット】スイッチを押します. 用紙が自動的に印刷位置まで送られます.
 12) 用紙の印字位置を確認します.
 トラクタの用紙押え板が閉じていることを確認して, スタッカを元に戻します.



- 13) 【スタート/ストップ】スイッチを押します.
 操作パネルの「スタート/ストップ」ランプが点灯すればセット OK です.

(注意)

■印刷用紙は、用紙セット位置に対しまっすぐに置いてください。

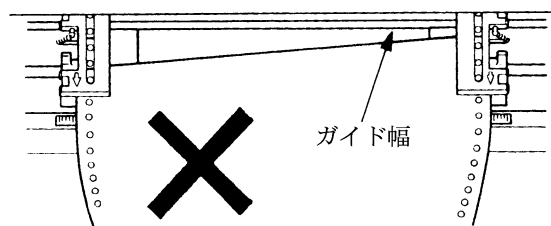


■用紙押え板はバネになっているので手をはさまないようにしてください。

■スタッカは、トラクタの用紙押え板を閉じてから開いてください。

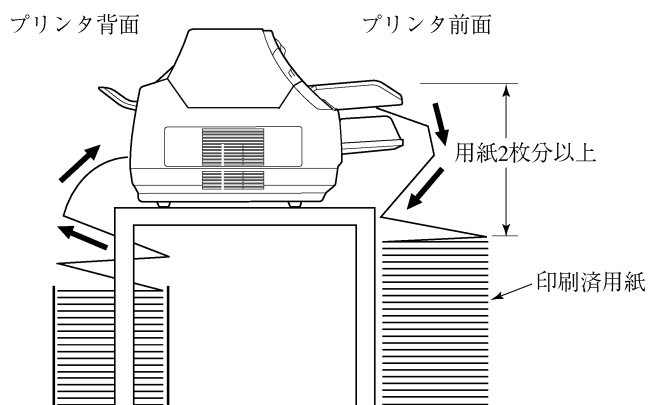
(用紙押え板が破損します.)

■用紙はガイド軸に対し、平行にセットしてください。



■用紙がプリンタ置台等に引掛からないように注意してください。

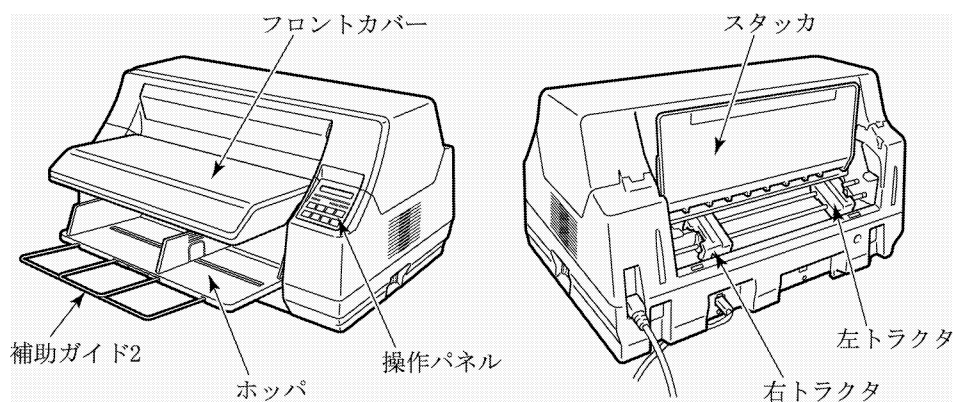
■プリンタの設置高さと、印刷済用紙の高さの差は用紙2枚分以上、必要です。



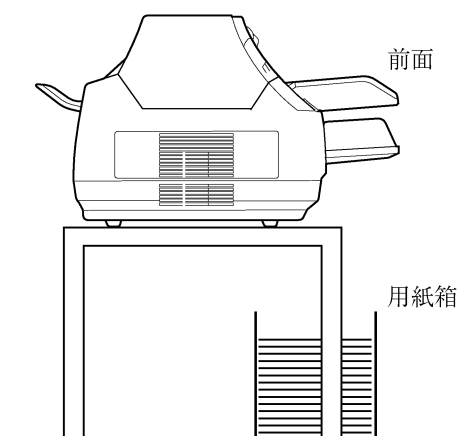
■連帳用紙の先端にミシン目の切り残しがある場合は、用紙吸入時にミシン目がリボンマスクに引掛かり用紙破れが発生することがあります。

ミシン目の切り残しを除去してから用紙をセットしてください。

(2) 引っ張り印刷の場合（連続帳票用紙）



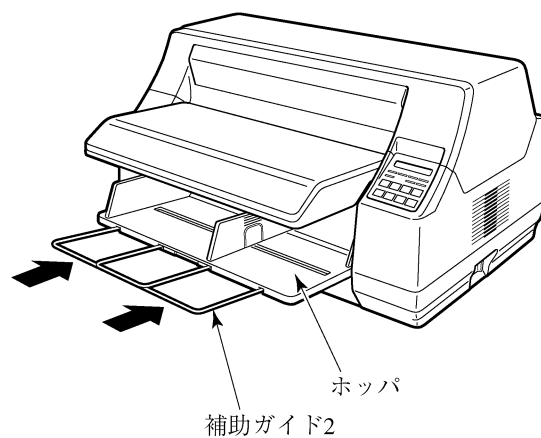
- 1) 用紙箱をプリンタ前面に置きます.



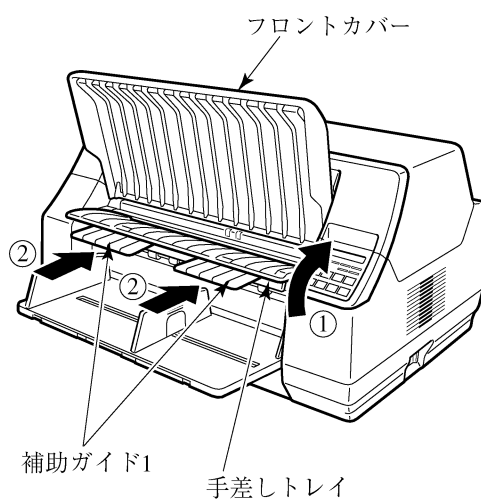
- 2) 操作パネルのスタートランプが消えているか、確認します。
(点灯しているときは、【スタート/ストップ】スイッチを押して消します.)
- 3) 操作パネルの「△」ランプが点灯していることを確認します。
(点灯していないときは、【用紙選択】スイッチを押して点灯させます.)

第3章 操作説明

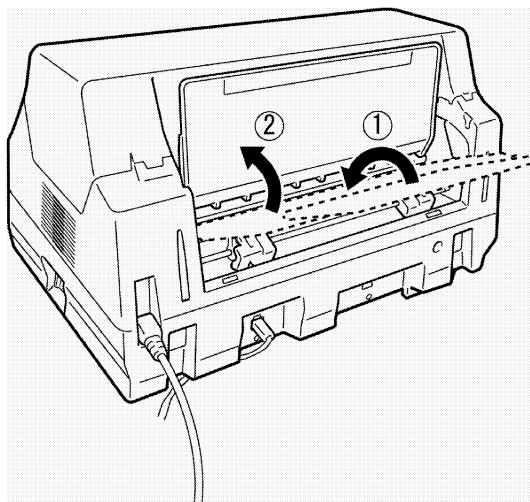
- 4) 補助ガイド2を押し込みます。



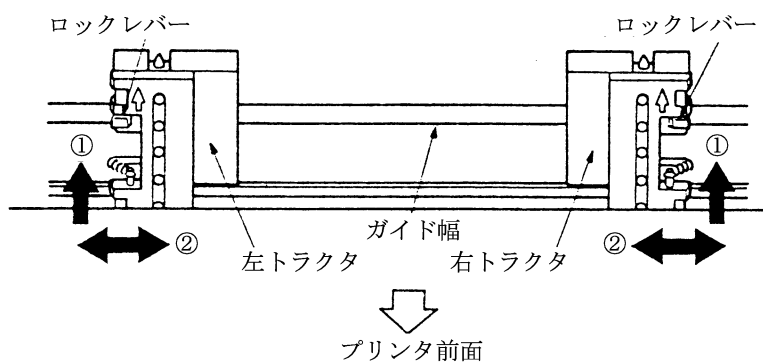
- 5) フロントカバーを開いて (①), 補助ガイド1を押し込みます (②).



- 6) ①, ②の順でスタッカを折りたたみます.



- 7) 左右のトラクタのロックレバーを向う側に倒してフリーにし(①), トラクタを用紙の幅よりやや広くなるように移動します(②).

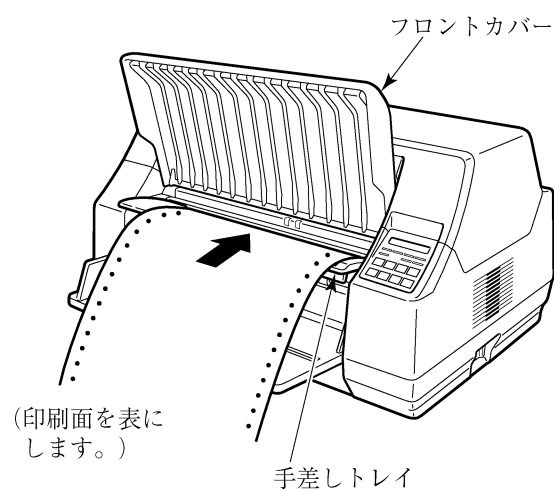


- 8) 【用紙セット】スイッチを押します.

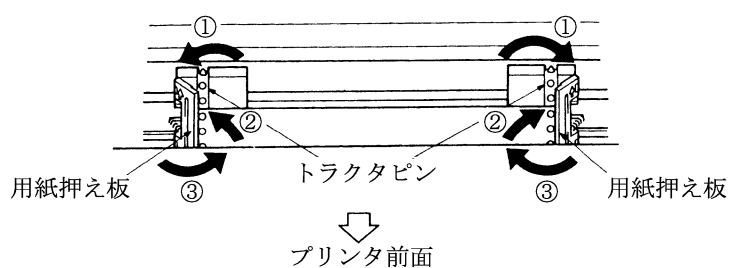
(プリンタメカ内の用紙通路が開きます. 【用紙セット】スイッチを押さないと用紙を押し込んでも入らないことがありますので, 必ず【用紙セット】スイッチを押してください.)

第3章 操作説明

- 9) フロントカバーを開いて用紙を手差しトレイの上から奥へ押し込みます。

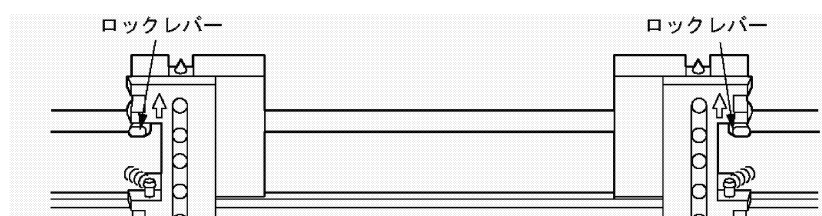


- 10) 左右のトラクタの用紙押え板を開き (①), 用紙先端をつまんでトラクタを超えるまで用紙を引き出してから, トラクタピンと用紙の穴を合わせて (②), 用紙押え板を閉じます (③)。



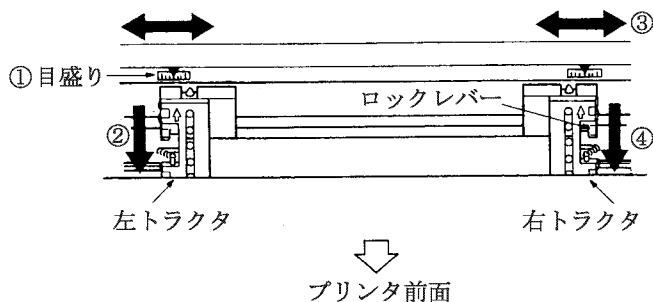
(ひとくちメモ) トラクタのロックレバー

- トラクタのロックレバーは、プリンタ前面から見て向こう側に倒すと「フリー状態」となり、トラクタを左右に動かすことができます。手前に倒すと「ロック状態」となって、トラクタが固定されます。



- 11) 左トラクタは用紙左端を目盛りの▼印に合わせ (①), ロックレバーを手前に倒し, トラクタを固定します (②). 右トラクタは用紙が軽く張るような位置に合わせ (③), トラクタを固定します (④).
(注意)

■16 インチの用紙は▼印に合いませんので, 最適位置にセットしてください.

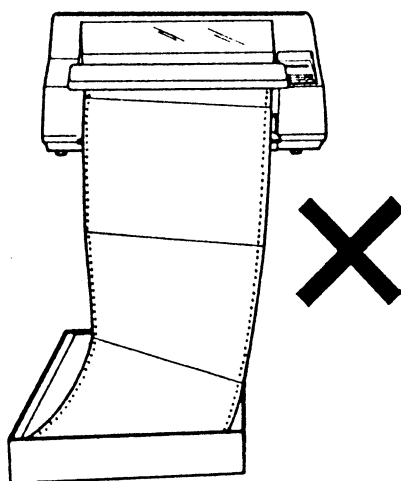


- 12) トラクタの用紙押え板が閉じていることを確認して, スタッカを元に戻します.
13) 用紙の印字位置を調整します. (用紙の横ミシン目が手差しトレイ左側の赤色ラインに合うように【微調送り△】スイッチ, 【微調送り▽】スイッチを押すこと)
「3.6.2 用紙の印刷位置合わせ (引っ張り印刷)」をご覧ください.
14) 【用紙セット】スイッチを押します. 用紙が自動的に印刷位置まで送られます.
15) 【スタート/ストップ】スイッチを押します.

操作パネルの「スタート/ストップ」ランプが点灯すればセット OK です.

(注意)

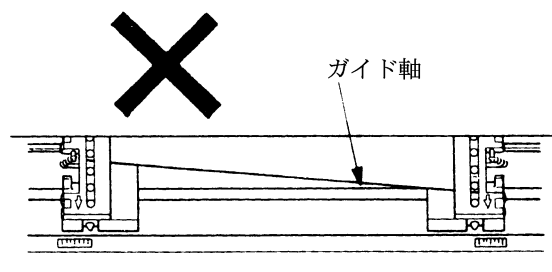
■印刷用紙は, 用紙セット位置に対しまっすぐに置いてください.



■用紙押え板はバネになっているので手をはさまないようにしてください.

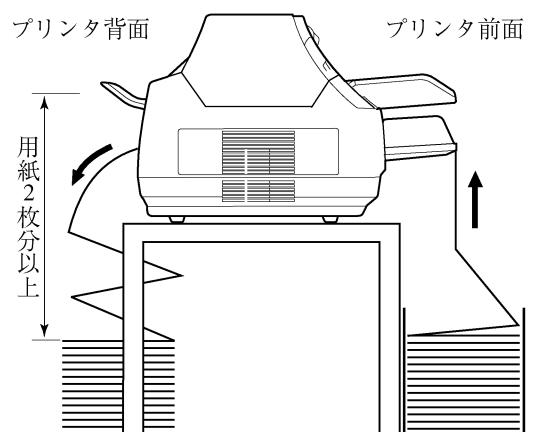
■スタッカは, トラクタの用紙押え板を閉じてから開いてください. (用紙押え板が破損します.)

■用紙はガイド軸に対し、平行にセットしてください。



■用紙がプリンタ置台等に引掛からないように注意してください。

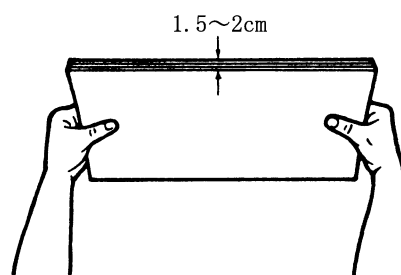
■プリンタの設置高さと、印刷済用紙の高さの差は用紙 2 枚以上、必要です。



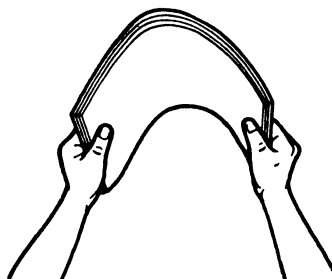
(3) 用紙のさばき方（自動給紙の場合）

単票用紙は、ダブルフィード（2～3 枚の用紙を同時に給紙してしまうミス）を防ぐために、用紙セットを行う前に以下の要領で用紙をよくさばいてください。

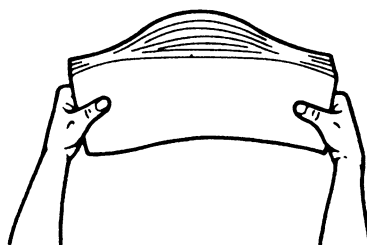
1) 両手で用紙を持ちます。



- 2) 用紙を湾曲させます.



- 3) そのまま湾曲を元に戻します.



(用紙間に空気が入ります.)

- 4) 1～3 を 2～3 回繰り返します.

用紙の向きを変えて 1～3 を, 2, 3 回繰り返します.

(注意)

■包装されている用紙の順序を変えて用紙をセットすると, 断層 (右図) ができます.

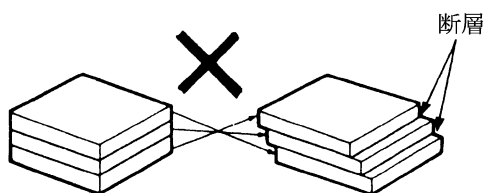
セットした用紙に断層があると, 用紙詰まりやダブルフィードの原因になることがあります.

■断層の見分け方

重ねた用紙の上に軽く力を加え, ゆっくりねじると, 断層境界面で用紙が分れます.

■断層の取り除き方

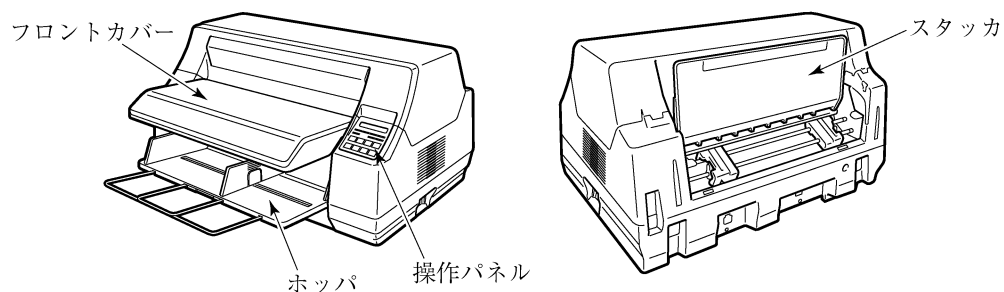
断層境界面の上下各 1 枚の用紙を取り除きます.



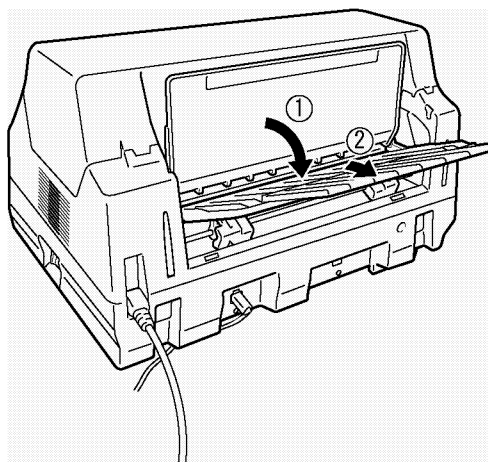
第 3 章 操作説明

(4) 自動給紙の場合（単票用紙）

A. 用紙のセット

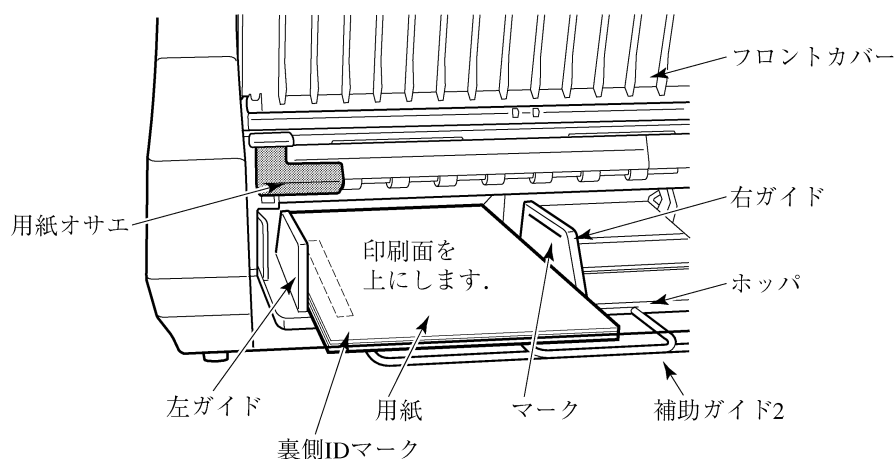


- 1) 操作パネルの「スタート/ストップ」ランプが消えていることを確認します。
点灯しているときは【スタート/ストップ】スイッチを押して消します。
- 2) 操作パネルの単票ランプが点灯していることを確認します。
消えているときは【用紙選択】スイッチを押してください。
- 3) トラクタの用紙押え板が閉じていることを確認して、スタッカを開きます (①, ②)。



- 4) フロントカバーをあけてよくさばいた用紙を下記の〔注意〕に従ってホッパに置きます。用紙が大きい場合には補助ガイド2を引き出してセットしてください。

裏側 ID マークを読ませる場合は、ID マークが裏面左側になるようにセットしてください。



(注意)

- ・ホッパへは右ガイド内側のマーク以上に用紙を積まないでください。枚数の目安は、連量 55kg の用紙（四六判用紙 1,000 枚で 55kg の重さ）で約 500 枚です。
- ・カール、しわ、折れ、破れなどがある用紙は使用しないでください。また、やむを得ずカールした用紙を使用する場合はカールを矯正して、ホッパへ積み量を少なめにしてください。
- ・処理が終了して次の用紙をセットするときは、いったん【スタート/ストップ】スイッチを押してストップ状態にした後、用紙をセットし再度【スタート/ストップ】スイッチを押してください。（サポートサーバ設定が 6680-NMC, HOST PRINT の場合は【機能】スイッチを押して停止状態にしてから用紙を設置してください。）
- ・用紙がホッパからはみ出る場合は補助ガイド2を引き出してください。
- ・用紙は継ぎ足さないでください。断層ができ、ダブルフィードの原因になります。
- ・新しい用紙を使用する場合は、用紙をよくさばってください。

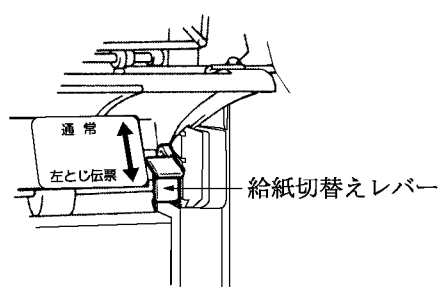
（参照）用紙のさばき方

- ・装置前方に取り付けられた用紙オサエの位置を変えた場合、給紙能力に影響がでますので、位置を変えたり取りはずしたりしないでください。
- ・A3 サイズの用紙を縦にセットする場合には、下記内容を注意願います。
 - ① 手挿入で処理するか、または、自動給紙する場合は、1 枚ずつホッパに用紙をセットしてください。
用紙をホッパに積んで連続処理させると用紙が手前にずれてきて、給紙しない場合があります。
 - ② スタッカに排出された用紙は、1 枚ずつ取り出してください。
薄手の用紙がスタッカに連続して排出されると、用紙が後方にずれてきて、スタッカから落ちる場合があります。

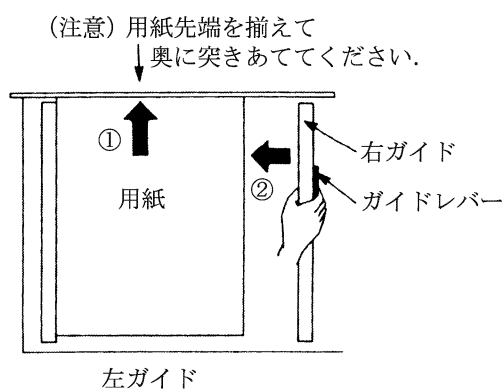
■給紙切替え機構

左とじ伝票を使用する場合には、手差しトレイ右下の給紙切替えレバー（緑色）を左とじ伝票の位置に合わせてください。

左とじ伝票以外に印刷する場合は通常の位置に合わせてください。

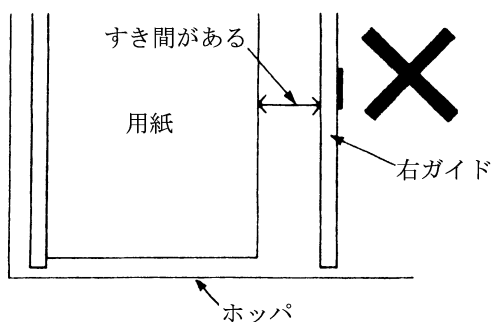


- 5) 右ガイドとガイドレバーを持ち用紙の右端に軽く触れる位置に右ガイドを合わせます。



(注意)

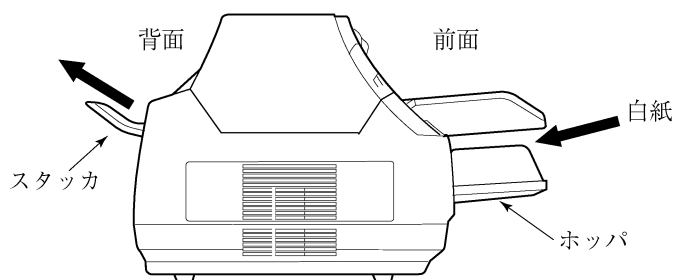
右ガイドと用紙の間にすき間がないようにしてください。



- 6) 【スタート/ストップ】スイッチを押します。操作パネルの「スタート/ストップ」ランプが点灯すれば用紙セット OK です。

■印刷中

- ・スタッカに排出された用紙は適宜取り出してください。スタッカの容量はホッパ最大積載量の半分程度です。スタッカに沢山積むと用紙が出にくくなり、用紙詰まりの原因になります。

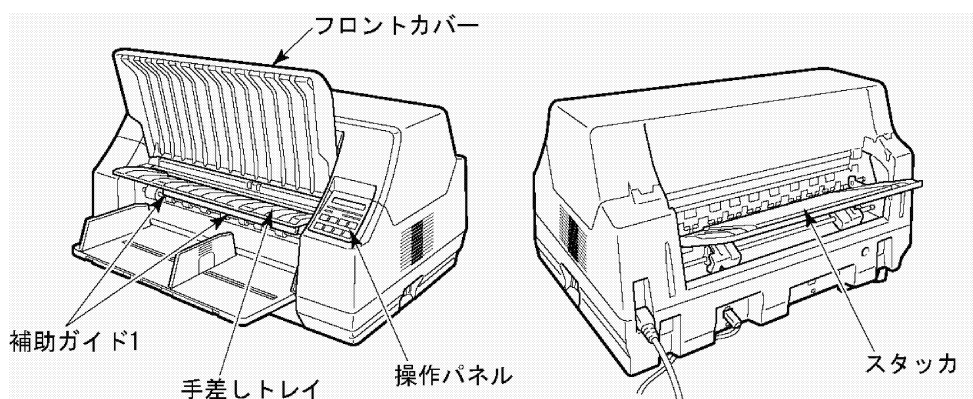


- ・自動給紙中、オフライン状態にしてからの逆改行操作は行わないでください。
用紙がたるむため、用紙づまりや印字乱れの原因となります。
- ・自動給紙中に手差しトレイに用紙をセットしないでください。
装置内に用紙が引き込まれてしまうため、用紙づまりの原因となります。

B. 用紙の取り外し方

単票用紙は、印刷が終わると自動的にスタッカに排出されます。もし、用紙詰まりが発生した場合は、「5.3 用紙づまり」をご覧ください。

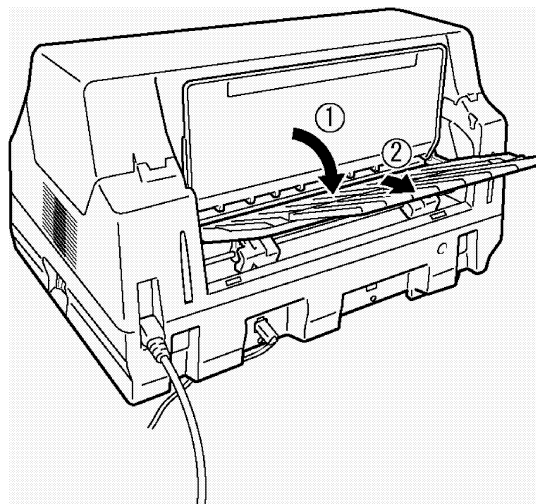
(5) 手挿入の場合（単票用紙）



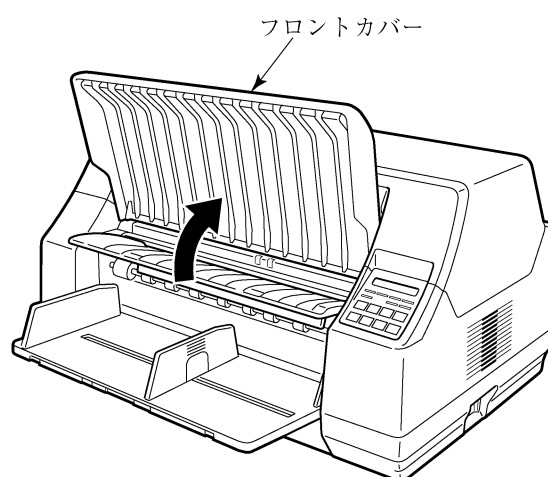
- 1) 操作パネルの「スタート/ストップ」ランプが消えているかを確認します。
(点灯しているときは【スタート/ストップ】スイッチを押して消します。)
- 2) 単票ランプが点灯していることを確認します。
(消えている場合は、【用紙選択】スイッチを押します。)

第 3 章 操作説明

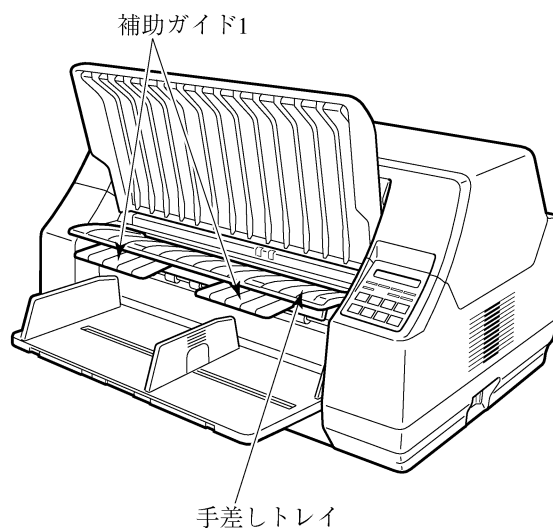
- 3) トラクタの用紙押え板を閉じて、スタッカを開きます。



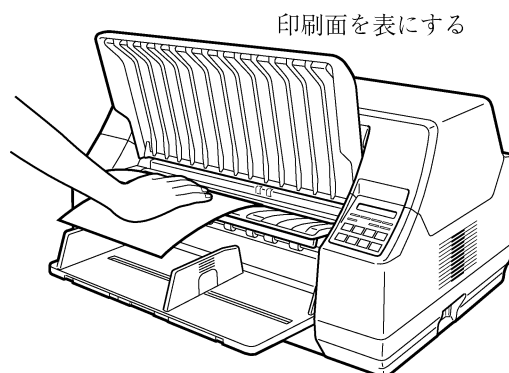
- 4) フロントカバーを上げます。



- 5) 長い用紙のときは、手差しトレイの補助ガイド1を引き出します。



- 6) 【スタート/ストップ】スイッチを押します。
(「スタート/ストップ」ランプが点灯します.)
(注意) 手差しトレイに排出された用紙がないことを確認してからオンライン状態にしてください。
- 7) 印字データを送ると液晶ディスプレイに“テサシ ニ ヨウシ ヲ セット”と表示されます。
- 8) 用紙を手差しガイドにそってゆっくりと用紙先端がローラに突きあたるまで押し込みます。用紙は自動的に印字開始位置まで送られ、印字を開始します。
裏側 ID マークを読ませる場合は、ID マークが裏面左側になるようにしてください。



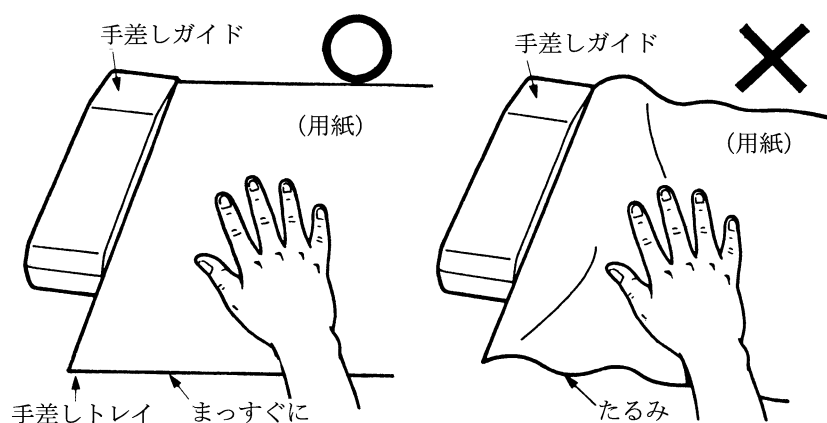
(注意)

■手差し口に単票をセットした後に、連帳から単票の切り換えを行うと、単票が切り換え動作によりセット位置から外れてしまうために吸入ジャムが発生しますので注意してください。

液晶ディスプレイに“テサシ ニ ヨウシ ヲ セット”と表示されてから手差し口に単票をセットしてください。

■正しい用紙の押え方

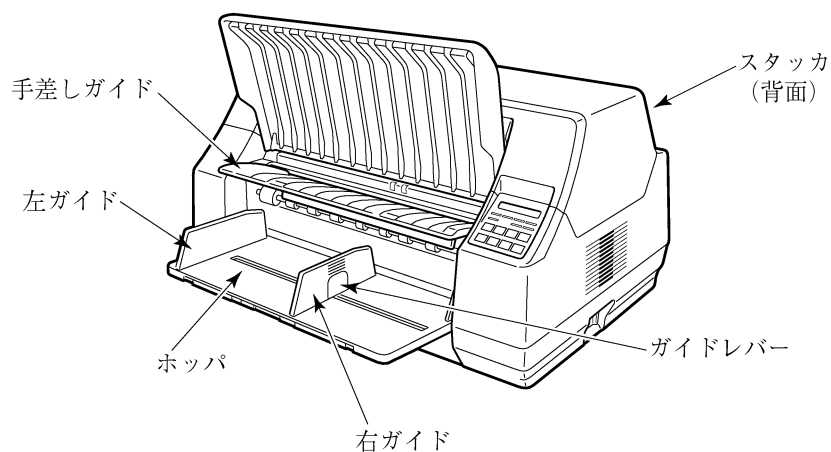
- ・ 用紙を挿入するときは、用紙がたるんだり、手差しガイドから離れたり、斜めになったりしないようにご注意ください。
- ・ 用紙が自動的に装置内に送り込まれる迄、用紙を押えてください。



■A3を使用する場合の注意事項

- ・ スタッカに排出された用紙を1枚ずつ取り出してください。
用紙がスタッカに連続して排出されると用紙が後方にずれてきて、スタッカから落ちる場合があります。

(6) はがき・往復はがき（官製はがき相当）のセット



挿入方向は、使用するプログラムによって使い分けてください。

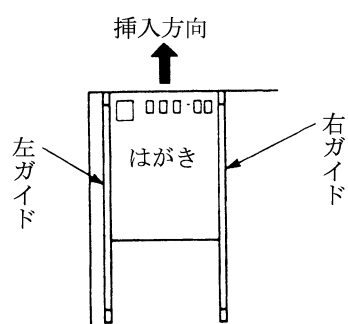
A. 自動給紙の場合

はがきをよくさばいてセットしてください。(参照) 用紙のさばき方

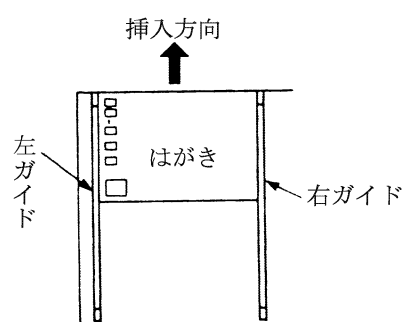
はがき

挿入方向を確認して、ホップの上にのせます。

(縦)



(横)

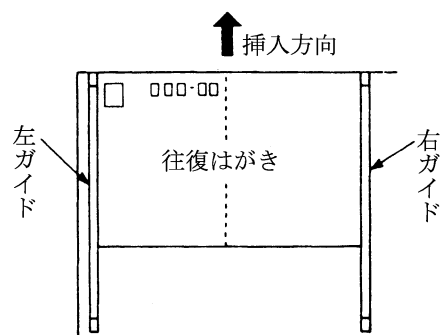


第3章 操作説明

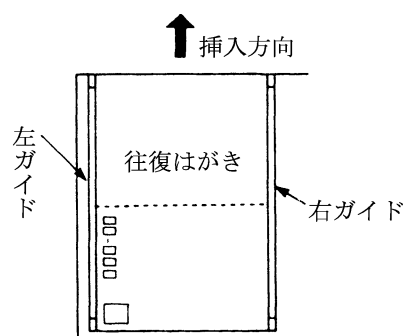
往復はがき

挿入方向を確認して、ホップの上にのせます。

(縦)



(横)



(注意)

- はがきに折り目のついているものや、破れているものは使用しないでください。
- 左右ガイドとはがきとの間にすき間があると郵便番号が枠からはみ出して、郵便番号読み取り装置での読み取りができなくなります。
- 使用できるはがきの規格については、「第6章 用紙仕様および帳票設計」をご参照ください。

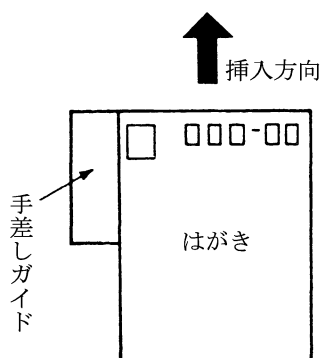
B. 手挿入の場合

手差しガイドとはがきとの間に、すき間がないようにセットしてください。

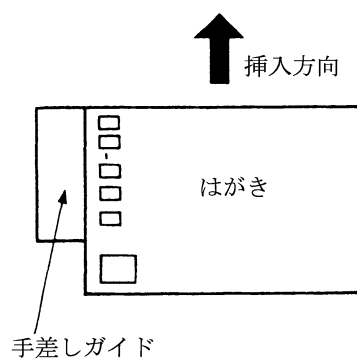
はがき

挿入方向を確認して、手差しトレイの上にのせます。

(縦)



(横)

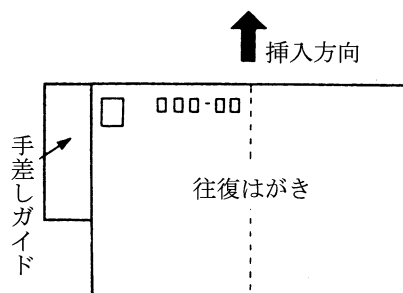


第3章 操作説明

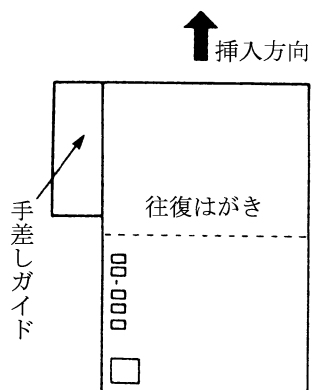
往復はがき

挿入方向を確認して、手差しトレイの上にのせます。

(縦)



(横)



(注意)

■挿入方向は正しく入れてください。

手差しガイドとはがきとの間にすき間があると、郵便番号が枠からはみ出して、読取り装置での読取りができなくなります。

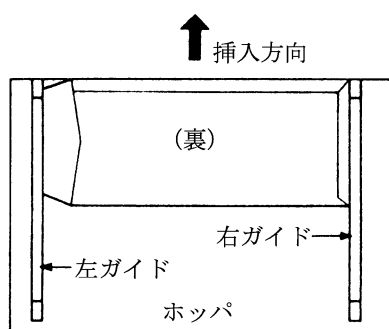
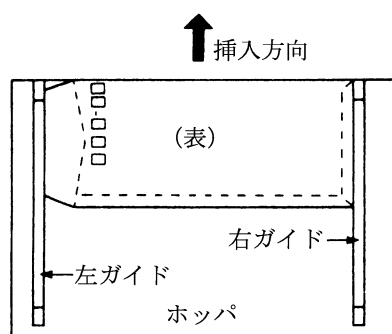
■はがきに折り目のついているものや、破れたものは、使用しないでください。

(7) 封筒のセット

A. 自動給紙の場合

封筒をよくさばいてホッパの左右ガイドと封筒の間にすき間がないようにセットしてください。

- 1) 挿入方向を確認してホッパをセットしてください。

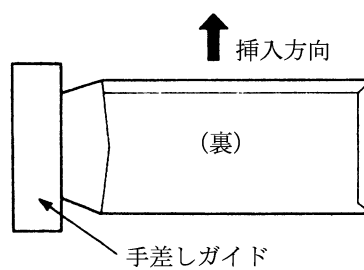
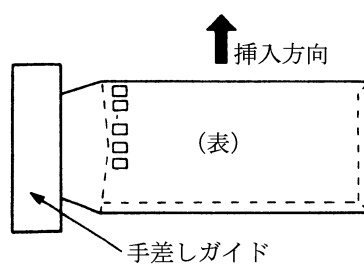


(注意) 給紙ミスや印刷の傾きが発生する場合は、セットアップ設定の封筒モードを使って「オン」に設定してください（「3.3.3 セットアップの設定内容」を参照）。

B. 手動給紙の場合

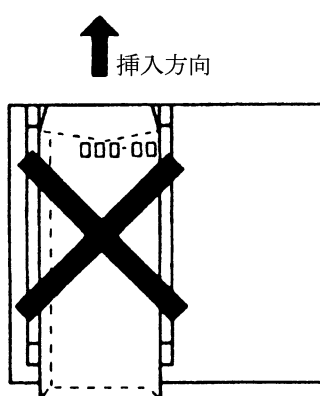
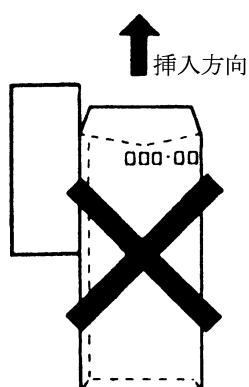
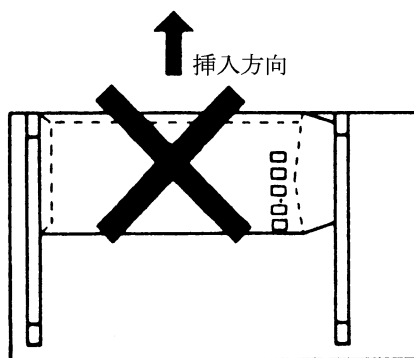
封筒と手差しガイドの間にすき間がないようにセットしてください。

- 1) 挿入方向を確認して手差しトレイにセットしてください。



(注意)

- 自動給紙の場合、一度にセットする枚数は、50枚以下にしてください。
- 挿入方向を間違えると、印刷が乱れたり、プリンタの故障原因となります。
- 以下のようなセットは、行わないでください。



- 使用できる封筒の規格については「第6章 用紙仕様および帳票設計」をご参照ください。

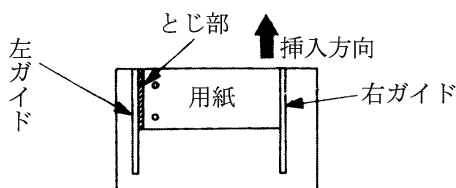
(8) 横とじ媒体のセット

横とじ媒体の場合、用紙の挿入方向が決められています。

A. 自動給紙の場合

セットする用紙をさばき、ホッパの左右ガイドと用紙のすき間がないようにセットしてください。

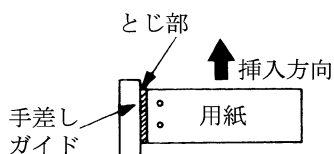
- 1) ピックローラ右横の緑色の給紙切替えレバーを「左閉じ伝票」側に倒します。
- 2) とじ部が左になるようにセットします。



B. 手挿入の場合

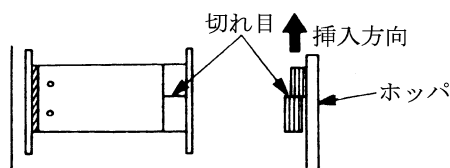
手差しガイドと用紙の間に、すき間がないようにセットします。

挿入方向を確認して、手差しトレイにセットしてください。



(注意)

- 用紙のカールを十分矯正してセットしてください。矯正不十分の場合、用紙ジャムや斜向の原因となります。
- ホッパ右ガイドは軽く用紙右端につき当ててください。必要以上に押し付けると、用紙のエッジが、ローラのエッジと干渉し、ジャムや斜向の原因となります。
- 用紙右端に切れ目の入った媒体を使用する時は、用紙の切れ目が次の用紙をひっかけ、ジャムや斜向の原因となります。用紙送りに支障のないよう、用紙を矯正して使用してください。



3.6.2 用紙の印刷位置合わせ

連帳用紙のセットのあと、正しい印刷位置にない場合は位置合わせが必要です。

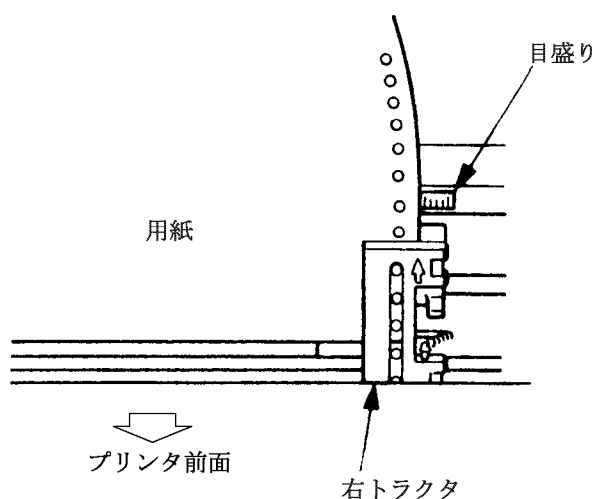
単票用紙の位置合わせは不要です。(単票用紙の印刷がずれていたら、担当保守員にご連絡ください。)

(1) 押し込み印刷の場合

A. 左右合わせ

- 1) 「スタート/ストップ」ランプが消えている状態で【用紙退避】スイッチを押します。
(用紙が後退します。)
- 2) ロックレバーを向こう側に倒して、トラクタをフリー状態にします。
- 3) 印刷位置の左右合わせは、目盛りを目安にトラクタを左右に微調整して行ってください。
(注意)

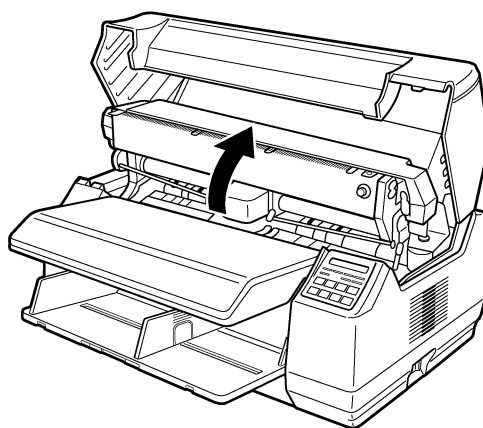
■幅 16 インチの用紙の右端は▼印に合いませんので、最適位置にセットしてください。



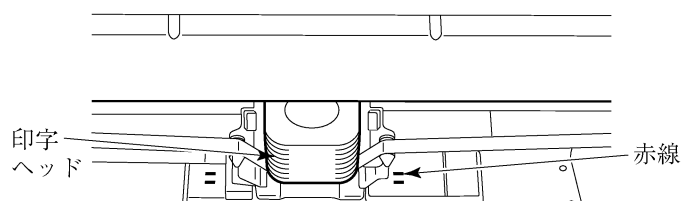
- 4) ロックレバーを手前に倒して、トラクタを固定します。
- 5) 【用紙セット】スイッチを押します。
(用紙が手前に送られます。)

B. 行合わせ

- 1) トップカバーを開けます。



- 2) オフライン状態にして，【微調送り△】スイッチ，【微調送り▽】スイッチを押して，2 本の赤線
の間に印字 1 行目がくるように印刷位置を合わせます。



(ひとくちメモ)

【微調送り△】スイッチは 1/120 インチ向う側へ，【微調送り▽】スイッチは 1/120 インチ手前へ微調整ができます。それぞれ押し続けると，連続して進みます。

(注意)

- 行合わせのときは，用紙を多めに向う側（プリンタ背面）へ戻してから，少しずつ前（プリンタ前面）に送りながら合わせてください。向う側へ戻しながら合わせると用紙がたるみ，トラクタピンや紙送り機構の遊びができ，きれいにセットされない場合があります。
- 複写用紙で，上の用紙と下の用紙の先端にズレがある場合は，連帳用紙の自動セットのときに，上の用紙の印刷位置がずれる場合がありますので，行合わせを行って印刷位置を合わせてください。

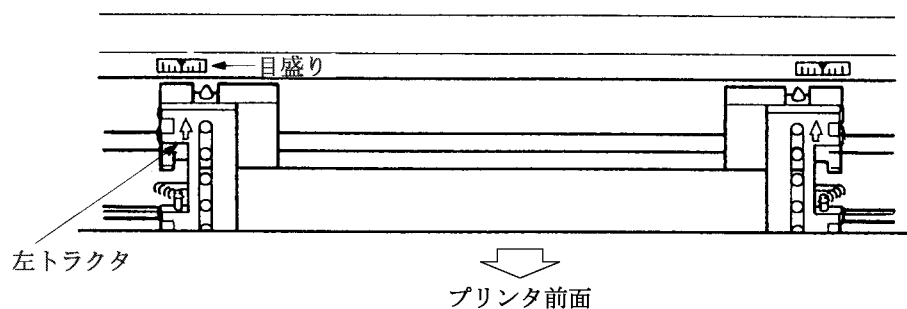
(2) 引っ張り印刷の場合

A. 左右合わせ

- 1) 「スタート/ストップ」ランプが消えている状態にします。
- 2) ロックレバーを向こう側に倒して、トラクタをフリー状態にします。
- 3) 印刷位置の左右合わせは、目盛りを目安にトラクタを左右に微調整して行ってください。

(注意)

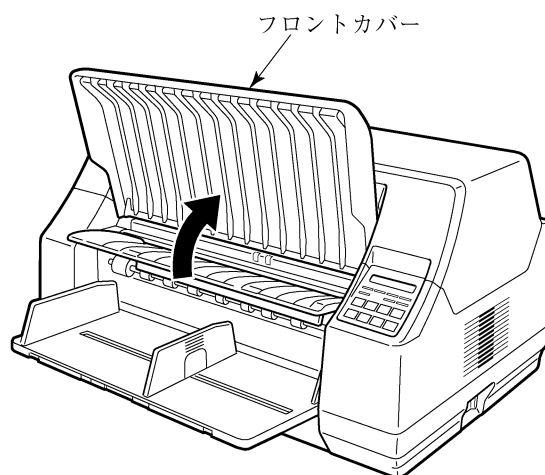
■幅 16 インチの用紙の左端は▼印に合いませんので、最適位置にセットしてください。



- 4) ロックレバーを手前に倒して、トラクタを固定します。

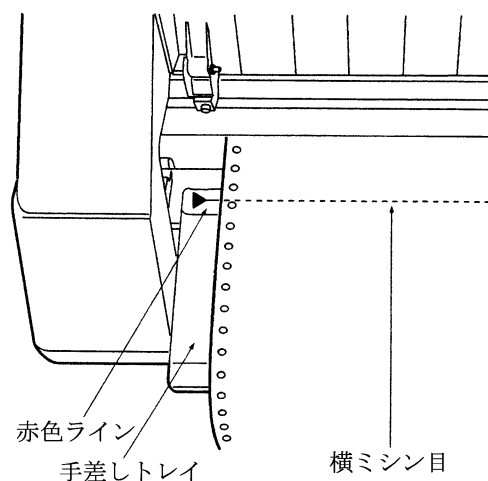
B. 行合わせ

- 1) フロントカバーを上げます。



第3章 操作説明

- 2) オフライン状態にしてから【▽微調送り】、【△微調送り】スイッチを押して、用紙の横ミシン目を手差しトレイ左側の赤色ラインに合わせます。



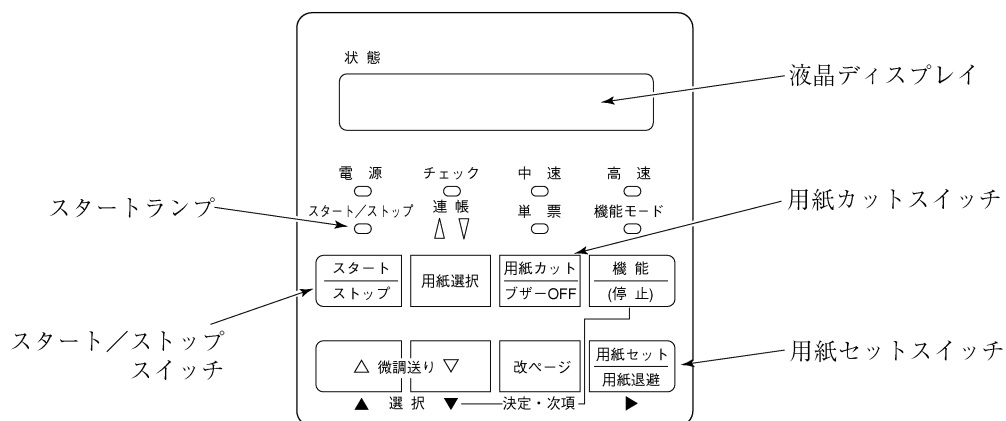
(ひとくちメモ)

【微調送り△】スイッチは1/120インチ向う側へ、【微調送り▽】スイッチは1/120インチ手前へ微調整ができます。それぞれ押し続けると、連続して進みます。

(注意) 行合わせのときは、用紙を多めに手前（プリンタ前面）へ戻してから、少しずつ奥（プリンタ背面）に進ませながら位置を合わせてください。手前へ戻しながら合わせると用紙がたるみ、トラクタピンや紙送り機構の遊びができ、きれいにセットされない場合があります。

3.6.3 用紙の取外し方

(1) 押し込み印刷の場合（連続帳票用紙）



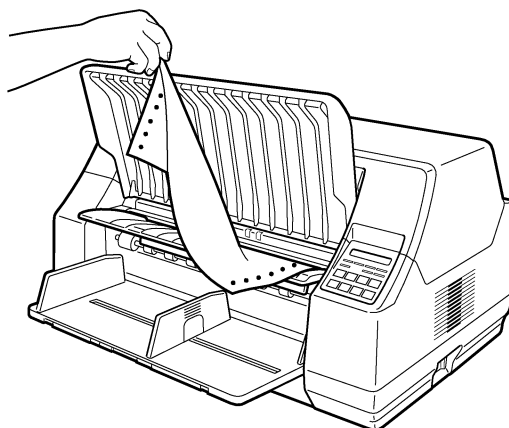
＜1 インチカット方法＞（「スタート/ストップ」ランプが消灯しているときに使用できます。）

用紙を切るとき、「1 インチカット機能」を使うことができます。「1 インチカット機能」を使うと用紙を切り取ったあと、スイッチ1つで自動的に用紙が印刷位置まで戻るのので用紙がムダになりません。

- 1) 【スタート/ストップ】スイッチを押してオフライン状態にしてから、【用紙カット】スイッチを押します。

（用紙が少し手前へ進みます。）

- 2) フロントカバーを上げ、ミシン目で用紙をめくるようにカットします。

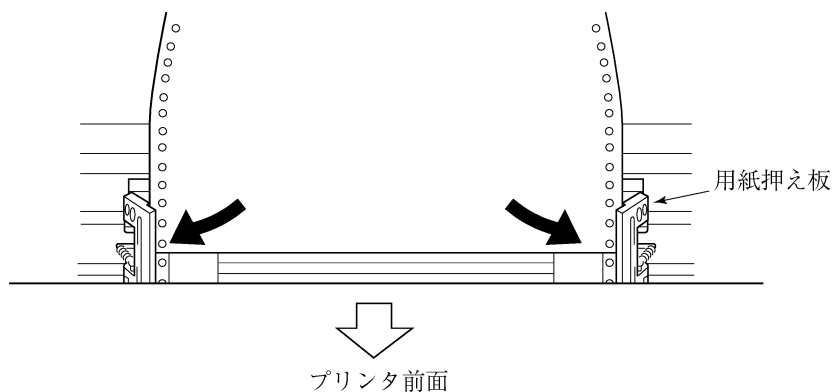


- 3) 【用紙カット】スイッチを押すと用紙が元に戻ります。
【スタート/ストップ】スイッチを押してオンライン状態にします。

第3章 操作説明

用紙を取り外すには、1インチカットを行ったあとで次の4～7を行います。

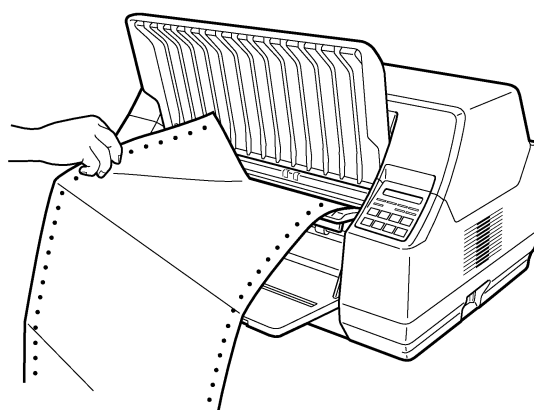
- 4) 【スタート/ストップ】スイッチを押します。
(「スタート/ストップ」ランプが消えます。)
- 5) 【用紙退避】スイッチを押します。
(用紙が後退します。)
- 6) 用紙押え板を開き、用紙を取り外します。



- 7) 用紙押え板を閉じます。

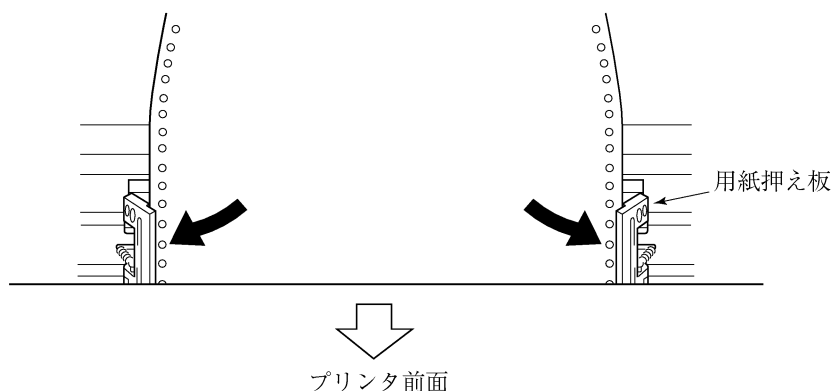
(2) 引っ張り印刷の場合（連続帳票用紙）

- 1) 「スタート/ストップ」ランプが消えているか確認します。
(点灯しているときは【スタート/ストップ】スイッチを押して消します。)
- 2) 連続用紙を手前のミシン目で切ります。



- 3) 【改ページ】スイッチを押して用紙をプリンタ背面へ送ります。

- 4) 用紙押え板を開き用紙を取り外します。



- 5) 用紙押え板を閉じます。

(注意) 【改ページ】スイッチを押し続けると、用紙は用紙押え板から抜けます。

その後、引き続き引っ張り印刷を使用する場合、用紙をセットする前に必ず【用紙セット】スイッチを押してください。

(3) 単票用紙の場合

単票用紙は印刷が終わると、自動的に排出します。もし、用紙が排出されないときは、「5.4 用紙づまり」をご参照ください。

3.6.4 連帳用紙と単票用紙を交互に使うには

(1) 連帳用紙を単票用紙に切り替える場合

A. 押し込み印刷の場合

連帳用紙をトラクタにセットしたままで、単票用紙のセットが可能です。(単票用紙を使用後、連帳用紙をセットするときは、【用紙選択】スイッチを押すだけです。)

- 1) 連帳用紙を退避させます。

3.6.3 (1) 用紙の取り外し方(押し込み印刷)の1~5を行います。
- 2) 単票用紙をセットします。
 - ・自動給紙→3.6.1 (4) 自動給紙の場合
 - ・手挿入 →3.6.1 (5) 手挿入の場合

B. 引っ張り印刷の場合

- 1) 連帳用紙を取り外します。

3.6.3 (2) 用紙の取り外し方(引っ張り印刷)を行います。
- 2) 単票用紙をセットします。
 - ・自動給紙→3.6.1 (4) 自動給紙の場合
 - ・手挿入 →3.6.1 (5) 手挿入の場合

(2) 単票用紙を連帳用紙に切り替える場合

- 1) ホッパ，手差しトレイ，スタッカに残っている単票用紙を取り除きます．
- 2) 【スタート／ストップ】スイッチを押して，オフライン状態にします．
- 3) 【用紙選択】スイッチを押して，押し込み印刷を行うときは「▽」ランプを，引っ張り印刷を行うときは「△」ランプを点灯させます．
- 4) 連帳用紙をセットします．(3.6.1 (1)，(2)項参照)

第4章 リボンカセット・インクリボンの交換

4.1 リボンカセットとインクリボンについて

リボンカウント値が、設定されているリボンライフ値を超えると、LCDに“*”が表示されます。

(セットアップモード参照)

機能モードにてリボンカウントリセットを行うまで、“*”は表示され続けます。

00	オンライン	*
----	-------	---

90	オフライン	*
----	-------	---

印字結果に問題がある場合は、すみやかにインクリボンを交換してください。

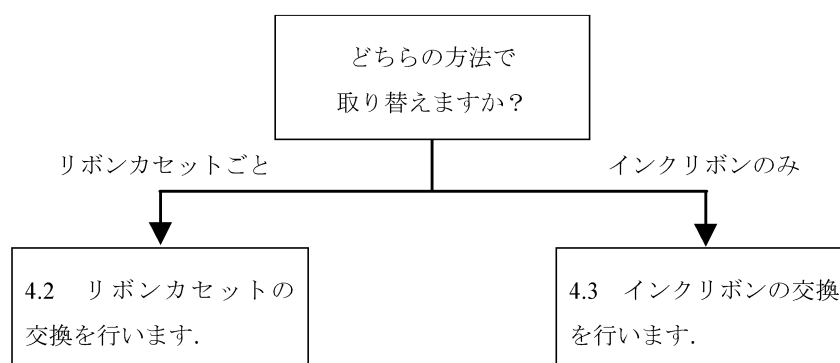
インクリボンを取り替えるには、二通りの方法があります。

① インクリボンだけ（サブカセット）を取り替える方法

安価ですが、リボンカセットの中のゴムローラなどが自然摩耗しますのでインクリボンだけの交換回数は、5回までが限度です。

② リボンカセットごと取り替える方法

手が汚れずにすみ、簡単です。



富士通コワーコ(株)よりサプライ用品として購入できます。

品 名	商 品 番 号	備 考
リボンカセット MPP6	0325830	
サブカセット MPP6	0325840	インクリボンのみ

(注意)

■リボンカセット及びサブカセットは必ず純正品をご使用ください。純正品以外のものをご使用になりますと、リボンがうまく動かなかったり、印字品質不良、印字ヘッドの寿命が短くなるなどの障害となりますので、純正品以外のものの使用は避けてください。

■インクリボンの継ぎ目部で印字した際に、その部分では印字がかすれる場合があります。

第4章 リボンカセット・インクリボンの交換

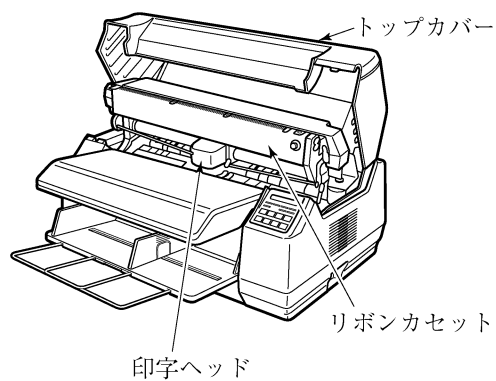
●インクリボンの廃棄

使用済の消耗品は、法令・条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします。

お客様が処理業者に処理を委託する場合で、(財)日本産業廃棄物処理振興センターが発行するマニフェスト伝票（産業廃棄物管理表）への記載が必要となった場合に、下記に本消耗品の種類・特性などを示しますので、伝票記載時の参考にしてください。

消耗品内訳	マニフェスト情報			
名 称	種 類	形 状	重金属等有無	特 性
リボン カートリッジ	廃プラスチック 繊維くず 金属くず	固 形	無 し	—

4.2 リボンカセットの交換



- 1) 電源を切ります。

印刷の途中で交換する場合は、印刷が止まった時点から印字ヘッドがリボン交換位置に移動するまで待ちます。(約5秒間)

(注意) 単票用紙印刷中に【スタート/ストップ】スイッチを押下して、オフライン状態にした場合、印字ヘッドがリボン交換位置に移動しません。

単票用紙を印刷している場合は、印刷が終了してからリボン交換を行ってください。

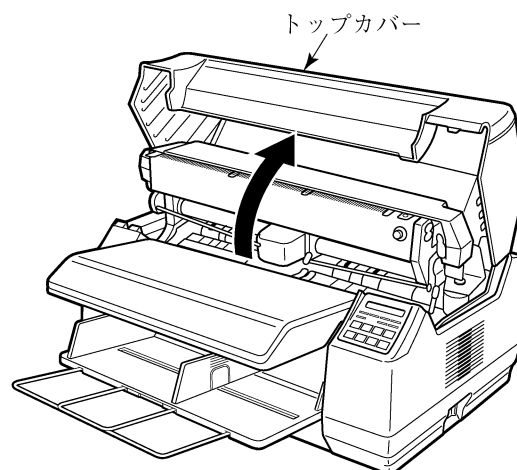
⚠ 警告



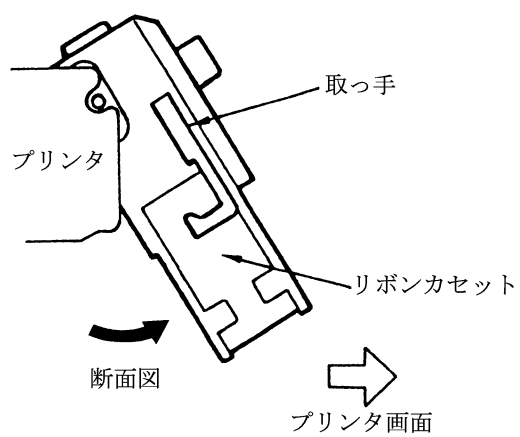
- ・印字ヘッドを手で持ってリボン交換位置に移動しないでください。火傷のおそれがあります。
- ・印字ヘッドのカバーを外さないでください。内部が高温となっています。

第4章 リボンカセット・インクリボンの交換

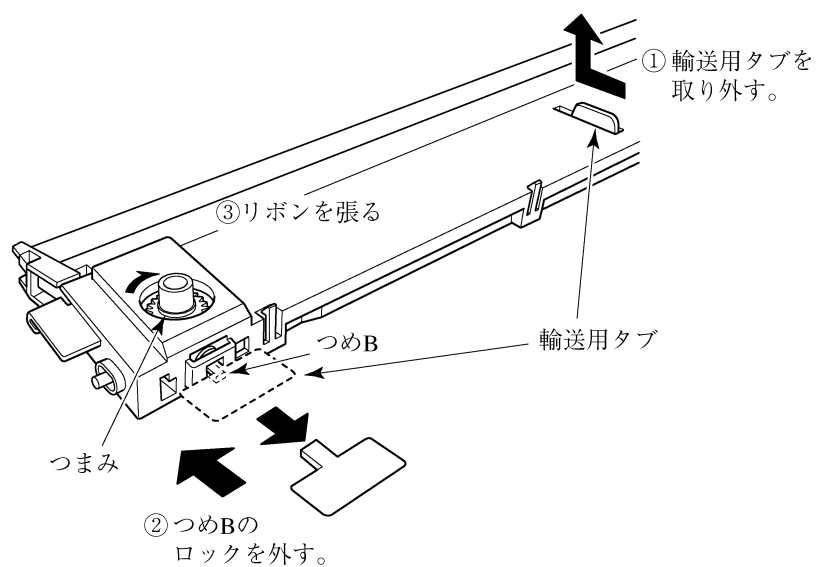
- 2) トップカバーを開きます。



- 3) リボンカセットの左右にある取っ手を手前に回転するように引いて、カセットを外します。

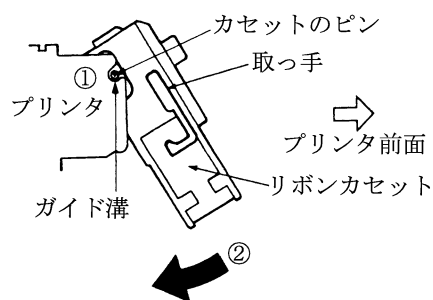


- 4) ①②③の順で新しいリボンカセットを準備します。



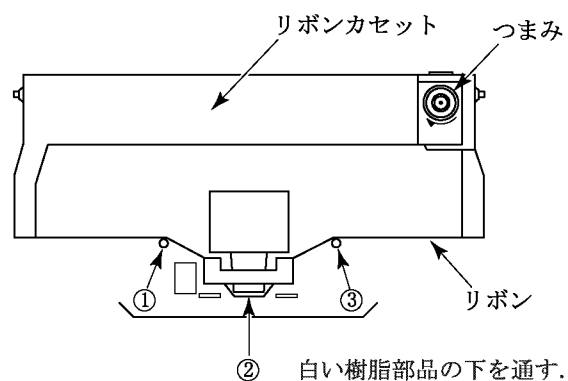
(注意) 輸送用タブをすべて取り外した後は、リボンが乱れないよう丁寧に取り扱いってください。

- 5) カセットのピンをプリンタの左右にあるガイド溝に合わせ (①), カセットを下側へ倒して取り付けます (②)。

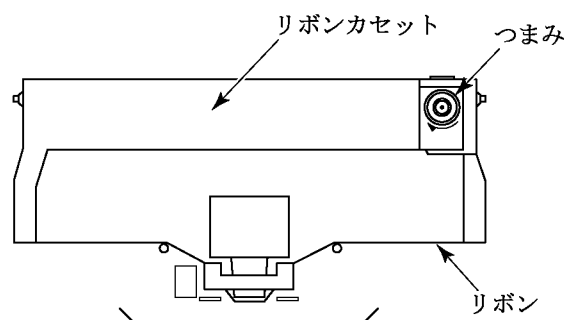


第4章 リボンカセット・インクリボンの交換

- 6) リボンを少したるませてから、①②③のルートで印字ヘッドにリボンをかけます。



- 7) リボンカセットのつまみを回してリボンのたるみをとります。

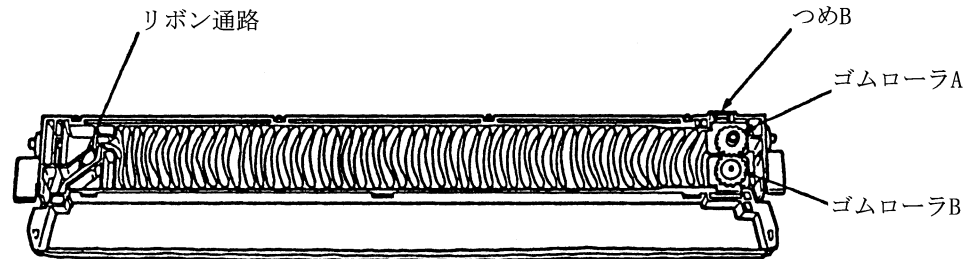


- 8) トップカバーを閉じます。

- 9) リボンカウントリセットを行います。

- (1) オフライン状態で【機能】スイッチを押して機能モードに入ります。（「機能モード」ランプ点灯）
- (2) 【決定・次項】スイッチを押していき，“リボンカウントリセット：シナイ”を液晶ディスプレイに表示させます。
- (3) 【選択▲／▼】スイッチを押して，“リボンカウントリセット：スル”を選択した後，【決定・次項】スイッチを押します。
- (4) 【機能】スイッチを押すと，機能モードを終了します。（「機能モード」ランプ消灯）

4.3 インクリボン（サブカセット）の交換



(リボンカセットのふたを外した状態)

- 1) 電源を切ります。

印刷の途中で交換する場合は、印刷が止まった時点から印字ヘッドがリボン交換位置に移動するまで待ちます。(約5秒間)

(注意) 単票用紙印刷途中に【スタート/ストップ】スイッチを押下して、オフライン状態にした場合、印字ヘッドがリボン交換位置に移動しません。

単票用紙を印刷している場合は、印刷が終了してからリボン交換を行ってください。

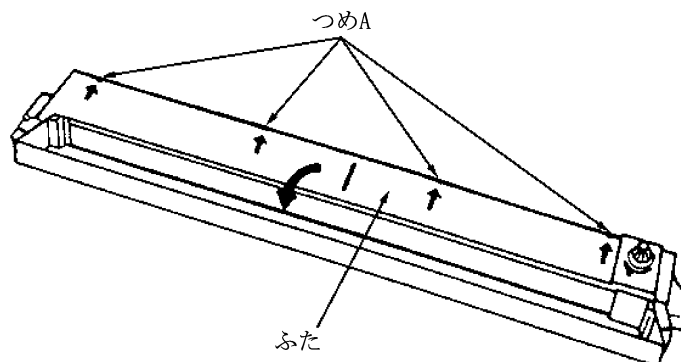
▲警告  高温注意	・印字ヘッドを手で持ってリボン交換位置に移動しないでください。火傷のおそれがあります。 ・印字ヘッドのカバーを外さないでください。内部が高温となっています。
---	---

- 2) リボンカセットを取り外します。

(参照) 4.2 リボンカセットの交換

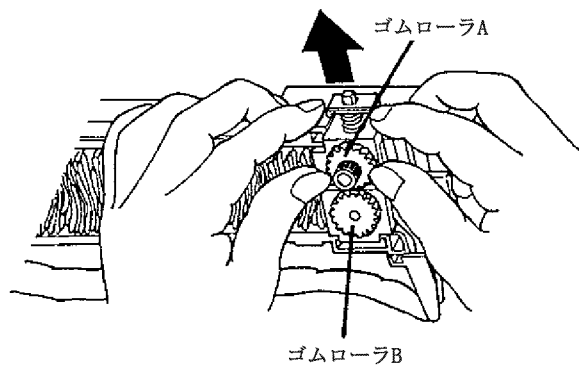
(操作2～4)

- 3) リボンカセットのつまみA (4ヶ所) のロックを外し、カセットのふたの左右をもって、矢印の方向に引き、カセットケースから外します。

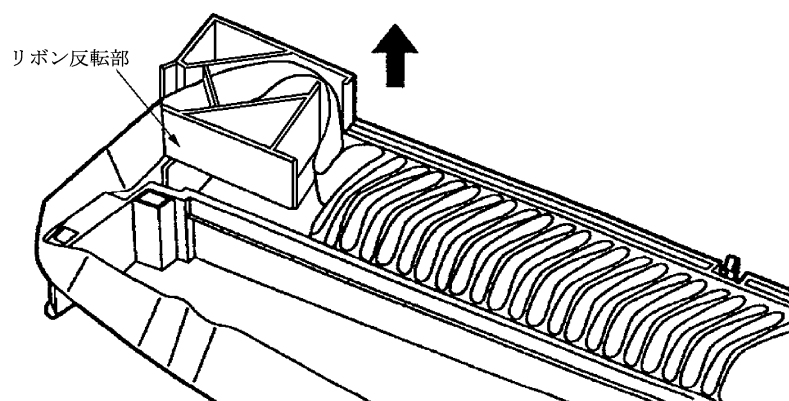


第4章 リボンカセット・インクリボンの交換

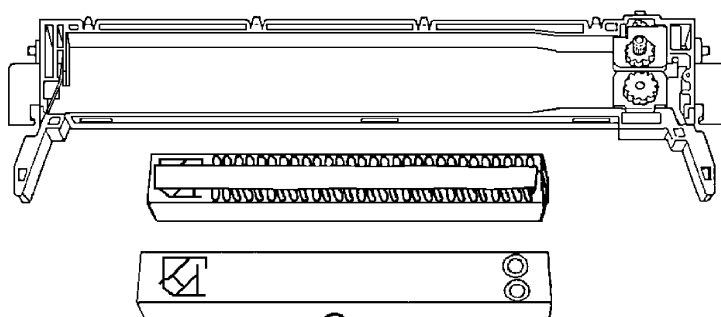
- 4) ゴムローラ A を向う側にカチッというまで押します。
(ゴムローラ A とゴムローラ B の間に隙間ができます。)



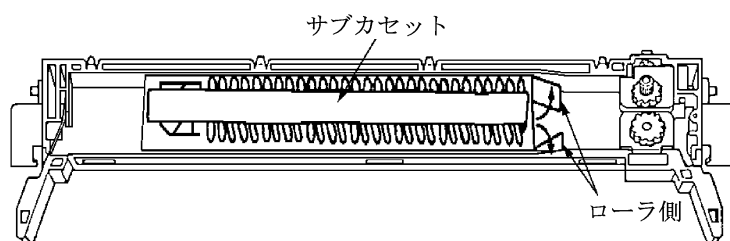
- 5) リボン反転部を上方に引き抜き、古いインクリボンと一緒に取り出します。



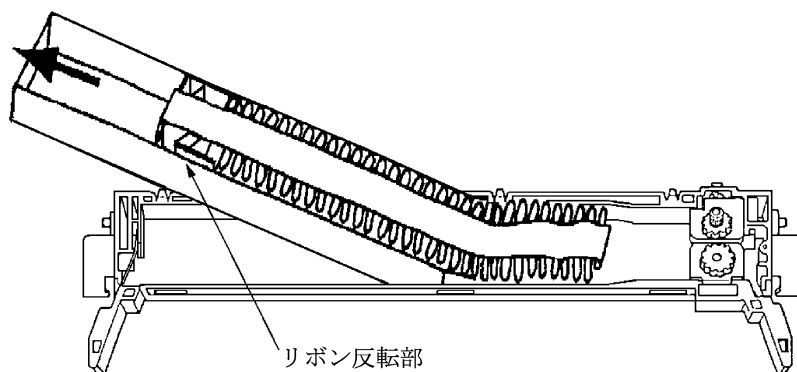
- 6) サブカセットの上箱を取ります。



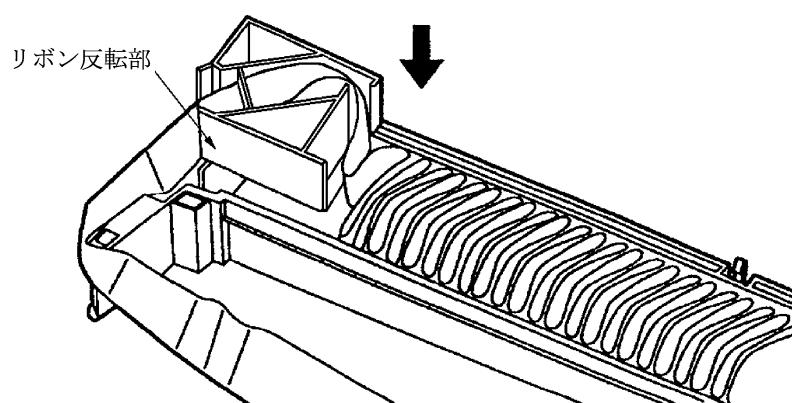
- 7) サブカセットをリボンカセットの中央に置き、サブカセットのローラ側折り部を開きます。



- 8) サブカセットのリボン反転部側を持ち上げて、リボンをカセットケース内に流し込みます。
リボンを少し流し込んだ後は、サブカセット底箱をゆっくりと少しずつ左に引いて抜き取ります。

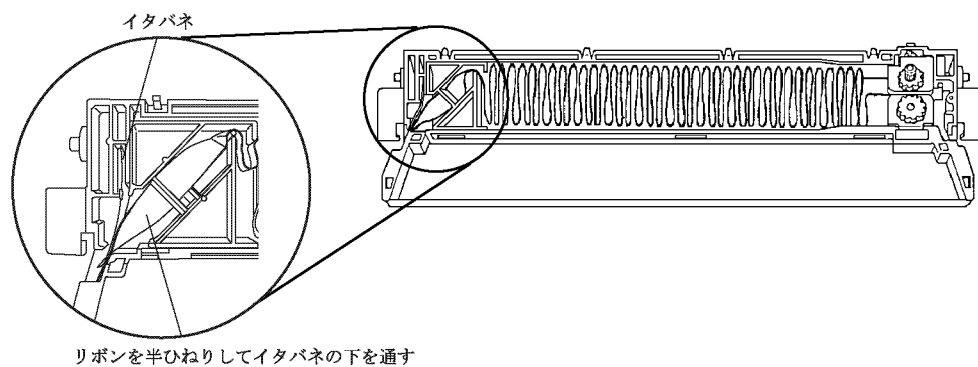


- 9) リボン反転部をカセットケースの左側収納部にはめ込みます。

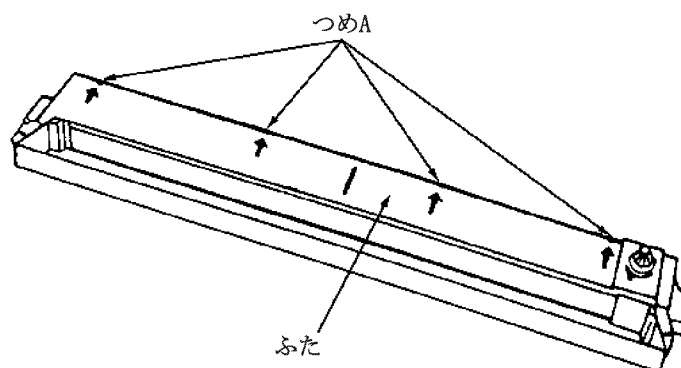


第4章 リボンカセット・インクリボンの交換

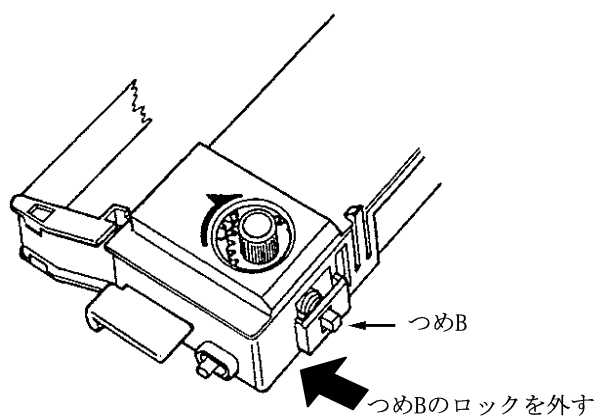
- 10) リボンカセットにインクリボンを下図のように通します。



- 11) リボンカセットのふたをカセットケースに取り付けます。
(4つのつめがきちんと合っているか確認してください。)

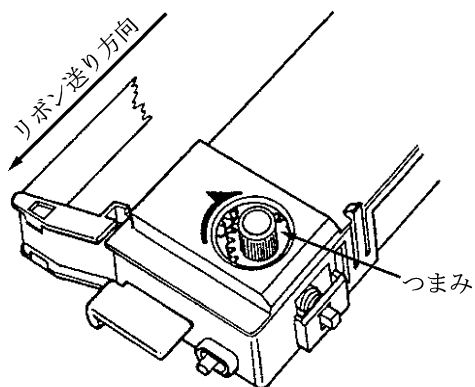


- 12) つめBのロックを外して、ローラAとローラBの隙間を閉じます。
(カチッと音がします。)



- 13) カセットのつまみを矢印方向に（時計方向）に2～3回転させ、リボンがスムーズに動くことを確認してください。

（カセットのつまみは反対方向に回さないでください。）



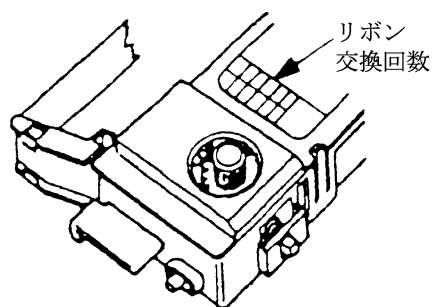
- 14) リボンカセットを取り付けます。

（参照）4.2 リボンカセットの交換

（操作5～8）

（注意）

- サブカセットのセット方向にご注意ください。
- サブカセットは5回まで交換できます。それ以上はリボンカセットごと交換してください。
- サブカセットを交換したら、リボンカセットケースの交換回数のところへ「○」を付けてください。



- インクリボンはねじったり折れたりしないように取り扱いってください。
- 古いリボンを取り出すとき、手が汚れますので添付の手袋をご利用ください。

第4章 リボンカセット・インクリボンの交換

- 15) リボンカウントリセットを行います。
 - (1) オフライン状態で【機能】スイッチを押して機能モードに入ります。（「機能モード」ランプ点灯）
 - (2) 【決定・次項】スイッチを押していき，“リボンカウントリセット：シナイ”を液晶ディスプレイに表示させます。
 - (3) 【選択▲／▼】スイッチを押して，“リボンカウントリセット：スル”を選択した後，【決定・次項】スイッチを押します。
 - (4) 【機能】スイッチを押すと，機能モードを終了します。（「機能モード」ランプ消灯）

第 5 章 異常発生時の操作

本章では、本装置が故障かなと思ったときの処置および異常メッセージが表示されたときの操作について説明します。

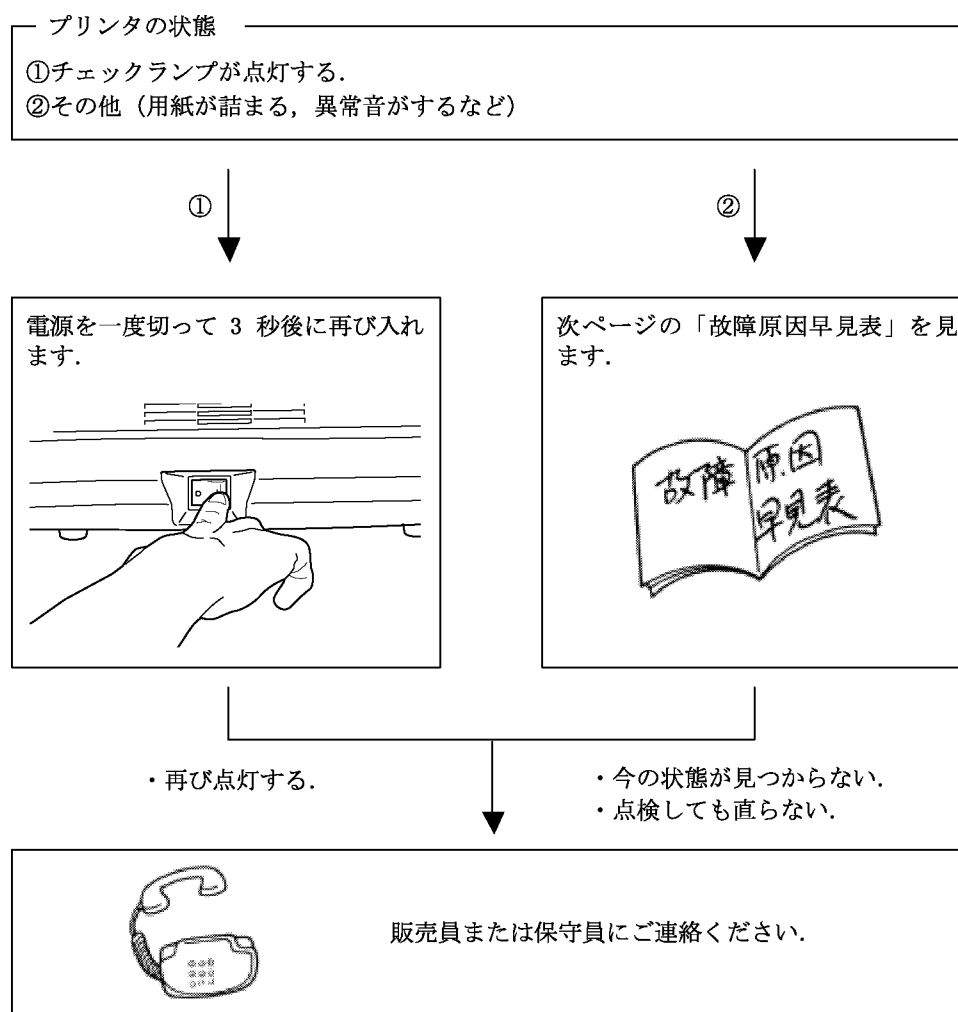
(注意) 装置に異常が発生し、操作パネルの液晶ディスプレイに異常メッセージが表示されると、用紙の位置がずれている可能性があります。

異常発生後、オンライン状態にする前に、必ず印字開始位置の確認をしてください。

5.1 異常と思ったら

「プリンタの動きがいつもと違っている」というときがあります。

そんなときの対処方法をご説明します。



故障原因早見表

ここをお調べ ください こんなときは 電源が入らない 印字がおかしい 用紙が汚れる 用紙送りがおかしい 異常音が出る 「チェックランプ」が点滅 参 照 先	電源プラグが抜けている	○																電源プラグを入れます	対 策
	メインブレーカが落ちている 停電	○																メインブレーカを上げます	
	本体の電源が入っていない	○																本体の電源を入れます	
	リボンカセットが正しくセット されていない		○		○													正しくセットします	
	送り穴に正しくセットされてい ない（連帳用紙）					○												正しくセットします	
	用紙の置き場所が正しくない					○												正しくセットします	
	用紙をよくさばいていない					○												用紙をよくさばきます	
	プリンタの内部にゴミなどの異 物が入っている							○										ゴミを取り出します	
	用紙が詰まっている					○		○		○								用紙を取り除きます	
	用紙が規格外である					○												規格内の用紙を使用してください	
	用紙切れである									○								用紙をセットします	
	用紙が後退している （連帳・押込み印刷）							○										【用紙セット】スイッチを 押します	
	給紙切替レバーの位置が違っ ている							○										給紙切替レバーを正しくセッ トする	
	インクリボンが古い			○													第4章	リボンカセットを交換します	
	単票／連帳の設定が違っている																	【用紙選択】スイッチを押します	
	用紙通路が開いている																	用紙通路を閉じます	
	連続給紙モードで給紙された用 紙が残っている																	残っている用紙にそのまま印刷 する時は操作の必要はありません。 印刷しない場合は用紙を排出し ます。	
	トップカバーが開いている																	トップカバーを閉じます	
	故障																	故障連絡を行います。	

(参照) 液晶パネルにメッセージが表示されたときは「9.1 メッセージ一覧」をご覧ください。

5.2 用紙切れ

(1) 表示内容

下記メッセージを表示し、ブザー音を鳴動します。

ER01-01 : ヨウシキ [*] レ

ER31-01 : ヨウシキ [*] レ

(2) 復旧操作

a) ブザー音を停止する場合は、ブザーOFF スイッチを押下します。

b) “ER01-01” の場合

連帳も単票も以下の操作を行います。

- ① 【停止】スイッチを押下して、停止状態にします。
- ② 用紙をセットします。
- ③ 再度【停止】スイッチを押して、停止状態を解除します。

c) “ER31-01” の場合

連帳の場合、以下の操作を行います。

- ① 用紙をセットし、オフライン状態にします。
- ② 【スタート/ストップ】スイッチを押下して、オンライン状態にします。

単票の場合、以下の操作を行います。

- ① 用紙をセットする。
- ② 【スタート/ストップ】スイッチを押下して、オフライン状態にします。
- ③ 【スタート/ストップ】スイッチを押下して、オンライン状態にします。

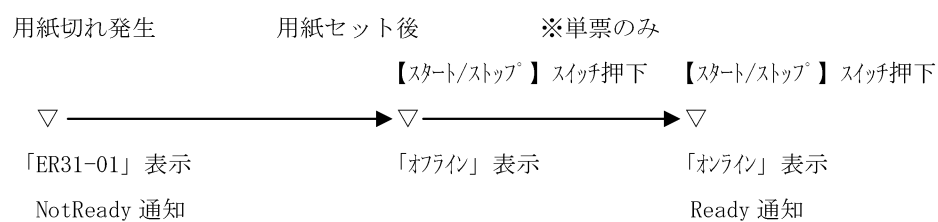
注 1) 用紙セットの操作方法は、用紙種類や用紙送り方向により異なりますので、「3.6.1 用紙の取り付け方」を参照してください。

注 2) セットアップの「用紙終了時」の設定内容によって、液晶ディスプレイの表示が次頁のように変わります。

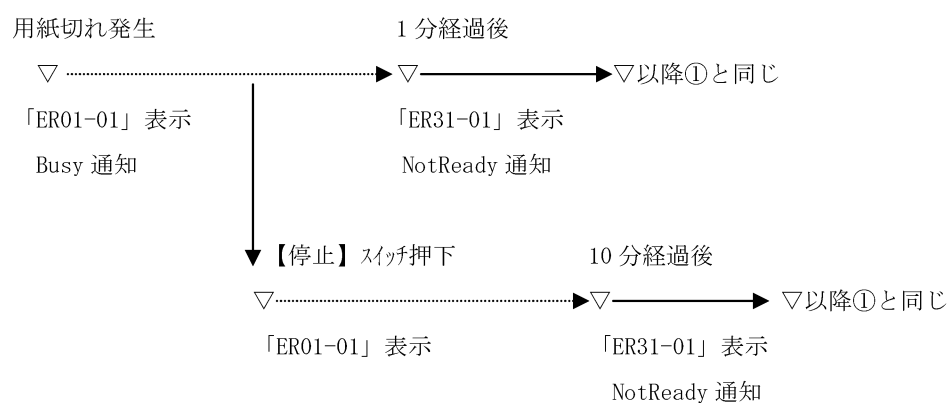
ただし、“継続” 設定が有効なのはサポートサーバ設定が 6680-NMC, HOSTPRINT で LU タイプ 3 の動作をさせる時のみです。

第 5 章 異常発生時の操作

① “中断” 設定時



② “継続” 設定時



..... の時間内に用紙セットすれば継続印刷が可能です。

5.3 用紙づまり

(1) 表示内容

装置内で用紙がつまった場合、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER10-01：ヨウシ ツヅマリ	←	印刷中に用紙づまりが発生
ER12-06：オートローテ	←	用紙吸入時に用紙づまりが発生
ER13-01：キリカエエラー	←	連帳（押し込み）から連帳（引っ張り）への切り替え時または連帳（押し込み）から単票への切り替え時に用紙づまりが発生
ER13-02：キリカエエラー	←	連帳（引っ張り）から連帳（押し込み）への切り替え時または連帳（引っ張り）から単票への切り替え時に用紙づまりが発生

(2) 復旧操作

- ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押下します。
- 5.3.1 項や 5.3.2 項を参照して、装置内からつまった用紙を取り除きます。
- 用紙の位置を確認します。
- 【スタート/ストップ】スイッチを押下して、オンライン状態にします。

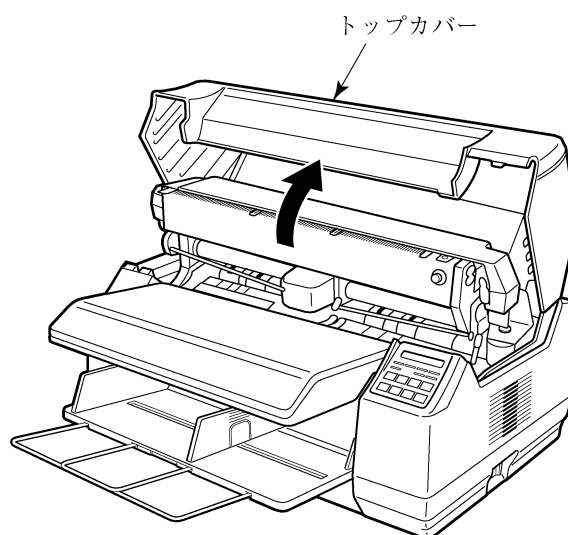
5.3.1 本体中に用紙がつまった場合

以下の図は単票用紙の例ですが、連帳用紙も同じ方法です。

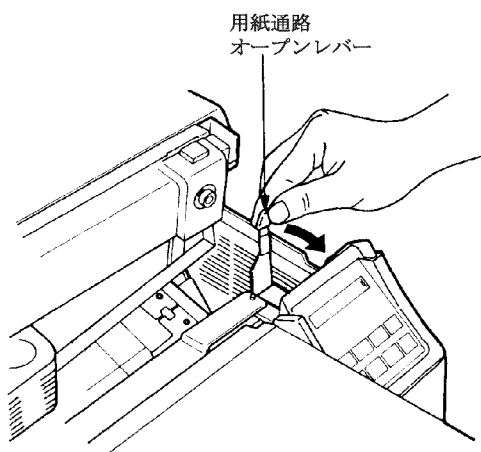
- 1) 操作パネルの「スタート/ストップ」ランプが消えているか確認します。
点灯しているときは、【スタート/ストップ】スイッチを押して消します。
- 2) スタッカが開いていることを確認して、トップカバーを開けます。



- ・ 印字ヘッドやモータには触れないでください。
 - ・ 印字ヘッドのカバーを外さないでください。
- 火傷のおそれがあります。

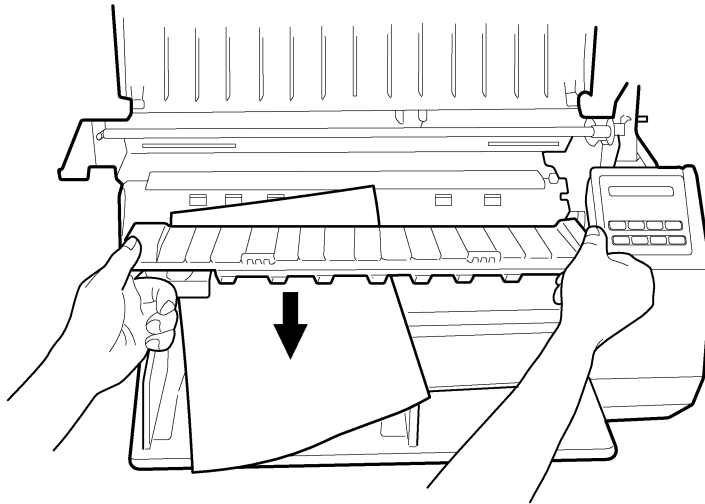


- 3) 右側の用紙通路オープンレバー（緑色）を手前に倒します。装置右の取っ手（緑色）を持ち、装置上部に止まるまで上げます。



- 4) 手差しトレイを両手で持ち、後方に押しぎみにしながら上方に引き上げて、フック部から取り外し、ゆっくり手前に引いて外します。

(参照) 2.5.4 手差しトレイの場合

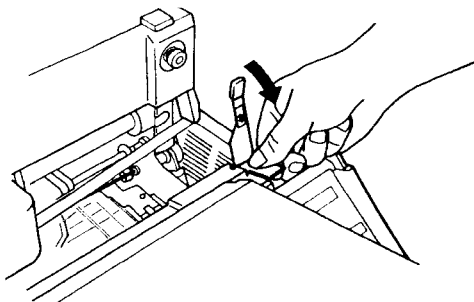


- 5) 詰まっている用紙をゆっくり抜き取ります。

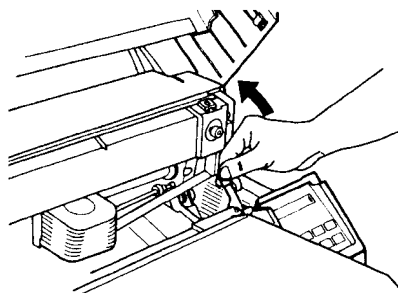
(注意) プリンタが破損する恐れがありますので、用紙を無理に引き抜かないでください。

- 6) 手差しトレイを取り付けます。

- 7) 装置右側の取っ手（緑色）を持って装置を下げ、カチッと音がするまで確実に押し込みます（取っ手以外の部分を持たないようにしてください）。

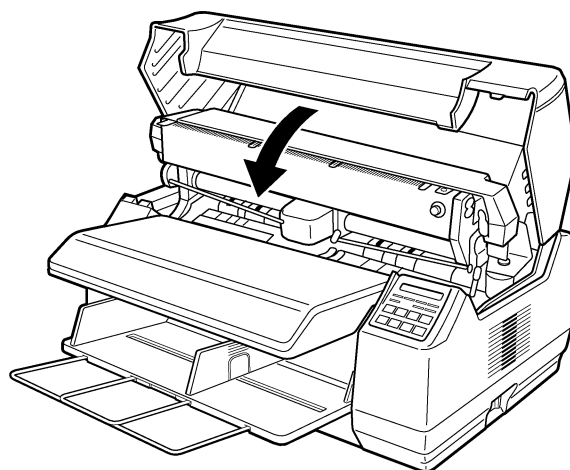


- 8) 右側の用紙通路オープンレバーを後方に押して、確実にロックしていることを確認してください。

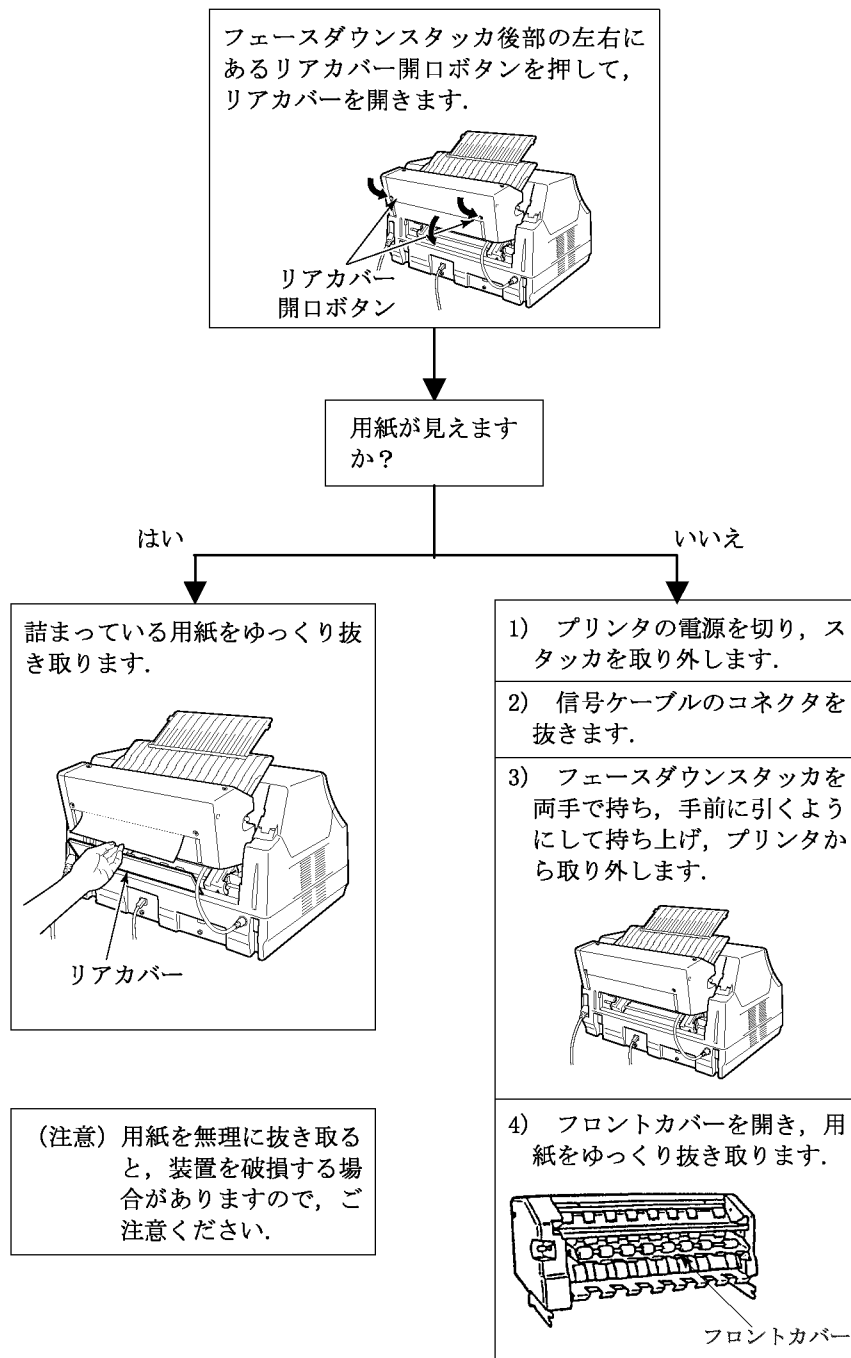


第 5 章 異常発生時の操作

- 9) トップカバーを閉じます。



5.3.2 フェースダウスタッカ内に用紙がつまった場合



5.4 カバーオープン

(1) 表示内容

カバーが正しくセットされていないと、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER09-01 : カバ^ッー

印字中にカバーを開けると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER09-04 : カバ^ッー

(注意) 印字中にカバーを開けた場合は、操作パネルのスイッチは、有効となりません。

(2) 復旧操作

- a) カバーを正しく閉めます。
- b) “ER09-01” の場合、【スタート／ストップ】スイッチを押すと、オフライン状態になります。

5.5 プログラムエラー

(1) 表示内容

プリンタへのコマンド／オーダに異常があると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅します（拡張出力機構オプション未搭載時にそれが必要な機能を指定した、など）。

この異常が発生すると、印刷は中断されます。

ER07-01 : プ^ログ^ラム

(2) 復旧操作

- a) プログラムの管理者とご相談の上、エラー要因を除去してください。
- b) 【スタート／ストップ】スイッチを押し、オンライン状態に戻します。

5.6 用紙通路オープン

(1) 表示内容

用紙通路が開けられていると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER09-02 : ツウロオ^ッン

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押下します。
- b) トップカバーを開けて、装置上部ユニットをしっかりと閉じてから、用紙通路オープンレバーをロックします。
- c) 用紙の位置を確認します。
- d) 【スタート/ストップ】スイッチを押下して、オンライン状態にします。

5.7 ヘッドアップエラー

(1) 表示内容

印字ヘッドが上げられていると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER09-03 : ヘッドアップ

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押下します。
- b) 用紙がつまっている場合は取り除きます。
- c) 用紙を再度セットします。

5.8 ポジションエラー

(1) 表示内容

ホッパからの単票用紙吸入を実行した時に手差し口に用紙があった場合、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER02-01 : ホッパポジション

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押下します。
- b) 手差し口の用紙を取り除きます。
- c) ホッパ内の用紙を確認します。
- d) 【スタート/ストップ】スイッチを押下して、オンライン状態にします。

5.9 セレクトミス

1) 表示内容

装置が連帳を選択している状態で、ホストから単票データを受信すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER34-01 : セレクトミス

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押下します。
- b) 印刷データと装置の状態を合わせてから、【スタート/ストップ】スイッチを押下してオンライン状態にします。

5.10 POC エラー

(1) 表示内容

Windows から印刷する場合、プリンタドライバで指定する用紙サイズ（用紙長，用紙幅）がプリンタでサポートしている用紙サイズ外であると、本エラーが発生することがあります。

POC エラーが発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅し、ブザーが鳴動します。

ER32-01 : POC イシ [°] ヨウ

(2) 復旧操作

- a) 【スタート/ストップ】スイッチを押し、オフライン状態に戻します。
- b) プリンタドライバで指定している用紙サイズを確認してください。

5.11 パターンタイムアウト

(1) 表示内容

要求したパターンの応答がタイムアウトすると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅して、ブザーが鳴動します。

ER89-01 : パターン

エラーコード	発生理由
ER89-01	上位装置に要求した非常駐文字に対する応答がない

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押下します。
- b) 電源を切断後、再投入してください。
- c) 上位装置の管理者とご相談の上、エラー要因を取り除いてください。

5.12 上位装置電源断

(1) 表示内容

下記メッセージを表示します。

この異常が発生すると、印刷は中断されます。

ER27-01 : ショウイソウチ

(2) 復旧操作

- a) 上位装置の電源を投入してください。
- b) データ送信を再開すると、復旧します。

5.13 LAN 二重アドレスエラー

(1) 表示内容

ネットワーク上に同一の MAC アドレスまたは IP アドレスが存在すると、本エラーが発生します。

LAN 二重アドレスエラーが発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅し、ブザーが鳴動します。

ER43-01 : LAN XXXX

(2) 復旧操作

- a) 電源を切断します。
- b) プリンタの設定ミスが考えられますので、セットアップの情報を確認してください。

5.14 メカ系の異常

(1) 表示内容

メカ系に異常が発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅しブザー音を鳴動します。

ER8X-XX : XXXXXXXX

← 表示内容

表 示 内 容	意 味
ER81-01 : EEPROM	EEPROM エラー
ER82-01 : モータエラー	ピックモータエラー
ER82-02 : モータエラー	LF モータエラー
ER82-03 : モータエラー	ホッパモータエラー
ER82-04 : モータエラー	カムモータエラー
ER82-05 : ホッパ [°] エラー	ホッパ動作が規定時間内に終了しない 注 1)
ER82-07 : モータエラー	フェースダウスタッカのモータエラー
ER82-08 : ヒューズ [°] エラー	センサヒューズ切れ
ER82-0X : チェックカイロ	モータチェック回路エラー (X : 9~E)
ER83-0X : ファンテイシ	メカ冷却用ファン停止エラー (X : 1, 2)
ER84-01 : テ [°] ンケ [°] ン	電源電圧異常
ER84-02 : パワーオフ	パワーオフエラー
ER85-01 : スヘ [°] ースエラー	印字ヘッド動作異常 注 2)
ER85-0B : ヘット [°] イチ	印字ヘッド位置異常 注 2)
ER87-0X : メカ ムオウトウ	メカ部から応答なし (X : 1, 2)
ER88-01 : ファイアチェック	ハンマファイアチェック
ER8B-01 : カムエラー	カム動作が規定時間内に終了しない
ER8E-0X : センスエラー	メカ部からの応答が未定義 (X : 1, 2)

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押下します。
- b) メッセージを記録の上、電源を切断し、装置内の用紙をすべて取り除いてから、電源を再投入します。
- c) 電源を再投入しても同じメッセージが表示される場合には、担当保守員にご連絡願います。
(注意) 用紙が厚すぎないかまたは装置内に異物がないか確認してください。

注 1) ホッパの上に物を載せていないか確認してください。

注 2) 用紙が厚すぎないか、または装置内に異物がないか確認してください。

5.15 ハードウェアの異常

(1) 表示内容

ハードウェアに異常が発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER4X-XX : XXXXXXXX

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押下します。
- b) 表示されたメッセージを記録の上、電源を切断し、装置内の用紙をすべて取り除いてから、電源を再投入します。
- c) 電源を再投入しても同じメッセージが表示される場合には、担当保守員にご連絡ください。

5.16 PrintWalker/PM のエラーメッセージ

パソコン画面上に表示されるエラーメッセージに対する対処方法を説明します。

表示番号	表 示 内 容	原 因	処 置
1001	プリンタ装置がストップ状態です。 プリンタ装置をスタート状態にし、印刷を再開してください。	プリンタ装置がオフライン状態です。（「スタート」ランプ消灯）	「スタート／ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。
1010	カバーが開いています。 開口部のカバーを閉じて、プリンタ装置をスタート状態にしてください。	トップカバーが開いています。	トップカバーを閉じてから、「スタート／ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。
1020	用紙詰まりが発生しました。 用紙を取り除いた後、用紙の再設定を行い、プリンタ装置をスタート状態にしてください。	印刷中または用紙吸入時に、プリンタ装置内で用紙詰まりが発生しました。	「5.3 用紙づまり」を参照して、装置内から用紙を取り除いた後、用紙を正しくセットし直してから、「スタート／ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。
1026	用紙切替えに失敗しました。 用紙状態を確認し、用紙をセットした後、プリンタ装置をスタート状態にしてください。	給紙口の切替え時に、プリンタ装置内で用紙詰まりが発生しました。	「5.3 用紙づまり」を参照して、装置内から用紙を取り除いた後、用紙を正しくセットし直してから、「スタート／ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。
1060	用紙がありません。 プリンタ装置に用紙をセットし、プリンタ装置をスタート状態にしてください。	印刷していた用紙がなくなりました。指定した給紙口に用紙がありません。	装置内の用紙をすべて排出し、印刷する用紙をセットしてから、「スタート／ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。 正常に印刷されなかったページから印刷されます。
1068	用紙の状態が正しくありません。 用紙を正しくセットして、プリンタ装置をスタート状態にしてください。	ホッパからの印刷を実行しましたが、手差し口に用紙があります。	手差し口の用紙を取り除きます。ホッパの用紙状態を確認してから、「スタート／ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。

表示番号	表示内容	原因	処置
1120	プリンタ装置に異常が発生しました。(ヘッドアップ) 異常原因を取り除き、プリンタ装置をスタート状態にしてください。	印字ヘッドが持ち上げられている状態です。	用紙詰まりが発生している場合は、「5.3 用紙づまり」を参照して、装置内から用紙を取り除いた後、用紙を正しくセットし直してから、「スタート/ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。
1120	プリンタ装置に異常が発生しました。(用紙通路オープンエラー) 異常原因を取り除き、プリンタ装置をスタート状態にしてください。	用紙通路オープンレバーのロックが外れている状態です。	装置上部ユニットをしっかりと閉じてから、用紙通路オープンレバーをロックし、トップカバーを閉めます。それから「スタート/ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。
3020	プリンタ装置との通信ができません。 プリンタ装置の動作（電源断等）を確認してください。	プリンタ装置の電源断、LAN の異常のため、プリンタ装置との通信ができません。	電源を投入してください。またはネットワークについて確認してください。(LAN ケーブルの状態や IP アドレスの設定など)
5000	プリンタ装置に復旧不可能なエラーが発生しました。 当メッセージと操作内容を記録した後、システム管理者に連絡してください。 (詳細コード: XXXX-XX-X)	ハードエラーが発生しました。(CE コール)	詳細コードを含めたメッセージ内容を記録してください。その後、修理を依頼してください。
5010	プリンタ装置に異常が発生しました。 異常原因を取り除き、プリンタ装置をスタート状態にしてください。 (詳細コード: XXXX-XX-X)	ハードエラーが発生しました。	異常原因を取り除いてから、「スタート/ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。再度エラーが発生する場合は、詳細コードを含めたメッセージ内容を記録してください。その後、修理を依頼してください。

第 5 章 異常発生時の操作

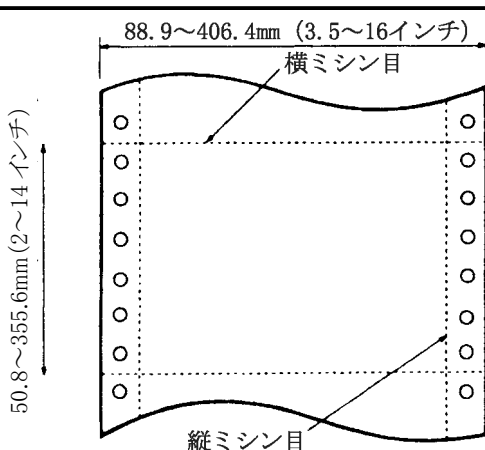
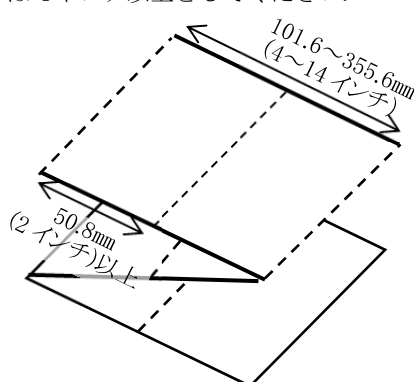
表示番号	表 示 内 容	原 因	処 置
5050	プリンタ装置に異常が発生しました。 用紙詰まりがないか等を調べ、異常を取り除いてください。 印刷再開ページを確認後、プリンタ装置をスタート状態にし、「続行」を選択すると印刷を再開します。繰り返し同じ異常が発生する場合は、当メッセージと操作内容を記録した後、システム管理者に連絡してください。 (詳細コード：XXXX-XX-X)	ハードエラーが発生しました。	異常原因を取り除いてから、「スタート/ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。再度エラーが発生する場合は、詳細コードを含めたメッセージ内容を記録してください。その後、修理を依頼してください。

第 6 章 用紙仕様および帳票設計

本章では、各種用紙の規格および用紙の取り扱い上の注意について説明します。

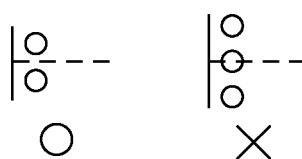
記載されていない用紙の使用は、プリンタ装置の故障の原因となりますので使用しないでください。

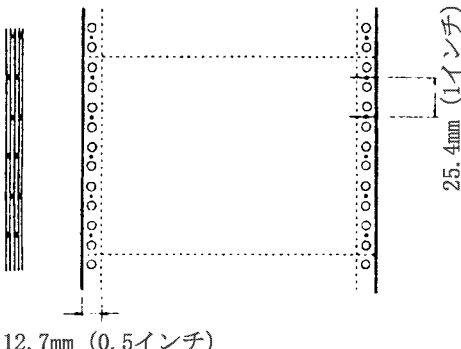
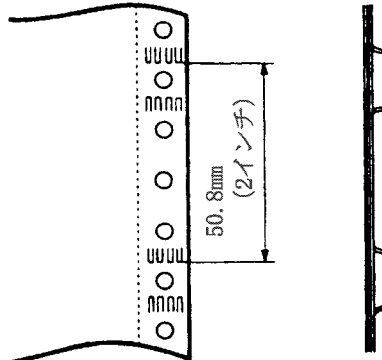
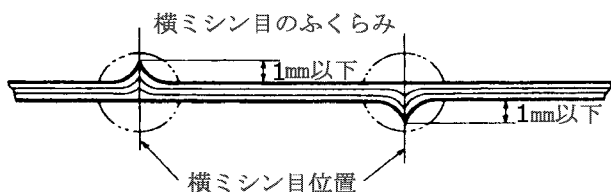
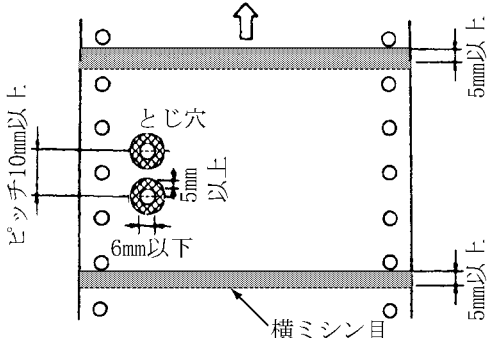
6.1 連帳用紙

	仕 様・規 格	注 意																																																																																																																																																																																																											
寸 法		■縦ミシン目は、左側のみ、右側のみ、又は左右両側のいずれでもかまいません。 ■用紙折り畳み長（山折り谷折りの間隔）は 4 インチ以上としてください。 																																																																																																																																																																																																											
紙 質	(a) 原紙 情報処理用プリンタに用いる原紙として市販の上質紙 (b) 複写用紙 感圧紙，裏カーボン紙	■市販されている上質紙は JIS X6195 に準じます。 ■中カーボン紙は使用しないでください。 ■裏面は白色（反射率 60%以上）のものをご使用ください。																																																																																																																																																																																																											
用 紙 連 量	<table><tr><th rowspan="2">連量 枚数 構成内容</th><th colspan="14">(kg/連)</th></tr><tr><th>1P</th><th>2P</th><th>3P</th><th colspan="2">4P</th><th colspan="2">5P</th><th colspan="2">6P</th><th colspan="2">7P</th><th colspan="2">8P</th><th colspan="2">9P</th></tr><tr><td>1枚目</td><td>45~110</td><td>43~55</td><td>43~55</td><td colspan="2">43</td><td colspan="2">43</td><td colspan="2">43</td><td colspan="2">43</td><td colspan="2">43</td><td colspan="2">43</td></tr><tr><td>2枚目</td><td></td><td>34~55</td><td>30~43</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td></tr><tr><td>3枚目</td><td></td><td></td><td>43</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td></tr><tr><td>4枚目</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">43</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td></tr><tr><td>5枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">43</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td></tr><tr><td>6枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">43</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td></tr><tr><td>7枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">43</td><td>30</td><td>34</td><td>30</td><td>34</td></tr><tr><td>8枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">43</td><td>30</td><td>34</td></tr><tr><td>9枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>43</td></tr><tr><td>用紙厚合計</td><td colspan="7">0.4 mm 以下</td><td colspan="7">0.6mm 以下（高複写モード時）</td><td colspan="2">規格外</td></tr></table>														連量 枚数 構成内容	(kg/連)														1P	2P	3P	4P		5P		6P		7P		8P		9P		1枚目	45~110	43~55	43~55	43		43		43		43		43		43		2枚目		34~55	30~43	30	34	30	34	30	34	30	34	30	34	30	34	3枚目			43	30	34	30	34	30	34	30	34	30	34	30	34	4枚目				43		30	34	30	34	30	34	30	34	30	34	5枚目						43		30	34	30	34	30	34	30	34	6枚目								43		30	34	30	34	30	34	7枚目										43		30	34	30	34	8枚目												43		30	34	9枚目															43	用紙厚合計	0.4 mm 以下							0.6mm 以下（高複写モード時）							規格外	
連量 枚数 構成内容	(kg/連)																																																																																																																																																																																																												
	1P	2P	3P	4P		5P		6P		7P		8P		9P																																																																																																																																																																																															
1枚目	45~110	43~55	43~55	43		43		43		43		43		43																																																																																																																																																																																															
2枚目		34~55	30~43	30	34	30	34	30	34	30	34	30	34	30	34																																																																																																																																																																																														
3枚目			43	30	34	30	34	30	34	30	34	30	34	30	34																																																																																																																																																																																														
4枚目				43		30	34	30	34	30	34	30	34	30	34																																																																																																																																																																																														
5枚目						43		30	34	30	34	30	34	30	34																																																																																																																																																																																														
6枚目								43		30	34	30	34	30	34																																																																																																																																																																																														
7枚目										43		30	34	30	34																																																																																																																																																																																														
8枚目												43		30	34																																																																																																																																																																																														
9枚目															43																																																																																																																																																																																														
用紙厚合計	0.4 mm 以下							0.6mm 以下（高複写モード時）							規格外																																																																																																																																																																																														

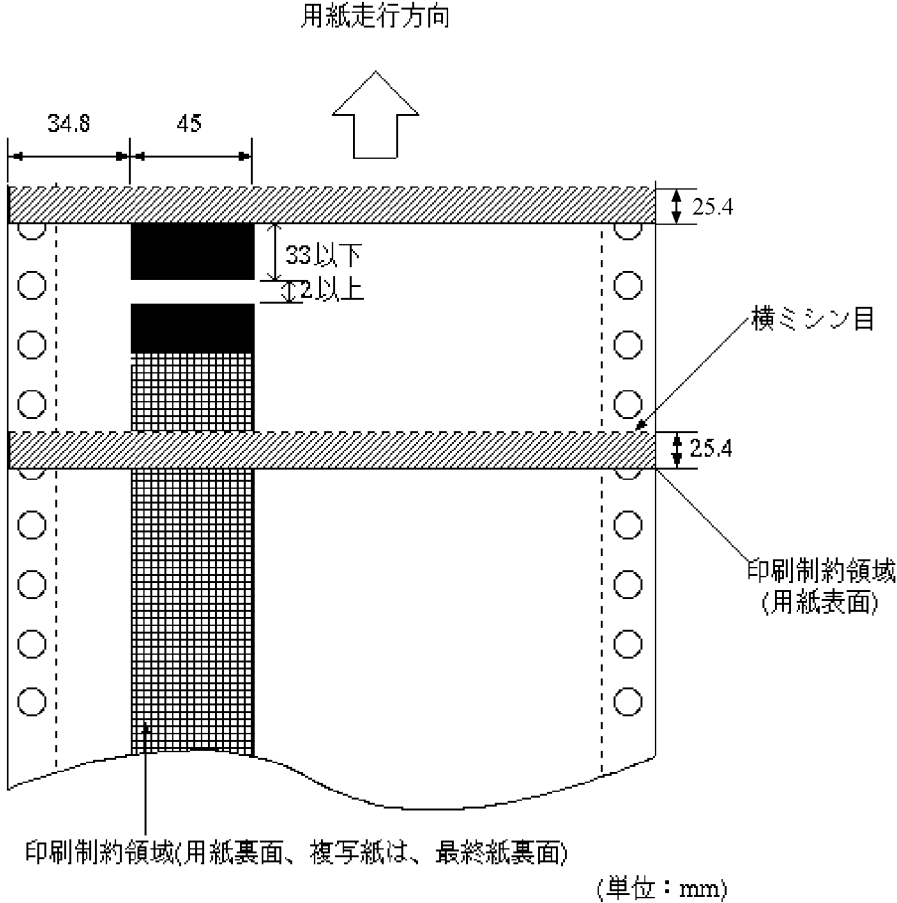
(続く)

(続き)

	仕 様・規 格	注 意																	
用紙連量	(参考) 感圧紙の用紙連量規格とメーカーの N 番規格の相関																		
	<table><tr><td>連量規格</td><td>34kg／連</td><td>43kg／連</td><td>55kg／連</td></tr><tr><td>N 番規格</td><td>N40</td><td>N50</td><td>N60</td></tr></table>		連量規格	34kg／連	43kg／連	55kg／連	N 番規格	N40	N50	N60									
	連量規格	34kg／連	43kg／連	55kg／連															
	N 番規格	N40	N50	N60															
	《規格外の複写帳票使用に当たって》																		
やむをえず規格外の複写枚数の帳票を使用する場合は、前ページ表に示す用紙構成にしてください。ただし、複写濃度に関しては、使用環境・用紙構成・用紙特性等により大きく影響されますので、使用の可否に当たっては事前に評価の上、決定してください。																			
なお、以下に複写媒体での留意点を掲記いたします。																			
ミシン目加工	①構成用紙枚数、用紙の厚みの増加に伴い、全体的に複写濃度がうすくなります。例えば、3 枚複写の 3 枚目と 6 枚複写の 3 枚目では濃さが違います。3 枚複写の 3 枚目の方が濃く出ます。																		
	②規格外の複写帳票の場合は、裏カーボン紙の使用を推奨します。ただし、裏カーボンの場合、塗布するインクの質や量によって複写濃度が変わります。更に温度の低下に伴い、複写濃度が著しく低下する性質を有しています。裏カーボンの場合は常温（18℃～30℃）での使用をお薦めします。																		
	以上の様に、複写濃度は様々の要因に影響されますので、帳票作成に当たっては、印刷メーカーと使用条件・環境について相談の上、決定してください。																		
	(ひとくちメモ)																		
	連量とは、四六判（788mm×1091mm）の用紙 1,000 枚の重量を kg で示したものです。																		
ミシン目加工	<table><tr><th colspan="2">ミシン目の種類</th><th>規格値</th></tr><tr><td rowspan="3">横ミシン目</td><td>タイ／カット比率</td><td>1/1～1/4</td></tr><tr><td>タイ寸法</td><td>0.7～1.5mm</td></tr><tr><td>カット寸法</td><td>1.0～4.0mm</td></tr><tr><td rowspan="3">縦ミシン目</td><td>タイ／カット比率</td><td>1/1～1/5</td></tr><tr><td>タイ寸法</td><td>0.7～1.5mm</td></tr><tr><td>カット寸法</td><td>1.0～5.0mm</td></tr></table>		ミシン目の種類		規格値	横ミシン目	タイ／カット比率	1/1～1/4	タイ寸法	0.7～1.5mm	カット寸法	1.0～4.0mm	縦ミシン目	タイ／カット比率	1/1～1/5	タイ寸法	0.7～1.5mm	カット寸法	1.0～5.0mm
	ミシン目の種類		規格値																
	横ミシン目	タイ／カット比率	1/1～1/4																
		タイ寸法	0.7～1.5mm																
		カット寸法	1.0～4.0mm																
縦ミシン目	タイ／カット比率	1/1～1/5																	
	タイ寸法	0.7～1.5mm																	
	カット寸法	1.0～5.0mm																	
タイ：非切断部 カット：切断部																			
■横ミシン目は送り穴と重ならないようにしてください。 この横ミシン目で用紙を切断すると、用紙セット時に送り穴がリボンマスクに引掛かり、用紙破れが発生することがあります。																			
																			
■横ミシン目は用紙のエッジにタイ部がくるようにしてください。 リボンマスクへ引掛かり用紙ジャムや用紙破れが発生することがあります。																			
																			
■印字範囲内に縦ミシン目が入る場合は、その左右 5.08mm（1/5 インチ）以内には、印字しないこと。横ミシン目との交差部は、用紙のはがれを防ぐため、カット部どうしを交差させないこと。																			

	仕 様・規 格	注 意
複 写 用 紙 の と じ 方	(a)点のり（千鳥） 推奨方法  12.7mm (0.5インチ) 25.4mm (1インチ) (b)紙ホッチキス  50.8mm (2インチ)  横ミシン目のふくらみ 1mm以下 横ミシン目位置	■用紙のとじ方は、点のり、紙ホッチキス（2連）が使用できますが、印刷品質の面からみて、点のりを使用することを原則とします。 ■とじの位置は、用紙端面と縦ミシン目位置の間で左右両側に行います。 ■紙ホッチキスを使用する場合は、必ず逆向き2連のホッチキスにしてください。 ■紙ホッチキスの場合は、ホッチキス部が厚くなるため、この部分で印字ヘッドが浮き上がり、印刷が不鮮明になったり印刷が乱れたりすることがあります。この傾向は引っ張り印刷で仕様する場合に特に顕著となるため、押し込み印刷で使用することをお勧めします。印刷可能領域とミシン目の間は1/2インチ（12.7mm）以上余白をあけてください。 ■複写連帳用紙において横ミシン目などのふくらみがあると、用紙ずれや改行乱れが発生することがあります。1mm以下におさえてください。
と じ 穴	用紙走行方向  ピッチ10mm以上 とじ穴 5mm以上 6mm以下 横ミシン目	■横ミシン目の上側 5mm 以内（部）にはとじ穴および切込みは入れないでください。 ■とじ穴の直径は 6mm 以下、とじ穴のピッチは 10mm 以上にしてください。 ■とじ穴や切込みの周囲 5mm 以内（部）は印刷しないでください。（印刷禁止領域）。

	仕 様 ・ 規 格	注 意															
印刷可能領域	横ミシン目 用紙走行方向 1.5mm以下 用紙走行方向 1.5mm以下	■横ミシン目の上下 0.5 インチ (12.7mm) 以内および用紙の左端より A 寸法、右端より B 寸法は、印刷禁止領域です。印刷禁止領域に印刷するとリボンマスクへ引掛かり用紙ジャムや用紙破れが発生することがあります。 印刷禁止領域に印刷するとプリンタ装置がダメージを受けるおそれがあります。また印刷品質も保証できません。 ■用紙をセットするときにプリンタの目盛を目安にトラクタを動かして用紙に対する印刷の位置を決めてください。 ■押し込み印刷で使用する場合、用紙終端より 6 インチ (152.4mm) の位置で用紙がトラクタより外れ、改行精度が保証できなくなりますのでこの範囲での印刷は前もって確認して行ってください。 ■引っ張り印刷で使用する場合、幅が 10 インチ (254.0mm) 未満の用紙で、最後のページの用紙終端より 1 インチ (25.4mm) 以内のところでは印刷しますと改行が乱れますのでこの範囲での印刷はさけてください。 ■紙ホッチキスの場合は、ホッチキス部が厚くなるため、この部分で印字ヘッドが浮き上がり、印刷が不鮮明になったり印刷が乱れたりすることがあります。この傾向は引っ張り印刷で仕様する場合に特に顕著となるため、押し込み印刷で使用することをお勧めします。印刷可能領域と紙ホッチキス横の縦ミシン目の間は 1/2 インチ (12.7mm) 以上余白をあけてください。 ■連帳用紙の先端にカールやミシン目の切り残しがある場合、用紙給入時のジャム発生の原因となりますので矯正/除去して使用してください。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>連 帳 幅</th><th>A 寸 法</th><th>B 寸 法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.5～15 インチ未満</td><td>0.7 インチ (17.8mm)</td><td>0.7 インチ (17.8mm)</td></tr> <tr> <td>15～15 1/2 インチ未満</td><td>0.7 インチ (17.8mm)</td><td>0.7～1.2 インチ (17.8mm～30.5mm)</td></tr> <tr> <td>15 1/2～16 インチ未満</td><td>0.7～1.2 インチ (17.8mm～30.5mm)</td><td>1.2 インチ (30.5mm)</td></tr> <tr> <td>16 インチ</td><td>1.2 インチ (30.5mm)</td><td>1.2 インチ (30.5mm)</td></tr> </tbody> </table>	連 帳 幅	A 寸 法	B 寸 法	3.5～15 インチ未満	0.7 インチ (17.8mm)	0.7 インチ (17.8mm)	15～15 1/2 インチ未満	0.7 インチ (17.8mm)	0.7～1.2 インチ (17.8mm～30.5mm)	15 1/2～16 インチ未満	0.7～1.2 インチ (17.8mm～30.5mm)	1.2 インチ (30.5mm)	16 インチ	1.2 インチ (30.5mm)	1.2 インチ (30.5mm)	
連 帳 幅	A 寸 法	B 寸 法															
3.5～15 インチ未満	0.7 インチ (17.8mm)	0.7 インチ (17.8mm)															
15～15 1/2 インチ未満	0.7 インチ (17.8mm)	0.7～1.2 インチ (17.8mm～30.5mm)															
15 1/2～16 インチ未満	0.7～1.2 インチ (17.8mm～30.5mm)	1.2 インチ (30.5mm)															
16 インチ	1.2 インチ (30.5mm)	1.2 インチ (30.5mm)															

	仕 様・規 格	注 意
プレ印刷制約	■本プリンタ装置は、印字位置精度向上を図るために用紙検出センサーとして用紙表面および裏面に光を照射し、その反射光を捉えて用紙検出を行う光反射センサーを使用しています。当センサーの機能を保証するために、用紙表面（印字処理面）および裏面のプレ印刷に関して次のような制約条件を遵守してください。 —  部は、用紙の表面の印刷制約領域を示し、この領域には、反射率 60%未満の印刷を禁止します。 —  部は、用紙の裏面（複写用紙は最終紙裏面）の印刷制約領域を示し、この領域には、反射率 60%未満の印刷を禁止します。 ただし、裏面の領域におけるプレ印刷は反射率 60%未満であっても、長さ 33mm 以下の印刷であれば使用できます。さらに、長さ 33mm 以下の反射率 60%未満の印刷の間に 2mm 以上の反射率 60%以上の領域があれば、そのようなプレ印刷が繰り返しあっても使用できます。 — 用紙の反射率はプリントコントラストメータ「マクベス PCM-II フィルターD」での値です。 用紙走行方向  印刷制約領域(用紙裏面、複写紙は、最終紙裏面) (単位：mm)	

6.2 単票用紙

	仕 様・規 格	注 意																																																																																																																												
寸 法	用紙寸法（単票用紙の場合） <table><tr><td></td><td>手挿入</td><td>自動給紙</td></tr><tr><td>タテ</td><td>70～364</td><td>90～364</td></tr><tr><td>ヨコ</td><td>55～364</td><td>55～364</td></tr><tr><td>タテ／ヨコ比率</td><td colspan="2">2/3～2（0.67～2）</td></tr></table> 単位 mm		手挿入	自動給紙	タテ	70～364	90～364	ヨコ	55～364	55～364	タテ／ヨコ比率	2/3～2（0.67～2）		■ 単票のタテおよびヨコは次のとおりです。 ヨコ タテ 用紙送り方向																																																																																																																
	手挿入	自動給紙																																																																																																																												
タテ	70～364	90～364																																																																																																																												
ヨコ	55～364	55～364																																																																																																																												
タテ／ヨコ比率	2/3～2（0.67～2）																																																																																																																													
紙 質	(a) 原紙 用紙の表裏面とも白色（反射率 60％以上）で、しみ、ピンホール、汚れ、しわ、カール、ケバ立ちがない上質紙 (b) 複写用紙 感圧紙をお使いください。ただし、やむをえず規格外を使用する場合は、裏カーボンをお使いください。	■ 下表に示す用紙ヨコ寸法の使用は避けてください。用紙右端がインサータローラのエッジと干渉するため、用紙コーナ折れ、しわの発生の原因となります。 <table><tr><td rowspan="5">用紙ヨコ寸法</td><td>90～ 98mm</td></tr><tr><td>137～145mm</td></tr><tr><td>183～191mm</td></tr><tr><td>264～272mm</td></tr><tr><td>314～322mm</td></tr></table>	用紙ヨコ寸法	90～ 98mm	137～145mm	183～191mm	264～272mm	314～322mm																																																																																																																						
用紙ヨコ寸法	90～ 98mm																																																																																																																													
	137～145mm																																																																																																																													
	183～191mm																																																																																																																													
	264～272mm																																																																																																																													
	314～322mm																																																																																																																													
用 紙 連 量	用紙の構成枚数と連量																																																																																																																													
	<table><tr><td></td><td>連量枚数</td><td colspan="11">(kg／連)</td></tr><tr><td>構成内容</td><td>1P</td><td>2P</td><td>3P</td><td>4P</td><td>5P</td><td>6P</td><td>7P</td><td>8P</td><td>9P</td></tr><tr><td>1枚目</td><td>(43) 45～180</td><td>55</td><td>55</td><td>43</td><td>43</td><td>43</td><td>43</td><td>43</td><td>43</td></tr><tr><td>2枚目</td><td></td><td>43</td><td>34</td><td>34</td><td>34</td><td>30 34</td><td>30 34</td><td>30 34</td><td>30 34</td></tr><tr><td>3枚目</td><td></td><td></td><td>43</td><td>34</td><td>34</td><td>30 34</td><td>30 34</td><td>30 34</td><td>30 34</td></tr><tr><td>4枚目</td><td></td><td></td><td></td><td>43</td><td>34</td><td>30 34</td><td>30 34</td><td>30 34</td><td>30 34</td></tr><tr><td>5枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>43</td><td>30 34</td><td>30 34</td><td>30 34</td><td>30 34</td></tr><tr><td>6枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>43</td><td>30 34</td><td>30 34</td><td>30 34</td></tr><tr><td>7枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>43</td><td>30 34</td><td>30 34</td></tr><tr><td>8枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>43</td><td>30 34</td></tr><tr><td>9枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>43</td></tr><tr><td>用紙厚合計</td><td colspan="5">0.4 mm 以下</td><td colspan="4">0.6 mm 以下（高複写モード時）</td><td colspan="2">規格外</td></tr></table>		連量枚数	(kg／連)											構成内容	1P	2P	3P	4P	5P	6P	7P	8P	9P	1枚目	(43) 45～180	55	55	43	43	43	43	43	43	2枚目		43	34	34	34	30 34	30 34	30 34	30 34	3枚目			43	34	34	30 34	30 34	30 34	30 34	4枚目				43	34	30 34	30 34	30 34	30 34	5枚目					43	30 34	30 34	30 34	30 34	6枚目						43	30 34	30 34	30 34	7枚目							43	30 34	30 34	8枚目								43	30 34	9枚目									43	用紙厚合計	0.4 mm 以下					0.6 mm 以下（高複写モード時）				規格外	
	連量枚数	(kg／連)																																																																																																																												
構成内容	1P	2P	3P	4P	5P	6P	7P	8P	9P																																																																																																																					
1枚目	(43) 45～180	55	55	43	43	43	43	43	43																																																																																																																					
2枚目		43	34	34	34	30 34	30 34	30 34	30 34																																																																																																																					
3枚目			43	34	34	30 34	30 34	30 34	30 34																																																																																																																					
4枚目				43	34	30 34	30 34	30 34	30 34																																																																																																																					
5枚目					43	30 34	30 34	30 34	30 34																																																																																																																					
6枚目						43	30 34	30 34	30 34																																																																																																																					
7枚目							43	30 34	30 34																																																																																																																					
8枚目								43	30 34																																																																																																																					
9枚目									43																																																																																																																					
用紙厚合計	0.4 mm 以下					0.6 mm 以下（高複写モード時）				規格外																																																																																																																				

(続く)

(続き)

仕 様・規 格

注 意

用紙連量

(参考) 感圧紙の用紙連量規格とメーカーの N 番規格の相関

連量規格	34kg／連	43kg／連	55kg／連
N 番規格	N40	N50	N60

(注意)

- 給紙挿入ミスを少なくするため、前ページの表の規格を守ってください。特に、2P、3P の連量にはご注意ください。
- やむをえず規格外の複写帳票を使用する場合は、前ページの表に示す用紙構成にしてください。

複写用紙のとり方

天のり

用紙走行方向

のり付け部

スキ方向

t (のり付けの深さ) 0.5mm程度

- とじ方は必ず天のりとします。
- のり付け部には、ふくれ、しわ、縮み、破れ、変色、のりのはみ出し、バリおよびこれらによる用紙間での引っかかりなどがないものをご使用ください。
- スキ方向が縦方向の場合は、のり付け部にしわが発生しやすく、給紙挿入ミスの原因となります。
- 用紙の先端にカールがある場合、用紙吸入時のジャム発生の原因となりますので矯正して使用してください。

1.5mm以下

用紙走行方向

1.5mm以下

用紙走行方向

用紙の寸法と連量

■ 用紙寸法と連量の関係は下図の の範囲内で使用するようにしてください。この範囲外用の用紙を使用すると、ダブルフィードや給紙挿入ミスの原因になるので、ご使用を避けてください。

用紙 連量	用紙 サイズ	名刺 ヨコ タテ 55×90	はがき ヨコ タテ 100×150	A5 タテ ヨコ タテ 150×210	A4 タテ ヨコ タテ 210×297	A4 ヨコ ヨコ タテ 297×210	B4 ヨコ ヨコ タテ 364×257
(43) 45kg		使用禁止範囲					
55kg		(ダブルフィードの発生率が高い)					
70kg							
90kg					使用可能範囲		
110kg							
135kg							
(165kg)					使用禁止範囲		
180kg				(給紙挿入ミスの発生あり)			

	仕 様・規 格	注 意
用紙のスキ方向	用紙走行方向 110kg/連を超える用紙 1P用紙 天のり部 複写用紙	(注意) 用紙のスキ方向は、左図のように横方向としてください。 ただし、1P 用紙で用紙連量 110kg / 連量以下であれば、スキ方向に制限はありません。
R 用紙のコーナーの R カットおよび C カット	用紙走行方向 半径 10mm 以下 Rカット Cカット 10mm 10mm 以下	■ 用紙の右側下部に限り可とします。 ■ R カットおよび C カット寸法は 10mm 以下にしてください。
用紙精度	左右直角度 $90^\circ \pm 0.1^\circ$ 寸法精度 $\pm 0.5\text{mm}$ $L_1 \pm 0.5\text{mm}$ 上端基準 $L_2 \pm 0.5\text{mm}$ 0.1° 0.1° 0.1° 0.1°	■ このプリンタは、用紙上端および左右端を基準としています。用紙の精度は、左図の値を満足してください。

	仕 様・規 格	注 意
と じ 穴	■ とじ穴を設ける場合は、給紙ローラが触れる部分を避けてください（下図参照）。 ■ とじ穴径は直径 6mm 以下とし、個数は 2 個までとしてください。また、とじ穴の周囲 5mm 以内（◎部）の印刷は禁止します。特に、自動給紙の場合、とじ穴には、ダレ、ケバなどによる用紙間の引っ掛かりのないようにしてください。 用紙左端 用紙走行方向 ◎部は給紙ローラが 用紙と接触する部分で、 とじ穴は避けてくださ い。	
印 刷 可 能 領 域	天のり（複写紙のみ） 印刷領域 0.5インチ (12.7mm) 以上 7.6mm ± 1mm 0.2インチ (5.08mm) ± 2mm 0.2インチ (5.08mm)	
	■ 下端近くに印刷を行いますと、プリンタ装置が用紙切れを検出し、印刷が失敗することがありますので、印刷可能領域内に印刷してください。余白を設定できないアプリケーションの場合は、以下の操作を行ってください。 『プリンタ』フォルダのメニューから『ファイル』メニューの『サーバーのプロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し、ご使用ください。	

	仕 様 ・ 規 格	注 意
--	-----------	-----

プレ印刷制約

■本プリンタ装置は、印字位置精度向上を図るために用紙検出センサーとして用紙表面および裏面に光を照射し、その反射光を捉えて用紙検出を行う光反射センサーを使用しています。当センサーの機能を保証するために、用紙表面（印字処理面）および裏面のプレ印刷に関して次のような制約条件を遵守してください。

- －(1), (2), (3), (4)の領域においては、反射率 60%未満のプレ印刷は禁止します。
- －ただし、(2), (4)の領域におけるプレ印刷は反射率 60%未満であっても、長さ 6mm 以下の印刷であれば使用できます。さらに、長さ 6mm 以下の反射率 60%未満の印刷の間に 2mm 以上の反射率 60%以上の領域があれば、そのようなプレ印刷が繰返しあっても使用できます。
- －用紙の反射率はプリントコントラストメータ「マクベス PCM-II フィルターD」での値です。

The diagram illustrates the constraints for pre-printing on the top and bottom surfaces of a printer's paper path. The top surface is labeled "印字処理面" (Printing Processing Surface). The bottom surface is labeled "(注) \"鏡\"" (Note: "Mirror").

Top Surface Constraints:

- 用紙走行方向 (Paper Travel Direction) is indicated by an upward arrow.
- Region (3) is defined by a width of 2mm以上 (2mm or more) and a length of 6mm以下 (6mm or less).
- Region (4) is defined by a width of 2mm以上 (2mm or more) and a length of 12mm以上 (12mm or more).
- The total width of the top surface is 55mm以上 (55mm or more).

Bottom Surface Constraints:

- Region (1) is defined by a width of 6mm以下 (6mm or less) and a length of 2mm以上 (2mm or more).
- Region (2) is defined by a width of 6mm以下 (6mm or less) and a length of 2mm以上 (2mm or more).
- The total width of the bottom surface is 55mm以上 (55mm or more).
- The total length of the bottom surface is 44mm以上 (44mm or more).
- The total height of the bottom surface is 32mm以下 (32mm or less).
- The total thickness of the bottom surface is 3mm以上 (3mm or more).

(注) "鏡"

(単位：mm)

6.3 元帳

(1) 用紙寸法

タテ	A	210～364mm
ヨコ	B	210～364mm
タテ／ヨコ	A／B	2／3～2 (0.67～2)

(注意) 下表に示す用紙ヨコ寸法の使用はさけてください。用紙右端のインサータローラのエッジと干渉するため、用紙の斜行、コーナ折れ、シワの発生の原因となる恐れがあります。

用紙ヨコ寸法	90～98mm	137～145mm	183～191mm	264～272mm	314～322mm
--------	---------	-----------	-----------	-----------	-----------

(2) 紙質

用紙表裏面の反射率が80%以上の白色で直径0.5mm以上のシミ、ピンホール、汚れ、しわ、カール、ケバ立ちのない上質紙を使用してください。

(3) 用紙連量

70～110kg／連

(4) 用紙のスキ方向(流れ目)

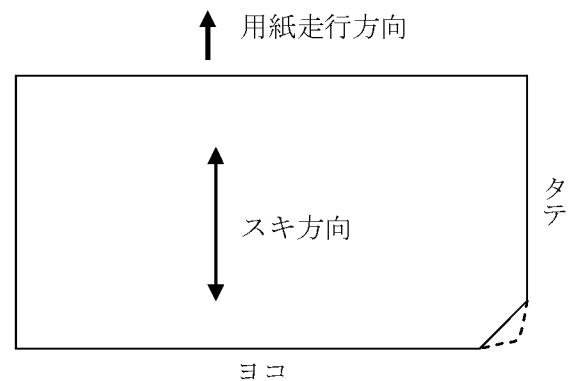
原則として縦方向とします。

(5) 用紙のコーナーのRおよびCカット

用紙右下角のみ可とします。

R：10mm 以下

C：10mm 以下



第 6 章 用紙仕様および帳票設計

(6) 用紙精度

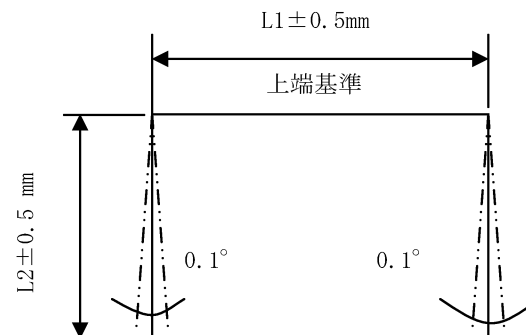
用紙は、装置に対して用紙上端および左端、あるいは左右端を基準にしてセットするため以下の規格を満たしてください。

上端を基準として左右端直角度

$\pm 0.1^{\circ}$ 以内

用紙寸法精度

$L1, L2 \pm 0.5\text{mm}$ 以内



(7) 用紙のカール、折れ、しわ、破れ

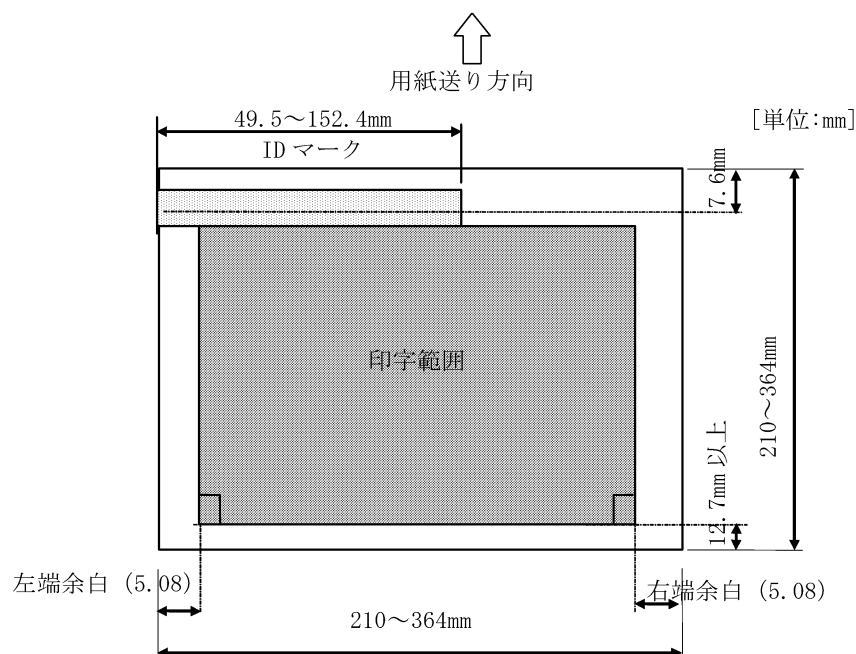
用紙のカール、折れ、しわ、破れは、ジャムの原因となるため、それらの無い用紙を使用してください。

(8) とじ穴

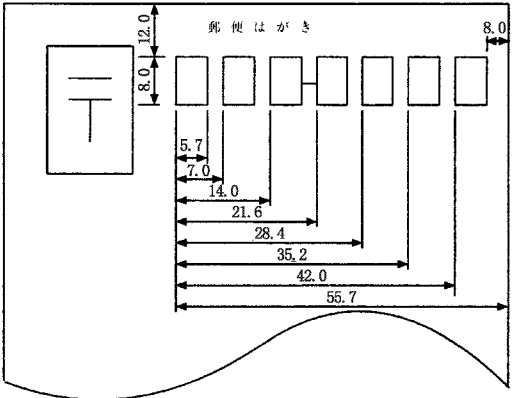
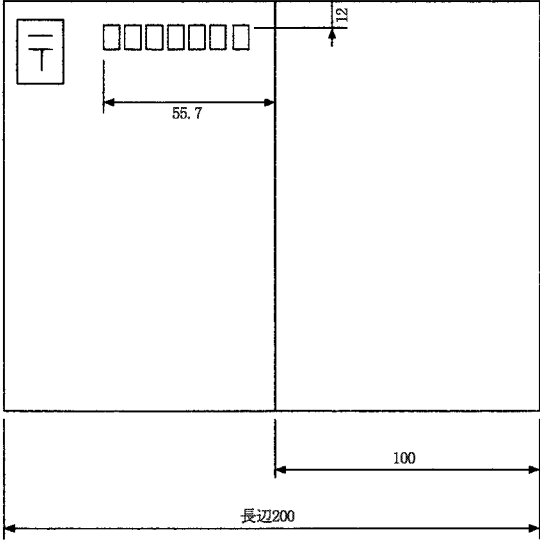
給紙ローラで送られる部分には、とじ穴加工は避けてください。

とじ穴径は、直径 6mm 以下とし個数は 2 個までとします。また、とじ穴より 5mm 以内の範囲は印字禁止領域とします。特に、自動給紙により処理される場合には、とじ穴のダレ、ケバなどによる用紙間の引っ掛りが無いこと。用紙間に引っ掛けがあると重送、斜行、用紙ジャムの原因となるので注意してください。

(9) 印字領域



6.4 はがき

	仕 様・規 格	注 意												
寸 法 お よ び 連 量	7 桁郵便番号枠  単位mm  長辺200 100 用紙寸法と連量 <table><tr><th></th><th>通常はがき</th><th>往復はがき</th></tr><tr><td>長 辺</td><td>140～150 mm</td><td>180～214 mm</td></tr><tr><td>短 辺</td><td>90～107 mm</td><td>140～150 mm</td></tr><tr><td>用紙連量</td><td colspan="2">110～180 kg／連</td></tr></table>		通常はがき	往復はがき	長 辺	140～150 mm	180～214 mm	短 辺	90～107 mm	140～150 mm	用紙連量	110～180 kg／連		■郵便番号枠の周囲 10mm 以内の印刷は禁止します。ただし、ドロップアウトカラーでのプレ印刷は可能です。 (ひとくちメモ) ドロップアウトカラー ■ドロップアウトカラーとは人間の目では見えますが、光学読み取り機構は読み取らないインクの色のことです。郵便番号読み取り機では朱色または、金赤色が相当します。 ■往復はがきを使用する場合には、用紙中央に折り目のあるものは、使用しないでください。折り目は印刷完了後につけてください。 郵便番号を印刷する場合は、図のように長辺の長さは、200 mm にしてください。
	通常はがき	往復はがき												
長 辺	140～150 mm	180～214 mm												
短 辺	90～107 mm	140～150 mm												
用紙連量	110～180 kg／連													
紙 質	用紙の表裏面とも白色（反射率 80%以上）で、しみ、ピンホール、汚れ、しわ、カール、ケバ立ちのない上質紙													

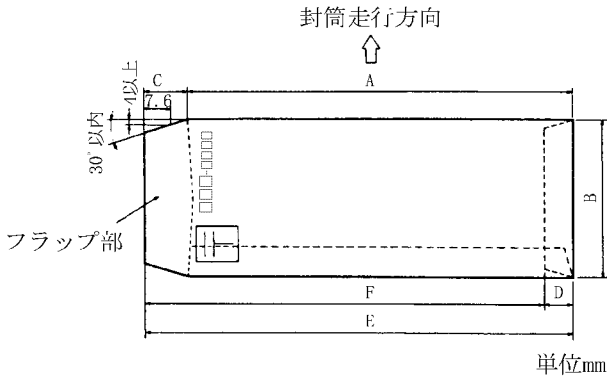
	仕 様 ・ 規 格	注 意
印刷可能領域	■ はがきの場合 用紙走行方向 ↑ 表面 裏面 印刷可能領域 30mm以上 0.5インチ(12.7mm)以上 0.2インチ(5.08mm)以上 0.2インチ(5.08mm)以上 0.2インチ(5.08mm)以上 0.2インチ(5.08mm)以上 7.6mm以上 0.5インチ(12.7mm)以上	
	用紙走行方向 ↑ 表面 裏面 印刷可能領域 0.5インチ(12.7mm)以上 30mm以上 0.2インチ(5.08mm)以上 0.2インチ(5.08mm)以上 0.2インチ(5.08mm)以上 0.2インチ(5.08mm)以上 7.6mm以上 0.5インチ(12.7mm)以上	
	■ 往復はがきの場合 用紙走行方向 ↑ 表面 裏面 印刷可能領域 30mm以上 0.5インチ(12.7mm)以上 0.2インチ(5.08mm)以上 0.2インチ(5.08mm)以上 0.2インチ(5.08mm)以上 0.2インチ(5.08mm)以上 7.6mm以上 0.5インチ(12.7mm)以上 (注) 折り目は印刷完了後につけてください。	

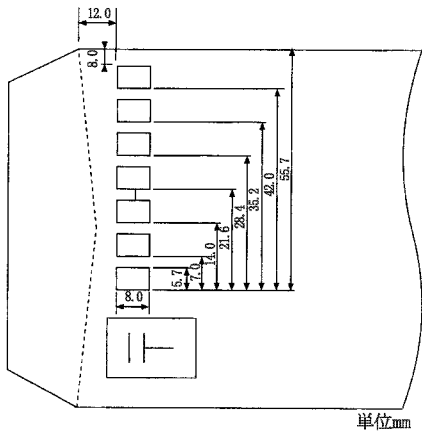
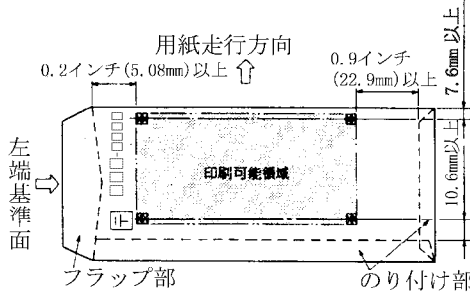
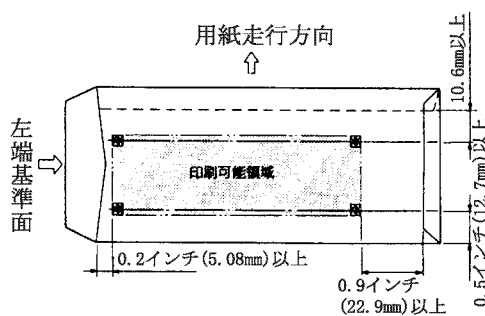
(続く)

(続き)

	仕 様 ・ 規 格	注 意
印刷可能領域	0.2インチ (5.08mm) 以上 用紙走行方向 ↑ 7.6mm 以上 印刷可能領域 0.2インチ (5.08mm) 以上 0.2インチ (5.08mm) 以上 0.5インチ (12.7mm) 以上 30mm 以上 0.2インチ (5.08mm) 以上	(注) 折り目は印刷完了後につけてください。
	■ 下端近くに印刷を行いますと、プリンタ装置が用紙切れを検出し、印刷が失敗することがありますので、印刷可能領域内に印刷してください。余白を設定できないアプリケーションの場合は、以下の操作を行ってください。 『プリンタ』フォルダのメニューから『ファイル』メニューの『サーバーのプロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し、ご使用ください。	

6.5 封 筒

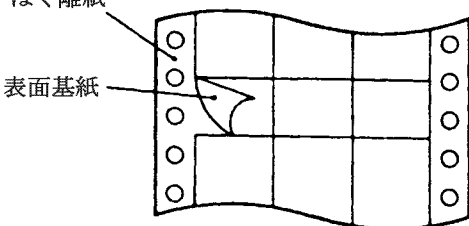
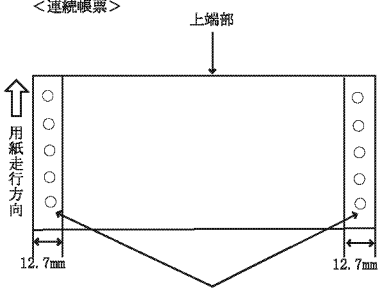
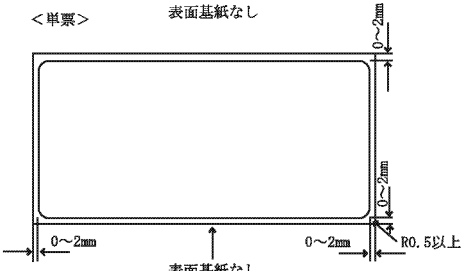
	仕 様・規 格				注 意																																			
寸 法					(注意) フラップ部などにのり付け加工処理の施されている封筒の使用を禁止します。																																			
	用紙寸法 (封筒の場合)																																							
	<table><tr><th>寸法 型格</th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th><th>E</th><th>F</th></tr><tr><td>長形 4 号</td><td>205</td><td>90</td><td>15～30</td><td>5～20</td><td>220～235</td><td>210～230</td></tr><tr><td>長形 3 号</td><td>235</td><td>120</td><td>15～25</td><td>5～20</td><td>250～260</td><td>245～255</td></tr><tr><td>角形 3 号</td><td>277</td><td>216</td><td>20～33</td><td>5～20</td><td>297～310</td><td>292～305</td></tr><tr><td>角形 2 号</td><td>322</td><td>240</td><td>15～32</td><td>5～25</td><td>342～364</td><td>342～359</td></tr></table>				寸法 型格	A	B	C	D	E	F	長形 4 号	205	90	15～30	5～20	220～235	210～230	長形 3 号	235	120	15～25	5～20	250～260	245～255	角形 3 号	277	216	20～33	5～20	297～310	292～305	角形 2 号	322	240	15～32	5～25	342～364	342～359	JIS S5502 準拠 単位 mm
寸法 型格	A	B	C	D	E	F																																		
長形 4 号	205	90	15～30	5～20	220～235	210～230																																		
長形 3 号	235	120	15～25	5～20	250～260	245～255																																		
角形 3 号	277	216	20～33	5～20	297～310	292～305																																		
角形 2 号	322	240	15～32	5～25	342～364	342～359																																		
紙 質	用紙の表裏面の反射率が 60%以上のクラフト紙，ケント紙または，同等品以上のもので，カール，折れ，しわ，破れなどのないもの				封筒は，その製造過程（折曲げのり付け）や梱包状態によってはカールが発生しやすく注意が必要です。よく矯正してカールのない状態にして使用してください。																																			
用 紙 坪 量	封筒型格	長形 4 号	長形 3 号	角形 3 号	角形 2 号																																			
	用紙坪量	50～85	50～85	70～85	70～120	単位 g/m ²																																		
(注意) 坪量とは，1m ² の重量を g で示したものです。																																								

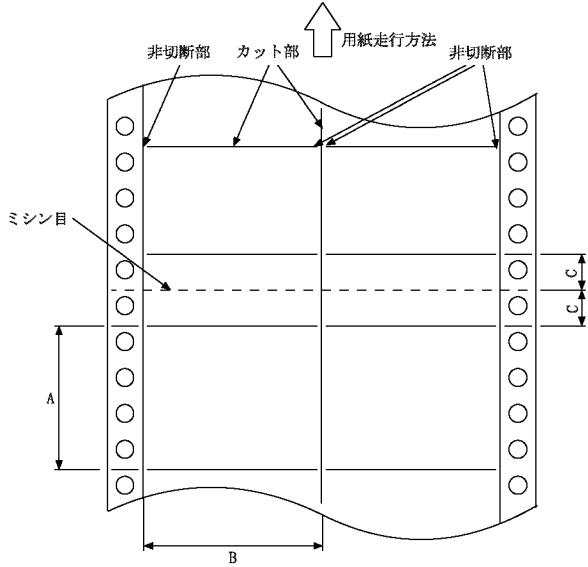
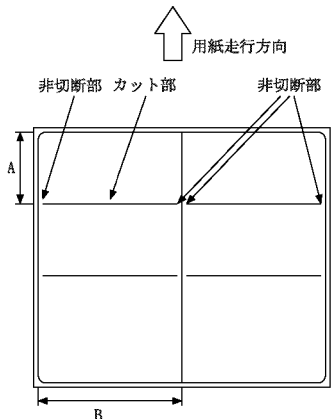
	仕 様・規 格	注 意
郵便番号枠	7桁郵便番号枠  単位mm	■郵便番号記入枠端部より 10mm 以内の印刷は禁止します。ただしドロップアウトカラーでのプレ印刷は可能です。 (ひとくちメモ) ドロップアウトカラー ■ドロップアウトカラーとは人間の目では見えますが、光学読み取り機構は読み取らないインクの色のことです。郵便番号読み取り機では朱色または、金赤色が相当します。
印刷可能領域	■封筒表面の場合  封筒ののり付け部は紙厚が厚くなるため、この付近にヘッドやギャップ基準部が来る位置ではリボン逃げやヘッドの浮上りが生じ、印刷可能領域内でも印刷カスレやのり付け部でのリボン汚れが発生したりすることがあります。 下端近くに印刷を行いますと、プリンタ装置が用紙切れを検出し、印刷が失敗することがありますので、印刷可能領域内に印刷してください。余白を設定できないアプリケーションの場合は、以下の操作を行ってください。 『プリンタ』フォルダのメニューから『ファイル』メニューの『サーバーのプロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し、ご使用ください。 ■封筒裏面の場合 	

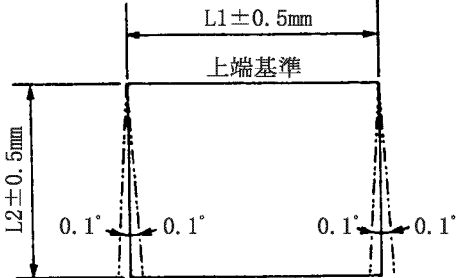
6.6 タック紙

単票形式のタック紙は、用紙断裁時にはみ出したのりが装置内に付着して、次の用紙の給紙における阻害要因となり、給紙不良・スキュー（斜行）などを発生する場合があります。

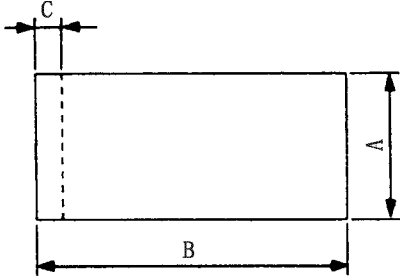
したがって、定期的に「第7章 日常の点検とお手入れ」で記述する方法で、給紙部のクリーニングを行う必要があります。

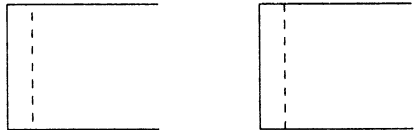
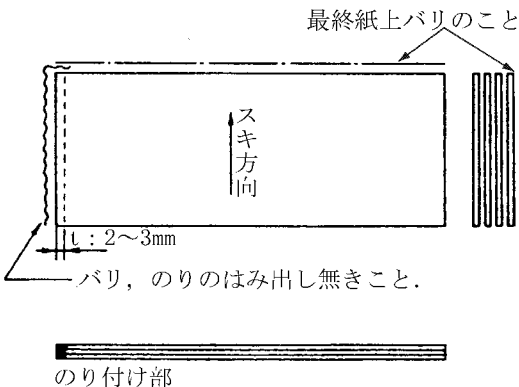
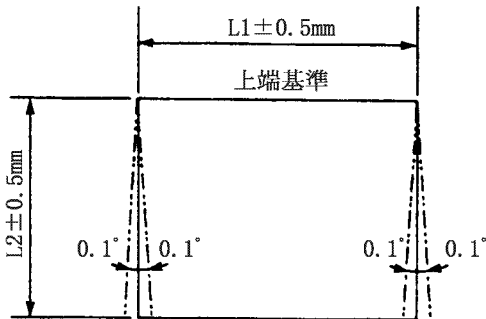
	仕 様・規 格	注 意									
紙質および用紙連量	剥離紙に関しては、用紙裏面の反射率が 60%以上の用紙を使用してください。 <table><tr><th>項目</th><th>用紙連量 [kg／連]</th><th>紙 質</th></tr><tr><td>表面基紙</td><td>43～70</td><td>上質紙</td></tr><tr><td>はく離紙</td><td>45～70</td><td>グラシンペーパー クラフト紙</td></tr></table> はく離紙 表面基紙 	項目	用紙連量 [kg／連]	紙 質	表面基紙	43～70	上質紙	はく離紙	45～70	グラシンペーパー クラフト紙	- 表面基紙とはく離紙用紙連量組合せ：表面基紙≦はく離紙 - はく離紙の片面（表面基紙との接着面）にシリコンコーティングを施してください。
項目	用紙連量 [kg／連]	紙 質									
表面基紙	43～70	上質紙									
はく離紙	45～70	グラシンペーパー クラフト紙									
かす取り	<連続帳票> 上端部  <単票> 表面基紙なし 	- 連続帳票の場合、送り精度を保証するために、かす取り（用紙左右端より 12.7mm 以内の表面基紙を取り去る処理）の行われたタック紙をしようしてください。 - 単票の場合、かす取りは用紙上下端、左右端から 0～2mm 以内で行ってください。 なお、かす取りを行った表面基紙のコーナーのめくり上がりを避けるために R0.5 以上のコーナーR をつけてください。 また、上端部には、破れ、バリ、のりのはみ出しがないようにしてください。									

	仕 様 ・ 規 格	注 意								
カ ッ ト	<table><tr><td></td><td>カット寸法 [mm]</td></tr><tr><td>A</td><td>25.4～284.4</td></tr><tr><td>B</td><td>50.8～364</td></tr><tr><td>C</td><td>12.7 以上 (0 でも可)</td></tr></table>		カット寸法 [mm]	A	25.4～284.4	B	50.8～364	C	12.7 以上 (0 でも可)	カットは表面基紙のみに入れること（はく離横ミシン部は除く）。用紙送行中の表面基紙のめくれ上がりなどを避けるためにラベル上方の左右コーナ付近に 0.5mm 程度の非切断部を設けてください。
		カット寸法 [mm]								
	A	25.4～284.4								
	B	50.8～364								
C	12.7 以上 (0 でも可)									
(a)連続帳票										
										
(b)単票用紙										
										
領 域 印 刷 可 能	印刷可能領域は連続帳票規格、および単票規格による。									

	仕 様・規 格	注 意
用紙精度	用紙は、装置に対して用紙上端、および左端或いは左右端を基準にしてセットおよび走行するため、以下の精度を満足すること. ・上端を基準として左右端直角度 $\pm 0.1^{\circ}$ 以内 ・用紙寸法幅精度 $L1, L2 \pm 0.5 \text{ mm}$ 以内	

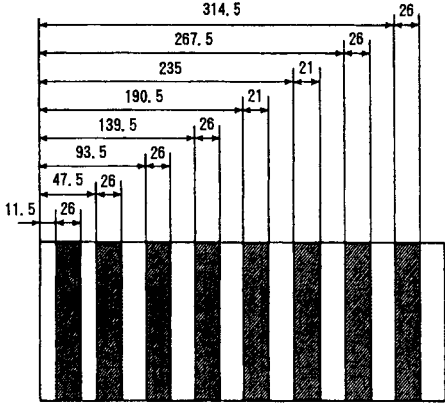
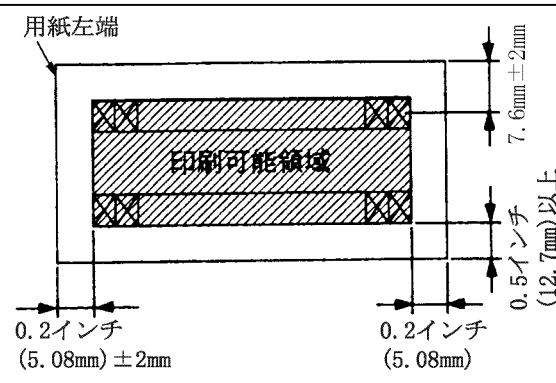
6.7 左とじ伝票

	仕 様・規 格	注 意																																																																																																																																																												
寸 法	 <table><tr><td>タテ A</td><td>100～130mm</td></tr><tr><td>ヨコ B</td><td>198～264mm</td></tr><tr><td>ミシン目 C</td><td>5～13mm に一箇所のみ可</td></tr></table>	タテ A	100～130mm	ヨコ B	198～264mm	ミシン目 C	5～13mm に一箇所のみ可	■本媒体は自動給紙処理の際に用紙先端がバラケやすい傾向があり、また、シワ、カール等の発生によりスキュー、ジャムの起こる可能性が高くなることから、用紙の状態、取扱い、保管には十分注意してください。 使用前に評価を十分行ってください。 ■下記に示す用紙ヨコ寸法の使用はさけてください。 <table><tr><td>用紙ヨコ寸法</td><td>190～198mm</td><td>235～243mm</td></tr></table>	用紙ヨコ寸法	190～198mm	235～243mm																																																																																																																																																			
タテ A	100～130mm																																																																																																																																																													
ヨコ B	198～264mm																																																																																																																																																													
ミシン目 C	5～13mm に一箇所のみ可																																																																																																																																																													
用紙ヨコ寸法	190～198mm	235～243mm																																																																																																																																																												
紙 質	感圧紙、裏カーボン紙をお使いください。	■裏カーボン紙に使用するインクの種類によって用紙間の摩擦係数に大きな差があります。特に用紙の汚れを少なくするためにロウの割合を多くした（ピアレス）タイプのインクは摩擦係数が小さくジャム発生の原因となるため使用しないでください。																																																																																																																																																												
用紙連量	<table><tr><th rowspan="2">連量 枚数 構成内容</th><th colspan="2">4P</th><th colspan="2">5P</th><th colspan="2">6P</th><th colspan="2">7P</th><th colspan="2">8P</th><th colspan="2">9P</th></tr><tr><th>規格</th><th>Kg/連</th><th>規格</th><th>kg/連</th><th>感圧紙 kg/連</th><th>裏カーボン g/m²</th><th>感圧紙 kg/連</th><th>裏カーボン g/m²</th><th>裏カーボン g/m²</th><th></th><th>裏カーボン g/m²</th><th></th></tr><tr><td>1枚目</td><td>A</td><td>43</td><td>A</td><td>43</td><td>43</td><td>35.4～43</td><td>43</td><td>35.3～43</td><td>35.3</td><td>43</td><td>35.3</td><td>43</td></tr><tr><td>2枚目</td><td>B</td><td>34</td><td>B</td><td>34</td><td>34</td><td>35.3～43</td><td>34</td><td>35.3～43</td><td>35.3</td><td>43</td><td>35.3</td><td>43</td></tr><tr><td>3枚目</td><td>B</td><td>34</td><td>B</td><td>34</td><td>34</td><td>35.3～43</td><td>34</td><td>35.3～43</td><td>35.3</td><td>43</td><td>35.3</td><td>43</td></tr><tr><td>4枚目</td><td>C</td><td>43</td><td>B</td><td>34</td><td>34</td><td>35.3～43</td><td>34</td><td>35.3～43</td><td>35.3</td><td>43</td><td>35.3</td><td>43</td></tr><tr><td>5枚目</td><td></td><td></td><td>C</td><td>43</td><td>34</td><td>35.3～43</td><td>34</td><td>35.3～43</td><td>35.3</td><td>43</td><td>35.3</td><td>43</td></tr><tr><td>6枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>43</td><td>45</td><td>34</td><td>35.3～43</td><td>35.3</td><td>43</td><td>35.3</td><td>43</td></tr><tr><td>7枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>43</td><td>45</td><td>35.3</td><td>43</td><td>35.3</td><td>43</td></tr><tr><td>8枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>45</td><td>35.3</td><td>43</td><td></td></tr><tr><td>9枚目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>45</td><td></td></tr><tr><td>用紙厚合計</td><td colspan="4">0.4 mm 以下</td><td colspan="6">0.6 mm 以下（高複写モード時）</td><td colspan="2">規格外</td></tr></table> ■やむをえず規格外の複写枚数の帳票を使用する場合は上記の表に示す用紙構成にしてください。また紙質は裏カーボンの使用を推奨します。 ■裏カーボン紙を使用する場合、最終紙は上質紙を使用してください。 ■最終紙がタックフォームの場合はタック紙の規格を参照してください。			連量 枚数 構成内容	4P		5P		6P		7P		8P		9P		規格	Kg/連	規格	kg/連	感圧紙 kg/連	裏カーボン g/m ²	感圧紙 kg/連	裏カーボン g/m ²	裏カーボン g/m ²		裏カーボン g/m ²		1枚目	A	43	A	43	43	35.4～43	43	35.3～43	35.3	43	35.3	43	2枚目	B	34	B	34	34	35.3～43	34	35.3～43	35.3	43	35.3	43	3枚目	B	34	B	34	34	35.3～43	34	35.3～43	35.3	43	35.3	43	4枚目	C	43	B	34	34	35.3～43	34	35.3～43	35.3	43	35.3	43	5枚目			C	43	34	35.3～43	34	35.3～43	35.3	43	35.3	43	6枚目					43	45	34	35.3～43	35.3	43	35.3	43	7枚目							43	45	35.3	43	35.3	43	8枚目									45	35.3	43		9枚目											45		用紙厚合計	0.4 mm 以下				0.6 mm 以下（高複写モード時）						規格外	
連量 枚数 構成内容	4P		5P		6P		7P		8P		9P																																																																																																																																																			
	規格	Kg/連	規格	kg/連	感圧紙 kg/連	裏カーボン g/m ²	感圧紙 kg/連	裏カーボン g/m ²	裏カーボン g/m ²		裏カーボン g/m ²																																																																																																																																																			
1枚目	A	43	A	43	43	35.4～43	43	35.3～43	35.3	43	35.3	43																																																																																																																																																		
2枚目	B	34	B	34	34	35.3～43	34	35.3～43	35.3	43	35.3	43																																																																																																																																																		
3枚目	B	34	B	34	34	35.3～43	34	35.3～43	35.3	43	35.3	43																																																																																																																																																		
4枚目	C	43	B	34	34	35.3～43	34	35.3～43	35.3	43	35.3	43																																																																																																																																																		
5枚目			C	43	34	35.3～43	34	35.3～43	35.3	43	35.3	43																																																																																																																																																		
6枚目					43	45	34	35.3～43	35.3	43	35.3	43																																																																																																																																																		
7枚目							43	45	35.3	43	35.3	43																																																																																																																																																		
8枚目									45	35.3	43																																																																																																																																																			
9枚目											45																																																																																																																																																			
用紙厚合計	0.4 mm 以下				0.6 mm 以下（高複写モード時）						規格外																																																																																																																																																			

	仕 様・規 格	注 意
ミ シ ン 目 加 工	縦ミシン目は寸法 C の位置に 1 箇所のみ可とし、ミシン目の寸法は連帳用紙規格のミシン目加工の縦ミシン目を参照してください。	■用紙エッジにタイ部がくるように、設定してください。  ○ ×
と じ 方	最終紙上バリのこと  スキ方向 L: 2~3mm バリ, のりのはみ出し無きこと。 のり付け部	■用紙の左端をのり付けし、その他の部分ののり付けは禁止します。のり付けの強度は十分であり容易にはずれないようにしてください。 ■のり付け部には、ふくれ、しわ、縮み、破れ、変色、のりのはみ出し、バリおよびこれらによる用紙間での引っかかりなどがないものをご使用ください。
用 紙 精 度	 $L1 \pm 0.5\text{mm}$ 上端基準 $L2 \pm 0.5\text{mm}$ 0.1° 0.1° 0.1° 0.1°	■このプリンタは、用紙上端および左右端を基準としています。用紙の精度は、左図の値を満足してください。
と じ 穴	■とじ穴を設ける場合は、最上紙、又は最下紙のどちらかには、とじ穴を開けないでください。また、給紙ローラが触れる部分を避けてください（次ページ参照）。 ■とじ穴径は直径 6mm 以下とし、個数は 2 個までとしてください。また、とじ穴の周囲 5mm 以内（◎部）の印刷は禁止します。特に、とじ穴には、ダレ、ケバなどによる用紙間の引掛かりのないようにしてください。	

(続く)

(続き)

	仕 様・規 格	注 意
と じ 穴		
		■部は給紙ローラが用紙と接触する部分で、とじ穴は避けてください。
印 刷 可 能 領 域		■印刷領域に用紙厚の段差のある場合は使用しないでください。印字不良や印字ヘッドの破損につながります。 ■下端近くに印刷を行いますと、プリンタ装置が用紙切れを検出し、印刷が失敗することがありますので、印刷可能領域内に印刷してください。余白を設定できないアプリケーションの場合は、以下の操作を行ってください。 『プリンタ』フォルダのメニューから『ファイル』メニューの『サーバーのプロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し、ご使用ください。

6.8 バーコード印刷

6.8.1 バーコード印刷の用紙規格

バーコードの印字をするときは、反射率、PCS 値および用紙連量などに制約があります。

印刷用紙の反射率が低いときや、厚さが薄くて下地の色が透けるときは、読取り率が低下することがあるので、表に示すバーコード印字および用紙規格を守るよう注意してください。

なお、複写用紙の場合は、1 枚目のみ読取り可能です。

項 目	規 格	備 考
白バーおよびマージンの反射率	70%以上	測定器：マクベス PCM-II 感度特性：フィルタ E を使用
PCS 値	白バーおよびマージンの反射率に対する黒バーの PCS 値は 0.70 以上。	$PCS \text{ 値} = \frac{R_{(W)} - R_{(B)}}{R_{(W)}}$ R(W)：白バーおよびマージンの反射率 R(B)：黒バーの反射率
印刷用紙の色	白色を基準とする。	
用紙連量	70kg 以上の 1P 用紙を推奨	下地の色が透けて見えるような透過率の高い印刷用紙や、薄い印刷用紙は読取り率が低下するので使用しない。

備考 1. 本装置で印字したバーコードは、ドットの組合わせで印字するため本来の規格値との間には多少の差異が生じます。したがって、実際に使用するバーコードリーダーで読取り可能か否かを事前に十分評価する必要があります。

備考 2. バーコードの印字箇所に汚れ、カスレ、しわ、折れ曲がり、破れなどがあると、読取りができない場合があるため、印刷用紙の取扱いには十分注意してください。

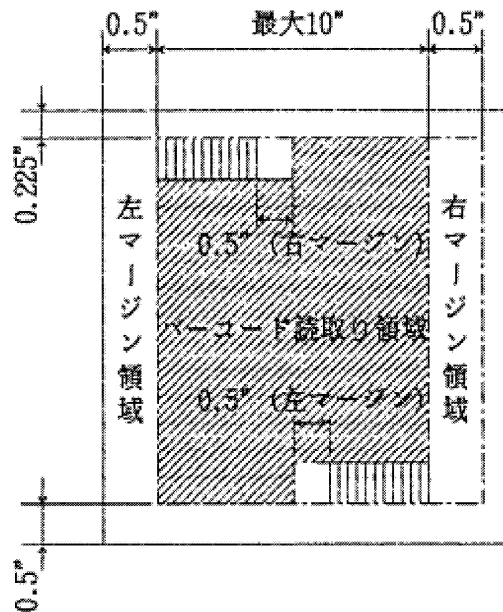
6.8.2 バーコード印刷の読取り

バーコードの読取りは、用紙表面に印刷された規格内バーコードについてのみ可能です。

(裏面バーコードは読めないため、注意してください。)

なお、帳票上のバーコード読取り可能領域は下記のとおりです。

(1) 元帳・単票

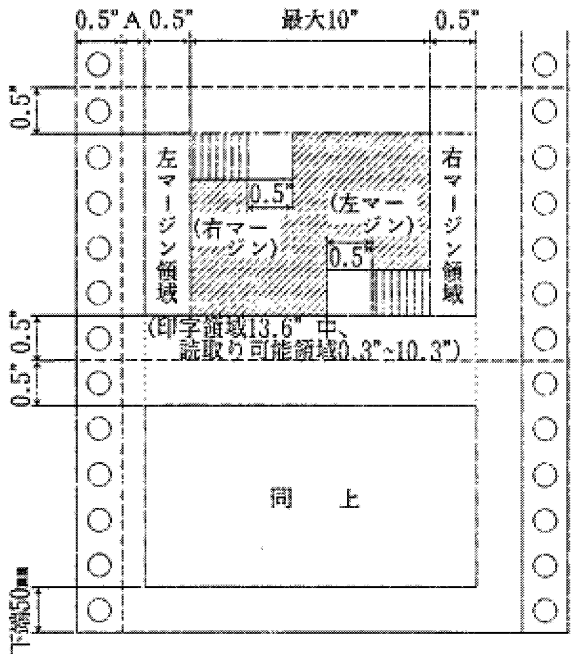


- ・バーコードは、斜線領域内に印刷されていること。

- ・バーコードの左右には、0.5 インチ (12.7mm) 以上のマージンが必要です。

(2) 連続帳票

引張り連帳の場合

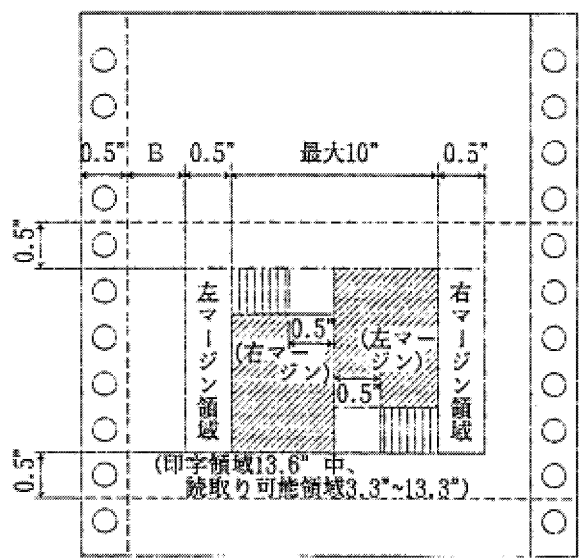


- ・バーコードは，斜線領域内に印刷されていること．
- ・バーコードの左右には，0.5 インチ（12.7mm）以上のマージンが必要です．

(注意) 引張り連長の下端 50mm は用紙の振られが大きくなり，リードエラーが発生することがあります．この範囲のバーコード読み取りは避けてください．

連帳幅	A 寸法	備考
3.5"～15½"	0	
15½"～16"	0～0.5"	連帳幅 16"の場合，A 寸法は 0.5"とする．

押込み連帳の場合



- ・バーコードは，斜線領域内に印刷されていること．
- ・バーコードの左右には，0.5 インチ（12.7mm）以上のマージンが必要です．

（バーコード読取り上の注意事項）

- ①バーコードの高さは累積改行精度を考慮した上で十分な高さであること．
- ②用紙上にバーコードが印刷されたタックフォームを張り付けた帳票や，バーコード保護のためのラミネート処理は原則として禁止します．止むを得ず使用する場合には事前に十分な評価確認をした後，使用の可否を判断してください．

連帳幅	B 寸法	備考
3.5"～15½"	3.0"	
15½"～16"	3.0"～3.5"	連帳幅 16"の場合，B 寸法は 3.5"となる．

6.9 プレプリント用紙について

罫線枠のある用紙（プレプリント用紙）に印字する場合、用紙のたわみや吸入セット位置のズレなどによって、印字した文字が罫線枠上に重なったり、はみだしたりすることがありますので、事前に試し印字で印字位置を確認するようにしてください。

なお、罫線枠は上下左右に2mm程度の余裕をもたせることを推奨いたします。

6.10 用紙の取り扱い上の注意

(1) 用紙の保管および取扱いについて

用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。
湿気の多い所での保管は、絶対に避けてください。

(2) 特殊用紙について

- ・この章に記述した仕様と異なる特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。
- ・再生紙の種類によっては、インクリボンの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに変更してください。

(3) 使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、つまり、折れ、および印字ずれの原因となります。最悪の場合には、ワイヤドットピンが折れる可能性もあります。

- ・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・切り抜き部分や窓のある紙
- ・ピン、クリップ、ホッチキスの針など金属の付いている紙
- ・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙
- ・浮き彫りのある紙
- ・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
- ・複写紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙、または部分的に複写枚数が異なる紙
- ・端または角が破れていたり、折れている紙

第7章 日常の点検とお手入れ

装置が汚れていると、印字品質が悪くなったり、紙づまりを起こしたりします。
予防のため、時々手入れをしてください。

7.1 日常の点検

毎日、使い始めと終わりに、次のことをチェックしてください。

(1) 始めの点検

- － プリンタの回りは、ちらかっていませんか？
特に、クリップ、紙くずなどを確かめて、整頓しましょう。

(2) 終わりの点検

- － プリンタの電源は切りましたか？
安全のため、できるだけ電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

7.2 日常のお手入れ

- － トップカバーなどの汚れは、かたくしぼったぞうきんなどをお使いください。
- － 洗剤は中性洗剤をお使いください。
- － シンナーなどは、ご使用にならないでください。
- － 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

7.3 用紙送りローラ、自動給紙部ローラの清掃の仕方

- － 用紙送りローラに紙粉が付着すると用紙フィード力が低減し、用紙送りに支障が生じるおそれがあるので、エチルアルコールを含んだやわらかい布でクリーニングしてください。
- － 給紙ローラに紙粉、タック紙のノリなどが付着した場合はエチルアルコールを含んだやわらかい布でクリーニングしてください。

第 8 章 設置諸元

本章では、本装置の設置仕様、外形寸法および保守スペースについて説明します。

8.1 設置仕様

本装置の設置仕様を表 8.1 に示します。

表 8.1 設置仕様

項 目		仕 様		備 考	
外形寸法		幅	奥 行	高 さ	・奥行はカバー部を示す. ・*1 はホッパ, スタッカ部 (伸長時) を含む. ・*2 はフェースダウンスタッカ (オプション) 搭載時でホッパ, スタッカ (伸長時) を含む.
		645	415 (833)* ¹ (746)* ²		
質量 (kg)		37 (44)			() 内はフェースダウンスタッカ (オプション) 搭載時
入力電源	電圧	AC100V±10%			
	相数	単 相			
	周波数	50/60Hz +2% -4%			
所要電力量		平均 0.3KVA			最大負荷時 0.6KVA 待機時 20W 以下, 電源 OFF 時 0W
発熱量		最大 2.1MJ/h			
温度, 湿度 許容範囲	装置状態	稼動中	休止中	ただし, 結露のないこと	
	温度 (℃)	5～35	0～50		
	湿度 (%RH)	20～80	10～80		
	高温湿球 温度 (℃)	29			
添付ケーブル		電源ケーブル			電源ケーブル 3m
工事側電源コンセント仕様		125V／15A, 2 極接地型			神 保 1136/1132 松 下 WF3002 アメリカン電器 20/120

8.2 外形寸法

本装置の外形寸法を図 8.1 に示します。

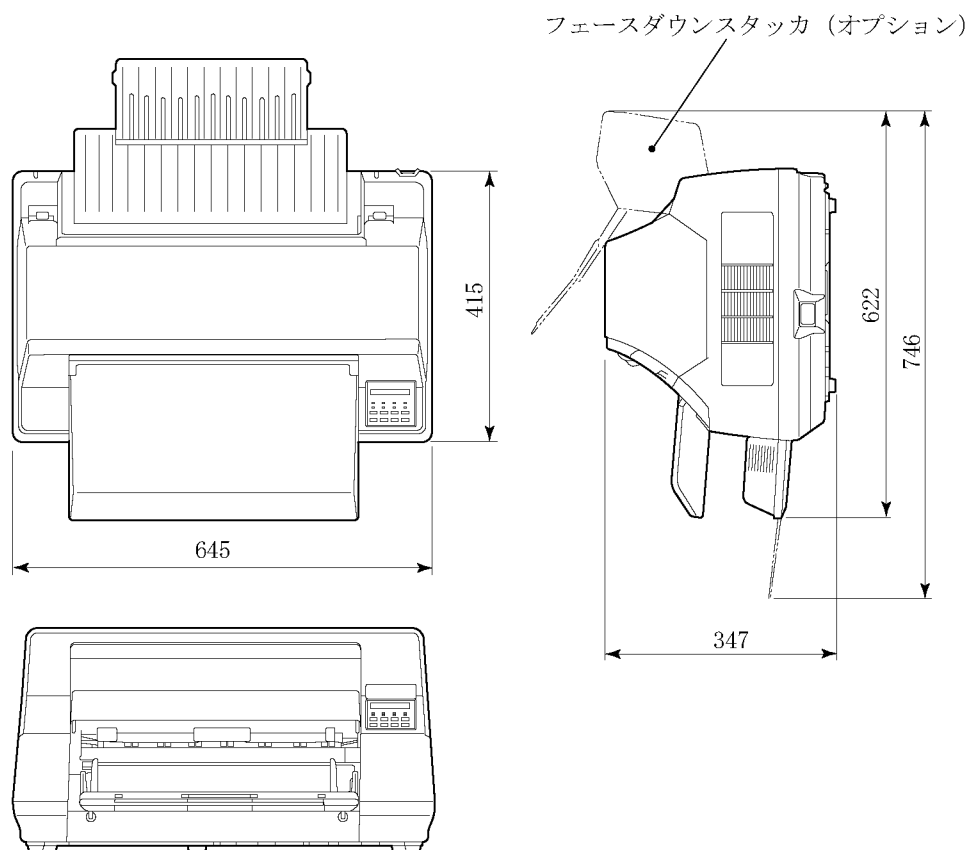


図 8.1 外形寸法

8.3 保守スペース

本装置の保守スペースを図 8.2 に示します。

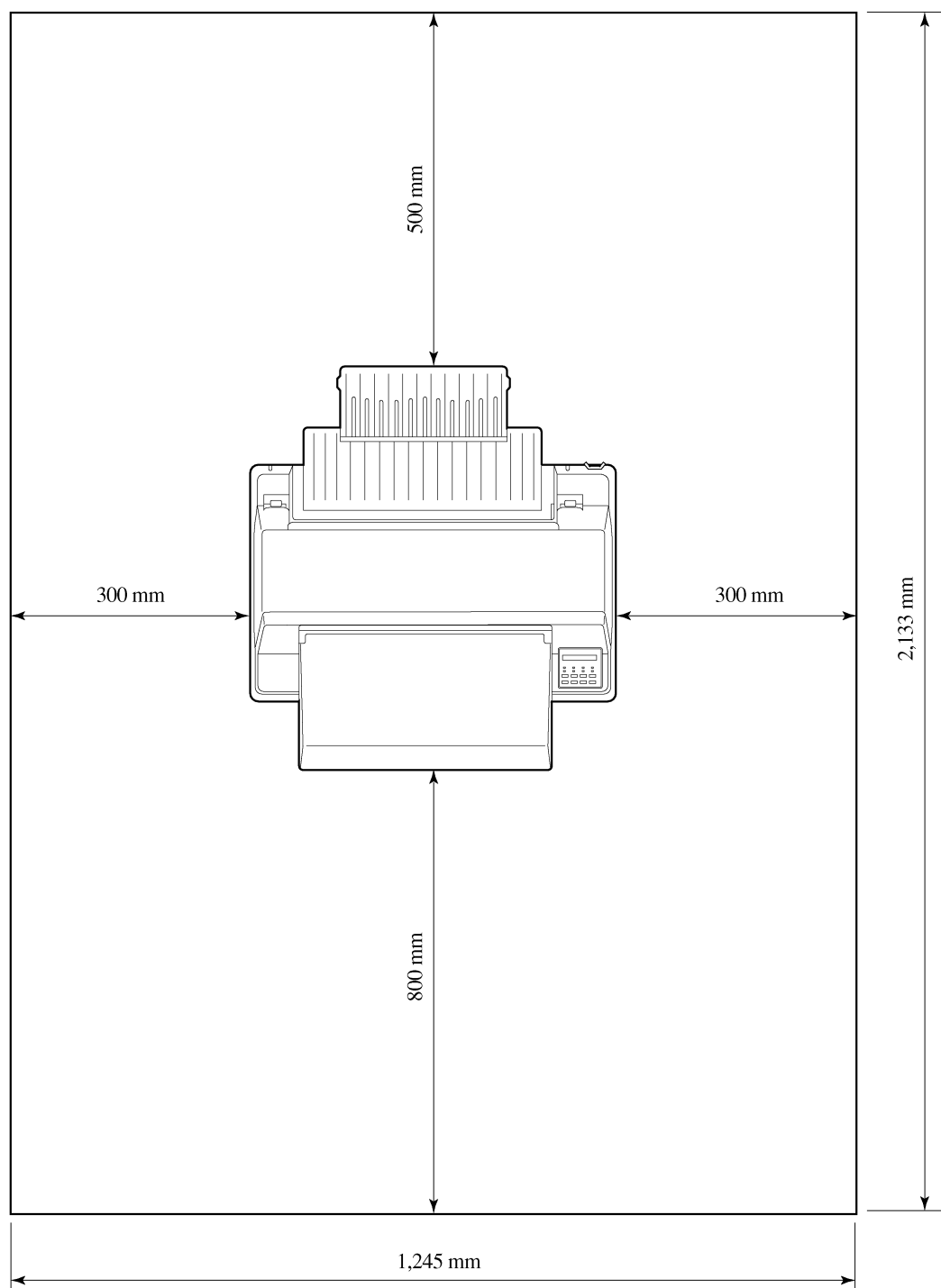


図 8.2 保守スペース

第9章 付 録

本章では、本装置の液晶ディスプレイに表示されるメッセージの一覧および文字コードについて示します。

9.1 メッセージ一覧

9.1.1 オフライン系

オフライン系のメッセージ一覧を表 9.1 に示します。

表 9.1 オフライン系のメッセージ一覧（続く）

	状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	00	点灯	消灯	鳴らない	00 オンライン	オンライン状態 ・動作可能	(不要)
	90	消灯	消灯	鳴らない	90 オフライン ヨウシイチ	オフライン画面 ・N-Ready ・エラーからの戻り画面	用紙位置確認または調整後スタート SW 押下
	90	消灯	消灯	鳴らない	90 オフライン データアリ	オフライン画面 ・N-Ready ・未印刷データ有り	スタート SW 押下 PrintWalker 設定
	90	消灯	消灯	鳴らない	90 オフライン	オフライン画面 ・N-Ready	スタート SW 押下
	98	消灯	消灯	鳴らない	98 → → → → →	ローディング中 (制御プログラムを RAM 上に読込中)	(不要)
	99	消灯	消灯	鳴らない	99 → →	初期診断中 (内部ハードウェアのチェック中)	(不要)
※1	08	消灯	消灯	鳴らない	08 テイシタイムアウト	停止タイムアウト (約 10 分間)	任意の SW 押下
※1		点灯	消灯	鳴らない	PA キー 1 / 2	機能 SW 選択	再度機能 SW 押下
※1		点灯	消灯	鳴らない	ナシ	機能 SW 選択無し	再度機能 SW 押下
※1		点灯	消灯	鳴らない	キャンセル	機能 SW キャンセル 機能選択	再度機能 SW 押下
※1		点灯	消灯	鳴らない	PA 1	機能 SW PA1 キー機能選択	再度機能 SW 押下
※1		点灯	消灯	鳴らない	PA 2	機能 SW PA2 キー機能選択	再度機能 SW 押下
※1		点灯	消灯	鳴らない	ペーパーアシスタント 2 / 2	機能 SW 用紙調整機能	再度機能 SW 押下
※1		点灯	消灯	鳴らない	ペーパーアシスタント	機能 SW 用紙調整機能	再度機能 SW 押下

※ サポートサーバ設定が PrintWalker の場合、表示されません。

表 9.1 オフライン系のメッセージ一覧（続き）

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ツウロオープンチュウ	用紙搬送経路開放中 (引張り・用紙無時に用紙セット SW 押下)	(不要)
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシ ハンソウチュウ	用紙セット／後退動作中 (用紙セット SW 押下)	(不要)
	点灯	消灯	鳴らない	パターン カキヨミチュウ	SEND CG 実行中	(不要)
	点灯	消灯	鳴らない	テサシ ニ ヨウシ ヲ セット	オンライン状態 ・手差し口用紙セット要求	手差し口に用紙をセット
	点灯	消灯	鳴らない	テサシ ヨウシ ノ ショキョ	オンライン状態 ・手差し口用紙除去要求	手差し口の用紙を除去
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシ キリカエ ショリチュウ	用紙切換え処理中 (用紙選択 SW 押下)	(不要)
	消灯	消灯	鳴らない	ヒタ° リマージ° シン : ××	左端設定	再度機能 SW 押下
	消灯	消灯	鳴らない	ヘ° ージ° チョウ : ××	ページ長	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ロード° イチ : ×××	ロード位置	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カンジ° ヒ° ツチ : ××	漢字ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ANヒ° ツチ : ××	ANピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイキ° ヨウヒ° ツチ : ×LPI	改行ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイキ° ヨウカンカク : ×LF	改行間隔	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インサツモード°	印刷モード	同上
	消灯	消灯	鳴らない	リボン: ××××××××××	リボンカウント	同上
	消灯	消灯	鳴らない	リボンカウントリセット: ×××	リボンカウントリセット	同上
	消灯	消灯	鳴らない	レンゾ° クキュウシ : ××	連続給紙	同上
※2	消灯	消灯	鳴らない	ウラ ID モード : ××	裏 ID モード	同上
	消灯	消灯	鳴らない	テストインジ°	テスト印字	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ジ° ッコウチュウ	テスト印字中	(不要)

※2 サポートサーバ設定が、6680-NMC、HOST PRINT の場合、表示されません。

9.1.2 セットアップ系

セットアップ系のメッセージ一覧を表 9.2 に示します。

表 9.2 セットアップ系のメッセージ一覧（続く）

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
98	消灯	消灯	鳴らない	98 → → → → →・	電源投入時、5 番目の→が表示されてから 6 番目の→が表示されるまでに、セットアップ遷移用 SW を押下するとセットアップ初期化処理画面に遷移する。	(不要)
97	消灯	消灯	鳴らない	97 → → → → →・	セットアップ受付後の初期化処理画面。	(不要)

(1) セットアップメニュー遷移

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ° ツウシン 1 / 6	セットアップメニュー (1 / 6)	用紙カット SW 押下で書き込み処理画面へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ° ソウチ 2 / 6	セットアップメニュー (2 / 6)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ° ヨウシ 3 / 6	セットアップメニュー (3 / 6)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ° ジュミョウ 4 / 6	セットアップメニュー (4 / 6)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ° インサツ 5 / 6	セットアップメニュー (5 / 6)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	へ° ーハ° ー アシ° ヤスト 6 / 6	セットアップメニュー (6 / 6)	同上

第9章 付 録

(2) IPL カクニン

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ ^o カキコミ	セットアップ情報書込み 確認画面	決定 SW 押下で書 込み処理へ遷移 用紙カット SW 押 下で初期診断確 認画面へ
	消灯	消灯	鳴らない	ローテ ^o インク ^o 1 / 2	初期診断確認画面 (1 / 2)	決定 SW 押下で初 期診断へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ ^o メニュー 2 / 2	初期診断確認画面 (2 / 2)	決定 SW 押下でセ ットアップメニ ューへ遷移

(3) ツウシンセットアップ

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	サポ ^o ートサーバ ^o 1 / 3	通信関連セットアップ (1 / 3) 選択▲▼で選択	用紙カット SW 押 下で通信セットア ップ画面に戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	LAN インタフェース 2 / 3	通信関連セットアップ (2 / 3) 選択▲▼で選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ソウチメイ セッテイ 3 / 3	通信関連セットアップ (3 / 3) 選択▲▼で選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	××××××××××××××××	装置名設定	用紙カット SW 押 下で装置名設定 へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	LAN インターフェース : ××××	LAN インターフェース設 定	用紙カット SW 押 下で LAN インタ ーフェース画面 に戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	PrintWalker 1 / 3	サポートサーバ設定 (1 / 3)	用紙カット SW 押 下でサポートサ ーバ画面に戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	6 6 8 0 - NMC 2 / 3	サポートサーバ設定 (2 / 3)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	HOST PRINT 3 / 3	サポートサーバ設定 (3 / 3)	同上

(続く)

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
PrintWalker 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	MAC アドレス 1 / 8	通信設定 (1/8)	用紙カット SW 押下でサポートサーバ設定へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	I Pアドレス 2 / 8	通信設定 (2/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ネットマスク 3 / 8	通信設定 (3/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ 1 4 / 8	通信設定 (4/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ 2 5 / 8	通信設定 (5/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ 3 6 / 8	通信設定 (6/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ 4 7 / 8	通信設定 (7/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	デフォルトルータ 8 / 8	通信設定 (8/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	×××. ×××. ×××. ×××	アドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	MAC グローバル	グローバルアドレス表示	同上
	消灯	消灯	鳴らない	アテサキアドレス 1 / 2	ゲートウェイ設定 (1/2)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイアドレス 2 / 2	ゲートウェイ設定 (2/2)	同上
6680-NMC 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	LANアドレス 1 / 5	LAN アドレス設定	用紙カット SW 押下でサポートサーバ設定へ戻る
	消灯	消灯	鳴らない	グローバルアドレス 2 / 5	LAN グローバルアドレス表示	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ローカルアドレス 2 / 5	LAN ローカルアドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	アイテサキアドレス 3 / 5	LAN 相手先アドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	タイムアウト: ××. ×S 4 / 5	LAN タイムアウト値設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	サイソウスウ: ××カイ 5 / 5	LAN 再送数設定	同上
HOST PPRINT 設定時						
	消灯	消灯	鳴らない	サーバ IPアドレス 9 / 10	サーバアドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セッションリトライ 10 / 10	セッションリトライ設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セッションリトライ: ××カイ	セッションリトライ回数設定	用紙カット SW 押下でセッションリトライ設定へ戻る

第9章 付 録

(4) 装置設定セットアップ

(続く)

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
PrintWalker 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	E B C D I C : × × × × × × ×	EBCDIC フォント設定	用紙カット SW 押下で装置設定セットアップ選択画面へ戻る
	消灯	消灯	鳴らない	インサツト [°] ウサ : × × × × × × ×	印刷動作設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インサツモード [°]	印刷モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ツウジョウ コウソク チュウソク ツウジョウ+コウフクシャ コウソク+コウフクシャ チュウソク+コウフクシャ	選択▲▼SWで印刷 モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	A N コー ト [°] : × × × × ×	AN コード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インジ [°] ケタスウ : × × × ケタ	印字桁数設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヘッ ト [°] ト [°] ウサ : × × × × × × ×	印字ヘッド動作方向設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セツデンモード : × × ×	節電モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイページ : × × ×	改ページの動作設定	同上
6680-NMC・HOST-PRINT 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	E B C D I C : × × × × × × ×	EBCDIC フォント設定	用紙カット SW 押下で装置設定セットアップ選択画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	インサツト [°] ウサ : × × × × × × ×	印刷動作設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インサツモード [°]	印刷モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ツウジョウ コウソク チュウソク ツウジョウ+コウフクシャ コウソク+コウフクシャ チュウソク+コウフクシャ	選択▲▼SWで印刷 モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	F F ユウコウイチ : × × × × ×	FF (Form Feed) 有効位置設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ミキ [°] ハシ+NL : × L F	右端+NL 設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ミキ [°] ハシ+CR : × L F	右端+CR 設定	同上
※1	消灯	消灯	鳴らない	ミテイキ [°] モジ [°] : × × × × ×	未定義文字設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	A N コー ト [°] : × × × × ×	AN コード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インジ [°] ケタスウ : × × × ケタ	印字桁数設定	同上

(続き)

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシシュウリョウ : ××××××	用紙終了時 (中断/継続)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヘット° ト° ウサ : ××××××	印字ヘッド動作方向設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セツデンモード : ×××	節電モード設定	同上

注 1) サポートサーバ設定が HOST PRINT 時は印未定義文字は無効で表示しない。

(5) 用紙設定セットアップメニュー

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	レンチョウ 1 / 2	用紙設定画面 連帳	用紙カット SW 押 下で用紙設定セ ットアップ選択 画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	タンビ° ヨウ 2 / 2	用紙設定画面 単票	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヒタ° リマージ° シン : ××	左端設定	用紙カット SW 押 下で連帳/単票 画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	へ° ージ° チョウ : ××	ページ長	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ロード° イチ : ×××	ロード位置	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カンシ° ヒ° ツチ : ××	漢字ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ANヒ° ツチ : ××	ANピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイキ° ヨウヒ° ツチ : × L P I	改行ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイキ° ヨウカンカク : × L F	改行間隔	同上
	消灯	消灯	鳴らない	フウトウモート° : ××	封筒モード	同上
	消灯	消灯	鳴らない	レンゾ° クキュウシ : ××	連続給紙設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	テサシテマエハイシュツ : ××	手差し用紙手前排出設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ウラ I D モート° : ××	裏 ID モード	同上

第9章 付 録

(6) 書き込み処理

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	シテイチ カキコミ 1 / 2	書き込み処理選択 (指定値書き込み)	用紙カット SW 押 下でセットアッ プ画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	デフォルト カキコミ 2 / 2	書き込み処理選択 (デフォルト書き込み)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	スタート SW ラ オス	書き込み処理開始 ・実行前 ・スタート・ストップ SW 押下で実行	用紙カット SW 押 下で書き込み処理 選択画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	ジッ コウチュウ	書き込み処理実行 ・実行中	正常終了で書込 み処理選択画面 へ遷移.

(7) 消耗品セットアップ

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	リボンライフ 1 / 2	リボンライフ設定画面	用紙カット SW 押 下で消耗品セッ トアップ選択画 面へ戻る
	消灯	消灯	鳴らない	リボンカウント 2 / 2	リボンカウント設定画面	同上
	消灯	消灯	鳴らない	リボンライフ : XXXXマン	リボンライフ設定	用紙カット SW 押 下で消耗品選択 画面へ戻る
	消灯	消灯	鳴らない	XXXXXXXXXXXX モジ	リボンカウント表示	同上

(8) セットアップ印刷

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	スタート SW ラ オス	・実行前 ・スタート・ストップ SW 押下で実行	用紙カット SW 押 下でセットアッ プ印刷選択画面 へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	ジッ コウチュウ	・実行中	正常終了でセッ トアップ印刷画 面へ遷移.

(9) 用紙微調整

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ペーパーアシスタント	用紙微調整開始画面	用紙カット SW 押下でペーパーアシスタント選択画面へ戻る。

9.1.3 コントローラ系エラー

コントローラ系のエラーメッセージ一覧を表 9.3 に示します。

表 9.3 コントローラ系のエラーメッセージ一覧（続く）

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
40-00	消灯	点滅	間欠鳴動	ER40-01：メモリエラー	ROM SUM チェックエラー	電源 OFF →再投入
40-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER40-02：メモリエラー	LAN グローバルアドレス用 ROM SUM チェックエラー	
41-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER41-01：メモリエラー	SDRAM W/R チェックエラー (ROM 部でのエラー検出)	
41-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER41-02：メモリエラー	ブート部のコンペアチェックエラー	
41-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER41-03：メモリエラー	SDRAM W/R チェックエラー (RAM 部でのエラー検出)	
42-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER42-09：PCB XXXX	LANCE オープンエラー またはシステムエラー	
43-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-01：LAN XXXX	LAN 二重アドレス (設定ミス) エラー	
43-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-02：LAN XXXX	相手ノードウィンド長エラー	
43-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-03：LAN XXXX	相手受信情報部長エラー	
43-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-04：LAN XXXX	LAN 用 DP-RAM エラー	
43-05	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-05：LAN XXXX	アンダーフローエラー	
43-06	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-06：LAN XXXX	LAN 用 S-RAM において、ファームの設定ミス OR アンダーフローエラー	
43-07	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-07：LAN XXXX	伝送路異常 (エラー未検出) (LAN コネクタ抜け)	

(続く)

表 9.3 コントローラ系のエラーメッセージ一覧（続く）

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧 方法
43-08	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-08 : LAN XXXX	伝送路異常（エラー検出） （LAN コネクタ抜け）	電源 OFF →再投入
43-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-09 : LAN XXXX	LANCE OPEN 不可 （ローカルアドレス未設定）	
43-10	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-10 : LAN XXXX	LANCE OPEN 不可 （他ノードアドレス未設定）	
45-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER45-01 : FLASH エラー	FLASH アクセスエラー	
47-0X	消灯	点滅	間欠鳴動	ER47-0X : ソケットエラー	ファーム（ソケット）内部 矛盾 ※X は 1～9	
48-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER48-01 : システムエラー	整合性チェックエラー （LAN ファーム）	
48-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER48-02 : システムエラー	整合性チェックエラー （メカコンファーム）	
48-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER48-03 : システムエラー	ExxVxxLxx の形式エラー	
49-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-01 : PCF XXXX	ファーム処理で内部矛盾の 検出	
49-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-02 : PCF XXXX	TLB 変更例外	
49-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-03 : PCF XXXX	TLB 不一致例外 （ロード命令又は命令フェッチ）	
49-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-04 : PCF XXXX	TLB 不一致例外 （ストア命令）	
49-05	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-05 : PCF XXXX	アドレスエラー（ロード命令 又は命令フェッチ）	
49-06	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-06 : PCF XXXX	アドレスエラー （ストア命令）	
49-07	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-07 : PCF XXXX	バスエラー（命令フェッチ）	
49-08	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-08 : PCF XXXX	バスエラー（データロード 命令又はストア命令）	
49-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-09 : PCF XXXX	システムコール例外	
49-10	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-10 : PCF XXXX	ブレイクポイント例外	
49-11	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-11 : PCF XXXX	予約命令例外	
49-12	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-12 : PCF XXXX	コプロセッサ使用不可例外	

（続く）

表 9.3 コントローラ系のエラーメッセージ一覧（続き）

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
49-13	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-13 : PCF XXXX	算術オーバフロー例外	電源 OFF →再投入
49-14	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-14 : PCF XXXX	NMI 例外 Write バスエラー	
49-15	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-15 : PCF	ULTB 不一致	
49-16	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-16 : PCF	ベクタアドレス (0 x BFC00180) への割り込み	
49-17	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-17 : PCF	デバッグ例外	
49-18	点灯	消灯	間欠鳴動	ER49-18 : PCF XXXX	DMA エラー (MPU)	
89-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER89-01 : ハ° ターン	上位装置に要求した非常駐 文字に対する応答がない.	通信再開で復旧
27-01	消灯	消灯	鳴らない	ER27-01 : シ° ヨウイソウチ	上位装置との接続が切断さ れた	
07-01	点灯	点滅	鳴らない	ER07-01 : プ° ログ° ラム	プログラムエラー (OP-CHK) コマンド／オーダの異常	スタート SW 押下 プログラムエラ ー要因除去後, 再実行
32-01	点灯	点滅	間欠鳴動	ER32-01 : POC イジョウ	POC エラー	スタート SW 押下 でオフライン 遷移

第9章 付 録

9.1.4 メカ系エラー

メカ系のエラーメッセージ一覧を表 9.4 に示します。

(1) オペレータコール

表 9.4 メカ系のエラーメッセージ一覧（続く）

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
01-01	点灯	消灯	間欠鳴動	ER01-01：ヨウシキ ^レ	用紙切れ ・Busy（停止） ・発生後、1分時間監視でタイムアウト時は ER31-01 に遷移。	機能 SW 押下後、ブザーが停止してタイムアウト時間を10分に延長 用紙をセットし、用紙セット SW 押下で用紙吸入 機能 SW 押下でオンライン画面に遷移し、継続印刷
09-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER09-01：カバ ^ー	カバーが開けられた	カバー閉後、スタート SW 押下
09-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER09-02：ツウロオ ^フ ン	用紙通路が開けられた	用紙通路オープンレバーで用紙通路を閉じた後、スタート SW 押下
09-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER09-03：ヘッ ^ト アッ ^プ	ヘッドがアップ状態である	用紙交換後、スタート SW 押下
09-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER09-04：カバ ^ー	オンライン印刷中にカバーが開けられた	カバーを閉じる。
10-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER10-01：ヨウシ ツ ^マ リ	改行用紙ジャム	用紙交換後、スタート SW 押下
12-06	消灯	点滅	間欠鳴動	ER12-06：オ ^ー トロ ^ー ト	吸入ジャム	用紙交換後、スタート SW 押下
13-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER13-01：キリカエエ ^ラ ー	押込み→引張り切り替えジャム 押込み→単票切り替えジャム	用紙交換後、スタート SW 押下
13-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER13-02：キリカエエ ^ラ ー	引張り→押込み切り替えジャム 引張り→単票切り替えジャム	用紙交換後、スタート SW 押下

（続く）

表 9.4 メカ系のエラーメッセージ一覧（続き）

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
31-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER31-01 : ヨウシキ° レ	用紙切れ	用紙セット後, (1) 用紙セット SW 押下で用紙吸入後, スタート SW 押下. (2) スタート SW 押下で用紙吸後, オンライン状態.
02-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER02-01 : ホ° シ° ション	・郵便コマンド実行時右端検出不可 ・単票吸入実行時手差し入口紙有 ・連続給紙モードで給紙されている状態で手差し口からの印刷を行った時	用紙交換後, スタート SW 押下
34-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER34-01 : セレクトミス	元帳（単票）データを連帳選択時に受信	単票選択後, スタート SW 押下
60-00	消灯	点滅	間欠鳴動	ER60-00 : リート° エラー	ID マーク／バーコードリード時のリードエラー	用紙交換後又はリボンカセット交換後スタート SW 押下

第9章 付 録

(2) サービスマンコール

(続く)

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容		復旧方法
81-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER81-01 : EEPROM	EEPROM エラー		電源 OFF →再投入
81-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER81-02 : シーケンスエラー	インストールコマンド シーケンスエラー		電源 OFF →再投入
81-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER81-03 : データエラー	インストールデータエラー		電源 OFF →再投入
81-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER81-04 : カキコミエラー	インストール書込みエラー		電源 OFF →再投入
82-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-01 : モータエラー	モータ エラー	ピックモータエラー	スタート SW 押下 によりオフライン 状態 再度エラー発生時 は再表示
82-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-02 : モータエラー		LF モータエラー	
82-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-03 : モータエラー		ホッパモータエラー	
82-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-04 : モータエラー		カムモータエラー	
82-05	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-05 : ホッパエラー		ホッパエラー	
82-07	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-07 : モータエラー		フェースダウンユニットモータエラー	
82-08	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-08 : ヒューズエラー	ヒューズエラー	センサヒューズ切れ	
82-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-09 : チェックカイロ	ドライブ 回路エラー	ホッパモータチェック回路エラー	
82-0A	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-0A : チェックカイロ		カムモータチェック回路エラー	
82-0B	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-0B : チェックカイロ		ピックモータチェック回路エラー	
82-0C	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-0C : チェックカイロ		LF モータチェック回路エラー	
82-0D	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-0D : チェックカイロ		ヘッドモータチェック回路エラー	

(続き)

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容		復旧方法
82-0E	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-0E：チェックカイロ	ドライブ回路エラー	フェースダウンユニットモータチェック回路エラー	スタート SW 押下によりオフライン状態 再度エラー発生時は再表示
83-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER83-01：ファンテイシ	装置冷却用ファン停止エラー		
83-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER83-02：ファンテイシ	キャリアモータ冷却用ファン停止エラー		
84-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER84-01：テンゲン	電源電圧異常		
84-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER84-02：パワーオフ	パワーオフエラー		電源 OFF →再投入
85-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER85-01：スペースエラー	印字ヘッド動作異常		スタート SW 押下によりオフライン状態 再度エラー発生時は再表示
85-0B	消灯	点滅	間欠鳴動	ER85-0B：ヘッドイチ	印字ヘッド位置異常		
87-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER87-01：メカムアウトウ	メカ応答異常 メカ部からの応答が無い 約 30 秒		電源 OFF →再投入
87-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER87-02：メカムアウトウ	メカ応答異常 電源投入時、メカ部からの 応答が無い		
88-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER88-01：ファイアチェック	ハンマファイアチェック		スタート SW 押下によりオフライン状態 再度エラー発生時は再表示
8B-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8B-01：カムエラー	カム異常		
8E-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8E-01：センスエラー	メカからの応答が未定義 テストコマンド応答時		電源 OFF → 再投入
8E-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8E-02：センスエラー	メカからの応答が未定義 コマンド応答時		

9.2 文字コード

本装置で扱う文字コードは、表 9.5, 表 9.6, 表 9.7, 表 9.8, および表 9.9 に示す 1 バイトの EBCDIC 系コード (いずれか 1 つ) と, 2 バイトの JEF 漢字コードです.

表 9.5 国内一般カナ付コード表 (Japanese KANA)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—			ソ					\$	0
1		SBA			.	エ	/		ア	タ	ー		A	J		1
2		EUA			「	オ			イ	チ	へ		B	K	S	2
3		IC			」	ヤ			ウ	ツ	ホ		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP		,	ユ			エ	テ	マ		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN	・	ヨ			オ	ト	ミ		E	N	V	5
6		BS			ヲ	ッ			カ	ナ	ム		F	O	W	6
7					ア				キ	ニ	メ		G	P	X	7
8			Ks	Kl	イ	ー			ク	ヌ	モ		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL	ウ				ケ	ネ	ヤ		I	R	Z	9
A				LINS	£	!		:	コ	ノ	ユ	レ				
B	VT	SFE /F	FMT		.	¥	,	#				ロ				
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@	サ		ヨ	ワ				
D	CR	SF			(	)	_	'	シ	ハ	ラ	ン				
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=	ス	ヒ	リ	°				
F	SFE		BEL			ー	?	"	セ	フ	ル	°				

(注 1) 未定義コードは [—] ハイフンで印刷し, プログラムに対しては [X '60'] で通知します.

(注 2) DUP, FM は各々 [*], [;] で印刷します.

プログラムに対しては, 各々 [X '1C'], [X '1E'] で通知します.

表 9.6 国内一般カナ無コード表 (Japanese English)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—						{	}	\$	0
1		SBA					/		a	j	—		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	£	!		:								
B	VT	SFE /F	FMT		.	¥	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@								
D	CR	SF			()	—	'									
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=								
F	SFE		BEL			—	?	"								

(注1) 未定義コードは「—」ハイフンで印刷し、プログラムに対しては「X '60」で通知します。

(注2) DUP, FMは各々「*」,「;」で印刷します。

プログラムに対しては、各々「X '1C」,「X '1E」で通知します。

表 9.7 海外コード表 I (US English)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—						{	}	\	0
1		SBA					/		a	j	~		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	¢	!		:								
B	VT	SFE /F	FMT		.	\$	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@								
D	CR	SF			(	)	_	'								
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=								
F	SFE		BEL			—	?	"								

(注 1) 未定義コードは [—] ハイフンで印刷し、プログラムに対しては [X '60'] で通知します。

(注 2) DUP, FM は各々 [*], [;] で印刷します。

プログラムに対しては、各々 [X '1C'], [X '1E'] で通知します。

表 9.8 海外コード表Ⅱ (EBCDIC-ASCII)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—						{	}	\	0
1		SBA					/		a	j	~		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	OP	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	[]		:									
B	VT	SFE /F	FMT		.	\$	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@								
D	CR	SF			()	_	'									
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=				°				
F	SFE		BEL		!	^	?	"				°				

(注1) 未定義コードは [—] ハイフンで印刷し、プログラムに対しては [X '60'] で通知します。

(注2) DUP, FM は各々 [*], [;] で印刷します。

プログラムに対しては、各々 [X '1C'], [X '1E'] で通知します。

表 9.9 ASCII コード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—	—					{	}	\	0
1						¥	/	ヤ	a	j	~		A	J		1
2						.	ア	ユ	b	k	s		B	K	S	2
3						「	イ	ヨ	c	l	t		C	L	T	3
4	VCS					」	ウ	ワ	d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN		,	エ	ン	e	n	v		E	N	V	5
6		BS				・	オ	ゝ	f	o	w		F	O	W	6
7						ヲ	ヤ	°	g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl		ッ	ユ		h	q	y		H	Q	Y	8
9			As				ヨ	`	i	r	z		I	R	Z	9
A					[	]		:								
B	VT	SFE /F			.	\$	,	#	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ラ
C	FF	DUP			<	*	%	@	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	リ
D	CR				(	)	_	'	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ル
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	レ
F			BEL		!	^	?	"	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ロ

(注 1) 未定義コードは [—] ハイフンで印刷し、プログラムに対しては [X '60'] で通知します。

(注 2) DUP, Fm は各々 [*], [;] で印刷します。

プログラムに対しては、各々 [X '1C'], [X '1E'] で通知します。

(注 3) 実際の出力との対応は、PC 等のコード表を参照してください。

(注 4) 本コード表が使用されるのは、「3.5.1 LAN 接続するための基本設定」に記載した表の順番⑦, ⑨～⑮の場合になります。

9.3 PrintWalker/RS のご紹介

PrintWalker/RS (Remote Service) は、VSP/VS シリーズネットワークプリンタの運用管理をリモートで行うソフトウェアです。

本ソフトウェアには次の特長があります。

- (1) Windows 2000 上で動作する WWW ベースのクライアント/サーバシステム
- (2) クライアント側は WWW ブラウザ以外に特別なソフトウェアは不要
- (3) ブラウザで自席の PC から遠くのプリンタの状態を参照, 遠隔操作
- (4) プリンタ状態をメールで管理者に通知

詳しくは、添付の PrintWalker CD-ROM の PrintWalker/RS 導入マニュアル, README をご覧ください。

導入マニュアルの格納場所 → CD-ROM ドライブ : ¥RemoteSV¥Manual.htm

Readme の格納場所 → CD-ROM ドライブ : ¥RemoteSV¥Readme.txt

<<PrintWalker/RS をご利用のお客様へ>>

PrintWalker/RS プロパティ画面表示について

PrintWalker/RS のプロパティ画面表示の MAC アドレス,機種名,システムファームウェア総合版数,
メカコンファームウェア版数は変更できません.

なお,プリンタのオペレーションパネル表示と PrintWalker/RS プロパティ画面表示の現在状態表示
は下記対応表のとおりになっております.

[VSP2910H オペレータパネル-PrintWalker/RS 状態表示 対応表]

エラーコード	プリンタ装置オペレータパネル表示	PrintWalker/RS 状態表示
01-01	ER01-01: ヨウシギレ	用紙無し (****)
02-01	ER02-01: ポジション	ポジションエラー
07-01	ER07-01: プログラム	プリンタ稼動中
09-01	ER09-01: カバー	カバーオープン
09-02	ER09-02: ツウロオープン	インターロック異常 (用紙通路オープンエラー)
09-03	ER09-03: ヘッドアップ	インターロック異常 (ヘッドアップエラー)
09-04	ER09-04: カバー	カバーオープン(プリンタ動作中)
10-01	ER10-01: ヨウシヅマリ	用紙詰まり (用紙ジャム)
12-06	ER12-06: オートロード	用紙詰まり (吸入ジャム)
13-01	ER13-01: キリカエエラー	切り換えエラー (押込み)
13-02	ER13-02: キリカエエラー	切り換えエラー (引張り)
27-01	ER27-01: ジョウイソウチ	プリンタ稼動中
31-01	ER31-01: ヨウシギレ	用紙なし (****)
32-01	ER32-01: POC イジョウ	POC 異常
34-01	ER34-01: セレクトミス	セレクトミス
40-0X	ER40-0X: メモリ エラー	なし
41-0X	ER41-0X: メモリ エラー	なし
42-09	ER42-09: PCB XXXX	なし
43-XX	ER43-XX: LAN XXXX	なし
45-01	ER45-01: FLASH エラー	なし
47-0X	ER47-0X: ソケットエラー	なし
48-0X	ER48-0X: システムエラー	なし
49-XX	ER49-XX: PCF XXXX	なし
60-00	ER60-00: リードエラー	リードエラー
81-01	ER81-01: EEPROM	CE-CALL (81-01/EEPROM エラー)
81-02	ER81-02: シーケンスエラー	CE-CALL (81-02/インストール シーケンスエラー)
81-03	ER81-03: データエラー	CE-CALL (81-03/インストール データエラー)
81-04	ER81-04: カキコミエラー	CE-CALL (81-04/インストール カキコミエラー)
82-01	ER82-01: モータエラー	CE-CALL (82-01/ピックモータエラー)
82-02	ER82-02: モータエラー	CE-CALL (82-02/LF モータエラー)
82-03	ER82-03: モータエラー	CE-CALL (82-03/ホッパモータエラー)
82-04	ER82-02: モータエラー	CE-CALL (82-04/カムモータエラー)
82-05	ER82-05: ホッパエラー	CE-CALL (82-05/ホッパエラー)

エラーコード	プリンタ装置オペレータパネル表示	PrintWalker/RS 状態表示
82-07	ER82-07：モータエラー	CE-CALL (82-07/フェースダウンモータエラー)
82-08	ER82-08：ヒューズエラー	CE-CALL (82-08/ヒューズエラー)
82-09	ER82-09：チェックカイロ	CE-CALL (82-09/ホッパモータチェック回路エラー)
82-0A	ER82-0A：チェックカイロ	CE-CALL (82-0A/カムモータチェック回路エラー)
82-0B	ER82-0B：チェックカイロ	CE-CALL (82-0B/ピックモータチェック回路エラー)
82-0C	ER82-0C：チェックカイロ	CE-CALL (82-0C/LF モータチェック回路エラー)
82-0D	ER82-0D：チェックカイロ	CE-CALL (82-0D/キャリアモータチェック回路エラー)
82-0E	ER82-0E：チェックカイロ	CE-CALL (82-0E/フェースダウンモータチェック回路エラー)
83-01	ER83-01：ファンティシ	CE-CALL (83-01/装置冷却用ファン停止エラー)
83-02	ER83-02：ファンティシ	CE-CALL (83-02/キャリアモータ冷却用ファン停止エラー)
84-01	ER84-01：デングエン	CE-CALL (84-01/電源電圧異常)
84-02	ER84-01：パワーオフ	CE-CALL (84-02/パワーオフエラー)
85-01	ER85-01：スペースエラー	CE-CALL (85-01/スペースエラー)
85-0B	ER85-0B：ヘッドイチ	CE-CALL (85-0B/ヘッド位置異常)
87-0X	ER87-0X：メカ ムオウトウ	なし
88-01	ER88-01：ファイアチェック	CE-CALL (88-01/ハンマファイアチェック)
89-01	ER89-01：パターン	なし
8B-01	ER8B-01：カムエラー	CE-CALL (8B-01/カムエラー)
8E-0X	ER8E-0X： センスエラー	なし

※ PrintWalker/RS 状態表示で「なし」となっているものは、PrintWalker/RS 側では表示されません。

9.4 PrintWalker/LXE のご紹介

9.4.1 PrintWalker/LXE の概要

(1) 概要

PrintWalker/LXE は、Linux システムから LAN (Ethernet TCP/IP) 接続された VSP シリーズプリンタ装置の印刷制御を行うソフトウェア製品です。

本ソフトウェアは、装置添付の CD-ROM(PrintWalker) に格納されています。

(2) 機能

①操作性

- 用紙詰まりや用紙無しなどが発生した場合、PrintWalker/LXE は Web アラート機能により、詳細なメッセージを Windows パソコンの Web ブラウザ上に表示し、プリンタ装置側の処置だけで、異常が発生したページから再印刷を行います。(ページリカバリ)
- PrintWalker/LXE の Web アラート機能では、印刷中に異常が発生したジョブの削除を指定することが可能です。
- バナーページの排紙口指定が可能です。バナーページに色紙などを使用することで、仕分けが簡単になります。(インパクトプリンタでは指定できません。)
- VSP シリーズは、他の弊社サーバ (GS/PRIMEFORCE, PRIMEPOWER, S series, PRIMERGY/GRANPOWER6000, PRIMERGY/GRANPOWER 5000), またはパソコン (FMV シリーズ) プリンタとして共用が可能です。

②NetCOBOL, PowerCOBOL97 シリーズと Mefit との連携

- 本ソフトウェアは、NetCOBOL, PowerCOBOL97 シリーズと Mefit との連携印刷が可能です。フォームオーバーレイ印刷、バーコード(カスタマコードを含む)印刷、用紙コードの指定、給紙口指定、用紙サイズ指定等、きめ細やかな印刷制御が可能です。

③サポートデータ形式

PrintWalker/LXE から VSP2910H 装置などのインパクトラインプリンタや多目的プリンタへの印刷で利用できるデータ形式は、以下のとおりです。

- simple 出力
- cobol (UVPI)

9.4.2 動作環境

PrintWalker/LXE は、以下の動作環境で動作するソフトウェアです。詳細は添付の CD-ROM を参照してください。

(1) サポート OS

<PRIMERGY>

- Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)

<PRIMEQUEST>

- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for Itanium)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel Itanium)

(2) 対応印刷システム

- CUPS 1.1.17 以降を対象

(3) Web アラータの動作環境

- OS : Windows 2000, Windows XP, Windows Server 2003
- ブラウザ : Microsoft Internet Explorer 5 以降
- JAVA VM : 1.5 以降

(4) 必須ソフトウェア

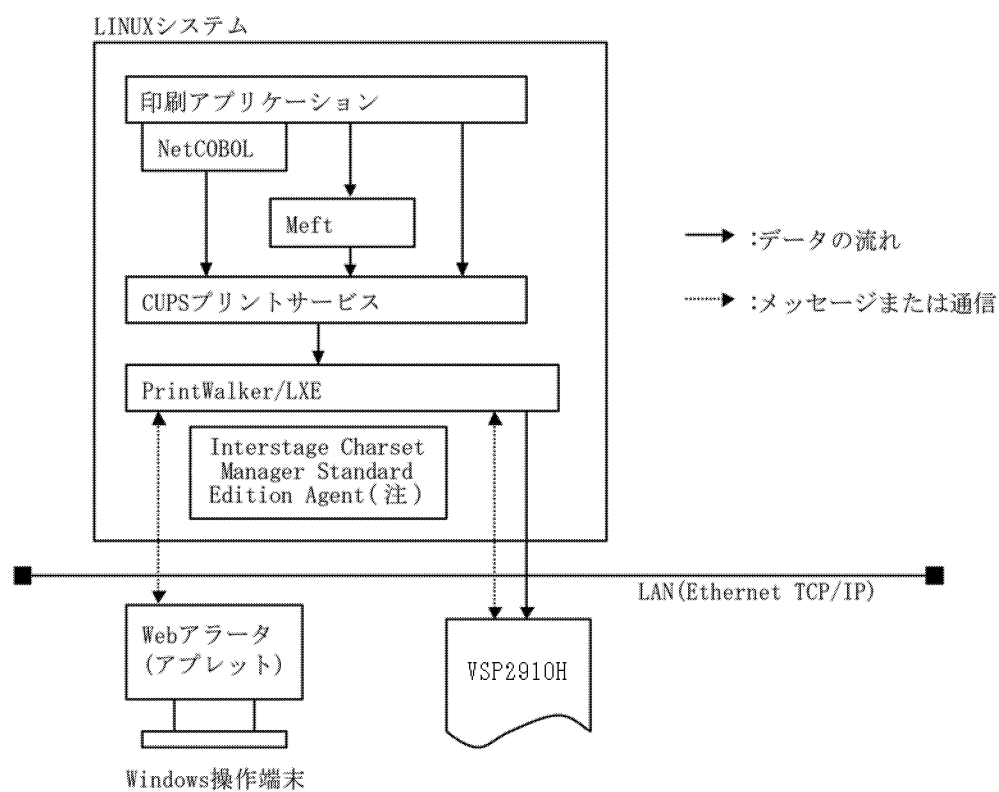
<PRIMERGY>

- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V6.0 以上

<PRIMEQUEST>

- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V7.0 以上

9.4.3 システム構成



(注意) Interstage Charset Manager Standard Edition Agent は必須であり，別途購入して頂く
 が必要です.

9.4.4 留意事項

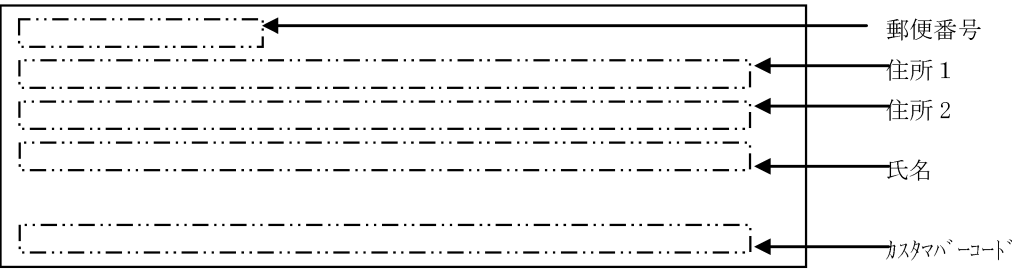
- (1) PrintWalker/LXE の Web アラータ機能では,印刷中に異常が発生したジョブの保留,ページ指定の印刷再開および出力先の変更ができません.
- (2) PrintWalker/LXE では, Interstage Charset Manager Standard Edition Agent は必須製品ですので,必ず購入してください.
- (3) 本製品には環境ファイルが1個ありますが,環境ファイルを変更している時のみメジャーアップ時にその退避/復元が必要です.
- (4) 直打ち印刷(イミデート印刷)は,未サポートです.
- (5) PrintWalker/LXE は,1 サーバ(プリントサーバ)におけるプリンタ接続台数の制限を設けておりません. ただし,印刷性能など十分考慮し,接続するプリンタ台数など運用システムの構築を行ってください.
- (6) PrintWalker/LXE での印刷時,プリンタ装置側の設定は,"サポートサーバ"をPrintWalkerに設定してください.
- (7) 印刷中にサーバ側のプリンタ定義の変更を行わないでください. 印字完了後に設定変更を行ってください.
- (8) 本ソフトウェアをご使用になる場合は,「Support Desk Product」の契約をお願いします.

9.5 カスタマバーコードの印刷条件

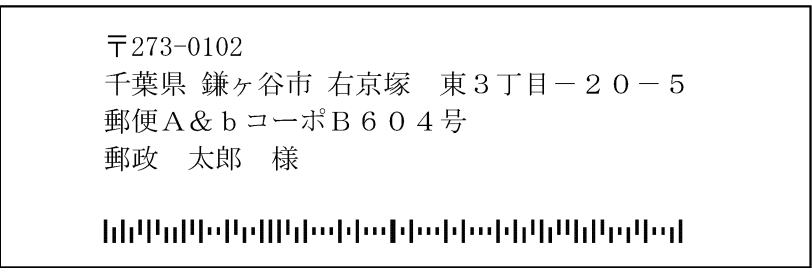
新品インクリボンを使用した場合の、読み取り可能なカスタマバーコード印刷量の目安は、以下のとおりです。

(1) 印刷条件

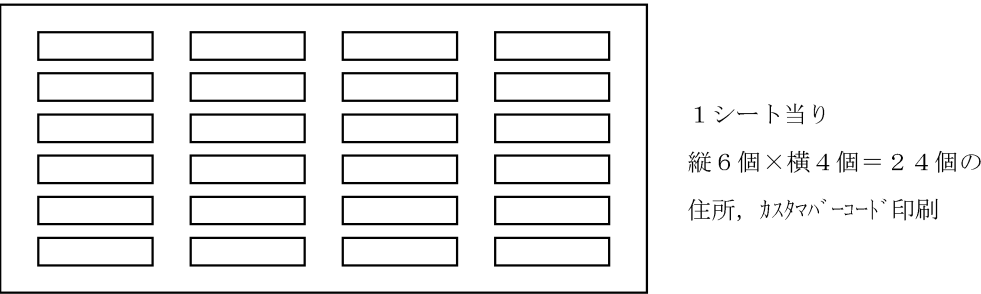
・印刷レイアウト



・印刷サンプル



・15×11インチ用紙のレイアウト



(2) インクリボン1本当りの印刷量 (目安)

(1) 項の印刷条件で印刷した場合、インクリボン1本当りの印刷シート数および住所とカスタマバーコードの印刷量の目安は、以下のとおりです。

用紙	印刷シート数	住所／コード印刷数
1 P用紙	500	12,000
ラベル紙	500	12,000
複写用紙	500	12,000

(注) 1 P用紙は、連量55kgの上質紙です。

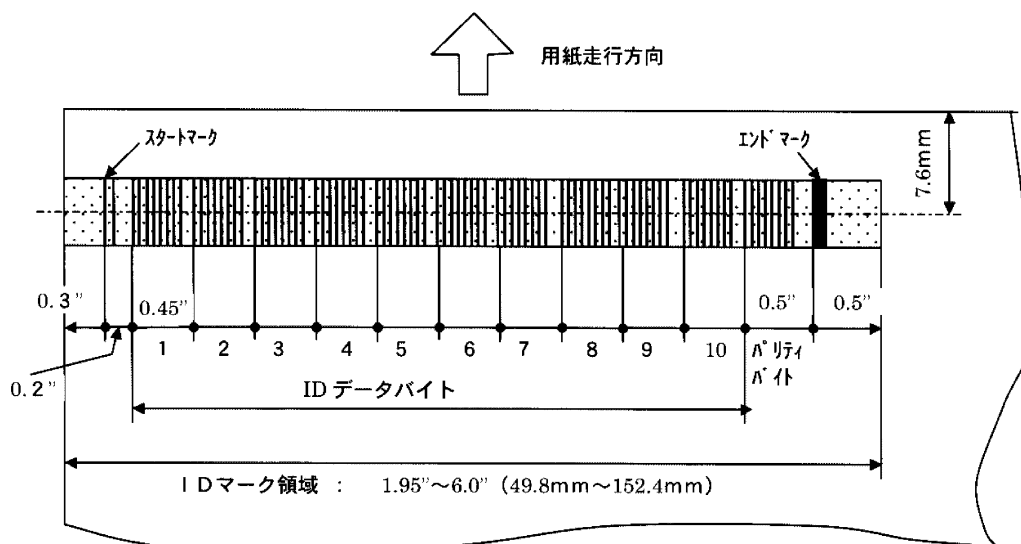
(3) 注意事項

- ・ カスタマバーコード印刷には、オプションの拡張出力機構が必須です。
- ・ カスタマバーコードの印刷物は、事前に郵便局での読み取りテストを受けてください。
- ・ インクリボンは新しいものを使用してください。
- ・ 複写用紙の場合、読み取りは印刷用紙の最上部の1枚目のみ可能です。
2枚目以降の読み取りは保証できません。

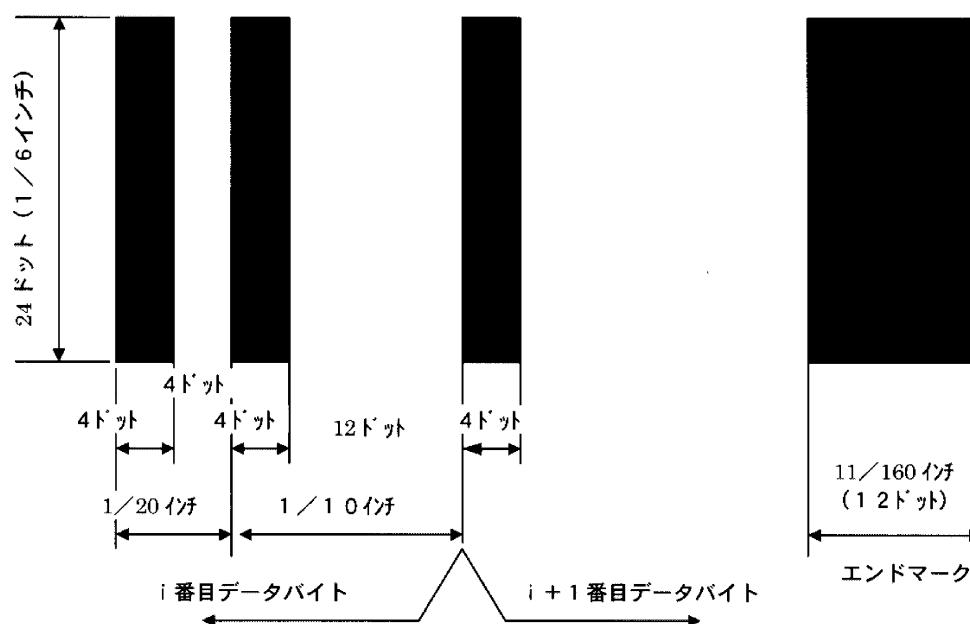
9.6 ID マーク

ID マークとは、本プリンタ装置により元帳に印刷され、帳票の認識のために使用されるマークのことです。ID マークは、装置内蔵の光学センサで読み取られます。

ID データは、10 バイトを上限とする可変長データです。



ID マークドットパターン



- 1) ID マーク使用帳票は、元帳のみとします。
- 2) ID マーク領域内では、印刷および ID マーク以外の印字は禁止します。
ID マーク領域内の用紙表面反射率は、80%以上の白色でかつ直径 0.5mm 以上のシミ、ピンホール、汚れ、しわ、カールなどがあってはなりません。
- 3) ID マーク領域は、データ数に応じて 1/6 インチ幅で用紙左端より 1.95 インチ～6.0 インチとなります。

$$1.5 \text{ インチ} + 0.45 \text{ インチ} \times N \quad (N : \text{使用データバイト数})$$

- 4) 用紙規格に関しては、「6.3 元帳」を参照してください。

安 全 デ ー タ シ ー ト

会社名 : 富士通株式会社
問い合わせ先
会社名 : 富士通コワーコ株式会社
住所 : 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-15
担当部門 : 045-479-0140
電話番号 : 045-479-0141
FAX番号 :
作成・改訂 : 2016年2月10日

整理番号 TR15-M004

【製品名】 リボンカセットMP P 6 サブカセットMP P 6 (リボン・リボンカートリッジ・リボンカセット)

1. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

2. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物 (リボンにインクを含浸させている)

成分および含有量

化 学 名	含有量 (重量%)	官報公示整理番号 (化審法/安衛法)	CAS Registry No.
顔料	<35	非開示	非開示
色材	<10	非開示	非開示
脂肪酸	<35	非開示	非開示
エステル油	<35	非開示	非開示

国連分類 : 該当せず

国連番号 : 該当せず

3. 応急措置

吸入した場合 : 該当しない。
皮膚に付着した場合 : 石鹼を使って水でよく洗い流す。
目に入った場合 : 15 分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすぐ。直ちに医師の手当てを受ける。

4. 火災時の措置

消火剤 : 噴霧水、泡、粉末消火剤、二酸化炭素。
ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で
消火する。
使ってはならない消火剤 : 情報なし。
特有の消火方法 : 供給源を遮断し、消火剤を使用して消火する。
消火を行う者の保護 : 情報なし。

5. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び : 保護具は特に必要ない。

緊急時措置

環境に対する注意事項	:	情報なし。
封じ込め及び浄化の方法・機材	:	インキで汚れた場合は紙や布を使用して拭き取る。

6. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	:	火中に絶対投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。
局所排気・全体換気	:	当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
注意事項	:	情報なし。
安全取り扱い注意事項	:	情報なし。

保管

適切な保管条件	:	火から遠ざけ換気のよい冷暗所に保管する。幼児の手の届くところに保管しない。
---------	---	---------------------------------------

7. ばく露防止及び保護措置

設備対策	当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
許容濃度	: 設定されていない。

保護具	当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。必要に応じて手袋を着用。
適切な衛生対策	: 情報なし。

8. 物理的及び化学的性質

外観

物理的形状

形状	:	黒色インク
色	:	黒色
臭い	:	微臭
pH	:	データなし。
融点／凝固点	:	データなし。
沸点、初留点と沸騰範囲	:	データなし。
引火点	:	データなし。
自然発火温度	:	データなし。
燃焼又は爆発範囲の上限／下限	:	爆発限界 データなし
蒸気圧	:	データなし。
蒸気密度	:	データなし。
比重（相対密度）	:	約 1.0（インク）。
溶解性	:	難溶（水）。
オクタノール／水分配係数	:	データなし
分解温度	:	データなし
粘度（25℃）	:	データなし。
燃焼性	:	データなし。
重合の危険有害性	:	データなし。

9. 安定性及び反応性

安定性／反応性	:	常温以下では安定。
---------	---	-----------

危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 特になし。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

10. 有害性情報

急性毒性（50%致死量）

経口→LD50（ラット）	: >2000mg/kg（実質上無毒）
経皮→LD50（－）	: データなし
吸入→LC50（－）	: データなし

皮膚刺激性 : 刺激性なし

皮膚腐食性 : 腐食性なし

眼に対する重篤な損傷／刺激性 : 刺激性なし

呼吸器感作性／皮膚感作性（モルモット） : データなし

生殖細胞変異原性（変異原性） : AMES 試験 陰性

発がん性 : データなし

生殖毒性 : 処方成分として生殖毒性及び発生毒性物質^{文献2}を含有せず。

特定標的臓器毒性（単回曝露） : データなし

特定標的臓器毒性（反復曝露） : データなし

吸引性呼吸器有害性 : データなし

その他 : データなし

*1 類似物の試験結果からの予測

11. 環境影響情報

生態毒性

急性毒性	魚類 96 時間 LC50（ヒメダカ）	: データなし
	ミジンコ類 48 時間 EC50（オオミジンコ）	: データなし
	藻類 72 時間 EC50（ムレミカズキモ）	: データなし
残留性／分解性		: データなし
生態蓄積性		: データなし
土壤中の移動性		: データなし
他の有害影響		: データなし

*1 類似物の試験結果からの予測。

12. 廃棄上の注意

廃棄する場合は、「廃棄の処理及び清掃に関する法律」の一般廃棄物、またその地域の条例などに準拠した方法で処理してください。

13. 輸送上の注意

国際規則	: 非該当
国連分類	: 非該当
国内規制	: 非該当

14. 適用法令

インクを含浸したりボンとして、適用法令なし。(対象法令：PRTR 法第一種指定化学物質*1、労安法第五七条の二通知対象物*2、消防法、毒劇法*3、化審法*4)

以下にインクとしての適用法令を記載する。

PRTR 法第一種指定化学物質*1	: 非該当
労安法第五七条の二通知対象物*2	: 銅及びその化合物、鉱油
消防法	: 危険物・第四類・第四石油類

*1 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

*2 労働安全衛生法 *3 毒物及び劇物取締法 *4 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

15. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

引用文献

文献 1 : ◇ IARC Monographs on the Evaluation Carcinogenic Risks to Humans
(WHO.IARC : 国際癌研究機関)

National Toxicology Program(NTP)Report on Carcinogens (NTP : 米国・国家毒性プログラム)
TLV s and BEIs (ACGIH : 米国・政府産業衛生専門家会議)
日本産業衛生学雑誌 (日本産業衛生学会)

物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008 (CLP 規則)

文献 2 : ◇ 物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008 (CLP 規則)

VSP2910H プリンタ装置 取扱説明書

2008 年 9 月 初版
2016 年 7 月 4 版

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2008-2016

- 本書を無断で他に転載しないようにお願いします。
- 本書は、改善のため予告なしに変更されることがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

